



Webサービスインターフェイス リファレンスガイド ArcSuite 4.0

はじめに

このたびは富士フィルムビジネスイノベーションのArcSuite[®]をご利用いただき、まことにありがとうございます。

一般に、企業活動では、各業務に関する情報はさまざまな形態のドキュメントとして存在しています。ここでいうドキュメントとは、紙に書かれた文書だけを示す狭義のものではありません。紙はもちろんのこと、ホワイトボードに書かれた文字や図表、プロジェクターやテレビに映し出された映像などを含む広義なものを指します。

ドキュメントは一般に、ひとりの手で作成されるものではなく、複数の人の意見交換や討議を経て作成されます。単純な作業や複雑な計算はコンピューターに委ねられ、あらゆる分野でさまざまなソリューションが展開されていますが、ドキュメントの作成では一般に人が中心なのです。

ArcSuiteは、「ドキュメント」に着目して「人」と「人」をつなぐ、「ドキュメント指向」のソリューション・パッケージです。ArcSuiteをご利用いただくことによって、さまざまなコンピューターシステムを統合したうえでのドキュメントの共有や管理が可能になります。

お使いの商品構成によって、次の機能が標準で提供されないことがあります。

コラボスペース、ドキュメントレビューオプション、ワークフロー、分類ビュー、関連文書検索サービス、原本性保証オプション、キャプチャリングサービス、統合検索サービス、オンラインバックアップオプション、ドキュメント一括操作ツール、連携フォルダ for DocuWorks、連携オプション for Working Folder

本書の内容は、Microsoft Windows Operating System、およびWebブラウザの基本的な知識や操作方法を習得されているかたを対象として記述しています。

Excel、Visual Studio、Microsoft、Windows、およびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle とJava は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

- ・ 本書の編集、変更、または無断での転載はしないでください。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

ArcSuite、DocuWorks、および Working Folderは、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

著作権について

本ソフトウェア、およびバックアップのために複製されたソフトウェアに関する著作権等を含む一切の無体財産権は、弊社および弊社への供給者に帰属します。

(c) 2002-2021 FUJIFILM Business Innovation Corp.

マニュアル体系

ArcSuiteには、次のマニュアルおよびヘルプがあります。

マニュアルは、PDFファイルまたはヘルプの形式で提供しています。

主なマニュアルは、『ポータル画面のヘルプ』から参照できます。『ポータル画面のヘルプ』は、Webブラウザの操作画面にある【ヘルプ】から表示できます。

補足 お使いの商品構成によっては、提供されない機能の説明がマニュアルに含まれることがあります。

■ 管理者ユーザー向け

名称	概要
セットアップガイド	本製品全体のセットアップ方法について説明しています。
システム管理者ガイド	リソース管理サービスの概要、機能、管理操作を行うコマンドについて説明しています。また、本製品の運用に必要な管理作業について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理者ガイド	ドキュメント管理サービスの概要、機能、および管理操作を行うコマンドについて説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション デスクトップ版のヘルプ	サーバーで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
ドキュメント管理サービス管理アプリケーション Web版のヘルプ	クライアントPCで行うドキュメント管理サービスの管理操作について説明しています。
オフラインバックアップ・リストア運用ガイド	オフラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
リソース管理アプリケーションのヘルプ	ユーザー、グループ、ユーザーロールの追加、およびライセンスの編集、検索について説明しています。
ログインサーバー管理アプリケーションのヘルプ	ログインサーバーでの認証モードの設定について説明しています。
メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ	メッセージ通知サーバーの設定、メッセージのプール管理、メッセージテンプレートの設定について説明しています。
ポータル管理アプリケーションのヘルプ	ユーザープロフィールに表示する項目の設定、お知らせの設定について説明しています。
ドキュメントスペース管理アプリケーションのヘルプ	属性テンプレートや表示する属性の設定、表示するボタンの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
表示アプリケーション管理ツールのヘルプ	表示アプリケーションのテンプレート、システム環境の設定について説明しています。
ログ管理アプリケーションのヘルプ	ログを表示する機能、ログを取得する機能、および保守情報を一括で取得する機能について説明しています。

名称	概要
監視ツールのヘルプ	ArcSuiteのコンポーネントにアクセスしているユーザー、データベースの状態、およびセッションの状態を監視する機能について説明しています。
ドキュメントスペースドキュメント操作URLリファレンスガイド	ドキュメントスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
オンラインバックアップ・リストア運用ガイド	オンラインバックアップ機能の操作、およびリストア機能の操作について説明しています。
e-文書法対応 概要説明書	e-文書法対応の概要および原本性保証オプションの機能について説明しています。
コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ	コラボスペースのメールの設定、ログの設定、およびタスクやメッセージの用語をカスタマイズする設定について説明しています。
ワークフロー管理アプリケーションのヘルプ	ワークフロー定義または起動テンプレートの作成者および公開者の設定、ログの設定、外部コマンドの設定について説明しています。
キャプチャリング管理アプリケーションのヘルプ	キャプチャリングサービスの監視キューに対する操作について説明しています。
統合検索サービス管理アプリケーションのヘルプ	統合検索サービスのリソースの設定、収集スケジュールの設定、およびシステム環境の設定について説明しています。
コラボスペースタスク操作URLリファレンスガイド	コラボスペースの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
ワークフロー操作URLリファレンスガイド	ワークフローの機能にURLを使用して接続する機能について説明しています。
Webサービスインターフェイスリファレンスガイド (本書)	ArcSuiteの機能にSOAPを使用して接続するAPIについて説明しています。
ドキュメント管理サービスSDKリファレンスガイド	ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
コラボスペースInterface Toolkitリファレンスガイド	コラボスペースのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。
ワークフロー Interface Toolkitリファレンスガイド	ワークフローのオブジェクトを処理するコマンドについて説明しています。

■ クライアントユーザー向け

名称	概要
ポータル画面のヘルプ	ポータル画面で、お気に入りの編集、ユーザープロフィールを変更する操作について説明しています。 Webブラウザの操作画面にある [ヘルプ] から参照してください。
アドレス帳のヘルプ	アドレス帳で、ユーザー、グループ、ユーザーロール、およびタスクを検索する操作について説明しています。
ドキュメントスペースのヘルプ	ドキュメントスペースで、登録、属性の変更、検索などのドキュメントを管理する機能の操作について説明しています。
表示アプリケーションのヘルプ	表示アプリケーションで、ブラウザーイメージ変換された画像を編集する操作、およびユーザー設定について説明しています。
検索条件式のヘルプ	ドキュメントスペースの詳細検索で、全文検索または属性検索の条件式をXMLで指定するときの記述方法について説明しています。

名称	概要
簡易操作のヘルプ	簡易操作画面でドキュメントを管理する機能の操作、および操作画面の設定方法について説明しています。
コラボスペースのヘルプ	コラボスペースで、タスクの作成、メッセージの登録、および検索などの操作について説明しています。
ワークフローのヘルプ	ワークフローで、ワークフロー定義の作成、公開および起動する操作、作業を実行する操作について説明しています。
ドキュメント一括操作ツール説明書	Microsoft Excelを使って、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを処理する操作について説明しています。
デスクトップクライアント セットアップガイド	デスクトップクライアントのセットアップ方法について説明しています。
デスクトップクライアント 操作説明書	デスクトップクライアントで、ドキュメント管理サービスのフォルダやドキュメントにアクセスする操作方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorks セットアップガイド	連携フォルダ for DocuWorksのセットアップ方法について説明しています。
連携フォルダ for DocuWorksの ヘルプ (*1)	DocuWorks Deskで、ArcSuiteに登録されているドキュメントを操作する方法について説明しています。

* 1: 連携フォルダ for DocuWorks をインストールした DocuWorks Desk のヘルプから参照してください。

本書の使い方

■ 本書の構成

本書は、次の章から構成されています。

[1 概要](#)

Webサービスを使用してアプリケーションを開発する技術者を対象として、インターフェイスの概要について説明しています。

[2 設定パラメーター](#)

Webサービスで設定できるパラメーターについて説明しています。

[3 オブジェクト形式](#)

各オペレーションで操作対象となる、リソース管理オブジェクト (RmsObject)、ドキュメント管理オブジェクト (RepositoryObject)、タスク管理オブジェクト (TaskObject、MessageObject)、ワークフロー管理オブジェクト (WorkflowObject) について説明しています。

[4 認証方式](#)

Webサービスにおける認証方式について説明しています。

[5 セッション管理](#)

WebサービスのセッションのIDによる特定と、セッションで使用する言語、添付ファイル形式、リクエスト処理後のセッション解放の指定について説明しています。

[6 オブジェクト情報取得・一覧・検索](#)

Webサービスで使用するオブジェクト情報の取得・一覧・検索について説明しています。

7 共通機能インターフェイス

共通機能として提供する、認証関連、属性スキーマ情報について説明しています。

8 リソース管理インターフェイス

リソース管理インターフェイスとして提供されている操作について説明しています。

9 ドキュメント管理インターフェイス

ドキュメント管理インターフェイスとして提供されている操作について説明しています。

10 タスク管理インターフェイス

タスク管理インターフェイスとして提供されている操作について説明しています。

11 プロセス管理インターフェイス

プロセス管理インターフェイスとして提供されている操作について説明しています。

12 メッセージ

Webサービスで発生するエラーメッセージ形式およびメッセージについて説明しています。

付録

Webサービスを利用して送信するリクエストの上限値を設定する手順や、Webサービスのすべての属性における特性定義情報の一覧、主要データ型の構成、用語集を記載しています。

■ 本書の表記

・ 本書では、次の記号を使用しています。

< > キー	キーボードのキーを表します。 例：<Enter>キーを押します。
[]	画面に表示されるメニュー、ボタン、項目を表します。 例：[新規作成] をクリックします。
[]	同一マニュアル内の参照箇所を表します。 また、強調する用語やメッセージも表します。 例：「1 概要」 「名前が指定されていません。」と表示されます。
『 』	参照するマニュアルの名前を表します。 例：『システム管理者ガイド』
{ }	ユーザー名やサーバー名など、操作時に変わる値を表します。 例：[{ユーザー名}] をクリックします。
>	メニューやWebページの階層を表します。 例：[システムとセキュリティ] > [管理ツール]
注記	一般的な注意事項を表します。
補足	機能や操作に関する補足説明を表します。
参照	参照する事項があることを表します。
_____	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例： 「1 概要」 (P.6)

-
- ・ Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
 - ・ パーソナルコンピュータを「PC」と表記しています。
 - ・ お使いの環境によって、マニュアルに記載の画面と実際の画面が異なることがあります。
 - ・ 特に表記がない場合の製品のバージョン番号は「4.0」です。

目次

1 概要

1.1	ArcSuite Web サービスインターフェイスとは	19
1.2	提供機能.....	20
1.2.1	添付ファイル形式対応	20
1.2.2	国際化対応.....	20
1.2.3	認証方式	20
1.2.4	セキュリティトークン対応	20
1.2.5	複数サーバーサポート	20
1.2.6	同時アクセス数制限	20
1.2.7	特権ロール.....	21
	アプリケーションプログラム特権	21
	印刷サービス特権.....	21
	クライアント証明書無効特権	21
1.2.8	管理者モード	22
1.3	提供モジュール.....	23
1.3.1	WSDL を使ったインターフェイス定義.....	23
1.3.2	Java 言語用クライアントライブラリー	23
1.3.3	Java 言語を使ったサンプルコード.....	23
1.3.4	C# を使った .NET Framework サンプル.....	23
1.3.5	クライアント構成.....	24
1.4	プロトコル仕様.....	25
1.4.1	SOAP, WSDL 仕様.....	25
1.4.2	ネームスペース	25
1.4.3	エンドポイントアドレス.....	25

2 設定パラメーター

2.1	設定パラメーター一覧	27
	設定パラメーターの設定値について	27
	設定パラメーター.....	27
2.2	設定パラメーターを追加する	34
2.2.1	システムプロパティを追加する	34
2.2.2	コンポーネントプロパティを編集する	35

3 オブジェクト形式

3.1	オブジェクト形式	38
3.1.1	ArcObject 型の基本属性	38
3.1.2	RmsObject 型の基本属性	38
3.1.3	RepositoryObject 型の基本属性.....	38
3.1.4	CollaboObject 型の基本属性	39
3.1.5	TaskObject 型の基本属性.....	39
3.1.6	MessageObject 型の基本属性	39
3.1.7	ToDoObject 型の基本属性	39
3.1.8	WorkflowObject 型の基本属性	39
3.2	オブジェクト形式関連情報.....	40
3.2.1	オブジェクト識別子形式.....	40
3.2.2	属性識別子形式 (Attributeld)	40
3.2.3	多言語対応列挙値 (I18nString)	40

3.2.4	属性スキーマ情報 (AttributeSchema)	40
3.2.5	属性テンプレート情報 (AttributeTemplate、AttributeTemplateItem)	40
3.2.6	オブジェクト表現例	41
4 認証方式		
4.1	認証方式の種類	43
4.1.1	ユーザー ID およびクレデンシャル情報	43
4.1.2	SSL クライアント認証	43
4.1.3	SSL クライアント認証に加えてユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用	43
4.1.4	認証方式に関する補足	43
4.2	認証方式の設定	44
4.2.1	認証方式を設定する	44
4.2.2	IIS の「クライアント証明書」に関する扱いを設定する	45
4.2.3	共通ログインの認証モードとの関連	46
4.3	LDAP 連携構成の設定	47
4.4	認証方式による認証手順	48
4.4.1	ユーザー ID およびクレデンシャル情報による認証手順	48
	平文パスワードによる認証	48
	暗号化パスワードによる認証	49
4.4.2	電子証明書を使用した認証	49
	SSL クライアント認証	50
	SSL クライアント認証とユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用する手順	50
	電子証明書による認証の無効化	51
4.5	認証処理フロー	52
4.6	認証エラー一覧	53
4.7	クライアントライブラリーを用いた接続手順	54
4.7.1	非 SSL 接続	54
4.7.2	SSL 接続	55
	サイト証明書によるサーバー認証	55
	電子証明書による相互認証 (SSL クライアント認証)	55
4.7.3	プロキシを介した接続	56
	接続タイムアウト	56
4.7.4	暗号化アルゴリズム	57
5 セッション管理		
5.1	セッション ID	62
5.2	セッション設定	63
5.2.1	言語設定	63
5.2.2	添付ファイル形式設定	64
5.2.3	セッション解放指示	64
5.2.4	リクエストバージョン設定	64
6 オブジェクト情報取得・一覧・検索		
6.1	取得する属性の指定	66
6.2	最大取得数の制限	67
6.3	一定数以上の判定	68
6.4	ページング	69

7 共通機能インターフェイス

7.1	共通エラー	71
7.2	起動エラー	72
7.3	プログラムインターフェイス	73
7.3.1	認証関連	73
	getVersionInfo	73
	getLoginInfo	73
	getSessionInfo	74
	login	74
	loginAndCheckStatus	75
	logout	76
	assertPrivilege	77
	enableAdministratorMode	78
7.3.2	属性スキーマ情報	78
	getAttributeSchema	78
	getAttributeSchemas	79
	listAttributeSchemas	79
7.3.3	属性テンプレート情報	80
	getAttributeTemplate	80
	getAttributeTemplates	81
	listAttributeTemplates	81
	getCopyAttributeNameOnReference	82
7.3.4	システム設定情報	84
	getSystemConfig	84

8 リソース管理インターフェイス

8.1	プログラムインターフェイス	86
8.1.1	共通パラメーター	86
	パラメーター	86
8.1.2	オブジェクトを取得する	86
	getRmsObject, getRmsObjectByDn	86
	getRmsObjects, getRmsObjectsByDns	87
8.1.3	オブジェクトを検索する	88
	searchRmsObjects	88
	searchRmsObjectByGroupOrRole, searchRmsObjectByGroupOrRoleDn	90
8.1.4	オブジェクトのリストを取得する	92
	listRmsDomains	92
	listRmsOus	92
	listIncludedGroups, listIncludedGroupsByDn	93
	listAssignedRoles, listAssignedRolesByDn	94
8.1.5	検査する	95
	isMemberOfGroup, isMemberOfGroupByDn	95
	hasRole, hasRoleByDn	96
	hasLicense	96

9 ドキュメント管理インターフェイス

9.1	プログラムインターフェイス	99
9.1.1	共通パラメーター	99
	パラメーター	99
	オブジェクト ID	100
	属性 ID	100

	l18nString	101
9.1.2	オブジェクトを取得する	103
	getRepositoryObject	103
	getRepositoryObjects	104
	getRepositoryObjectByEditionNumber	105
	getRepositoryObjectByEditionLabel	106
	getRepositoryObjectByRevisionNumber	108
	getRepositoryObjectPath	109
	getRepositoryObjectPaths	110
9.1.3	コンテンツを取得する	111
	getRepositoryObjectContent	111
	getRepositoryObjectContentWithOptions	112
	getRepositoryObjectContentForPrint	113
	getRepositoryObjectThumbnailContent	114
9.1.4	オブジェクトのリストを取得する	115
	listRepositoryObjects	115
	listRepositoryObjectIds	117
	searchRepositoryObjects	118
	searchRepositoryObjectIds	120
	listRepositoryObjectRevisions	122
	listRepositoryObjectHardReferences	123
	listRepositoryObjectsInRecycleBin	124
	listRepositoryObjectsCheckedout	125
9.1.5	オブジェクトを新規登録する	126
	putDocument	126
	putDocumentWithClass	128
	putFolder	130
	putFolderWithClass	131
	putReference	133
	putReferenceWithClass	135
	putHardReference	136
	putHardReferenceWithClass	138
9.1.6	オブジェクトを更新する	140
	addRepositoryObjectRevision	140
	removeRepositoryObjectRevision	141
	checkoutRepositoryObject	142
	checkoutRepositoryObjects	143
	checkinRepositoryObject	144
	checkinRepositoryObjects	145
	uncheckoutRepositoryObject	146
	uncheckoutRepositoryObjects	146
	setRepositoryObject	147
	addEditionKeyToRepositoryObject	148
	removeEditionKeyFromRepositoryObject	150
	updateRepositoryObjectContent	150
	changeRepositoryObjectStatus	151
	changeRepositoryObjectAcl	152
	changeRepositoryObjectDefaultAcl	153
	copyRepositoryObject	154
	moveRepositoryObject	156
	lockRepositoryObject	157
	lockRepositoryObjects	158
	unlockRepositoryObject	159

	unlockRepositoryObjects.....	159
	realizeRepositoryObjectReference	160
	realizeRepositoryObjectReferences	162
	changeRepositoryObjectClass.....	163
	changeRepositoryObjectsClass.....	164
	stampRepositoryObject.....	165
	stampRepositoryObjects	166
9.1.7	オブジェクトを削除する.....	167
	deleteRepositoryObject	167
	deleteRepositoryObjects	168
	disuseRepositoryObject.....	169
	disuseRepositoryObjects	170
	reuseRepositoryObject	171
	reuseRepositoryObjects.....	171
9.1.8	オブジェクトの原本性保証に関する操作をする	172
	validateCertificate.....	172
	getCertificateEvidence.....	174
	calculateCertificateEvidence.....	175
	attachTimestamp.....	175
	attachTimestampWithOptions	176
9.1.9	その他.....	178
	listRepositoryServices	178
	getCabinetInformation.....	178
	getCabinetInformations.....	179
	getRepositoryObjectClassDefinitions.....	180

10 タスク管理インターフェイス

10.1	プログラムインターフェイス	182
10.1.1	共通パラメーター.....	182
	パラメーター	182
	その他.....	183
	タスクを指定するパラメーター.....	183
	メッセージを指定するパラメーター	183
	ToDo を指定するパラメーター	183
	カスタムタスク属性を指定するパラメーター.....	184
10.1.2	タスクを取得する.....	184
	getTask.....	184
	getTasks.....	185
	listParticipantTasks.....	185
10.1.3	メッセージ情報を取得する	186
	getMessageElement.....	186
	getMessageElements	187
	getMessage	188
	listTaskMessages	189
	getMessageFileContent	190
10.1.4	ToDo の情報を取得する	190
	getToDo	190
	getToDoByMessageld	191
	getToDos	192
	listToDos	193
10.1.5	コラボスペースの情報を検索する	195
	searchCollaboObjects	195
	searchKnowWho	196

	検索条件	198
10.1.6	タスクを操作する	202
	createTask	202
	updateTask	204
	connectTask	205
	disconnectTask	206
	changeMemberStatus	207
10.1.7	メッセージを追加する	208
	addMessage	208
	updateMessage	210
10.1.8	ToDo を追加する	212
	addToDo	212
	addMessageWithToDo	214
	startReview	215
	addMessageAndStartReview	216
10.1.9	ToDo を操作する	218
	updateToDo	218
	changeToDoPerformerStatus	219
	changeToDoPerformersStatus	220

11 プロセス管理インターフェイス

11.1	プログラムインターフェイス	223
11.1.1	共通パラメーター	223
	パラメーター	223
	FieldParameter	224
	LocalDocument	225
	オブジェクト ID	226
11.1.2	ワークフローを操作する	226
	startProcess	226
	startProcessByName	227
	terminateProcess	228
	terminateProcesses	229
	executeAction	230
	executeActionByName	231
	executeDelegatedAction	232
	executeDelegatedActionByName	235
11.1.3	オブジェクトを取得する	236
	getWorkflowObject	236
	getWorkflowObjects	237
11.1.4	オブジェクトのリストを取得する	238
	listParticipantActions	238
	listDelegatedActions	240
	listParticipantProcesses	241
	listProcessDefinitions	243
11.1.5	あるオブジェクトの子オブジェクトのリストを取得する	244
	listActivities	244
	listActivityDefinitions	245
	listProcessActions	246
	listAttributes	247
	listAttributesWithFilter	248
	listAttributeDefinitions	249
	listAttributeHistories	250
	listStartFormFieldDefinitions	251

	listStartFormFieldDefinitionsByName.....	252
	listFormFieldDefinitions.....	253
	listFormFields.....	254
	listFormFieldsByName.....	255
11.1.6	定義からインスタンスのリストを取得する.....	256
	listProcessesByDefinition.....	256
11.1.7	オブジェクトを検索する.....	257
	searchWorkflowObjects.....	257

12 メッセージ

12.1	エラーメッセージ形式.....	261
12.1.1	詳細エラー情報取得の条件.....	262
12.2	エラーメッセージ一覧.....	264
12.2.1	システムログメッセージ.....	264
12.2.2	エラーメッセージ.....	264
	共通エラーメッセージ.....	264
	リソース管理エラーメッセージ.....	266
	ドキュメント管理エラーメッセージ.....	267
	タスク管理エラーメッセージ.....	269
	プロセス管理エラーメッセージ.....	269

付録

付録A	送信するリクエストの上限値の設定.....	273
付録B	属性情報.....	274
	属性定義情報 (AttributeSchema).....	274
	属性テンプレート (AttributeTemplate).....	274
	属性テンプレート項目 (AttributeTemplateItem).....	275
	属性情報一覧.....	275
付録C	コラボ属性補足.....	296
付録D	ワークフロー属性補足.....	299
付録E	l18nString.....	306
付録F	Options.....	318
付録G	オブジェクト.....	319
付録 G.1	ArcObject ArcSuite アプリケーションオブジェクト (抽象型).....	319
付録 G.2	RmsObject RMS オブジェクト.....	319
付録 G.3	RepositoryObject Repository オブジェクト.....	319
付録 G.4	CollaboObject,TaskObject,MessageObject,ToDoObject コラボオブジェクト.....	319
付録 G.5	WorkflowObject ワークフローオブジェクト.....	320
付録H	共通データ型.....	321
付録 H.1	Uri URI 型データ.....	321
付録 H.2	l18nString 多言語対応文字列.....	321
付録 H.3	l18nLabel 言語別ラベル.....	321
付録 H.4	KeyedString キー付き文字列値.....	321
付録 H.5	Ace アクセス制御エントリ.....	321
付録 H.6	Role アプリケーション固有ロール / ユーザーロール (排他使用).....	322
付録 H.7	ApplicationRole オブジェクトをアクセス主体としたロール (ワークフローで使用).....	322
付録 H.8	Content ドキュメントのコンテンツ.....	322
付録 H.9	SortItem ソート指定.....	322

付録 H.10 ProcessingException 処理例外	322
付録 H.11 Failure 一括操作のエラー情報	323
付録I 属性関連データ型	324
付録 I.1 DataType データ型	324
付録 I.2 AttributeId 属性識別子	325
付録 I.3 Attribute 属性値	325
付録 I.4 AttributeValue 属性値 (抽象型)	325
付録 I.5 BooleanValue, BooleanValues 論理型属性値	325
付録 I.6 IntValue, IntValues 整数型属性値	325
付録 I.7 LongValue, LongValues 長整数型属性値	326
付録 I.8 DoubleValue, DoubleValues 浮動小数点型属性値	326
付録 I.9 StringValue, StringValues 文字列型属性値	326
付録 I.10 DateTimeValue, DateTimeValues 日時型属性値	326
付録 I.11 DateValue, DateValues 日付型属性値	327
付録 I.12 TimeValue, TimeValues 時刻型属性値	327
付録 I.13 DurationValue, DurationValues 期間型属性値	327
付録 I.14 UriValue, UriValues URI 型属性値	327
付録 I.15 BinaryValue, BinaryValues バイナリー型属性値	328
付録 I.16 ResourceValue, ResourceValues リソース型属性値 (抽象型)	328
付録 I.17 ApplicationRoleValue, ApplicationRoleValues アプリケーションロール型属性値	328
付録 I.18 RmsObjectValue, RmsObjectValues RMS オブジェクト型属性値 (抽象型)	328
付録 I.19 RmsObjectValueId, RmsObjectValuesId RMS オブジェクト型属性値 (ID)	329
付録 I.20 RmsObjectValueDn, RmsObjectValuesDn RMS オブジェクト型属性値 (DN)	329
付録 I.21 RmsObjectValueRmsObject, RmsObjectValuesRmsObject RMS オブジェクト型属性値 (オブジェクト)	329
付録 I.22 IdValue, IdValuesID 型属性値	329
付録 I.23 I18nStringValue, I18nStringValues 多言語文字列型属性値	330
付録 I.24 KeyedStringValue, KeyedStringValues キー付き文字列型属性値	330
付録 I.25 CompositeAttributeValues 属性型属性値 (再帰的な属性値)	330
付録J 検索条件関連	331
付録 J.1 SearchMode 検索モード	331
付録 J.2 MultiValueSearchMode 多値検索モード	331
付録 J.3 BinaryOperator 二項演算子	332
付録 J.4 UnaryOperator 単項演算子	332
付録 J.5 TrinaryOperator 三項演算子	333
付録 J.6 MultiOperator 他項演算子	333
付録 J.7 WordListOperator 全文検索ワードリスト演算子	333
付録 J.8 WordStyle 全文検索ワードスタイル	333
付録 J.9 AttributeSearchCondition 属性検索条件 (抽象型)	333
付録 J.10 LogicalCondition 論理検索条件 (抽象型)	334
付録 J.11 AndCondition AND 条件	334
付録 J.12 OrCondition OR 条件	334
付録 J.13 NotCondition 否定条件	334
付録 J.14 ComparisonCondition 比較条件 (抽象型)	334
付録 J.15 UnaryOperatorCondition 単項演算条件	334
付録 J.16 BinaryOperatorCondition 二項演算条件	334

付録 J.17	TrinaryOperatorCondition 三項演算条件	335
付録 J.18	MultiOperatorCondition 多項演算条件	335
付録 J.19	TextSearchCondition 全文検索条件 (抽象型)	335
付録 J.20	TextLogicalCondition 全文検索論理条件 (抽象型)	335
付録 J.21	TextAndCondition AND 条件	335
付録 J.22	TextOrCondition OR 条件	335
付録 J.23	TextNotCondition 否定条件	335
付録 J.24	TextCondition 全文検索テキスト	336
付録 J.25	WordList 全文検索ワードリスト	336
付録 J.26	Word 全文検索ワード	336
付録 J.27	CustomTaskCondition カスタムタスク属性条件	336
付録 J.28	TaskTextCondition カスタムタスク属性条件 (テキスト型)	336
付録 J.29	TaskMenuCondition カスタムタスク属性条件 (メニュー型)	337
付録 J.30	TaskDateCondition カスタムタスク属性条件 (日付型)	337
付録 J.31	TaskNumericCondition カスタムタスク属性条件 (数値型)	337
付録 J.32	TaskConditionConnectType カスタムタスク属性検索条件接続タイプ	337
付録 J.33	SearchOption, CollaboSearchOption 検索オプション	338
付録 J.34	SearchRegion 検索範囲	338
付録 J.35	TextSearchMode 全文検索モード	338
付録 K	共通操作固有データ型	339
付録 K.1	VersionInfo バージョン情報	339
付録 K.2	LoginInfo ログイン情報	339
付録 K.3	SessionInfo セッション情報	339
付録 K.4	LoginUserStatus ログインユーザーの状態	339
付録 L	ドキュメント管理操作固有データ型	340
付録 L.1	SetObjectMode 属性値設定モード	340
付録 L.2	RemoveRevisionMode リビジョン削除モード	340
付録 L.3	RealizeReferenceMode リファレンス実体化の属性値設定モード	340
付録 L.4	ReferenceId リファレンス ID	340
付録 L.5	RepositoryService リポジトリサービス	341
付録 L.6	CabinetInformation キャビネット情報	341
付録 L.7	UniqueKey ユニークキー	341
付録 L.8	ClassDefinition クラス定義	341
付録 L.9	NextClassInformation クラス遷移情報	342
付録 L.10	StatusDefinition 状態定義	342
付録 L.11	NextStatusInformation 状態遷移情報	342
付録 L.12	RepositoryObjectPath パス情報	342
付録 M	タスク管理操作固有データ型	343
付録 M.1	TaskMailOption タスクメール通知設定	343
付録 M.2	TaskMailUserOption タスク通知ユーザー設定	343
付録 M.3	TaskParticipant タスク関与者	343
付録 M.4	Message タスクメッセージ	343
付録 M.5	ToDoPerformer,ToDo の作業者	344
付録 M.6	ToDo ToDo の情報	344
付録 M.7	ToDoFilter ToDo のフィルター条件	344
付録 N	ワークフロー管理操作固有データ型	345

付録 N.1	FieldParameter フィールドパラメーター	345
付録 N.2	LocalDocument ローカルドキュメント	345
付録 O	データ型とソート	346
付録 P	データ型と検索オペレーター	348
付録 Q	用語集	350

1 概要

Webサービスを使用してアプリケーションを開発する技術者を対象として、インターフェイスの概要を説明します。

1.1 ArcSuite Web サービスインターフェイスとは

ArcSuiteのWebサービスインターフェイスとは、SOAP/HTTPによりArcSuiteの機能呼び出すためのAPI（アプリケーション・プログラミング・インターフェイス）です。ArcSuiteの統合インターフェイスとして設計されており、主要コンポーネントの機能を同じ手順で利用できます。

ArcSuiteのWebサービスインターフェイスは、SOAP/HTTPを使うことにより、次のような特徴を持っています。

- ・ファイアウォール親和性が高い..... HTTP によりネットワーク構成に影響されにくい
- ・バージョン依存性が少ない WSDL によりサーバーとクライアントを疎結合化
- ・Java™ 言語以外の言語から利用可能 標準技術であるため幅広い言語でサポートされている
- ・外部システムとの連携が容易 標準技術であるため多くのシステムが対応している

1.2 提供機能

1.2.1 添付ファイル形式対応

添付ファイル形式として、MTOMに対応します。

1.2.2 国際化対応

ロケール指定により、表示文字列やエラーメッセージの言語を指定できます。ロケールは、RMSに設定されているユーザー言語指定およびセッションごとに指定できます。

タイムゾーン情報が付いた日時情報は相互運用性の面で問題を起こす可能性があるため、サービスからのレスポンスにおける日時情報には常に国際標準時（UTC）を使用します。

1.2.3 認証方式

次の認証方式をサポートしています。

- ・ユーザー ID およびクレデンシャル情報
- ・SSL クライアント認証
- ・SSL クライアント認証とユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用

1.2.4 セキュリティトークン対応

ArcSuiteのセキュリティトークンに対応しています。

ArcSuiteの共通ログインに参加するWebアプリケーションから発行されたセキュリティトークンを受け渡すことで、ユーザーのパスワードなどが漏えいしてしまう危険なく、ユーザー権限でサービスを利用できます。セキュリティトークンの受け渡しには、通常のパスワードによる認証と類似の形式を使用します。

1.2.5 複数サーバーサポート

ロードバランサーを使った複数サーバーへの負荷分散構成をサポートします。

リクエストに含まれるCookieやヘッダー情報により特定のサーバーに固定される方式ではなく、同一セッションでも同じサーバーで処理されるとは限らず、リクエストごとに異なるサーバーに振り分けられて処理されます。

参照 詳細は、[\[5 セッション管理\] \(P.61\)](#)、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#)にある「セッション固定クッキー発行フラグ」を参照してください。

1.2.6 同時アクセス数制限

一部のユーザーによるサーバーの資源の占有を防ぐために、次の項目を制限できます。

- ・コンポーネントに対する同時セッション数の総計
- ・ユーザーあたりの最大同時セッション数
- ・同一ユーザーの複数クライアントからの同時アクセスの可否
- ・セッションあたりの最大同時リクエスト数

基本的に「Webアプリケーションの同時アクセス数制限」機能に準拠しますが、コンポーネントのセッション数の総計を除いて、次の設定のデフォルト値がWebアプリケーションとは異なります。

- ・ユーザーあたりの最大同時セッション数：デフォルト値 = 20

1.2.7 特権ロール

いくつかの機能・動作に関しては、一般のユーザー権限に認可される以上の権限が必要なため、特権ロールを有効にする必要があります。

特権ロールの実体はArcSuiteのユーザーロールですが、スーパーバイザー的な固定のユーザーロールがあるわけではなく、特権ロールとユーザーロール名の対応はArcSuiteのWebサービスインターフェイスの設定として保持します。以降、特権ロールに対応するユーザーロールの保有を、単に特権ロールの保有として説明します。

特権ロールを有効にするには、特権ロールを保有するユーザーで接続するか、特権ロール行使 (assertPrivilege) で特権ロールを保有するユーザーの認証情報を提示します。後者の場合、あくまで特権が必要な機能・動作が許可されるだけで、接続ユーザーは変更されません。特権ロールを使用するために認証情報を提示するユーザーに対してアクセス権を設定しておく必要もありません。特権ロールを設けることで、従来のように強大な権限を持つ管理者としてではなく、最小権限でアクセスできます。

アプリケーションプログラム特権

アプリケーションプログラムロール名で特定されるユーザーロールを保有するユーザーでの接続、または認証情報の引き渡しにより、アプリケーションプログラム特権が使用できます。

アプリケーションプログラム特権とは、次の機能が有効になることを意味します。

- ・エラー時の詳細情報（下位エラーメッセージ）取得

印刷サービス特権

印刷サービス特権ロール名で特定されるユーザーロールを保有するユーザーでの接続、または認証情報の引き渡しにより、印刷サービス特権が使用できます。

印刷サービス特権とは、次の機能が有効になることを意味します。

- ・印刷権限によるドキュメントのコンテンツ取得

クライアント証明書無効特権

クライアント証明書無効ロール名で特定されるユーザーロールを保有するユーザー（にマップされる電子証明書を提示の上）でのアクセスには、クライアント証明書の検証方式の設定によらず常にパスワード（暗号化パスワード含む）ないしセキュリティトークンによって認証されます。

クライアント証明書無効特権とは、次の機能が有効になることを意味します。

- ・クライアント証明書検証方式によらない認証方式

1.2.8 管理者モード

管理者モードの有効と無効を切り替えることができます。

管理者モードでは、ファイルの状態やアクセス権によるアクセス制御、および状態遷移制約をうけることなく、処理を行うことができます。

Webサービス インターフェイスで管理者モードに切り替えることができるのは、ドキュメント管理機能、およびタスク管理機能だけです。

管理者モードで操作を行うときに必要な権限、および有効範囲は次のとおりです。

表 : 管理者モードに必要な権限と有効範囲

機能	必要な権限	管理者モードの有効範囲
ドキュメント管理	ドキュメント管理サービスの管理者	すべてのドキュメント管理操作
	キャビネットの管理者	管理者となっているキャビネットに対する、すべてのドキュメント管理操作
タスク管理	コラボスペースの管理者	すべてのタスク管理操作

管理者モードは次の操作によって、有効と無効を切り替えることができます。

- ・ ログイン (login/loginAndCheckStatus) のときにプリファレンスで指定
- ・ 管理者モード切り替え (enableAdministratorMode) を呼び出す
- ・ 各機能呼び出すときにセッション設定で指定

注記 権限のないユーザーでも、管理者モードを有効にできます。ただし、権限のないユーザーが、管理者モードを有効にした状態でドキュメント管理機能、またはタスク管理機能呼び出すと、エラーになります。

参照 各管理機能の管理者モードについての詳細は、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』または『コラボスペース管理アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

1.3 提供モジュール

ArcSuiteのWebサービスインターフェイスで提供されるモジュールを次に示します。

1.3.1 WSDL を使ったインターフェイス定義

提供されるWSDLを使ったSOAP処理系を用いて、スタブや動的にプロキシーを生成できます。

- ・ WSDL をダウンロードするには Web ブラウザーなどで次のアドレスにアクセスします。
http:// {ArcSuite サーバーのホスト名} /ArcSuite/2021/04/ws?wsdl

1.3.2 Java 言語用クライアントライブラリー

Java言語でのアプリケーション開発を容易にするためのライブラリーです。SOAP処理系としてApache CXFを使用しており、WSDLから生成したスタブと、認証に必要なパスワード暗号化などのユーティリティから構成されます。動作には、Apache CXFが依存するモジュール群も必要です。

クライアントライブラリーは、次のフォルダーに格納されています。

- ・ {ArcSuite のインストールフォルダー} \ServiceComponents\WebService\lib\arcsuite_ws_clientstub.jar

補足 {ArcSuite のインストールフォルダー} は ArcSuite のインストール先となります。
デフォルトは、「C:\Program Files\FUJIFILM\ArcSuite」です。

Java言語からArcSuiteのWebサービスインターフェイスを使う場合でも、このライブラリーを使用することは必須ではありません。スタブはWSDLから生成可能であり、ユーティリティの処理内容も開示されています。

1.3.3 Java 言語を使ったサンプルコード

クライアントライブラリーを使用した主要なオペレーションについての使い方を示すサンプルのソースコードを多数提供しています。

実行するには、ソースコード中の接続情報や処理で使用しているパラメーターを環境に合わせて修正の上、JDK™ (Java開発環境) を使ってコンパイルする必要があります。

1.3.4 C# を使った .NET Framework サンプル

ArcSuiteにドキュメント登録、取得および属性を表示するGUIアプリケーションサンプルです。次の環境で使用できます。

- ・ .NET Framework 3.5 SP1
- ・ .NET Framework 3.5.1
- ・ .NET Framework 4
- ・ .NET Framework 4.5

コンパイル済みのバイナリーとC#で記述されたソースコードを含むVisual Studio 2008 Express Editionによるプロジェクト一式を提供しています。実行するにはそれぞれ、上記の.NET Frameworkをインストールしておく必要があります。

1.3.5 クライアント構成

Webサービスが提供するインターフェイスにアクセスするためにクライアントライブラリー (arcsuite_ws_clientstub.jar) を使用する場合は、次の依存モジュールが必要となります。

- ・ axis.jar
- ・ commons-discovery-0.5.jar
- ・ commons-io-2.4.jar
- ・ commons-logging-1.1.1.jar
- ・ cxf-core-3.1.6.jar
- ・ cxf-rt-bindings-soap-3.1.6.jar
- ・ cxf-rt-databinding-jaxb-3.1.6.jar
- ・ cxf-rt-frontend-jaxws-3.1.6.jar
- ・ cxf-rt-frontend-simple-3.1.6.jar
- ・ cxf-rt-transport-http-3.1.6.jar
- ・ cxf-rt-wsdl-3.1.6.jar
- ・ jaxb1-impl.jar
- ・ jaxb2-basics-runtime-0.10.0.jar
- ・ jaxrpc.jar
- ・ jts-1.8.jar
- ・ sc.jar
- ・ stax2-api-3.1.4.jar
- ・ woodstox-core-asl-4.4.1.jar
- ・ wsdl4j-1.6.3.jar
- ・ xmlschema-core-2.2.1.jar

- 補足** ・ 依存モジュールは、次のフォルダーに格納されています。
{ArcSuite のインストールフォルダー} \Service\lib
{ArcSuite のインストールフォルダー} は ArcSuite のインストール先となります。
デフォルトは、「C:\Program Files\FUJIFILM\ArcSuite」です。
- ・ 上記のモジュールのリストは Java 7 以降で使用する場合のリストです。

1.4 プロトコル仕様

1.4.1 SOAP, WSDL 仕様

- ・ SOAP 仕様 SOAP 1.1/1.2
- ・ WSDL 仕様 WSDL 1.1 wrapped document/literal スタイル
- ・ 添付ファイル形式 MTOM

1.4.2 ネームスペース

- ・ ベースネームスペース <http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws>
- ・ データ型ネームスペース <http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws/types>

1.4.3 エンドポイントアドレス

- ・ サービスエンドポイント <http:// {ホストアドレス} /ArcSuite/2021/04/ws>



2 設定パラメーター

Webサービスで設定できるパラメーターについて説明します。

2.1 設定パラメーター一覧

Webサービスの設定パラメーターには、システムプロパティおよびコンポーネントプロパティがあります。システムプロパティは、ArcSuiteで共通の設定パラメーターです。コンポーネントプロパティは、ドキュメントスペースやコラボスペースなどのコンポーネントで設定できる設定パラメーターです。設定パラメーターは、リソース管理アプリケーションで設定します。

設定パラメーターの設定値について

リソース管理アプリケーションで設定パラメーターを設定したとき、設定値に指定した値がそのまま表示されます。しかし、設定値の範囲を超えた値や正しくない値を指定した場合は、次のようになります。

- ・設定値の範囲を超えた値を指定した場合：
設定値は無視され、最大値、最小値、またはデフォルト値になります。詳細は、各設定パラメーターを参照してください。
- ・正しくない値を指定した場合：
数値を入力するところに文字を設定したり、正しくない文字を設定したりしたときは、すでに設定されていた値またはデフォルト値になります。
- ・クライアント証明書の検証方式の設定が間違っている場合：
クライアント証明書の検証方式 (clientCertificateVerifyMode) の設定が間違っているときは、API の呼び出しに対して、エラーを返します。

参照 詳細は、[\[4.2.1 認証方式を設定する\] \(P.44\)](#) を参照してください。

設定値の範囲を超えた値や正しくない値を指定した場合は、トレースログに「TRACE」レベルのログを出力します。トレースログは、「com.fujifilm.fb.arcsuite.ws.traceLogLevel」に「TRACE」を指定して出力します。

設定パラメーター

設定パラメーターは、次のとおりです。システムプロパティとコンポーネントプロパティとで異なる値を設定している場合、システムプロパティの値が優先されます。表中の名前に"com.fujifilm.fb.arcsuite.ws."をつけた文字列を指定します。

(例：com.fujifilm.fb.arcsuite.ws.maxItemCount)

補足 表中の右の2列は、それぞれのパラメーターが「システムプロパティ編集」画面、および、「コンポーネントプロパティ編集」画面で設定可能かどうかを表したものです。

参照 設定パラメーターを追加する方法は、[\[2.2 設定パラメーターを追加する\] \(P.34\)](#) を参照してください。

表：設定パラメーター一覧

○：設定可能、×：設定不可

名前	説明	システムプロパティ	コンポーネントプロパティ
drepDnToLowerCase	RmsObjectからDNを小文字で取得するフラグ ・ DN を英小文字で取得する場合、「true」を指定します。 設定値の範囲：true, false (大文字小文字は無視) デフォルト値：false	○	×

表 : 設定パラメーター一覧

○ : 設定可能、× : 設定不可

名前	説明	システムプロパティ	コンポーネントプロパティ
maxItemCount	<p>一覧 (list) や検索 (search) 処理での最大取得数</p> <ul style="list-style-type: none"> 大量の情報取得によりリソース不足から可用性が低下することを防止します。 API の引数で指定可能な制限値が最大取得数制限を超えていた場合には、最大取得数制限が優先します。 <p>設定値の範囲：0~10000 デフォルト値：100 0未満を指定した場合、「0」とみなされます。 10000以上を指定した場合、「10000」とみなされます。</p>	○	×
maxIdCount	<p>IDのみ返す一覧(list)や検索(search)処理での最大取得数。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大量の情報取得によりリソース不足から可用性が低下することを防止します。 API の引数で指定可能な制限値が最大取得数制限を超えていた場合には、最大取得数制限が優先します。 <p>設定値の範囲：0~2147483647 デフォルト値：50000</p>	○	×
maxUploadSize	<p>最大アップロードサイズ (単位：バイト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルのアップロードサイズの制限値です。 <p>設定値の範囲：0~9223372036854775807 デフォルト値：9223372036854775807</p>	○	×
maxTotalSessionCount	<p>最大総セッション数</p> <ul style="list-style-type: none"> コンポーネントに対する同時セッション数の総計の最大です。 <p>設定値の範囲：0~10000 デフォルト値：200 0未満を指定した場合、「200」とみなされます。 10000以上を指定した場合、「10000」とみなされます。</p>	○	○
maxUserSessionCount	<p>最大ユーザーセッション数</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーあたりの最大同時セッション数です。 <p>設定値の範囲：0~10000 デフォルト値：20 0未満を指定した場合、「20」とみなされます。 10000以上を指定した場合、「10000」とみなされます。</p>	○	○

表 : 設定パラメーター一覧

○ : 設定可能、× : 設定不可

名前	説明	システムプロパティ	コンポーネントプロパティ
maxRequestPerSessionCount	最大同時リクエスト数 ・セッションあたりの最大同時リクエスト数です。 設定値の範囲：0~100 デフォルト値：4 0未満を指定した場合、「4」とみなされます。 100以上を指定した場合、「100」とみなされます。	○	×
multiClientAccess	複数クライアントからの同時接続フラグ ・同一ユーザーによる複数クライアントからのアクセスを許可するか否かを決めます。 設定値の範囲：true, false（大文字小文字は無視） デフォルト値：true	○	○
sessionTimeout	セッションタイムアウト（単位：秒） ・最後の処理からセッションが無効になるまでの秒数です。 設定値の範囲：30~86400（24時間） デフォルト値：1800（30分） 30未満を指定した場合、「30」とみなされます。 86400以上を指定した場合、「86400」とみなされます。	○	×
requestTimeout	リクエストタイムアウト（単位：秒） ・リクエスト処理待ちのタイムアウト秒数です。 設定値の範囲：30~86400（24時間） デフォルト値：600（10分） 30未満を指定した場合、「30」とみなされます。 86400以上を指定した場合、「86400」とみなされます。	○	×
secureDownload	コントロールダウンロード機能フラグ ・コントロールダウンロード機能を有効にするか、無効にするかのフラグです。 ・ユーザーが印刷権を持たないコンテンツを取得すると、印刷不可の DocuWorks 文書または PDF ファイルに変換してダウンロードします。 設定値の範囲：true, false（大文字小文字は無視） デフォルト値：true	○	×
useLoadBalancerCookie	セッション固定クッキー発行フラグ ・ロードバランサー構成でのセッション固定クッキー発行フラグです。 参照 詳細は、 [5.1 セッションID] (P.62) を参照してください。 設定値の範囲：true, false（大文字小文字は無視） デフォルト：false	○	×

表 : 設定パラメーター一覧

○ : 設定可能、× : 設定不可

名前	説明	システムプロパティ	コンポーネントプロパティ
http.acceptPlainTextPassword	<p>平文パスワード認証受け付けフラグ (HTTP)</p> <ul style="list-style-type: none"> HTTP プロトコルでの平文パスワードによる認証受け付けフラグです。 パスワードの盗聴の危険性があるため、保護されたネットワーク環境以外で true に設定することは避けてください。 <p>設定値の範囲 : true, false (大文字小文字は無視) デフォルト : false</p>	○	×
https.acceptPlainTextPassword	<p>平文パスワード認証受け付けフラグ (HTTPS)</p> <ul style="list-style-type: none"> HTTPS プロトコルでの平文パスワードによる認証受付フラグです。 <p>設定値の範囲 : true, false (大文字小文字は無視) デフォルト : true</p>	○	×
clientCertificateVerifyMode	<p>クライアント証明書の検証方式</p> <ul style="list-style-type: none"> クライアント証明書情報の検証方式です。 <p>参照 詳細は、[4.1 認証方式の種類] (P.43) を参照してください。</p> <p>設定値の範囲 : ignore, require, strict (大文字小文字は無視) デフォルト : 未設定時は共通ログインの認証モードから導出</p> <p>参照 [4.2.3 共通ログインの認証モードとの関連] (P.46) を参照してください。</p>	○	×
voidClientCertificateHosts	<p>クライアント証明書が無効な接続ホスト</p> <ul style="list-style-type: none"> クライアント証明書の検証方式が "require"、または "strict" に設定されていても、設定された IP アドレスのホストからのアクセスにおいては、常にクライアント証明書は無効とみなされます。 指定されたホストからの認証は、クライアント証明書の検証方式が "ignore" の場合と同様の動作です。 複数のホストを設定する場合には、IP アドレスを 1 つ以上の空白文字で区切ります。 <p>参照 [4.4.2 電子証明書を使用した認証] (P.49) の [電子証明書による認証の無効化] (P.51) を参照してください。</p> <p>設定値の範囲 : IPアドレス (複数可) デフォルト値 : (未設定)</p>	○	×
printServiceRoleName	<p>印刷サービス特権用のユーザーロール名</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷サービス特権の使用に必要なユーザーロール名です。 <p>設定値の範囲 : 存在するユーザーロールの名前 デフォルト値 : PrintServiceRole</p>	○	×

表 : 設定パラメーター一覧

○ : 設定可能、× : 設定不可

名前	説明	システムプロパティ	コンポーネントプロパティ
applicationProgramRoleName	アプリケーションプログラム特権用のユーザーロール名 ・アプリケーションプログラム特権の使用に必要なユーザーロール名です。 設定値の範囲：存在するユーザーロールの名前 デフォルト値：ApplicationProgramRole	○	×
voidClientCertificateRoleName	クライアント証明書無効特権用のユーザーロール名 ・クライアント証明書を無視するユーザーロール名です。 参照 [4.4.2 電子証明書を使用した認証] (P.49) の [電子証明書による認証の無効化] (P.51) を参照してください。 設定値の範囲：存在するユーザーロールの名前 デフォルト値：VoidClientCertificateRole	○	×
systemLogLevel	システムログ出力レベル ・システムログ出力レベルの設定です。 設定値の範囲：OFF, FATAL, WARN, INFO, DEBUG, TRACE, ALL (大文字小文字無視) デフォルト値：INFO	○	×
accountLogLevel	アカウントログ出力レベル ・アカウントログ出力レベルの設定です。 設定値の範囲：OFF, FATAL, WARN, INFO, DEBUG, TRACE, ALL (大文字小文字無視) デフォルト値：INFO	○	×
sessionLogLevel	セッションログ出力レベル ・セッションログ出力レベルの設定です。 設定値の範囲：OFF, FATAL, WARN, INFO, DEBUG, TRACE, ALL (大文字小文字無視) デフォルト値：INFO	○	×
traceLogLevel	トレースログ出力レベル ・トレースログ出力レベルの設定です。 設定値の範囲：OFF, FATAL, WARN, INFO, DEBUG, TRACE, ALL (大文字小文字無視) デフォルト値：OFF	○	×

表 : 設定パラメーター一覧

○ : 設定可能、× : 設定不可

名前	説明	システムプロパティ	コンポーネントプロパティ
configReloadInterval	<p>設定パラメーター更新間隔 (単位: 秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定パラメーターを再読み込みする間隔 (単位: 秒) です。 リソース管理アプリケーションによる設定パラメーターの変更を、サービスを停止しないで動的に反映するために、指定された間隔で再読み込みをします。 <p>設定値の範囲: 30~86400 (24時間) デフォルト値: 600 (10分) 30未満を指定した場合、「30」とみなされます。 86400以上を指定した場合、「86400」とみなされます。</p>	○	×
sessionExpireInterval	<p>タイムアウトセッション解放処理間隔 (単位: 秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> タイムアウトしたセッションの情報を解放する間隔です。 <p>設定値の範囲: 30~86400 (24時間) デフォルト値: 300 (5分) 30未満を指定した場合、「30」とみなされます。 86400以上を指定した場合、「86400」とみなされます。</p>	○	×
sessionCleanupInterval	<p>放棄セッション解放処理間隔 (単位: 秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> データベース中の放棄されたセッション情報を解放する間隔です。 <p>設定値の範囲: 30~86400 (24時間) デフォルト値: 1800 (30分) 30未満を指定した場合、「30」とみなされます。 86400以上を指定した場合、「86400」とみなされます。</p>	○	×
sessionCleanupDelay	<p>放棄セッション解放猶予 (単位: 秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> データベース中の放棄されたセッション情報を解放するタイムアウト以後の猶予時間です。 <p>設定値の範囲: 30~86400 (24時間) デフォルト値: 1800 (30分) 30未満を指定した場合、「30」とみなされます。 86400以上を指定した場合、「86400」とみなされます。</p>	○	×
converterDestructionDelay	<p>ファイルフォーマット変換サービス解放猶予 (単位: 秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルフォーマット変換サービスとの接続を解放する処理終了後の猶予時間です。 <p>設定値の範囲: 1~86400 (24時間) デフォルト値: 60 (1分) 1未満を指定した場合、「1」とみなされます。 86400以上を指定した場合、「86400」とみなされます。</p>	○	×

表 :設定パラメーター一覧

○：設定可能、×：設定不可

名前	説明	システムプロパティ	コンポーネントプロパティ
acceptCryptoCompromiseHosts	<p>パスワードの暗号強度を緩和する接続ホスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定された IP アドレスのホストからのアクセスにおいては、パスワードの暗号化処理で鍵長 1024bit での RSA 公開鍵暗号方式の公開鍵を発行します。 複数のホストを設定する場合には、IP アドレスを 1 つ以上の空白文字で区切ります。 <p>設定値の範囲：IPアドレス（複数可） デフォルト値：（未設定）</p>	○	×
rmsDb.maxReconnectionAttempts	<p>セッション情報更新処理のリトライ回数</p> <ul style="list-style-type: none"> セッション情報の更新処理でエラーが発生した場合にリトライする回数です。 <p>設定値の範囲：1～2147483647 デフォルト値：0</p>	○	×
rmsDb.ReconnectionInterval	<p>セッション情報更新処理のリトライ間隔（単位：秒）</p> <ul style="list-style-type: none"> セッション情報の更新処理でエラーが発生した場合にリトライする間隔です。 <p>設定値の範囲：1～600 デフォルト値：600</p>	○	×

2.2 設定パラメーターを追加する

設定パラメーターは、リソース管理アプリケーションで追加します。

参照 コンポーネントの検索方法、およびシステムプロパティ編集方法についての詳細は、『リソース管理アプリケーションのヘルプ』を参照してください。

2.2.1 システムプロパティを追加する

[システムプロパティ編集] 画面でパラメーターを追加します。

ArcSuite Webサービスインターフェイスでは、設定パラメーターにある「configReloadInterval」プロパティに設定された更新間隔で、システムプロパティを定期的を読み込みます。システムプロパティを編集したあとは、ArcSuiteの各サービスを再起動しなくても設定は反映されます。

補足 [2.1 設定パラメーター一覧] (P.27) の表にある「maxTotalSessionCount」、「maxUserSessionCount」および「multiClientAccess」は、Webサービスのコンポーネント [プロパティ編集] 画面でも設定できます。

1. Webブラウザを起動し、リソース管理アプリケーションのURLを入力します。
URLは、「http:// {ArcSuiteサーバーのホスト名} /ArcSuite/rmsadmin/」です。
[管理ログイン] 画面が表示されます。
2. リソース管理アプリケーションの管理者の [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
3. [ログイン] をクリックします。
[リソース管理アプリケーション] 画面が表示されます。
4. メニューから [システムプロパティ編集] をクリックします。
[システムプロパティ編集] 画面が表示されます。

5. 空白行の左側の入力フィールドに追加したいパラメーターの名前、右側に設定したい値を入力します。

補足 [2.1 設定パラメーター一覧] (P.27) 表中の名前に "com.fujifilm.fb.arcsuite.ws." をつけた文字列を指定します。

6. [保存] をクリックします。
編集した内容が保存されます。

2.2.2 コンポーネントプロパティを編集する

Webサービスコンポーネントの [プロパティ編集] 画面でパラメーターを編集します。

補足 [\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある [maxTotalSessionCount]、[maxUserSessionCount] および [multiClientAccess] だけが、この [プロパティ編集] 画面で編集できます。

1. Web ブラウザーを起動し、リソース管理アプリケーションの URL を入力します。
URL は、[http:// {ArcSuite サーバーのホストアドレス} /ArcSuite/rmsadmin/] です。
[管理ログイン] 画面が表示されます。
2. リソース管理アプリケーションの管理者の [ユーザー ID] と [パスワード] を入力します。
3. [ログイン] をクリックします。
[リソース管理アプリケーション] 画面が表示されます。
4. メニューから [検索] をクリックします。
[検索] 画面が表示されます。

5. [検索対象の指定] に「コンポーネント」を選択し、[検索] をクリックします。
[検索結果] 画面が表示されます。
6. 検索結果の一覧から、「Web サービス」の右側にある  をクリックします。
[プロパティ編集] 画面が表示されます。

7. 「maxTotalSessionCount」、「maxUserSessionCount」、および「multiClientAccess」に設定したい値を、それぞれ「コンポーネントの最大同時セッション数」、「同一ユーザーの最大同時セッション数」、および「同一ユーザー複数クライアント同時アクセス許可フラグ」のところに入力します。
8. 「設定」をクリックします。
編集した内容が保存されます。

3 オブジェクト形式

オブジェクトには、次の4つのオブジェクトがあります。

- リソース管理オブジェクト (RmsObject)
- ドキュメント管理オブジェクト (RepositoryObject)
- タスク管理オブジェクト (TaskObject、MessageObject、ToDoObject)
- ワークフロー管理オブジェクト (WorkflowObject)

3.1 オブジェクト形式

各オペレーションで操作対象となるオブジェクトは、次に示すようにArcObjectをルートとした派生型になっています。図中で、斜体は抽象型、太字が具象型を示しています。

抽象型は、派生する型に共通の属性を持たせたり、派生する型を同じように扱ったりするための型で、実際に操作対象となるオブジェクトは、どれかの具象型です。

ArcObject

RmsObjectユーザー、グループ、ロールなど

RepositoryObjectドキュメント、フォルダーなど

CollaboObject

TaskObjectタスク

MessageObjectタスク内のメッセージ、添付ファイル、関連リンク

ToDoObjectToDo

WorkflowObjectワークフロー定義、案件、作業など

ArcObject型から派生するすべてのオブジェクトを表す型は、汎用的な属性値を表現するAttribute (Attributes) 型のattributes要素と、汎用的な型で表すのが困難、または常に必要な属性を表現する要素から構成されます。後者の属性をここでは基本属性と呼び、以降で各オブジェクト型の基本属性を説明します。

3.1.1 ArcObject 型の基本属性

属性ID	データ型	説明
id	Id	オブジェクト固有の識別子を示す文字列
objectClass	l18nString	オブジェクトの種類を示す複合型 ネームスペース (ns) と識別名 (name) およびセッションのロケールに応じた表示文字列

3.1.2 RmsObject 型の基本属性

属性ID	データ型	説明
dn	Dn	Distinguished Nameを表す文字列

3.1.3 RepositoryObject 型の基本属性

属性ID	データ型	説明
acl	Acl	アクセス権
defaultAcl	Acl	デフォルトアクセス権
effectivePrivileges	Privileges	実効アクセス権
referenceId	ReferenceId	リファレンスのID (リファレンスのみ)
disusedLocationId	Id	復元先のオブジェクトID (ごみ箱内のオブジェクトのみ)

3.1.4 CollaboObject 型の基本属性

CollaboObject型は、ArcObject型から継承する基本属性以外に固有の基本属性を持ちません。

3.1.5 TaskObject 型の基本属性

属性ID	データ型	説明
acl	Acl	アクセス権
participants	TaskParticipants	タスク関与者

3.1.6 MessageObject 型の基本属性

MessageObject型は、ArcObject型から継承する基本属性以外に固有の基本属性を持ちません。

3.1.7 ToDoObject 型の基本属性

属性ID	データ型	説明
performers	ToDoPerformer	ToDoの作業者

3.1.8 WorkflowObject 型の基本属性

属性ID	データ型	説明
acl	Acl	アクセス権

3.2 オブジェクト形式関連情報

3.2.1 オブジェクト識別子形式

オブジェクトを識別するための識別子には各サービスを識別するプリフィックスが付いた形式を使います。プリフィックス以降の形式は、機能を提供するサービスに依存します。

オブジェクト識別子の例)
rms:nimid:11:0001-0000000009
rep:serviceId:cabinetId:123456

3.2.2 属性識別子形式 (Attributeld)

属性を識別するための識別子は各サービスおよび各サービスでの定義ドメインを示すネームスペースと、ネームスペースにおいて一意な名前からなる形式を使います。

取得する属性や検索する属性を指定するなど多くの場合には、オペレーションにより属性の名前だけで判断できるためネームスペースは省略できます。ネームスペースを明示しなければならないのは、属性定義情報の取得など任意のネームスペースの属性の指定が有効なオペレーションを呼び出す場合と、複数のネームスペースを使い同じ名前の属性を判別しているワークフローのオペレーションを呼び出す場合です。

属性識別子の言語は、検索およびソートの場合にだけ有効です。たとえば、ユーザーを表示名で検索する場合には、「ja」を言語 (lang) に指定して検索すると、日本語の表示名が検索対象になります。

3.2.3 多言語対応列挙値 (I18nString)

多言語の表示文字列情報を持ち、特定の属性の値や操作の引数となることができるシンボルを定義しています。

たとえば、タスク情報を取得するときのタスク状態を表す属性など、属性の値を取得するときには、リソース管理アプリケーションによるアクセスユーザーの優先言語指定に基づいた言語での表示文字列が得られます。

属性の値や、操作の引数として指定する場合には、属性識別子と同じようにネームスペースと名前指定するだけでよく、多くの場合には操作から暗黙的に判断できるためにネームスペースの指定も不要です。

3.2.4 属性スキーマ情報 (AttributeSchema)

共通機能インターフェイスとして、属性スキーマ情報を取得する機能を提供します。

参照 詳細は、[\[付録 A 送信するリクエストの上限値の設定\] \(P.273\)](#) を参照してください。

3.2.5 属性テンプレート情報 (AttributeTemplate、AttributeTemplateItem)

共通機能インターフェイスとして、属性テンプレート情報を取得する機能を提供します。

参照 詳細は、[\[付録 A 送信するリクエストの上限値の設定\] \(P.273\)](#) を参照してください。

3.2.6 オブジェクト表現例

次に、ドキュメント管理サービスのオブジェクトを取得したときのSOAPメッセージのイメージを示します。

```
<repositoryObject
xmlns="http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws"
xmlns:ws="http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws"
xmlns:xsi="..." ...>
  <id>rep:serviceId:cabinetId:112442802028066</id>
  ...
  <attributes>
    <attribute ns="rep" name="system:name" xsi:type="ws:StringValue">
      <string>test document</string>
    </attribute>
    <attribute ns="rep" name="system:createdOn" xsi:type="DateTimeValue">
      <dateTime>2015-12-06T11:26:40Z</dateTime>
    </attribute>
    <attribute ns="rep" name="system:lastModifiedBy" xsi:type="RmsObjectValue">
      <rmsObjectValue>
        <rmsObject>
          <id>rms:nimid:11:0001-000000017f</id>
          ...
          <dn>uid=tsuzuki,ou=users,dc=fx</dn>
        </rmsObject>
      </rmsObjectValue>
    </attribute>
    ...
  </attributes>
  <acl>
    ...
  </acl>
</repositoryObject>
```

4 認証方式

Webサービスにおける認証方式について説明します。

4.1 認証方式の種類

次の認証方式をサポートしています。

4.1.1 ユーザー ID およびクレデンシアル情報

次のどれかをクレデンシアル情報として使います。

- ・ 平文パスワード
盗聴の危険性がない SSL 環境などでパスワードの暗号化処理を省くために使用します。

参照 [「4.4.1 ユーザー ID およびクレデンシアル情報による認証手順」\(P.48\)の「平文パスワードによる認証」\(P.48\)](#) を参照してください。

- ・ 暗号化パスワード
非 SSL 環境でパスワードの盗聴の危険性を低減するために暗号化したパスワードを使用します。

参照 [「暗号化パスワードによる認証」\(P.49\)](#) を参照してください。

- ・ セキュリティトークン
Web アプリケーションから発行されたセキュリティトークンを受け渡して、パスワード漏えいの危険なくユーザー権限でサービスを利用するときに使用します。

4.1.2 SSL クライアント認証

SSL接続するときの電子証明書による相互認証をもってユーザー認証とします。

4.1.3 SSL クライアント認証に加えてユーザー ID およびクレデンシアル情報を併用

両方式による二因子認証で、より厳重にユーザーを確認します。

4.1.4 認証方式に関する補足

ユーザー ID およびクレデンシアル情報による認証は、SSLを使用している場合でも使用していなくても利用できます。ログイン (login) を呼び出すときの引数に指定するクレデンシアル情報のタイプは次のとおりです。

表 : クレデンシアル情報タイプ

クレデンシアル情報タイプ	クレデンシアル形式
平文パスワード	http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#PlainTextPassword
暗号化パスワード (未指定の場合のデフォルト)	http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#EncryptedPassword
セキュリティトークン	http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#SecurityToken

SSLクライアント認証と、SSLクライアント認証に加えてユーザー ID およびクレデンシアル情報を併用した認証は、SSLを使用している場合に限って利用でき、SSL接続が確立されたときに提示された証明書の情報を認証に使用します。CRLの更新などが適切に運用され、証明書の妥当性検証は、IISないしSSLアクセラレーターで実行されることを前提として、クライアントから提示された証明書が認証に有効な証明書であるとして扱われます。

4.2 認証方式の設定

認証方式の設定方式と共通ログイン認証モードとの関連について説明します。

4.2.1 認証方式を設定する

認証方式は、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「クライアント証明書の検証方式」によって設定します。

設定可能な値は、"ignore", "require", "strict" (大文字小文字は無視) で、それぞれ次の表に示す認証方式を意味します。"require"と"strict"はSSL環境の場合だけ設定でき、非SSL環境では誤った値として扱われます。

"require"、または"strict"に設定されている場合には、クライアントから提示される電子証明書が認証に使われますが、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「クライアント証明書が無効な接続ホスト」、または「クライアント証明書無効特権用のユーザーロール名」によって、特定の状況では常にクレデンシャルにより認証されます。

参照 [\[電子証明書による認証の無効化\] \(P.51\)](#) を参照してください。

誤った値が設定された場合の動作は、ほかの設定パラメーターとは異なります。ほかの設定パラメーターと同様にシステムログにエラーが出力されますが、デフォルト値や次に示す共通ログインの認証モードに対応した共通ログインの認証モードから導出した設定が適用されるのではなく、APIの呼び出しに対して「ARCSUITE_WS-08302008: クライアント証明書の検証方式に設定されている値が不正です。」というエラーを返します。

これは、設定を誤った場合に誤りを認識しにくく、デフォルトの設定を使用することが意図せずにセキュリティレベルを下げる可能性があるためです。

表 : クライアント証明書の検証方式の設定値と認証

設定値	認証方式
ignore	ユーザー ID およびクレデンシャル情報 クレデンシャル情報として、平文パスワード/暗号パスワード/セキュリティトークンのどれかを使って認証します。 SSL環境の設定として、クライアント証明書が要求される設定であっても、証明書の情報は無視し、認証情報としては利用しません。
require	SSL クライアント認証 SSL接続が確立したときに提示されたクライアント証明書に対応するユーザーとして認証されます。SSL環境でだけ設定できます。 参照 [SSLクライアント認証] (P.50) を参照してください。
strict	SSL クライアント認証に加えてユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用 クレデンシャル情報を使った認証と共に、クライアント証明書に対応するユーザーであることも確認します。SSL環境でだけ設定できます。 参照 詳細は、 [SSLクライアント認証とユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用する手順] (P.50) を参照してください。

4.2.2 IIS の「クライアント証明書」に関する扱いを設定する

クライアント証明書の検証方式に応じて、IISの「クライアント証明書」を設定します。

クライアント証明書の検証方式の各設定値と、SSLクライアント認証の有無や電子証明書による認証を無効化する場合のIISの「クライアント証明書」の設定は次のとおりです。

表：IIS の「クライアント証明書」の設定

クライアント証明書の検証方式	IISの「クライアント証明書」の設定		
	SSLクライアント認証を使用しない場合	SSLクライアント認証を使用する場合	SSLクライアント認証を使用し、電子証明書による認証の無効化を使用する場合
ignore	無視	要求	受諾
require	—	要求	受諾もしくは要求(*)
strict	—	要求	受諾もしくは要求(*)

*：「クライアント証明書を要求する」と設定した場合には、電子証明書による認証を無効化するユーザーやホストからのアクセスでも証明書が必要です。この場合、証明書は IIS でリクエストを受け付けるために使用され、ArcSuite Web サービスインターフェイスの認証には使用されません。

IISの「クライアント証明書」を設定する手順は次の通りです。

1. Windows の [スタート] メニューから、[Windows 管理ツール] > [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] を選択します。
[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] 画面が表示されます。
2. 使用している Web サイト配下の「2006」のプロパティを開きます。
[2006 のプロパティ] が表示されます。
補足 使用している Web サイトは、[Web サイト] > [Default Web Site] > [ArcSuite] です。
3. [SSL 設定] をダブルクリックします。
[SSL 設定] が表示されます。
4. 「クライアント証明書」枠のラジオボタンを変更します。

4.2.3 共通ログインの認証モードとの関連

クライアント証明書の検証方式 (clientCertificateVerifyMode) が未設定の場合には、共通ログインの認証モードから導出して、次のように設定されていると見なします。

表 : 共通ログイン認証モードとの対応

共通ログイン認証モード	見なされる検証方式設定値
auto (自動ログイン)	ignore
form (フォームによる認証)	ignore
windows (統合Windows認証)	ignore
ssl (証明書による認証)	require
ssl+form (証明書とフォームの併用)	strict

4.3 LDAP 連携構成の設定

クレデンシャルを使った認証は、ドキュメント管理サービスSDKやIFTKなどのコマンドラインツールと同じ機構で認証します。このため、LDAP連携を構成している場合は、共通ログインとは異なり次のRMSプロパティ名の値を設定します。

表 :LDAP 連携の RMS プロパティ設定例

プロパティ名	設定例
com.fujifilm.fb.rms.auth.commandConfig.user	default:server
com.fujifilm.fb.rms.auth.commandConfig.admin	server
com.fujifilm.fb.rms.auth.commandConfig.alias	user

表中の"default"と"server"は、『セットアップガイド』で設定例において、それぞれLDAPサーバーの構成名とArcSuiteの構成名として示されている値です。

『セットアップガイド』では、"com.fujifilm.fb.rms.auth.commandConfig.user" の設定例として"default" が示されていますが、この場合、LDAPに登録されているユーザーだけが認証され、ArcSuiteに登録されているユーザーの認証は実行されません。ArcSuiteに登録されているユーザーの認証もする場合は、ArcSuiteの構成名（例："server"）も指定し、両方のユーザーに対する認証をする場合は、表中のように認証する順序で構成名を":"で連結して指定する必要があります。

4.4 認証方式による認証手順

認証方式による認証手順は、次の3つあります。

- ・ ユーザー ID およびクレデンシャル情報による認証手順
- ・ 電子証明書 (SSL クライアント認証) 手順
- ・ 電子証明書 (SSL クライアント認証とユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用する) 手順

4.4.1 ユーザー ID およびクレデンシャル情報による認証手順

クレデンシャル情報のタイプにより、次の2つの手順があります。

- ・ 平文パスワードによる認証手順
- ・ 暗号化パスワードによる認証手順

補足 セキュリティトークンによる認証は、クレデンシャルタイプとしてセキュリティトークンを指定することとパスワードの代わりにセキュリティトークンを用いる以外は、平文パスワードによる認証と同じ手順です。

平文パスワードによる認証

典型的な平文パスワードによる認証手順を示します。

- (1) SOAP 処理系からサービスプロキシーを取得します。
- (2) ユーザー ID とパスワードを引数としてログイン (login) を呼び出します。
(クレデンシャルタイプとして平文パスワードを指定)
- (3) ログイン (login) の応答に含まれるセッション ID を SOAP ヘッダーに設定します。
(以降の呼び出しの SOAP ヘッダーでも同じセッション ID を使用)

次節に示す暗号化パスワードを使った認証と比べて単純な処理になります。平文のパスワードはネットワーク上もそのまま流れます。SSL環境であれば盗聴の危険性もなく安全ですが、非SSL環境では十分安全なネットワークであることが確認できない限り使用しないことを強く推奨します。

非SSL環境で暗号化パスワードを使う場合との切り替えを容易にするために、次のように暗号化パスワードを使った認証と類似した手順でも実行できます。

- (1) SOAP 処理系からサービスプロキシーを取得します。
- (2) ログイン情報取得 (getLoginInfo) を呼び出します。
- (3) LoginInfo に含まれるセッション ID を SOAP ヘッダーに設定します。
(以降の呼び出しの SOAP ヘッダーでも同じセッション ID を使用)
- (4) ユーザー ID とパスワードを引数としてログイン (login) を呼び出します。
(クレデンシャルタイプとして平文パスワードを指定)

暗号化パスワードによる認証

典型的な暗号化パスワードによる認証手順を示します。

- (1) SOAP 処理系からサービスプロキシーを取得します。
- (2) ログイン情報取得 (getLoginInfo) を呼び出します。
- (3) LoginInfo に含まれるチャレンジコードとパスワードを連結して暗号化します。
- (4) LoginInfo に含まれるセッション ID を SOAP ヘッダーに設定します。
(以降の呼び出しの SOAP ヘッダーでも同じセッション ID を使用)
- (5) ユーザー ID と 3 で生成したクレデンシャルを引数としてログインを呼び出します。
(クレデンシャルタイプとして暗号化パスワードを指定)

手順4でセッションIDをSOAPヘッダーに設定しないと、チャレンジコードを発行した手順2とは別のセッション (チャレンジコードも異なる) として扱われて認証エラーになります。

4.4.2 電子証明書を使用した認証

クライアント証明書の検証方式が"require"、または"strict"に設定されているか、未設定で共通ログインの認証モードから"require"、または"strict"とみなされた場合には、SSL接続が確立したときに提示された証明書の情報が認証に使われます。

SSL環境として証明書が要求されない設定になっているなどによって、証明書情報の取得が正常にできなかった場合には、「ARCSUITE_WS-08303105: 認証に失敗しました。: 証明書情報が取得できません。」というエラーを返します。また、証明書の妥当性検証に失敗した場合のエラーは、検証をするIISないしSSLアクセラレーターの仕様によります。

操作の応答に含まれるセッションIDを以降の呼び出しのSOAPヘッダーに設定しないと、同じSSL接続を使用しても操作呼び出しごとに異なるセッションになります。以前のセッションがタイムアウトになる前に、セッションIDを指定しない操作呼び出しを繰り返すと、コンポーネントまたはユーザーごとのセッション数制限に達してエラーになります。

また、ファイルの登録など大きなサイズのデータを送信すると、認証のネゴシエーションが要求されてエラー (HTTP 413: Request Entity Too Large) となる場合があります。このエラーを回避するには、ほかの操作を呼び出してクライアント認証を確実に実行してから大きなサイズのデータを送信する操作を呼び出すか、受信データサイズを調整 (IISであれば、UploadReadAheadSize) する必要があります。

電子証明書による認証には、次の2つの手順があります。

- ・ [SSLクライアント認証](#)
- ・ [SSLクライアント認証とユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用する手順](#)

SSL クライアント認証

クライアント証明書の検証方式が"require"に設定されているか、未設定で共通ログインの認証モードから"require"とみなされた場合の認証について説明します。

この認証モードでは、クライアント証明書に対応するユーザーとして認証されるため、特に認証の手順を必要とせずに任意の操作を呼び出せます。ただし、操作を呼び出す前処理として認証が実行されるため、ログイン(login)操作の呼び出しは、「ARCSUITE_WS-08303203: 既にユーザー認証済みのセッションです。」というエラーを返します。

証明書とユーザーの対応は、共通ログインと同じように証明書のサブジェクトとリソース管理アプリケーションでユーザーに対して設定する属性「ユーザー証明書のDN (rmsCertDN)」によって対応付けられます。「ユーザー証明書のDN (rmsCertDN)」に設定するDNの形式などの詳細は、『セットアップガイド』を参照してください。

クライアント証明書のサブジェクトに一致する「ユーザー証明書のDN」が設定されたユーザーが見つからない場合、および複数のユーザーが見つかった場合には、「ARCSUITE_WS-08303106: 認証に失敗しました。: 証明書に対応するユーザーが特定できません。」というエラーを返します。

SSL クライアント認証とユーザー ID およびクレデンシャル情報を併用する手順

クライアント証明書の検証方式が"strict"に設定されているか、未設定で共通ログインの認証モードから"strict"とみなされた場合の認証について説明します。

この認証方式における認証手順は、電子証明書を設定してSSL接続する以外は、使用するクレデンシャル情報による認証手順と同じで、ログイン(login)操作呼び出しによってユーザー認証を実行します。ログインによる認証をせずにほかの操作を呼び出した場合には、「ARCSUITE_WS-08303202: ユーザー認証が必要な操作です。」というエラーを返します。

ログインに引き渡したユーザー IDとしてクレデンシャル情報の確認に加えて、前節と同様にクライアント証明書に対応するユーザーを特定し、両者が同じユーザー (ID) であるかを検証します。ユーザー IDが一致しなかった場合には、「ARCSUITE_WS-08303107: 認証に失敗しました。証明書に対応するユーザーと一致しません。」というエラーを返します。

電子証明書による認証の無効化

ユーザーの電子証明書で認証し、ArcSuiteと連携するシステムが複数のユーザーアカウントを使用したアクセスが可能な場合に、電子証明書による認証の無効化が利用できます。

[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「クライアント証明書の検証方式」によって、クライアント証明書が認証に使われる設定であっても、次のどちらかの場合には常にクレデンシャルによって認証されません。

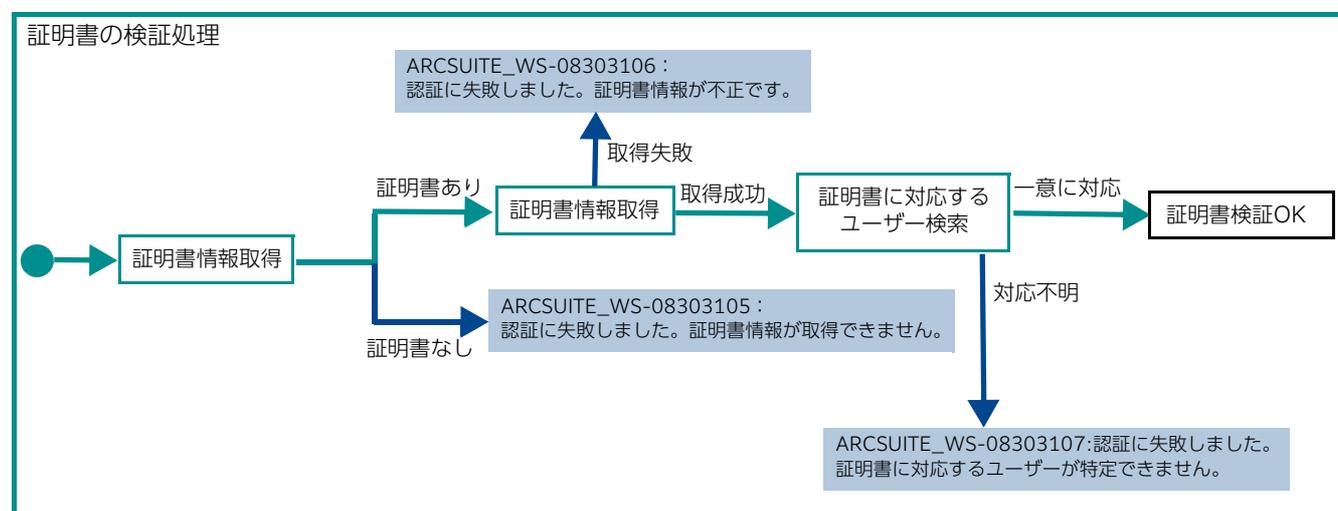
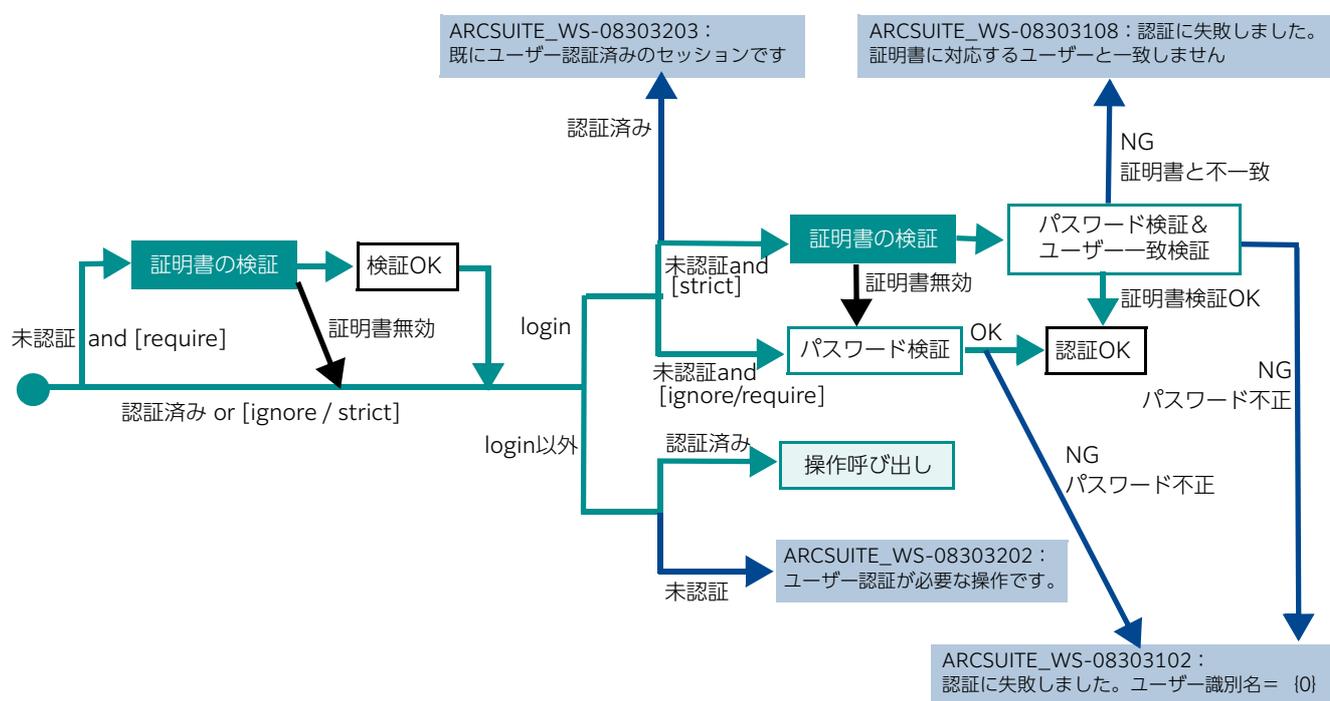
- ・ 特定のロールが付与されたユーザーにマップされる証明書を提示した場合
クライアントから証明書が提示され、[\[4.4.2 電子証明書を使用した認証\] \(P.49\)](#) の「SSL クライアント認証手順」の対応するユーザーへのマップの結果、そのユーザーが [\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「クライアント証明書無効特権用のユーザーロール名」に設定されている名前のユーザーロールが付与されていた場合。
プロキシ経由に依存しないため、SSL アクセラレーターの外からアクセスするような場合はこの方法を利用できます。
- ・ 特定のホストからのアクセスの場合
リクエストの発行元の IP アドレスが、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「クライアント証明書が無効な接続ホスト」に設定されている場合。
証明書を使用した SSL を使用できない場合で、アクセスするホストが限定されているときはこの方法を利用できます。

4.5 認証処理フロー

操作を呼び出すときに実行される認証処理の概要を下図に示します。[\[7.3.1 認証関連\] \(P.73\)](#)にあるプログラムインターフェイスのうち、「getVersionInfo()」、「getLoginInfo()」、「getSessionInfo()」、「logout()」は、次の認証処理を経る必要なく呼び出すことが可能であり、証明書が提示されている場合にも参照はされません。

図中の[]で囲まれた"ignore", "require", "strict"は、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#)の表にある「クライアント証明書の検証方式」を表し、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#)の表にある「クライアント証明書が無効な接続ホスト」に設定されているホストからのリクエストの場合には、常に"ignore"として認証処理が実行されます。

また、「証明書無効」という黒色の矢印は、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#)の表にある「クライアント証明書無効特権用のユーザーロール名」により、証明書が無効となる場合のパスを示しています。



4.6 認証エラー一覧

認証に関連したエラーの一覧を示します。

表 : 認証エラー一覧

エラーコード	メッセージと説明
ARCSUITE_WS-08302008	クライアント証明書の検証方式に設定されている値が不正です。 クライアント証明書の検証方式に設定されている値が"ignore", "require", "strict"以外の場合。 非SSL環境で、クライアント証明書の検証方式に"require"や"strict"を設定した場合。
ARCSUITE_WS-08303101	セッションがありません。 指定したセッションIDのセッションが存在しない場合。
ARCSUITE_WS-08303102	認証に失敗しました。: ユーザー識別名 = {0} パスワードによる認証が成功しなかった場合。
ARCSUITE_WS-08303103	セキュリティトークンの検証に失敗しました。 セキュリティトークンの検証に成功しなかった場合。
ARCSUITE_WS-08303104	暗号化されていないパスワードによる認証は認められていません。 「平文パスワード認証受け付けフラグ (HTTP)」、 「平文パスワード認証受け付けフラグ (HTTPS)」 のプロトコルに対応する設定で平文パスワードが無効になっている場合。
ARCSUITE_WS-08303105	認証に失敗しました。: 証明書情報が取得できません。 クライアント証明書の検証方式が"require"か"strict"に設定されていて証明書情報が取得できない場合。
ARCSUITE_WS-08303106	認証に失敗しました。: 証明書情報が不正です。 クライアント証明書のサブジェクト取得に失敗した場合。
ARCSUITE_WS-08303107	認証に失敗しました。: 証明書に対応するユーザーが特定できません。 クライアント証明書のサブジェクトに一致するユーザーが見つからないか複数見つかった場合。
ARCSUITE_WS-08303108	認証に失敗しました。証明書に対応するユーザーと一致しません。 クライアント証明書の検証方式が"strict"に設定されていてログイン操作に渡されたユーザー IDと証明書情報に対応するユーザーのIDが一致しない場合。
ARCSUITE_WS-08303201	セッションの状態に対して不正な操作です。: セッション状態 = {0} ログアウト済みのセッションに対する認証などセッション状態と操作に整合性がない場合。
ARCSUITE_WS-08303202	ユーザー認証が必要な操作です。 [5.1 セッションID] (P.62) の認証が不要な操作以外を、認証せずに呼び出した場合。
ARCSUITE_WS-08303203	既にユーザー認証済みのセッションです。 ログイン操作を複数回呼び出した場合。 クライアント証明書の検証方式が"require"に設定されていてSSLクライアント認証済みの状態でログイン操作を呼び出した場合。

4.7 クライアントライブラリーを用いた接続手順

接続手順の例として、次の3つのネットワーク環境での接続手順を示します。

- ・ [非 SSL 接続](#)
- ・ [SSL 接続](#)
- ・ [プロキシを介した接続](#)

4.7.1 非 SSL 接続

典型的な接続手順は次のようになります。

- (1) SOAP 処理系からサービスプロキシを取得します。
- (2) ログイン情報取得 (getLoginInfo) を呼び出します。
- (3) LoginInfo に含まれるチャレンジコードとパスワードを連結して暗号化します。
- (4) LoginInfo に含まれるセッション ID を SOAP ヘッダーに設定します。
(以降の呼び出しの SOAP ヘッダーでも同じセッション ID を使用)
- (5) ユーザー ID と手順 2 で生成したクレデンシャルを引数としてログインを呼び出します。
(クレデンシャルタイプとして暗号化パスワードを指定)

次に示す例では、まずサービスプロキシのファクトリーを生成 (①) します。次に、ファクトリーから生成 (②) し、サービスプロキシでログイン情報を取得 (③) した後は、ユーティリティーチェーンとして提供されている処理を呼び出し (④)、上記の手順3~5を実行しています。④の第4引数のURIは、クレデンシャルの種類を示します。また、nullを渡した場合には、暗号化パスワードを使用すると見なされます。

```
ArcSuiteServiceFactory factory = new ArcSuiteServiceFactory(); ..... ①
ArcSuite service = factory.getService(new URL("http://...")); ..... ②

LoginInfo loginInfo = service.getLoginInfo(); ..... ③
String userDn = ClientUtils.login(service,
    loginInfo, "user",
    HeaderConstants.ARCSUITE_ENCRYPTED_PASSWORD_URI,
    "password"); ..... ④
```

4.7.2 SSL 接続

SSL接続には、次の2つがあります。

- ・ サイト証明書によるサーバー認証
- ・ 電子証明書による相互認証 (SSL クライアント認証)

サイト証明書によるサーバー認証

クライアントライブラリーでhttpsをスキームとするURLを接続先としてSSL接続する場合、次のシステムプロパティにより接続先のサイト証明書を格納したキーストアおよびキーストアのパスワードを指定します。

```
javax.net.ssl.trustStore . . . . . キーストアのファイルパス
javax.net.ssl.trustStorePassword . . . . . キーストアのパスワード
```

詳細は、次のJSSE (Java Secure Socket Extension) のリファレンスガイドを参照してください。

<https://docs.oracle.com/javase/jp/7/technotes/guides/security/jsse/JSSERefGuide.html>

SSL接続の場合には、次のようにログインに平文パスワードを使用し、ログイン情報の取得 (getLoginInfo) や暗号化のステップを省くこともできます。この場合、ログイン (login) のレスポンスのSOAPヘッダーに含まれるセッションIDを以降のリクエストのSOAPヘッダーで使用します。

```
ArcSuiteServiceFactory factory = new ArcSuiteServiceFactory();
ArcSuite service = factory.getService(new URL("https://... "));

System.setProperty("javax.net.ssl.trustStore", "trustStore");
System.setProperty("javax.net.ssl.trustStorePassword", "changeit");

String userDn = ClientUtils.login(service,
"user",HeaderConstants.ARCSUITE_PLAIN_TEXT_PASSWORD_URI,
"password");
```

上記の"trustStore"および"changeit"は、次のようにkeytoolによりサイト証明書をインポートした場合の例です。

```
C:¥> keytool -import -alias aliasName -file siteCert.cer -trustcacerts -keystore truststore -
storepass changeit
```

電子証明書による相互認証 (SSL クライアント認証)

SSL接続でクライアントの電子証明書も使って相互認証する場合には、サイト証明書でのシステムプロパティの設定に加えて、次のシステムプロパティの設定も同様に実行します。

```
javax.net.ssl.keyStore . . . . . クライアント証明書のファイルパス
javax.net.ssl.keyStoreType . . . . . 証明書の形式 (通常 pkcs12)
javax.net.ssl.keyStorePassword . . . . . クライアント証明書のパスワード
```

4.7.3 プロキシを介した接続

クライアントライブラリーでプロキシを経由して接続する場合、HTTPプロトコルとHTTPSプロトコルに個別にプロキシをシステムプロパティとして設定します。

詳細は、次のネットワークプロパティに関する資料を参照してください。

<https://docs.oracle.com/javase/jp/7/technotes/guides/net/properties.html>

- ・ HTTP プロトコルの場合
 - http.proxyHost..... プロキシホスト名
 - http.proxyPort..... プロキシポート番号 (デフォルト: 80)
 - http.nonProxyHosts プロキシを使用しないホスト (例: "*.foo.com|localhost")
 - http.proxyUser プロキシ認証ユーザー
 - http.proxyPassword プロキシ認証パスワード
- ・ HTTPS プロトコルの場合
 - https.proxyHost..... プロキシホスト名
 - https.proxyPort..... プロキシポート番号 (デフォルト: 80)
 - https.nonProxyHosts プロキシを使用しないホスト (例: "*.foo.com|localhost")
 - https.proxyUser プロキシ認証ユーザー
 - https.proxyPassword プロキシ認証パスワード
 - javax.net.ssl.keyStore クライアント証明書のファイルパス
 - javax.net.ssl.keyStoreType 証明書の形式 (通常 pkcs12)
 - javax.net.ssl.keyStorePassword..... クライアント証明書のパスワード

接続タイムアウト

接続タイムアウトやレスポンスのタイムアウトは、操作を呼び出す前に次のように設定します (単位はミリ秒)。現時点でクライアントライブラリーが使用しているSOAP処理系では、接続のタイムアウトとレスポンスのタイムアウトを別の値に設定できません。

```
factory.setProperty(ArcSuiteServiceFactory.CONNECTION_TIMEOUT_PROPERTY,new Integer(10
* 60 * 1000));
```

4.7.4 暗号化アルゴリズム

認証クレデンシャルの暗号化方式は、次に示す方式のRSA公開鍵暗号です。

- ・ 鍵長 2048bit
- ・ パディング PKCS#1
- ・ バイトオーダー Big-Endian

暗号化されたクレデンシャルを用いたログイン (login) では、ログイン情報取得結果 (getLoginInfo) に含まれるチャレンジコードとパスワードを連結し、バイト配列に変換して暗号化したものが認証クレデンシャルとなります。

暗号化するための公開鍵データはBase64でエンコードされています。認証クレデンシャルもBase64でエンコードしてログイン (login) の引数として引き渡します。

公開鍵の鍵長はデフォルトでは2048bitです。

[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#)にある「acceptCryptoCompromiseHosts」で設定したIPアドレスのホストからアクセスした場合は、鍵長が1024bitの公開鍵を発行します。

以降にJava言語、C#と.NET Framework、C++とCryptoAPIでの実装例の概要を示します。Base64でのエンコード/デコード処理およびC++でのバイト配列のバイトオーダー反転処理は省略します。

Java言語での暗号化処理の実装例：

```
public static String encrypt(LoginInfo loginInfo, String password) throws Exception {
    byte[] modulus = Base64.decode(loginInfo.getPublicKeyModulus());
    byte[] publicExponent = Base64.decode(loginInfo.getPublicKeyExponent());

    WSPublicKey publicKey = new WSPublicKey(modulus, publicExponent);

    javax.crypto.Cipher cipher = javax.crypto.Cipher.getInstance("RSA/ECB/PKCS1Padding");
    cipher.init(Cipher.ENCRYPT_MODE, publicKey);

    byte[] plainData = (loginInfo.getChallenge() + password).getBytes("UTF-8");
    byte[] cipherData = cipher.doFinal(plainData);

    return Base64.encode(cipherData);
}

class WSPublicKey implements java.security.interfaces.RSAPublicKey {
    private final BigInteger n;
    private final BigInteger e;

    WSPublicKey(byte[] n, byte[] e) {
        this.n = new BigInteger(1, n);
        this.e = new BigInteger(1, e);
    }

    public BigInteger getModulus() {
        return n;
    }

    public BigInteger getPublicExponent() {
        return e;
    }

    ...
}
```

C#で.NET Frameworkを使用した暗号化処理の実装例：

```
public static string Encrypt(LoginInfo loginInfo, string password) {
    System.Security.Cryptography.RSAParameters param;
    param = new System.Security.Cryptography.RSAParameters();

    param.Modulus = System.Convert.FromBase64String(loginInfo.publicKeyModulus);
    param.Exponent = System.Convert.FromBase64String(loginInfo.publicKeyExponent);

    System.Security.Cryptography.RSACryptoServiceProvider rsa;
    rsa = new System.Security.Cryptography.RSACryptoServiceProvider();
    rsa.ImportParameters(param);

    String secret = loginInfo.challenge + password
    byte[] plainData = System.Text.Encoding.UTF8.GetBytes(secret);
    byte[] cipherData = rsa.Encrypt(plainData, false);

    return System.Convert.ToBase64String(cipherData);
}
```

C++でWin32 CryptoAPIを使用した暗号化処理の実装例：

```
#define KEY_LEN 256

unsigned char PUBKEY[276]= {
    // PUBLICKEYSTRUC
    0x06, 0x02, 0x00, 0x00, /* PUBLICKEYBLOB (0x06) CUR_BLOB_VERSION (0x02) RESERVED */
    0x00, 0xA4, 0x00, 0x00, /* CALG_RSA_KEYX (0x0000A400) */
    // RSAPUBKEY
    0x52, 0x53, 0x41, 0x31, /* "RSA1" */
    0x00, 0x08, 0x00, 0x00, /* 2048 (0x00000800) */
    0x01, 0x00, 0x01, 0x00 /* 65537 (0x00010001) */
};

char* Encrypt(char* modulus, char* publicExponent, char* challenge)
{
    HCRYPTPROV hProv = NULL;
    HCRYPTKEY hKey = NULL;
    unsigned char buf[KEY_LEN];

    ::CryptAcquireContext(&hProv, NULL, MS_ENHANCED_PROV, PROV_RSA_FULL,
CRYPT_VERIFYCONTEXT);

    unsigned char* modulusData = Reverse(Base64Decode(modulus), KEY_LEN);
    memcpy(PUBKEY + 20, modulusData, KEY_LEN);

    ::CryptImportKey(hProv, &PUBKEY[0], sizeof(PUBKEY), 0, 0, &hKey);

    memcpy(buf, challenge, strlen(challenge));
    memcpy(buf + strlen(challenge), password, strlen(password));
    unsigned long dataLen = strlen(challenge) + strlen(password);

    ::CryptEncrypt(hKey, NULL, TRUE, 0, buf, &dataLen, KEY_LEN);

    return Base64Encode(Reverse(buf, dataLen));
}
```

5 セッション管理

WebサービスのセッションのIDによる特定と、セッションで使用する言語、添付ファイル形式、リクエスト処理後のセッション解放の指定について説明します。

5.1 セッションID

セッションは、次の例のようにリクエストのSOAPヘッダーに含まれる「Session」要素により識別されます。

```
<soap:Envelope xmlns:soap="...">
  <soap:Header>
    <Session xmlns="http://www.fujifilm.com/fb/2021/08/arcsuite/ws/types">3d498cbe77...</Session>
  </soap:Header>
  <soap:Body>
    ...
  </soap:Body>
</soap:Envelope>
```

WebブラウザによってアクセスされるArcSuiteのWebアプリケーションとは異なり、クライアントでのCookie管理を前提とできないため、トランスポート独立性と相互運用性の観点からCookieおよびHTTPヘッダーによるセッション識別は使用していません。

このため、複数サーバー環境では同一セッションでも同じサーバーで処理されるとは限らず、リクエストごとに異なるサーバーに振り分けられて処理される場合があります。これは意図的な設計による動作で負荷分散する上で利点がありますが、この動作に不都合がある場合には、[「2.1 設定パラメーター一覧」\(P.27\)](#)の表にある「セッション固定クッキー発行フラグ」の設定によって発行されるCookieによりサーバーを固定することもできます。

セッション固定クッキー発行フラグを"true"に設定すると、"arcsuiteid"という名前で物理サーバーのホスト名を値とするCookieが発行されます。このCookieの値によってサーバーが振り分けられるようにロードバランサーを設定した上で、クライアントはヘッダーにCookieを指定してリクエストを発行すると、同じサーバーでのリクエスト処理が実行されます。

ほとんどの操作では、セッションIDを指定しない場合にはユーザー認証が必要であることを示すエラー(ARCSUITE_WS-0803202)になります。

セッションIDを指定せずに呼び出せる操作およびその動作を次に示します。

- ・ getVersionInfo バージョン情報を返す
- ・ getLoginInfo セッションを生成しバージョン情報と暗号化に必要な情報を返す
- ・ getSessionInfo ユーザーの識別情報などセッション情報を返す
- ・ login セッションを生成しユーザー認証をする
- ・ loginAndCheckStatus loginと同じ処理を行い、ログインユーザーの状態を返す
- ・ logout 何も起こらない

セッションIDを指定した通常の操作および上記のgetLoginInfoとloginでは、サーバーからのレスポンスのSOAPヘッダーにも同様のセッションIDが含まれます。

ただし、getLoginInfoで生成されるセッションは後続のloginで指定するための仮セッションであり、このセッションIDを指定して上記以外の操作を呼び出した場合にも、ユーザー認証が必要であることを示すエラーになります。

5.2 セッション設定

「Session」要素には、次のようにセッションで使用する言語、添付ファイル形式、リクエストバージョン、セッション解放、および管理者モードの切り替えを指定する属性を指定できます。言語と添付ファイル形式、リクエストバージョンの設定はセッション情報として保持されるので、セッションで一度指定すればリクエストごとに指定する必要はありません。

```
<soap:Envelope xmlns:soap="...">
  <soap:Header>
    <Session xmlns="..." locale="ja" attachmentType="mime"
      requestVersion="3.0.0.0" release="true"
      administratorMode="true">3d498cbe77...</Session>
  </soap:Header>
  <soap:Body>
    ...
  </soap:Body>
</soap:Envelope>
```

「Session」要素に指定できる属性は、次のとおりです。

表：セッション設定の属性

属性名	設定例
locale (言語)	ja
attachmentType (添付ファイル形式)	mtom
requestVersion (リクエストバージョン)	4.0.0.0
release (セッション解放)	true
administratorMode (管理者モード)	true

補足 上記の属性は、ログイン (login/loginAndCheckStatus) 時のプリファレンス設定 (KeyedString[]) としても指定できます。KeyedString の key に属性名、value に設定値を指定します。

5.2.1 言語設定

ArcSuitelはサポートする言語を指定可能で、エラーメッセージおよび多言語対応列挙型の表示文字列が指定された言語の表記になります。

言語を指定しない場合には、ユーザーを認証した段階でRMSに設定されているユーザーの言語指定がセッションの言語として設定されます。loginのエラーメッセージの言語を指定するには、「Session」要素の内容にセッションIDを指定せずに言語 (locale) 属性だけを指定します。この場合、RMSに設定されているユーザーの言語指定よりもセッションで指定した言語指定が優先します。

5.2.2 添付ファイル形式設定

ドキュメントのコンテンツ取得などで添付ファイルを取得するときの形式を指定します。次の形式を指定できます。指定しない場合も、自動でMTOM形式が使われます。

- ・ MTOMSOAP Message Transmission Optimization Mechanism

提供されるWSDLはMTOM形式です。MTOM形式のWSDLを使ってもSwAと同様のコンテンツを取得するSOAPリクエストを発行するSOAP処理系もあるため、明確に指定できる機構を設けています。

なお、ドキュメント登録などクライアントから添付ファイルを送る場合には、MTOM形式を受け付けます。

5.2.3 セッション解放指示

リクエスト処理後のセッション解放を指示します。

言語や添付ファイル形式の設定と同様に「Session」要素の属性で指定しますが、設定をするためではありません。指定された属性値がtrue（大文字小文字無視）の場合には、リクエストの処理後に処理結果の正常/異常に関わらず、ログアウトと同様にセッション解放が実行されます。

5.2.4 リクエストバージョン設定

リクエストのバージョンを指定します。現在のバージョンは「4.0.0.0」です。

サーバーはクライアントの指定した、リクエストバージョンと互換性のある最新の形式のレスポンスを返します。これにより、サーバー側のバージョンアップに伴い、レスポンスの形式が拡張された場合でも、インターフェイスの互換性を維持する事が可能となります。

リクエストバージョンは、最大4つの数値をピリオド（.）で区切った形式で指定します。リクエストバージョンの比較は、ピリオドで区切られた先頭の数字から順番に比較し、最初により大きな数値が現れた方をより新しいバージョンとします（例：「2.2.2.0」よりも「2.2.10.0」の方が新しいバージョンとなります）。なお、4つ未満の数値でバージョンが指定された場合、未指定部分は0とみなして比較します（例：「2.5」は「2.5.0.0」とみなします）。

インターフェイス互換のある最小バージョン（以降、「最小バージョン」と表記します）以上のリクエストバージョンが指定された場合は、指定されたバージョンに応じてサーバー側の処理を実行します。リクエストバージョンが指定されていなかった場合は、旧バージョンのクライアントとの互換性を維持するため、最小バージョンとみなして処理を実行します。ただし、実際には最小バージョン未満だった場合、エラーが発生する可能性があるため、注意してください。また、最小バージョン未満のリクエストバージョンが指定された場合は、動作保証外のため、エラーとなります。同様に、解釈できない不正なバージョン文字列が指定された場合も、エラーとなります。なお、バージョン番号取得（getVersionInfo）により、接続先サーバーの最小バージョンと現在のバージョンを取得することができます。

6 オブジェクト情報取得・一覧・検索

Webサービスで使用するオブジェクト情報の取得・一覧・検索について説明します。

6.1 取得する属性の指定

オブジェクトの情報を取得するときに取得する属性を指定していない場合は、すべての属性を返します。このため、設定されている属性の確認などは容易になっていますが、必要な属性だけを取得するのに比べて性能が低下するのは避けられません。

アプリケーションを開発する場合は、取得する属性を明確に指定して必要な属性だけを取得するようにしてください。

6.2 最大取得数の制限

意図せずに高負荷を掛けることを避けるため、また、XMLを処理するときのCPUやメモリーへのオーバーヘッドが高いことから、サーバーサイドで一覧や検索の結果の最大件数が制限されています。

デフォルトは100件ですが、リソース管理アプリケーションによりシステムプロパティとして0~10000の範囲で設定できます。

参照 最大取得数の制限についての詳細は、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#)の表にある「最大取得数制限」を参照してください。

6.3 一定数以上の判定

オブジェクト一覧や検索の結果が膨大になる可能性があり、件数の制限が必要になる場合があります。このような場合、引数で最大取得数 (limit) を指定します。

指定した件数よりも結果が多いかどうかを判定する方法は用意されていないため、指定した件数よりも結果が多いかどうかを判定するためには、最大取得数に1つ多い値を指定した結果の件数を確認します。

たとえば、一覧を取得して最大100件を表示するアプリケーションで、100件を超える一覧の結果がある場合、何らかの表示をして、ユーザーがそれを認識できるようにしたいとします。その場合、最大取得数に101を指定して、101件取得できたかどうかで表示する件数 (100件) よりも結果が多いかどうかを判定し、表示には最大の100件を表示します。

6.4 ページング

オブジェクト一覧や検索の結果を一度に表示するのではなく、一定件数ごとの表示が必要となる場合があります。しかし、一覧や検索の結果を保持するような機構は設けられていません。

そこで、表示に必要なすべての属性を含めて（全ページ分の）結果を取得すると、メモリーの圧迫やレスポンスの低下が問題となる可能性があります。また、別の方法として、同じ条件で何度か一覧や検索を実行し、アプリケーション側で必要な部分だけを抽出することも考えられますが、ほかのユーザーの操作などによって毎回同じ結果となるとは限らないため、正確に一定件数ごとに表示したのとは異なる表示となる可能性があります。

一定件数ごとに表示する方法としては、最低限必要な属性だけを取得しアプリケーション側で結果セットとして保持します。取得する属性として（要素数0の）空配列を指定して識別子だけを結果セットとすることもできます。ページ切り替えなどでは、必要に応じて属性の取得を呼び出し、メモリー状況に応じて以前に取得した結果を解放します。

7 共通機能インターフェイス

共通機能として次の機能を提供します。

- 認証関連
- 属性スキーマ情報
- 属性テンプレート情報
- システム設定情報

7.1 共通エラー

ArcSuite Webサービスインターフェイスで共通のエラーは次のとおりです。

- ・ ARCSUITE_WS-08302001
指定されたセッション ID が不正な場合（タイムアウト等でセッションが見つからない場合も含む）
- ・ ARCSUITE_WS-08302002
指定されたロケール（言語）が不正な場合
- ・ ARCSUITE_WS-08302004
添付ファイル形式が不正な場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303001
サービス起動時にデータベースに接続できない場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303002
データベースからのセッション情報の読み込みに失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303003
データベースへのセッション情報の書き込みに失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303102
認証が済んでいない状態で認証が必要なオペレーションが呼び出された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303110
管理権限を保有していないのに管理者モードで呼び出した場合

7.2 起動エラー

ArcSuite Webサービスインターフェイスの起動で共通のエラーは次のとおりです。

- ・ ARCSUITE_WS-08301001
コンポーネント情報が見つからない場合
- ・ ARCSUITE_WS-08301002
システムプロパティの読み込みに失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08301003
サービス起動中に何らかのエラーが起きた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08301004
サービスの起動が完了する前に操作を呼び出した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303001
データベースにアクセスできない場合

7.3 プログラムインターフェイス

共通機能のプログラミング・インターフェイスの詳細を記述します。

7.3.1 認証関連

getVersionInfo

■ Java 言語形式

```
VersionInfo getVersionInfo()
```

■ 説明

アクセスしているWebサービスインターフェイスのバージョン情報を取得します。

■ パラメーター

なし

■ 解説

- ・ 後方互換性のあるバージョンと現在のバージョンを返します。
- ・ それぞれのバージョンは、4つの数値を"."で連結して表されます。(例 2.3.0.0)

■ 戻り値

インターフェイスのバージョン情報

■ エラー

共通エラーだけです。

getLoginInfo

■ Java 言語形式

```
LoginInfo getLoginInfo()
```

■ 説明

ログイン処理用の準備情報を取得します。

■ パラメーター

なし

■ 解説

準備情報は、セッションID、チャレンジコード、公開鍵を含みます。

■ 戻り値

ログイン処理用の準備情報

■ エラー

共通エラーだけです。

getSessionInfo

■ Java 言語形式

```
SessionInfo getSessionInfo()
```

■ 説明

現在のセッション情報を取得します。

■ パラメーター

なし

■ 解説

現在のセッションのユーザー識別子 (ID, DN, RMSエントリー ID)、ログイン日時、ロケール、タイムゾーン、ファイル添付形式、セッションの管理者モード (有効/無効) の情報を返します。ログインしていない場合、エラーを返さず、ユーザー識別子とログイン日時にはnullを返します。

■ 戻り値

セッション情報

■ エラー

共通エラーだけです。

login

■ Java 言語形式

```
String login(String userId, String credentialType, String  
credential, KeyedString[] preferences)
```

■ 説明

ユーザーの認証処理を実行します。

■ パラメーター

- ・ userId
ユーザーのログイン名
- ・ credentialType
クレデンシャルの形式
- ・ credential
認証情報
- ・ preferences
各種プリファレンス設定

■ 解説

- ・ 指定されたユーザーが存在しない場合にはエラーを返します。getLoginInfo() により取得したチャレンジと公開鍵に基づいた暗号化クレデンシャルを使用する場合には、同じセッションであることを認識できるようにセッション ID を SOAP ヘッダーで指定する必要があります。

- ・クレデンシャルの形式には次の文字列のどれかを指定できます。
 - 平文パスワードの場合
http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#PlainTextPassword
 - 暗号化パスワードの場合
http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#EncryptedPassword
 - セキュリティトークンの場合
http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#SecurityToken
- ・セキュリティトークンを使う場合には、userId に指定した引数は無視されます。

■ 戻り値

指定されたユーザーのDN

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08302006
クレデンシャルタイプが不正な場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303102
認証に失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303103
セキュリティトークンの検証に失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303104
平文パスワードが認められないプロトコルで使用された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303203
既にログイン済みのセッションの場合
認証モードが "require" の場合

参照 認証モードが "require" の場合の詳細については [「SSLクライアント認証」\(P.50\)](#) を参照してください。

loginAndCheckStatus

■ Java 言語形式

```
LoginUserStatus loginAndCheckStatus(String userId, String credentialType, String credential, KeyedString[] preferences)
```

■ 説明

ユーザーの認証処理を行い、ログイン状態をチェックします。

■ パラメーター

- ・ userId
ユーザーのログイン名
- ・ credentialType
クレデンシャルの形式
- ・ credential
認証情報
- ・ preferences
各種プリファレンス設定

■ 解説

- ・ 認証処理は、login と同じ処理を行います。
- ・ 戻り値として、ログインユーザーの状態（パスワードが有効期限切れかどうか、猶予ログイン回数）が取得可能です。

- ・ユーザーのパスワードが有効期限切れでない場合、猶予ログイン回数は -1 となります。

■ 戻り値

ログインユーザーの状態

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08302006
クレデンシャルタイプが不正な場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303102
認証に失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303103
セキュリティトークンの検証に失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303104
平文パスワードが認められないプロトコルで使用された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303203
既にログイン済みのセッションの場合
認証モードが "require" の場合

参照 認証モードが "require" の場合の詳細については [「SSLクライアント認証」\(P.50\)](#) を参照してください。

logout

■ Java 言語形式

```
void logout ()
```

■ 説明

ユーザーのログアウト処理を実行します。

■ パラメーター

なし

■ 解説

- ・ユーザーがログインした時のセッション ID を SOAP ヘッダーに指定します。
- ・SOAP ヘッダーに指定されたセッション ID を持つユーザーのログアウト処理をします。

■ 戻り値

なし

■ エラー

共通エラーだけです。

assertPrivilege

■ Java 言語形式

```
boolean assertPrivilege(String userId, String credentialType, String credential,
String[] privileges)
```

■ 説明

特権を保有するユーザーの認証情報を指定して、特権でアクセスすることを宣言します。戻り値にtrueが返った場合、セッションが切断されるまで特権でアクセスできます。

■ パラメーター

- ・ userId
使用する特権を保有するユーザーのログイン名
- ・ credentialType
クレデンシャルの形式
- ・ credential
認証情報
- ・ privileges
特権識別名の配列

■ 解説

- ・ クレデンシャルの形式には次の文字列のどれかを指定できます。
 - 平文パスワードの場合
`http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#PlainTextPassword`
 - 暗号化パスワードの場合
`http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#EncryptedPassword`
 - セキュリティトークンの場合
`http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws#SecurityToken`
- ・ セキュリティトークンを使う場合には、userId に指定した引数は無視されます。
- ・ 特権識別名には次の文字列のどちらかを指定できます。
 - 印刷サービス特権の場合
`http://www.fujifilm.com/fb/2021/08/arcsuite/ws#PrintServiceRole`
 - アプリケーションプログラム特権の場合
`http://www.fujifilm.com/fb/2021/08/arcsuite/ws#ApplicationProgramRole`

■ 戻り値

- ・ 指定した特権をすべて保有している場合は true を返します。
- ・ 1 つでも特権を保有していない場合は false を返します。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08302006
クレデンシャルタイプが不正な場合
- ・ ARCSUITE_WS-08302007
特権識別名が不正な場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303102
認証に失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303103
セキュリティトークンの検証に失敗した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08303104

平文パスワードが認められないプロトコルで使用された場合

- ・ ARCSUITE_WS-08303203
- 既にログイン済みのセッションの場合

enableAdministratorMode

■ Java 言語形式

```
void enableAdministratorMode(boolean enabled)
```

■ 説明

enabledの指定 (true/false) によって、管理者モードの有効/無効を切り替えます。

■ パラメーター

- ・ enabled
管理者モードを有効にする (True)、または無効にする (False)

■ 解説

- ・ enabled に true を指定した場合、それ以降の操作は、セッションが有効な間、または enabled に false を指定して呼び出すまで管理者モードで動作します。false を指定した場合、通常モードで動作します。
- ・ 管理者モードは、ドキュメント管理およびタスク管理でだけ、有効です。
- ・ 管理者モードで操作を実行するには、管理権限を保有する必要があります。管理者モードを有効にした状態で、管理権限を持っていないドキュメント管理またはタスク管理インターフェイスを実行すると例外が発生します。詳細は、[\[1.2.8 管理者モード\] \(P.22\)](#) を参照してください。
- ・ この操作は、ログイン後に実行できます。ログインしないで呼び出した場合、例外が発生します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

共通エラーだけです。

7.3.2 属性スキーマ情報

getAttributeSchema

■ Java 言語形式

```
AttributeSchema getAttributeSchema(AttributeId attrId)
```

■ 説明

属性IDを指定して、指定した属性IDが含まれる属性スキーマ情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ attrId
属性スキーマ情報を取得する属性 ID

■ 解説

指定した属性IDのネームスペースに応じて、各カテゴリー（リソース、ドキュメント、タスク、プロセス）管理機能の属性スキーマ情報を取得できます。

■ 戻り値

属性スキーマ情報

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08302005
属性 ID に指定されたネームスペースが不正な場合

getAttributeSchemas

■ Java 言語形式

```
AttributeSchemasResponse getAttributeSchemas (AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

属性IDの配列を指定して、指定した属性IDが含まれる属性スキーマ情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ attrIds
属性スキーマ情報を取得する属性 ID の配列

■ 解説

指定した属性IDの配列のネームスペースに応じて、各カテゴリー（リソース、ドキュメント、タスク、プロセス）管理機能の属性スキーマ情報を取得できます。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功した属性スキーマ情報の配列（ID を指定した順番で格納されます）
- ・ 取得に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット（Failure）を格納した配列

■ エラー

各属性IDを指定してスキーマを取得するときに例外が発生した場合は、例外が発生した属性IDの指定された配列中でのインデックスとProcessingExceptionによってラップされた例外からなるFailureの配列が結果に含まれます。

- ・ ARCSUITE_WS-08302005
属性 ID などに指定されたネームスペースが不正な場合

listAttributeSchemas

■ Java 言語形式

```
AttributeSchema[] listAttributeSchemas (String ns)
```

■ 説明

属性ネームスペースを指定して、指定したネームスペースに属する属性スキーマ情報のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ ns
属性スキーマ情報のリストを取得する属性ネームスペース

■ 解説

指定されたネームスペースに属する属性スキーマの一覧を取得します。

■ 戻り値

属性スキーマ情報の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08302005
指定されたネームスペースが不正な場合

7.3.3 属性テンプレート情報

getAttributeTemplate

■ Java 言語形式

```
AttributeTemplate getAttributeTemplate(String attrTemplateName)
```

■ 説明

属性テンプレート名を指定して、属性テンプレート情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ attrTemplateName
取得する属性テンプレートの名前
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

なし

■ 戻り値

属性テンプレート情報

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305034
属性テンプレートが見つかりません。: 属性テンプレート名 ={0}
- ・ ARCSUITE_WS-08305035
属性テンプレート情報の取得に失敗しました。

■ 備考

実行ユーザーの言語設定が、属性テンプレートを作成したときのドキュメントスペース管理アプリケーションの [言語依存設定] の設定と異なる場合は、属性テンプレートを取得できません。属性テンプレートは存在しないものとして処理され、エラー (ARCSUITE_WS-08305034) になります。

getAttributeTemplates

Java 言語形式

```
AttributeTemplatesResponse getAttributeTemplates (String[] attrTemplateName)
```

説明

属性テンプレート名を指定して、複数属性テンプレート情報を取得します。

パラメーター

- ・ attrTemplateName
取得する属性テンプレートの名前の配列
null を指定した場合はエラーになります。

解説

なし

戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功した属性テンプレート情報を格納した配列（格納順は、属性テンプレート名の指定順と同じになります）
- ・ 取得に失敗した属性テンプレート名の配列インデックスと失敗理由のセット（Failure）を格納した配列

エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305034
属性テンプレートが見つかりません。: 属性テンプレート名 = {0}
- ・ ARCSUITE_WS-08305035
属性テンプレート情報の取得に失敗しました。

備考

実行ユーザーの言語設定が、属性テンプレートを作成したときのドキュメントスペース管理アプリケーションの [言語依存設定] の設定と異なる場合は、属性テンプレートを取得できません。属性テンプレートは存在しないものとして処理され、空の配列が返ります。

listAttributeTemplates

Java 言語形式

```
AttributeTemplate[] listAttributeTemplates (String operation, String id, boolean isDescending, String[] options)
```

説明

操作、オブジェクトのIDを指定して、使用可能な属性テンプレート情報のリストを取得します。

パラメーター

- ・ operation
属性テンプレート情報のリストを取得する操作です。null を指定できます。
- ・ id

属性テンプレート情報のリストを取得するオブジェクトの ID です。null を指定できます。

- ・ isDescending
取得する属性テンプレート情報を、属性テンプレート名で降順にソートするかどうかを指定します。
- ・ options
取得オプションです。

■ 解説

- ・ operation には、表示 (view)、登録 (register) が指定できます。表示 (view) を指定した場合は、表示するときに指定できる属性テンプレート情報が取得されます。
- ・ id には、キャビネット、ドロワー、フォルダー、ドキュメント、リファレンスの ID が指定できます。指定したオブジェクトの ID で使用できる属性テンプレート情報が取得されます。
- ・ operation、および id に null を指定した場合、すべての属性テンプレート情報が取得されます。

■ 戻り値

属性テンプレート情報の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID が不正です。: ID={0}
- ・ ARCSUITE_WS-08305034
属性テンプレートが見つかりません。: 属性テンプレート名={0}
- ・ ARCSUITE_WS-08305035
属性テンプレート情報の取得に失敗しました。
- ・ ARCSUITE_WS-08305036
属性テンプレート名リストの取得に失敗しました。: 操作名={0}, ID={1}
- ・ ARCSUITE_WS-08305038
操作名が不正です。: 操作名={0}

■ 備考

実行ユーザーの言語設定が、属性テンプレートを作成したときのドキュメントスペース管理アプリケーションの [言語依存設定] の設定と異なる場合は、属性テンプレートを取得できません。属性テンプレートは存在しないものとして処理され、空の配列が返ります。

getCopyAttributeNamesOnReference

■ Java 言語形式

```
AttributeId[] getCopyAttributeNamesOnReference (String operation)
```

■ 説明

操作を指定して、その操作時にリファレンスへコピーされる属性を取得します。

■ パラメーター

- ・ operation
リファレンスへの操作

■ 解説

- ・ operation には、作成 (create)、更新 (update) が指定できます。作成 (create) を指定した場合は、リファレンス作成時にコピーされる属性の配列が取得されます。

■ 戻り値

属性の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305035
属性テンプレート情報の取得に失敗しました。
- ・ ARCSUITE_WS-08305037
リファレンスにコピーされる属性情報の取得に失敗しました。: 操作名 ={0}
- ・ ARCSUITE_WS-08305038
操作名が不正です。: 操作名 ={0}

7.3.4 システム設定情報

getSystemConfig

■ Java 言語形式

```
KeyedString[] getSystemConfig()
```

■ 説明

設定パラメーター情報を取得します。

■ パラメーター

なし

■ 解説

- ・ 設定パラメーターの名前と値がペアになった配列を返します。次の設定パラメーターは、セキュリティレベルに関する情報であるため返しません。

- http.acceptPlainTextPassword

説明：平文パスワード認証受け付けフラグ (HTTP)

- https.acceptPlainTextPassword

説明：平文パスワード認証受け付けフラグ (HTTPS)

- voidClientCertificateHosts

説明：クライアント証明書が無効な接続ホスト

- voidClientCertificateRoleName

説明：クライアント証明書無効特権用のユーザーロール名

- acceptCryptoCompromiseHosts

説明：パスワードの暗号強度を緩和する接続ホスト

設定パラメーターは、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) を参照してください。

- ・ 名前は [\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「名前」欄の文字列を返します。
- ・ コンポーネントプロパティまたはシステムプロパティで設定している値を返します。設定していないパラメーターは、デフォルトの値を返します。ただし、パラメーターの接頭辞 "com.fujifilm.fb.arcsuite.ws." が付加された名前となります。

■ 戻り値

設定パラメーター情報

■ エラー

共通エラーだけです。



8 リソース管理インターフェイス

リソース管理インターフェイスとして提供されている操作について説明します。

8.1 プログラムインターフェイス

8.1.1 共通パラメーター

リソース管理インターフェイスで共通のパラメーターは次のとおりです。

パラメーター

- ・ recursive
グループメンバーを再帰的に展開するか否かを指定します。true を指定した場合、再帰的な展開をします。false を指定した場合、直接メンバーに含まれているエントリーだけを対象とします。
- ・ limit
最大取得数を指定します。
負の数を指定した場合は、サーバー側で設定されている最大取得数制限の値が優先されます。
また、最大取得件数を超える値を指定した場合も、最大取得数制限の値が優先されます。
リスト結果が最大取得数を上回った場合、最大取得数以降の結果は破棄されます。最大取得数の指定と同時に order を指定した場合は、ソート済みのリスト結果から最大取得数までの結果を返します。
- ・ attrIds
対象オブジェクトのどの属性を取得するのかを配列で指定します。
null が指定された場合、その対象オブジェクトに対して取得可能なすべての属性を取得します。
長さ 0 の配列が指定された場合、属性を一切取得しません。
配列内で指定された属性が無効な場合、エラーにはならず、その属性の値は返しません。
複数言語に対応している属性については、常にすべての言語の値を取得します。取得時に必要な言語（例：displayName;lang-ja）だけを取得することはできません。

8.1.2 オブジェクトを取得する

getRmsObject, getRmsObjectByDn

■ Java 言語形式

```
RmsObject getRmsObject(String id, AttributeId[] attrIds)
```

```
RmsObject getRmsObjectByDn(String dn, AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

オブジェクトのIDまたはDNを指定して、RMSオブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
取得する RMS オブジェクトの ID
- ・ dn
取得する RMS オブジェクトの DN
- ・ attrIds
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。

■ 解説

指定されたオブジェクトが存在しない場合にはエラーを返します。

■ 戻り値

指定されたRMSオブジェクト

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1200001
指定の ID のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200002
指定の DN のオブジェクトが存在しなかった

getRmsObjects, getRmsObjectsByDns

■ Java 言語形式

```
RmsObjectsResponse getRmsObjects(String[] ids, AttributeId[] attrIds)
```

```
RmsObjectsResponse getRmsObjectsByDns(String[] dn, AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDまたはDNを指定して、RMSオブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ ids
取得する RMS オブジェクトの ID の配列
- ・ dns
取得する RMS オブジェクトの DN の配列
- ・ attrIds
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。

■ 解説

指定されたオブジェクトが存在しない場合は、エラーを示すFailureの配列を返します。指定した配列と戻り値のサイズは必ずしも一致しません。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功した RMS オブジェクトの配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 取得に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

RMSオブジェクトの取得の際に例外が発生した場合には、例外が発生したIDまたはDNの指定された配列中でのインデックスとProcessingExceptionによってラップされた例外からなるFailureの配列が結果に含まれません。

- ・ RMS_WEBSVC-1200001
指定の ID のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200002
指定の DN のオブジェクトが存在しなかった

8.1.3 オブジェクトを検索する

searchRmsObjects

■ Java 言語形式

```
RmsObject[] searchRmsObjects(AttributeSearchCondition attrCondition,  
SearchOption option, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

検索条件を指定して、RMSオブジェクトを検索します。

■ パラメーター

- ・ attrCondition
属性検索条件
検索条件に、無効な属性または式が含まれていた場合、エラーになります。
- ・ option
検索のオプション
- ・ order
ソート順序
- ・ limit
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ ソート条件が指定できます。
- ・ 最大取得数が設定できます。
- ・ 取得する属性が指定できます。

■ 戻り値

RMSオブジェクトの配列

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1201004
option が指定されなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1201005
検索対象を複数指定した
- ・ RMS_WEBSVC-1201006
検索対象のネームスペースが rms ではなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1201001
検索範囲に id が指定された
- ・ RMS_WEBSVC-1201002
検索範囲が複数指定された
- ・ RMS_WEBSVC-1201003
検索範囲が存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1201006
属性のネームスペースが rms ではなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1201007

- サポートされていないオペレーションを指定した
- ・ RMS_WEBSVC-1201008
equal のオペランドにサポートされていない型の値を指定した
- ・ RMS_WEBSVC-1201009
equalIgnoreCase のオペランドに文字列でない値を指定した
- ・ RMS_WEBSVC-1201010
like のオペランドに文字列でない値を指定した
- ・ RMS_WEBSVC-1201011
likeIgnoreCase のオペランドに文字列でない値を指定した

■ attrCondition の解説

◆ 条件

RMSの検索で利用可能な条件は次のとおりです。

- ・ AndCondition
- ・ OrCondition
- ・ UnaryOperatorCondition
- ・ BinaryOperatorCondition
- ・ MultiOperatorCondition

上記以外の条件 (NotCondition、TrinaryOperatorCondition) は、使用できません。

◆ オペレーター

RMSの検索で利用できるオペレーターは次のとおりです。

- ・ 単項演算子
 - IS_NULL
 - IS_NOT_NULL は使用できません。
- ・ 二項演算子
 - EQUAL
 - EQUAL_IGNORE_CASE
 - LIKE
 - LIKE_IGNORE_CASE
 - 上記以外の演算子 (NOT_EQUAL, NOT_EQUAL_IGNORE_CASE, NOT_LIKE, NOT_LIKE_IGNORE_CASE, GREATER_EQUAL, GREATER_THAN, LESS_EQUAL, LESS_THAN, CONTAIN) は使用できません。
- ・ 多項演算子
 - IN
 - NOT_IN
 - 上記オペレーターのうち、EQUAL_IGNORE_CASE, LIKE, LIKE_IGNORE_CASE の 3 オペレーターは、文字列型の属性で使用できます。
 - その他のオペレーターは、すべての属性型で使用できます。
 - ただし、RMS で使用可能な型は、StringValue, IntValue, LongValue, BooleanValue の 4 つだけです。

■ order の解説

orderでは検索結果のソート条件を指定できます。

省略した場合は検索結果の順序は不定です。

複数の属性を指定でき、その場合、指定した順に第1キー、第2キー、となります。

■ option の解説

◆ searchTypes

searchTypesには検索対象オブジェクトの種類を指定します。
指定可能なオブジェクトは次の6種類です。

- ・ user (ユーザー)
- ・ group (グループ)
- ・ roleName (ユーザーロール名)
- ・ component (コンポーネント)
- ・ printer (プリンター)
- ・ atom (アトム)

ネームスペースはすべて"rms"です。

searchTypesには、必ずオブジェクトの種類を1つだけ指定します。

nullを指定した場合、オブジェクトの種類を2つ以上指定した場合、または長さが0の配列の場合は、エラーになります。

◆ searchRegion

searchRegionには検索範囲を指定します。省略した場合には、RMS全体を検索します。

searchRegionには部署またはドメインのdnを1つだけ指定します。dnを2つ以上指定した場合にはエラーになります。

searchRmsObjectByGroupOrRole, searchRmsObjectByGroupOrRoleDn

■ Java 言語形式

```
RmsObject[] searchRmsObjectByGroupOrRole(String[] ids, SearchOption option,
SortItem[] order, boolean recursive, int limit, AttributeId[] attrIds)
```

```
RmsObject[] searchRmsObjectByGroupOrRoleDn(String[] dns, SearchOption option,
SortItem[] order, boolean recursive, int limit, AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

グループまたはロールのIDもしくはDNを指定して、RMSオブジェクトを検索します。

■ パラメーター

- ・ ids
絞込みするグループ、またはロールの ID の配列
- ・ dns
絞込みするグループ、またはロールの DN の配列
- ・ option
検索のオプション
- ・ order
ソート順序
- ・ recursive
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。
- ・ limit
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。

・ attrIds

[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。

■ 解説

指定されたグループ、またはロールのすべてに含まれるRMSオブジェクトを絞込検索します。

■ 戻り値

指定されたすべてのグループに含まれ、指定されたすべてのロールが割り当てられているユーザー、またはグループの配列。ユーザーロールは返しません。

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1201001
検索範囲に ID が指定された
- ・ RMS_WEBSVC-1201002
検索範囲が複数指定された
- ・ RMS_WEBSVC-1201003
検索範囲が存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1201012
引数に指定された ID が rms のものではなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1201013
引数に指定された ID または DN のオブジェクトは存在しなかった

■ order の解説

orderでは検索結果のソート条件を指定できます。省略した場合は検索結果の順序は不定です。複数の属性を指定できますが、その場合、指定した順に第1キー、第2キー、となります。

searchRmsObjectByGroupOrRoleおよび searchRmsObjectByGroupOrRoleDnでは複数の検索対象オブジェクトを指定できますが、ソートはそれぞれの対象オブジェクトごとに実行されます。すなわち、対象オブジェクトにユーザーとグループ両方を指定した場合には、それぞれユーザーの中でソートされた検索結果と、グループの中でソートされた検索結果が連結されます。なお、ユーザーとグループ両方を指定した場合の検索結果はソート条件を指定するしないにかかわらず、ユーザーが先、グループが後になります。

■ option の解説

◆ searchTypes

searchTypesには検索対象オブジェクトの種類を指定します。指定可能なオブジェクトは次の2種類です。

- ・ user (ユーザー)
- ・ group (グループ)

ネームスペースはすべて"rms"です。

searchTypesには、必ずオブジェクトの種類を1つだけ指定します。また、searchRmsObjectsと異なり、両方のオブジェクトの種類を同時に指定できます。

◆ searchRegion

searchRegionには検索範囲を指定します。省略した場合には、RMS全体を検索します。

searchRegionには部署またはドメインのDNを1つだけ指定します。DNを2つ以上指定した場合にはエラーになります。

8.1.4 オブジェクトのリストを取得する

listRmsDomains

■ Java 言語形式

```
String[] listRmsDomains()
```

■ 説明

ドメインのリストを取得します。

■ 解説

ドメインのリストを取得します。

■ 戻り値

ドメインのDNの配列

■ エラー

共通エラーだけです。

listRmsOus

■ Java 言語形式

```
String[] listRmsOus(String domain)
```

■ 説明

ドメインのDNを指定して、指定したドメイン以下の部署のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ domain
ドメインの DN

■ 解説

domainにnullを指定した場合には、すべての部署のリストを返します。また、domainにDNを指定した場合には、そのドメイン以下の部署のリストを返します。ただし、DNで表されるドメインが存在しない場合にはエラーになります。

■ 戻り値

部署のDNの配列

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1202001
指定されたドメインが存在しなかった

listIncludedGroups, listIncludedGroupsByDn

■ Java 言語形式

```
RmsObject[] listIncludedGroups(String id, boolean recursive, int limit,
AttributeId[] attrIds)
```

```
RmsObject[] listIncludedGroupsByDn(String dn, boolean recursive, int limit,
AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

ユーザーやグループのIDまたはDNを指定して、指定したユーザーまたはグループが含まれているグループのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
ユーザーまたはグループの ID
- ・ dn
ユーザーまたはグループの DN
- ・ recursive
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。
- ・ limit
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。

■ 解説

idにはrmsのユーザーまたはグループを指定します。

■ 戻り値

指定されたRMSオブジェクトが含まれているグループの配列

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1200001
指定の ID のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200002
指定の DN のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200003
引数に指定された ID が rms のものではなかった

listAssignedRoles, listAssignedRolesByDn

■ Java 言語形式

```
RmsObject[] listAssignedRoles(String id, boolean recursive, int limit,
AttributeId[] attrIds)
```

```
RmsObject[] listAssignedRolesByDn(String dn, boolean recursive, int limit,
AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

ユーザーやグループのIDまたはDNを指定して、指定したユーザーまたはグループに割り当てられているロールのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
ユーザーまたはグループの ID
- ・ dn
ユーザーまたはグループの DN
- ・ recursive
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。
- ・ limit
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[8.1.1 共通パラメーター\] \(P.86\)](#) を参照してください。

■ 解説

指定のユーザー、またはグループに割り当てられているロールのリストを取得します。

■ 戻り値

指定されたユーザーまたはグループに割り当てられたロールの配列

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1200001
指定の ID のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200002
指定の DN のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200003
引数に指定された ID が rms のものではなかった

8.1.5 検査する

isMemberOfGroup, isMemberOfGroupByDn

■ Java 言語形式

```
boolean isMemberOfGroup(String groupId, String userOrGroupId)
```

```
boolean isMemberOfGroupByDn(String groupDn, String userOrGroupDn)
```

■ 説明

グループのIDまたはDNを指定して、指定したユーザーやグループが含まれているかを確認します。

■ パラメーター

- ・ groupId
チェックしたいグループの ID
- ・ userOrGroupId
groupId で指定されたグループに含まれているかを確認したいユーザー、またはグループの ID
- ・ groupDn
チェックしたいグループの DN
- ・ userOrGroupDn
groupDn で指定されたグループに含まれているかを確認したいユーザー、またはグループの DN

■ 解説

グループの展開は常に再帰的に実行されます。

■ 戻り値

- ・ グループに含まれているか確認したいユーザーもしくはグループが、チェックしたいグループに含まれている場合は true、含まれていない場合は false を返します。
- ・ チェックしたいグループが存在しない場合にはエラーにならず、false を返します。含まれているか確認したいユーザーもしくはグループが存在しないか、null を指定した場合はエラーになります。

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1200001
指定の ID のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200002
指定の DN のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200003
引数に指定された ID が rms のものではなかった

hasRole, hasRoleByDn

Java 言語形式

```
boolean hasRole(String roleId, String userOrGroupId)
```

```
boolean hasRoleByDn(String roleDn, String UserOrGroupDn)
```

説明

ロールのIDまたはDNを指定して、指定したユーザーやグループにロールが割り当てられているかを確認します。

パラメーター

- ・ roleId
チェックしたいロールの ID
- ・ userOrGroupId
roleId で指定されたロールが割り当てられているかを確認したいユーザー、またはグループの ID
- ・ roleDn
チェックしたいロールの DN
- ・ userOrGroupDn
roleId で指定されたロールが割り当てられているかを確認したいユーザー、またはグループの DN

解説

グループの展開は常に再帰的に実行されます。

戻り値

- ・ ロールが割り当てられているか確認したいユーザーもしくはグループが、チェックしたいロールに割り当てられている場合は true、割り当てられていない場合は false を返します。
- ・ チェックしたいロールが存在しない場合にはエラーにならず、false を返します。割り当てられているか確認したいユーザーもしくはグループが存在しないか、null を指定した場合はエラーになります。

エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1200001
指定の ID のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200002
指定の DN のオブジェクトが存在しなかった
- ・ RMS_WEBSVC-1200003
引数に指定された ID が rms のものではなかった

hasLicense

Java 言語形式

```
boolean hasLicense(String componentType)
```

説明

現在のセッションのユーザーに対して、指定したコンポーネントのライセンスが割り当てられているかどうかをチェックします。

■ パラメーター

- ・ componentType
コンポーネント種別
コンポーネント種別として有効な文字列は、次のとおりです。
- ・ docspace (ドキュメントスペース)
- ・ collabo (コラボスペース)
- ・ workflow (ワークフロー)

■ 解説

なし

■ 戻り値

- ・ 指定したコンポーネントに対するライセンスが割り当てられている場合は true、割り当てられていない場合は false を返します。
- ・ 指定したコンポーネントが存在しない場合はエラーになります。

■ エラー

- ・ RMS_WEBSVC-1200004
ログインした状態でこの API を実行したとき、次のどれかに該当する場合
- ・ 指定したコンポーネント種別のアプリケーションがインストールされていない
- ・ コンポーネント種別として無効な文字列が指定された

9 ドキュメント管理インターフェイス

ドキュメント管理インターフェイスとして提供されている操作について説明します。

9.1 プログラムインターフェイス

9.1.1 共通パラメーター

ドキュメント管理インターフェイスで共通のパラメーターは次のとおりです。

パラメーター

- order

リスト結果をソートする属性を指定します。
複数指定した場合、順番にソートします。

補足 ソート対象として、「属性 A、属性 B」と指定した場合、まず属性 A の値でソートし、属性 A の値が同じであるエントリー同士で、属性 B の値でのソートを実行します。

null が指定された場合、ソートしません。その場合、リスト結果の順序は不定です。

長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。

指定した属性が無効な場合、その値は無視されます。

- limit

最大取得数を指定します。

負の数を指定した場合は、サーバー側で設定されている最大取得数制限の値が優先されます。

また、最大取得件数を超える値を指定した場合も、最大取得数制限の値が優先されます。

リスト結果が最大取得数を上回った場合は、最大取得数を超える結果は破棄されます。

最大取得数の指定と同時に order を指定した場合は、ソート済みのリスト結果から最大取得数までの結果を返します。

- attrIds

対象オブジェクトのどの属性を取得するのかを配列で指定します。

null が指定された場合、その対象オブジェクトに対して取得可能なすべての属性を取得します。

長さ 0 の配列が指定された場合、属性を取得しません。

指定した属性が無効な場合、その値は無視されます。

- options

取得オプションを指定します。

オブジェクトを取得するときに属性以外の情報を取得する場合に使用します。指定可能なオプションは次のとおりです。ただし、操作によって有効なオプションが異なります。詳細は各操作の説明を参照してください。

-acl: ACL を取得する場合に指定します。

-defaultAcl: デフォルト ACL を取得する場合に指定します。

-effectivePrivileges: 実効アクセス権を取得する場合に指定します。

-allContentAttributes: バイナリー型のコンテンツ属性を含めた、すべてのコンテンツ属性を取得する場合に指定します。バイナリー型のコンテンツ属性を取得する場合は必ず指定します。

-referenceld: リファレンスの ID を取得する場合に指定します。(リファレンスのみ)

-disusedLocationId: 復元先のオブジェクト ID を取得する場合に指定します。(ごみ箱内オブジェクトのみ)

-resolveRef: リファレンスを解決する場合に指定します。

-errorOnOfflineContent: オフライン状態のコンテンツ取得をエラーにする場合に指定します。

-forPrint: 印刷用コンテンツを取得する場合に指定します。

-rmsObjectDnOnly: RmsObject 型の属性を取得するとき、DN だけ取得する場合に指定します。

-getRepositoryObjects.searchMode: getRepositoryObjects を実行するとき、検索を利用してオブジェクトを取得する場合に指定します。同時に
getRepositoryObjects.searchMode.searchRegion=XXX を指定する必要があります。

-getRepositoryObjects.searchMode.searchRegion=XXX: getRepositoryObjects.searchMode を指定したときの必須オプションです。XXX には検索時のルート要素のオブジェクト ID を指定します。
getRepositoryObjects の引数で指定できるオブジェクト ID は、指定したルート要素以下に存在するオ

プロジェクトである必要があります。ルート要素以下に存在しないオブジェクトを指定した場合、RepositoryObjectsResponse に Failure が格納されます。

- ・ resolveRef

リファレンスを解決するかどうかを指定します。

取得処理において、リファレンス参照先のオブジェクトを取得結果とする場合に、このフラグを有効にします。true を指定した場合は、参照先オブジェクトを取得します。取得対象として、リファレンスが指定された場合だけ有効なオプションです。

- ・ refId

リファレンスを登録するときに指定する参照先オブジェクトを特定するための情報です。

常に同じオブジェクトを参照するリファレンスの場合は、参照先オブジェクトの ID だけを指定します。また、常に最新エディションを参照するリファレンスの場合は、キャビネットの ID とエディションキーの両方を指定します。

オブジェクト ID

オブジェクトIDとは、ドキュメント管理サービスが管理しているキャビネットやドロワー、ドキュメントなどのオブジェクトを識別するためのものです。

オブジェクトIDは、オブジェクトを取得するとき、または、操作対象のオブジェクトを指定するときに使用します。また、オブジェクトIDは、取得したオブジェクトにも含まれています。

ドキュメント管理インターフェイスでは、ドキュメント管理サービスのオブジェクトIDに接頭辞「rep:」を追加して使用します。

使用できるオブジェクトIDは次のとおりです。

オブジェクト	オブジェクトID
サービス	rep: {サービスID} 補足 例: rep:service1
キャビネット	rep: {サービスID} : {キャビネットID} 補足 例: rep:service1:cabinetA
ドロワー、フォルダー、ドキュメントまたはリファレンス	rep: {サービスID} : {キャビネットID} : {リポジトリID} 補足 例: rep:service1:cabinet:123456789012345
リビジョン番号を指定したドキュメントまたはリファレンス	rep: {サービスID} : {キャビネットID} : {リポジトリID} : {リビジョン番号} 補足 例: rep:service1:cabinetA:123456789012345:2

参照 ドキュメント管理サービスのオブジェクト ID については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

属性 ID

属性IDとはドキュメント管理サービスが管理しているオブジェクトの属性を識別するためのものです。属性IDの形式は、[\[3.2.2 属性識別子形式 \(Attributeld\) | \(P.40\)\]](#)にあるように、ネームスペースと、ネームスペースにおいて一意な名前前で構成されています。

属性IDは、取得、登録、または属性を変更するときに使用します。また、属性IDは、取得したオブジェクトにも含まれます。

属性IDのネームスペースおよび名前は次のとおりです。

属性ID	ネームスペース	名前
システム属性の属性ID	rep 補足 インターフェイスのパラメーターとして使用する場合は、省略できます。	system: {属性の名前} 補足 例: system:name
ユーザー属性の属性ID	rep 補足 インターフェイスのパラメーターとして使用する場合は、省略できます。	user: {定義された属性の名前} または {定義されたネームスペース} : {定義された属性の名前} 補足 例: user:personInCharge

I18nString

ドキュメント管理インターフェイスでI18nStringとして扱うものについて説明します。

■ アトム

ドキュメント管理サービスでは、「コンテンツラベル」や「オブジェクトカテゴリ」を「アトム」として扱います。

「アトム」は、I18nStringとして扱います。

アトム型属性の属性の値もI18nStringです。

アトムを表すI18nStringのネームスペースおよび名前は次のとおりです。

アトム	ネームスペース	名前
システム属性のアトム	rep 補足 インターフェイスのパラメーターとして使用する場合は、省略できます。	system: {アトム名} 補足 例: system:primary
ユーザー属性のアトム	rep 補足 インターフェイスのパラメーターとして使用する場合は、省略できます。	user: {定義されたアトム名} または {定義されたネームスペース} : {定義されたアトム名} 補足 例: user:custome

参照 表の「名前」欄の詳細は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

■ アクセス権

アクセス権の「権利」と「ロールタイプ」はI18nStringとして扱います。

権利とロールを表すI18nStringのネームスペースおよび名前は次のとおりです。

アクセス権	ネームスペース	名前
権利	rep 補足 インターフェイスのパラメーターとして使用する場合は、省略できます。	{権利名} 補足 例：getAttributePrivilege
ロールタイプ	rep 補足 インターフェイスのパラメーターとして使用する場合は、省略できます。	everyoneまたはothers

参照 表の「名前」欄の詳細は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

■ クラス ID

クラスIDとは、ドキュメント管理サービスのクラスを識別するIDです。オブジェクトを新規登録する、またはオブジェクトのクラスを変更するときに、クラスIDを指定します。

クラスIDと、I18nStringのネームスペースおよび名前は次のとおりです。

クラスID	ネームスペース	名前
クラスなし	rep	CLASS_NONE
デフォルトクラス	rep	CLASS_DEFAULT
{定義されたクラス}	rep	{定義されたクラスのアトムの名前} 補足 例：user:customerNo

また、オブジェクトの「クラス」属性の属性値もI18nStringです。

オブジェクトを取得する、更新する、または検索するときに、「クラス」属性の属性値を指定します。ただし、検索条件の属性値に、「クラスなし」と「デフォルトクラス」を使用した場合は無視されます。

クラスIDと「クラス」属性の属性値は次のとおりです。

クラスID	「クラス」属性の属性値
クラスなし	null
デフォルトクラス	指定できません
{定義されたクラス}	{定義されたクラスのアトムの名前} 補足 例：user:customerNo

9.1.2 オブジェクトを取得する

getRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject getRepositoryObject(String id, boolean resolveRef,  
AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ resolveRef
リファレンス参照解決フラグ
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceld, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ id には、キャビネット、ドロワー、フォルダー、ドキュメント、またはリファレンスの ID が指定できません。
- ・ id がリファレンスの場合は、resolveRef を true にすると参照先オブジェクトを取得できます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、実効アクセス権、およびリファレンス ID の取得を指定できます。
- ・ キャビネットの管理情報は取得できません。
- ・ コンテンツは取得できません（取得するには getRepositoryObjectContent を使用します）。

■ 戻り値

オブジェクト（指定した属性やアクセス権を含む）

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

- ・ ARCSUITE_WS-08305028
オブジェクトが見つからない場合（存在しないかアクセス権がない場合）

■ 備考

特にありません。

getRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
RepositoryObjectsResponse getRepositoryObjects(String[] ids, boolean resolveRef, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、オブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ ids
取得するオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ resolveRef
リファレンス参照解決フラグ
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceld, rmsObjectDnOnly, getRepositoryObjects.searchMode, getRepositoryObjects.searchMode.searchRegion=XXX

■ 解説

- ・ 詳細に関しては、[\[9.1.2 オブジェクトを取得する\] \(P.103\)](#) の [\[getRepositoryObject\] \(P.103\)](#) を参照してください。
- ・ リファレンス参照解決フラグ (resolveRef)、取得する属性 (attrIds)、取得オプション (options) は、指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功したオブジェクトを格納した配列（ID を指定した順番で格納されます）
- ・ 取得に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット（Failure）を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合

- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合（存在しないかアクセス権がない場合）

■ 備考

特にありません。

getRepositoryObjectByEditionNumber

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject getRepositoryObjectByEditionNumber(String cabinetId,
Attribute[] editionKey,int editionNumber,boolean resolveRef, AttributeId[]
attrIds, String[] options)
```

■ 説明

キャビネットのID、エディションキー、およびエディション番号を指定して、オブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ cabinetId
対象とするキャビネットの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ editionKey
エディションキー
null や空の配列、不正な属性を指定した場合はエラーになります。
- ・ editionNumber
エディション番号
0 を指定すると最新エディションを取得します。
- ・ resolveRef
リファレンス参照解決フラグ
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceId, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ フォルダー、ドキュメント、またはリファレンスが取得できます（エディション管理できるもの）。
- ・ id がリファレンスの場合、参照先オブジェクトを取得できます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、実効アクセス権、およびリファレンス ID の取得を指定できます。
- ・ コンテンツは取得できません（取得するには getRepositoryObjectContent を使用します）。

■ 戻り値

- ・オブジェクト（指定した属性やアクセス権を含む）
- ・存在しないエディション番号やエディションキーを指定した場合は null が戻ります。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305002
キャビネット ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
キャビネット ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
キャビネット ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305004
エディションキーが指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
エディションキーに指定された属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
エディションキーに指定された属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
エディションキーに指定された属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
エディションキーに存在しない属性が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

getRepositoryObjectByEditionLabel

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject getRepositoryObjectByEditionLabel(String cabinetId, Attribute[]  
editionKey, String editionLabel, boolean resolveRef, AttributeId[] attrIds,  
String[] options)
```

■ 説明

キャビネットのID、エディションキー、およびエディションラベルを指定して、オブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ cabinetId
対象とするキャビネットの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ editionKey
エディションキー
null や空の配列、不正な属性を指定した場合はエラーになります。
- ・ editionLabel
エディションラベル
null を指定すると最新エディションを取得します。

- ・ resolveRef
リファレンス参照解決フラグ
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceId, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ フォルダー、ドキュメント、リファレンスを指定できません（エディション管理できるもの）。
- ・ id がリファレンスの場合、参照先オブジェクトを取得できます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、実効アクセス権、およびリファレンス ID の取得を指定できます。
- ・ コンテンツは取得できません（取得するには `getRepositoryObjectContent` を使用します）。

■ 戻り値

- ・ オブジェクト（指定した属性やアクセス権を含む）
- ・ 存在しないエディション番号やエディションキーを指定した場合は null が戻ります。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305002
キャビネット ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
キャビネット ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
キャビネット ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305004
エディションキーが指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
エディションキーに指定された属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
エディションキーに指定された属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
エディションキーに指定された属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
エディションキーに存在しない属性が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

getRepositoryObjectByRevisionNumber

Java 言語形式

```
RepositoryObject getRepositoryObjectByRevisionNumber(String id, int  
revisionNumber, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

説明

オブジェクトのIDとリビジョン番号を指定して、オブジェクトを取得します。

パラメーター

- ・ id
取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ revisionNumber
リビジョン番号
1 以上か -1 だけが指定可能で、それ以外を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, rmsObjectDnOnly

解説

- ・ 作業オブジェクトを取得する場合は -1 を指定します。
- ・ ドキュメントを指定できます (リビジョン管理できるもの)。
- ・ 取得する属性 (システム属性 / ユーザー属性) が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、および実効アクセス権の取得を指定できます。
- ・ コンテンツは取得できません (取得するには getRepositoryObjectContent を使用します)。

戻り値

オブジェクト (指定した属性やアクセス権を含む)

エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305012
不正なリビジョン番号が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合 (存在しないかアクセス権がない場合)

■ 備考

特にありません。

getRepositoryObjectPath

■ Java 言語形式

```
RepositoryObjectPath getRepositoryObjectPath(String id, AttributeId[] attrIds,
String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトのパス情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ id
取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ パス情報には、親のオブジェクトからキャビネットまでのオブジェクトが含まれます。ただし、途中でアクセス権のないオブジェクトがあれば、その直前のオブジェクトまでがパス情報に含まれます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、および実効アクセス権の取得を指定できます。
- ・ キャビネットの管理情報は取得できません。
- ・ コンテンツは取得できません（getRepositoryObjectContent を使用してください）

■ 戻り値

パス情報

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合（存在しないかアクセス権がない場合）

■ 備考

特にありません。

■ RepositoryObjectPath の解説

RepositoryObjectPathには次の要素が含まれます。

- ・ objects
RepositoryObject の配列
0 番目の要素が id で指定したオブジェクトの親オブジェクトとなり、それ以降、キャビネットまでのオブジェクトが含まれています。ただし、途中でアクセス権のないオブジェクトがあれば、その直前までのオブジェクトまでが含まれています。
- ・ fullPath
取得したパス情報が正確かどうか
キャビネットまでの正確なパスであれば true、そうでなければ false になります。

getRepositoryObjectPaths

■ Java 言語形式

```
RepositoryObjectPathsResponse getRepositoryObjectPaths(String[] ids,
AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、オブジェクトのパス情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ ids
パス情報を取得するオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ ID の配列を指定してオブジェクトのパス情報を取得します。詳細に関しては、[\[9.1.2 オブジェクトを取得する\] \(P.103\)](#) の [\[getRepositoryObjectPath\] \(P.109\)](#) を参照してください。
- ・ 取得する属性 (attrIds)、取得オプション (options) は、指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功したパス情報を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 取得に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合

- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合（存在しないかアクセス権がない場合）

■ 備考

特にありません。

9.1.3 コンテントを取得する

getRepositoryObjectContent

■ Java 言語形式

```
Content getRepositoryObjectContent(String id, I18nString[] contentLabels)
```

■ 説明

オブジェクトのIDとコンテンツラベルの配列とを指定して、コンテンツを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
コンテンツを取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ contentLabels
コンテンツラベルの配列
null を指定した場合はエラーになります。

参照 コンテントラベルの詳細については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

■ 解説

- ・ 指定されたコンテンツラベルの中で、最初にヒットしたものが結果になります。
- ・ コントロールダウンロード機能が有効な場合、印刷権のないコンテンツは印刷不可の DocuWorks 文書または PDF ファイルに変換されます。詳細は、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「コントロールダウンロード機能フラグ」を参照してください。

■ 戻り値

- ・ コンテント（データとコンテンツ属性。ただし、バイナリー型のコンテンツ属性は除きます。）
- ・ 指定されたオブジェクトがコンテンツを保持していない場合は null が戻ります。
- ・ アーカイブ保存後におけるオフライン状態のコンテンツを取得しようとした場合も null が戻ります。
- ・ id に、キャビネット、ドロワー、またはフォルダーが指定された場合も null が戻ります。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合

- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305003
コンテンツラベルが指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305025
使用するファイルフォーマット変換サービスが特定できなかった場合
- ・ DREP_API-41260008
ID にサービスの ID が指定された場合
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合（存在しないかアクセス権がない場合）

■ 備考

取得したContentオブジェクトからjava.io.InputStreamを利用した場合、後続のAPIを呼び出す前にInputStreamを必ずcloseしてください。closeせずに後続のAPIを呼び出すと、後続のAPIの処理が2度実行されることがあります。

getRepositoryObjectContentWithOptions

■ Java 言語形式

```
Content getRepositoryObjectContentWithOptions(String id, I18nString[]  
contentLabels, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのID、コンテンツラベルの配列、および取得オプションを指定して、コンテンツを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
コンテンツを取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ contentLabels
コンテンツラベルの配列
null を指定した場合はエラーになります。

参照 コンテントラベルの詳細については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

- ・ options
取得オプション。詳細は [\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：resolveRef, errorOnOfflineContent, forPrint, allContentAttributes

■ 解説

- ・ 指定されたコンテンツラベルの中で、最初にヒットしたものが結果になります。
- ・ コントロールダウンロード機能が有効な場合、印刷権のないコンテンツは印刷不可の DocuWorks 文書または PDF ファイルに変換されます。詳細は [\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#) の表にある「コントロールダウンロード機能フラグ」を参照してください。
- ・ id がリファレンスの場合、resolveRef で参照先オブジェクトのコンテンツを取得するかどうかを指定できます。
- ・ errorOnOfflineContent で取得しようとしたコンテンツが、アーカイブ保存後におけるオフライン状態だった場合、戻り値を null にするか、エラーにするかを指定できます。

- ・ forPrint で印刷用コンテンツを取得するかどうか (getRepositoryObjectContentForPrint と同様の動作とするかどうか) を指定できます。

■ 戻り値

- ・ コンテンツ (データとコンテンツ属性。ただし、allContentAttributes オプションを指定しない場合は、バイナリー型のコンテンツ属性は除きます。)
- ・ 指定されたオブジェクトがコンテンツを保持していない場合は null が戻ります。
- ・ id に、キャビネット、ドロワー、またはフォルダーが指定された場合も null が戻ります。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305003
コンテンツラベルが指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305025
使用するファイルフォーマット変換サービスが特定できなかった場合
- ・ DREP_API-41260008
ID にサービスの ID が指定された場合
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合 (存在しないかアクセス権がない場合)

■ 備考

取得したContentオブジェクトからjava.io.InputStreamを利用した場合、後続のAPIを呼び出す前にInputStreamを必ずcloseしてください。closeせずに後続のAPIを呼び出すと、後続のAPIの処理が2度実行されることがあります。

getRepositoryObjectContentForPrint

■ Java 言語形式

```
Content getRepositoryObjectContentForPrint(String id, I18nString[]
contentLabels)
```

■ 説明

オブジェクトのIDとコンテンツラベルの配列とを指定して、印刷用のコンテンツを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
コンテンツを取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ contentLabels
コンテンツラベルの配列
null を指定した場合はエラーになります。

参照 コンテントラベルの詳細については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

■ 解説

- ・ 指定されたコンテンツラベルの中で、最初にヒットしたものが結果になります。
- ・ `getRepositoryObjectContent` と異なり、`getRepositoryObjectContentForPrint` はコンテンツを取得するアクセス権に印刷権が必要になります。
- ・ 印刷サービス特権が有効な場合だけ使用できます。

■ 戻り値

- ・ コンテンツ（データとコンテンツ属性。ただし、バイナリー型のコンテンツ属性は除きます。）
- ・ 指定されたオブジェクトがコンテンツを保持していないときは `null` が戻ります。
- ・ アーカイブ保存後におけるオフライン状態のコンテンツを取得しようとしたときも `null` が戻ります。
- ・ `id` に、キャビネット、ドロワー、またはフォルダーが指定された場合も `null` が戻ります。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305003
コンテンツラベルが指定されなかった場合
- ・ DREP_API-41260008
ID にサービスの ID が指定された場合
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合（存在しないかまたはアクセス権がない場合）

■ 備考

取得したContentオブジェクトから`java.io.InputStream`を利用した場合、後続のAPIを呼び出す前に`InputStream`を必ず`close`してください。closeせずに後続のAPIを呼び出すと、後続のAPIの処理が2度実行されることがあります。

getRepositoryObjectThumbnailContent

■ Java 言語形式

```
Content getRepositoryObjectThumbnailContent(String id, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、対象の先頭ページサムネイルを取得します。

■ パラメーター

- ・ `id`
オブジェクトの ID
`null` や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ `options`
取得オプション
有効なオプション：`resolveRef`

■ 解説

- ・ オブジェクトの ID を指定して、対象の先頭ページサムネイルを取得します。
- ・ 取得するときは、ドキュメント管理サービスに対して、「内容取得（表示用）」操作を実行します。評価されるアクセス権などが `getRepositoryObjectContent` などとは異なります。
- ・ `getRepositoryObjectContent` などでは、コントロールダウンロード機能が有効かどうかによって取得されるコンテンツが異なりますが、このメソッドでは同じ結果が返ります。

■ 戻り値

- ・ 先頭ページサムネイルのコンテンツ
- ・ 指定したオブジェクトが先頭ページサムネイルを持たないときは、`null` が返ります。
- ・ `id` に、キャビネット、ドロワー、またはフォルダーが指定された場合も `null` が返ります。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ID にサービスの ID が指定された場合
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305028
指定されたオブジェクトが見つからない場合（存在しないかまたはアクセス権がない場合）

■ 備考

取得したContentオブジェクトから`java.io.InputStream`を利用した場合、後続のAPIを呼び出す前に`InputStream`を必ず`close`してください。closeせずに後続のAPIを呼び出すと、後続のAPIの処理が2度実行されることがあります。

9.1.4 オブジェクトのリストを取得する

listRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject[] listRepositoryObjects(String id, I18nString[] filter, boolean latestOnly, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、子要素のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ `id`
リストを取得するオブジェクトの ID
`null` や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ `filter`
オブジェクトタイプフィルタ
未指定の場合はすべてのオブジェクトタイプを取得します。

- ・ latestOnly
最新版取得フラグ
true の場合、エディション管理されているオブジェクトは最新版だけ取得します。
- ・ order
ソート条件
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ limit
最大取得数
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceId, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ id には、サービス、キャビネット、ドロワー、またはフォルダーの ID を指定できます。
- ・ キャビネット、ドロワー、基本オブジェクトのリストが取得できます。
- ・ 取得するオブジェクトタイプを指定できます。
- ・ エディションの取得モード（最新 / 全部）を指定できます。
- ・ ソート条件を指定できます。
- ・ 最大取得数を設定できます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）を指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、実効アクセス権、およびリファレンス ID の取得を指定できます。

■ 戻り値

オブジェクト（指定した属性やアクセス権を含む）の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
ソート条件に指定された属性名が不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
ソート条件に存在しない属性が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

listRepositoryObjectIds

Java 言語形式

```
String[] listRepositoryObjectIds(String id, I18NString[] filter, boolean latestOnly, SortItem[] order, int limit, String[] options)
```

説明

オブジェクトの子要素のリストを取得します。

戻り値はオブジェクトのIDだけです。

サーバー側の最大取得数は、com.fujifilm.fb.arcsuite.ws.maxItemCountではなくcom.fujifilm.fb.arcsuite.ws.maxIdCountによって制限されます。

パラメーター

- ・ id
リストを取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ filter
オブジェクトタイプフィルタ
未指定の場合は、すべてのオブジェクトタイプを取得します。
- ・ latestOnly
最新版取得フラグ
true の場合、エディション管理されているオブジェクトは最新版だけ取得します。
- ・ order
ソート条件
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ limit
最大取得数
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：なし

解説

- ・ id には、サービス、キャビネット、ドロワー、またはフォルダーの ID を指定できます。
- ・ キャビネット、ドロワー、基本オブジェクトのリスト (ID のみ) が取得できます。
- ・ 取得するオブジェクトタイプを指定できます。
- ・ エディションの取得モード (最新 / 全部) を指定できます。
- ・ ソート条件を指定できます。
- ・ 最大取得数を設定できます。

戻り値

オブジェクトのIDの配列

エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合

- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
ソート条件に指定された属性名が不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
ソート条件に存在しない属性が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

searchRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject[] searchRepositoryObjects(AttributeSearchCondition
attrCondition, TextSearchCondition textCondition, SearchMode mode, SearchOption
option, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

属性検索条件と全文検索条件を指定して、オブジェクトを検索します。

■ パラメーター

- ・ attrCondition
属性検索条件
検索条件に、無効な属性または式が含まれていた場合、エラーになります。
- ・ textCondition
全文検索条件
無効な条件が含まれていた場合、エラーになります。
- ・ mode
属性検索条件とテキスト検索条件の結合モード (AND/OR)
null を指定した場合は AND になります。
- ・ option
検索オプション (タイプ指定、検索範囲、および全文検索モード)
null を指定した場合はエラーになります。
 - ・ タイプ指定 (searchTypes)
オプションのパラメーターです。
オブジェクトの種類を示すオブジェクトカテゴリを指定します。属性条件にもオブジェクトカテゴリを指定できます。
null の場合はすべてのカテゴリが対象になります。
 - ・ 検索範囲 (searchRegion)
必須のパラメーターです。null の場合はエラーになります。
検索の基点となるオブジェクトの ID を指定します。基点となる ID は複数指定できます。ID を 1 つだけ指定した場合、階層の深さ (depth) を指定できます。階層の深さを指定しない場合は、depth に 0 以下の値を指定します。
複数の ID を指定した場合は、指定した ID の下位の階層を検索します。
 - ・ 全文検索モード (textSearchMode)
オプションのパラメーターです。
全文検索のモードとして次のどれかを指定することができます。
null を指定した場合は NONE になります。
 - ・ THESAURUS：シソーラス辞書を使用した類義語検索を実行します。

- ・ STEMMING：英単語変化形検索を実行します。
- ・ NONE：類義語検索も英単語変化形検索も実行しない全文検索を実行します。
- ・ order
ソート条件
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ limit
最大取得数
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceld, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ 属性検索条件と全文検索条件を指定できます。
- ・ 検索範囲としてキャビネット、ドロワー、またはフォルダーの ID を指定できます。
- ・ ソート条件を指定できます。
- ・ 最大取得数を設定できます。
- ・ 取得する属性（システム / ユーザー）を指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、実効アクセス権、およびリファレンス ID の取得を指定できます。

■ 戻り値

オブジェクト（指定した属性やアクセス権を含む）の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305016
検索条件が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305017
検索オプションが指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305018
検索範囲が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
検索範囲として指定された ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
検索範囲として指定された ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
検索範囲に指定された複数の ID が、同じキャビネット内の ID ではなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性検索条件、ソート条件の属性名が不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
属性検索条件、ソート条件に存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性検索条件の属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性検索条件の属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合

- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ attrCondition の解説

検索条件に指定できる属性は、[\[付録A 送信するリクエストの上限値の設定\] \(P.273\)](#) [\[表：属性情報一覧\]](#) の表でネームスペースが「rep」で「searchable」が「○」の属性です。

検索対象の属性のデータ型に応じて、使用できるオペレーターが異なります。

- 参照**
- ・ 検索条件に指定できる属性は、[\[付録 A 送信するリクエストの上限値の設定\] \(P.273\)](#) を参照してください。
 - ・ 検索対象の属性のデータ型と使用可能なオペレーターの組み合わせは、[\[付録 P データ型と検索オペレーター\] \(P.348\)](#) を参照してください。

LIKE, LIKE_IGNORE_CASE, NOT_LIKE, NOT_LIKE_IGNORE_CASE, CONTAINSを指定した検索の場合、条件文字列中に、ワイルドカード（「*」 任意の文字列にマッチ、「?」 任意の1文字にマッチ）を使用できません。

すべてのオペレーターにおいて、条件文字列中の「¥」はエスケープ文字として扱われます。

「¥」、「*」、または「?」そのものを条件文字列に含めたい場合は、それぞれ「¥¥」、「¥*」、「¥?」と指定してください。

■ textCondition の解説

TextCondition、TextAndCondition、TextNotCondition、およびTextOrConditionが使用できます。TextConditionのWordListに含まれている検索語で全文検索をします。

■ 備考

特にありません。

searchRepositoryObjectIds

■ Java 言語形式

```
String[] searchRepositoryObjectIds(AttributeSearchCondition attrCondition,
TextSearchCondition textCondition, SearchMode mode, SearchOption option,
SortItem[] order, int limit, String[] options)
```

■ 説明

属性検索条件と全文検索条件を指定して、オブジェクトを検索します。

戻り値はオブジェクトのIDだけです。

サーバー側の最大取得数は、com.fujifilm.fb.arcsuite.ws.maxItemCountではなくcom.fujifilm.fb.arcsuite.ws.maxIdCountによって制限されます。

■ パラメーター

- ・ attrCondition
属性検索条件
検索条件に、無効な属性または式が含まれていた場合、エラーになります。
- ・ textCondition
全文検索条件
無効な条件が含まれていた場合、エラーになります。
- ・ mode
属性検索条件とテキスト検索条件の結合モード（AND/OR）
null を指定した場合は AND になります。

- option

検索オプション (タイプ指定、検索範囲、および全文検索モード)

null を指定した場合はエラーになります。

- ・タイプ指定 (searchTypes)
オプションのパラメーターです。
オブジェクトの種類を示すオブジェクトカテゴリを指定します。属性条件にもオブジェクトカテゴリを指定できます。
null の場合はすべてのカテゴリが対象になります。
- ・検索範囲 (searchRegion)
必須のパラメーターです。null の場合はエラーになります。
検索の基点となるオブジェクトの ID を指定します。基点となる ID は複数指定できます。
ID を 1 つだけ指定した場合、階層の深さ (depth) を指定できます。階層の深さを指定しない場合は、depth に 0 以下の値を指定します。
複数の ID を指定した場合は、指定した ID の下位の階層を検索します。
- ・全文検索モード (textSearchMode)
オプションのパラメーターです。
全文検索のモードとして次のどれかを指定できます。
null を指定した場合は NONE になります。
- ・THESAURUS：シソーラス辞書を使用した類義語検索を実行します。
- ・STEMMING：英単語変化形検索を実行します。
- ・NONE：類義語検索も英単語変化形検索も実行しない全文検索を実行します。

- order

ソート条件

[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。

- limit

最大取得数

[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。

- options

取得オプション

[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。

有効なオプション：なし

■ 解説

- ・属性検索条件と全文検索条件を指定できます。
- ・検索範囲としてキャビネット、ドロワー、またはフォルダーの ID を指定できます。
- ・ソート条件を指定できます。
- ・最大取得数を設定できます。

■ 戻り値

オブジェクトのIDの配列

■ エラー

- ・ARCSUITE_WS-08305016
検索条件が指定されなかった場合
- ・ARCSUITE_WS-08305017
検索オプションが指定されなかった場合
- ・ARCSUITE_WS-08305018
検索範囲が指定されなかった場合
- ・ARCSUITE_WS-08305010
検索範囲として指定された ID の接頭辞が「rep」以外の場合

- ・ DREP_GENERAL-41110012
検索範囲として指定された ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
検索範囲に指定された複数の ID が、同じキャビネット内の ID ではなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性検索条件、ソート条件の属性名が不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
属性検索条件、ソート条件に存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性検索条件の属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性検索条件の属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ attrCondition の解説

[\[■ attrCondition の解説 | \(P.120\)\]](#) を参照してください。

■ textCondition の解説

[\[■ textCondition の解説 | \(P.120\)\]](#) を参照してください。

■ 備考

特にありません。

listRepositoryObjectRevisions

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject[] listRepositoryObjectRevisions(String id, AttributeId[]  
attrIds, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトの ID を指定して、リビジョンのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター | \(P.99\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター | \(P.99\)\]](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ ドキュメントの ID が指定できます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、および実効アクセス権の取得を指定できます。

- ・コンテンツは取得できません（取得するには `getRepositoryObjectContent` を使用します）。

■ 戻り値

履歴オブジェクト（指定した属性やアクセス権を含む）の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

listRepositoryObjectHardReferences

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject[] listRepositoryObjectHardReferences(String id, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトを参照しているハードリファレンスのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ id
ハードリファレンスのリストを取得するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceId, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、実効アクセス権、およびリファレンス ID の取得を指定できます。

■ 戻り値

ハードリファレンス（指定した属性やアクセス権を含む）の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合

- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

listRepositoryObjectsInRecycleBin

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject[] listRepositoryObjectsInRecycleBin(String cabinetId, boolean useDisusedByFilter, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

キャビネットのIDを指定して、ごみ箱にあるオブジェクトのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ cabinetId
対象とするキャビネットの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ useDisusedByFilter
自分が削除したオブジェクトだけを対象とするかどうか
自分が削除したオブジェクトのリストだけを取得する場合は true を指定します。
- ・ order
ソート条件
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ limit
最大取得数
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
有効なオプション：acl, defaultAcl, effectivePrivileges, referenceId, disusedLocationId, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ useDisusedByFilter を使用することで自分が削除したオブジェクトのリストだけを取得できます。
- ・ ソート条件が指定できます。
- ・ 最大取得数が設定できます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）が指定できます。
- ・ アクセス権、デフォルトアクセス権、実効アクセス権、リファレンス ID、および復元先のオブジェクトの ID の取得を指定できます。

■ 戻り値

ごみ箱内オブジェクト（指定した属性やアクセス権、復元先を含む）の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
ソート条件に指定された属性名が不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
ソート条件に存在しない属性が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

listRepositoryObjectsCheckedout

■ Java 言語形式

```
RepositoryObject[] listRepositoryObjectsCheckedout (String id, SortItem[] order,
int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、そのオブジェクトのIDより下の階層にあるオブジェクトから、実行ユーザーがチェックアウトしているオブジェクトのリストを取得します。

ただし、対象は作業オブジェクトではなく、最新のレビジョンになります。

■ パラメーター

- ・ id
ルート要素を表す ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ order
ソート条件
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ limit
最大取得数
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
取得する属性
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプション
有効なオプション：acl, effectivePrivileges, rmsObjectDnOnly

■ 解説

- ・ id には、キャビネット、ドロワー、またはフォルダーの ID を指定できます。
- ・ 取得されるのはチェックアウトされているオブジェクトです。そのため、オブジェクトタイプはドキュメントだけになります。
- ・ ソート条件を指定できます。
- ・ 最大取得数を設定できます。
- ・ 取得する属性（システム属性 / ユーザー属性）を指定できます。
- ・ アクセス権、実効アクセス権の取得を指定できます。
- ・ リファレンス ID の取得を指定できます。
- ・ 対象は作業オブジェクトではなく、最新のリビジョンです。したがって、ソートを指定した場合の処理対象になる属性や、戻り値のオブジェクトから取得される属性は、作業オブジェクトの情報ではなく、最新のリビジョンの情報になります。

■ 戻り値

オブジェクト（指定した属性やアクセス権を含む）の配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
ソート条件に指定された属性名が不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
ソート条件に存在しない属性が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

9.1.5 オブジェクトを新規登録する

putDocument

■ Java 言語形式

```
String putDocument(String locationId, String nextId, String name, Attribute[]  
attrs, Ace[] acl, Content[] contents, String comment, boolean  
disposalOfEditionKey, boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

ドキュメントの名前や属性などを指定して、デフォルトクラスのドキュメントを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先オブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいドキュメントの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。
- ・ name
登録するドキュメントの名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrs
登録するドキュメントの属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。
- ・ acl
登録するドキュメントの ACL
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ contents
登録するドキュメントのコンテンツ
null の場合、コンテンツは登録されません。
- ・ comment
初期レビューのコメント
null の場合、コメントは登録されません。
- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
true の場合、エディションキー属性を破棄します。
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか
true の場合、ユニークキー属性を破棄します。

■ 解説

テキスト形式のファイルを登録する場合、コンテンツタイプに文字セット (charset) が指定されていなければ、登録されているファイルを読み込み、文字セットを自動判定します。

■ 戻り値

登録したドキュメントの ID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合

- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305008
不正なコンテンツが指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

putDocumentWithClass

■ Java 言語形式

```
String putDocumentWithClass(String locationId, String nextId, String name,
    I18nString classId, Attribute[] attrs, Ace[] acl, Content[] contents, String
    comment, boolean disposalOfEditionKey, boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

クラスのIDやドキュメントの名前などを指定して、指定したクラスのドキュメントを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先オブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいドキュメントの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。
- ・ name
登録するドキュメントの名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ classId
登録するドキュメントのクラス
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) の [「\[■クラス ID\] \(P.102\)」](#) を参照してください。
デフォルトクラスを指定する場合は「CLASS_DEFAULT」を指定します。
クラスなしを指定する場合は「CLASS_NONE」を指定します。
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrs
登録するドキュメントの属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。

- ・ acl
登録するフォルダーの ACL
省略した場合は登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ contents
登録するドキュメントのコンテンツ
null の場合、コンテンツは登録されません。
- ・ comment
初期リビジョンのコメント
null の場合、コメントは登録されません。
- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
true の場合、エディションキー属性を破棄します。
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか
true の場合、ユニークキー属性を破棄します。

■ 解説

指定されたクラスのドキュメントを登録します。

■ 戻り値

登録したドキュメントの ID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305030
クラス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
クラス ID に存在しないアトムが指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合

- ・ ARCSUITE_WS-08305008
不正なコンテンツが指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

putFolder

■ Java 言語形式

```
String putFolder(String locationId, String nextId, String name, Attribute[]  
attrs, Ace[] defaultAcl, Ace[] acl, boolean disposalOfEditionKey, boolean  
disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

フォルダーの名前や属性などを指定して、デフォルトクラスのフォルダーを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先オブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいフォルダーの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。
- ・ name
登録するフォルダーの名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrs
登録するフォルダーの属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。
- ・ defaultAcl
登録するフォルダーのデフォルト ACL
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が継承されます。
- ・ acl
登録するフォルダーの ACL
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか

■ 解説

デフォルトクラスのフォルダーを登録します。

■ 戻り値

登録したフォルダーのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL/ デフォルト ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL/ デフォルト ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL/ デフォルト ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

putFolderWithClass

■ Java 言語形式

```
String putFolderWithClass(String locationId, String nextId, String name,
    Integer classId, Attribute[] attrs, Ace[] defaultAcl, Ace[] acl,
    boolean disposalOfEditionKey, boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

クラスのIDやフォルダーの名前などを指定して、指定したクラスのフォルダーを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先オブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいフォルダーの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。

- ・ name
登録するフォルダーの名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ classId
登録するフォルダーのクラス
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) の [「\[■クラス ID\] \(P.102\)」](#) を参照してください。
デフォルトクラスを指定する場合は「CLASS_DEFAULT」を指定します。
クラスなしを指定する場合は「CLASS_NONE」を指定します。
null を指定した場合は、エラーになります。
- ・ attrs
登録するフォルダーの属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。
- ・ defaultAcl
登録するフォルダーのデフォルト ACL
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が継承されます。
- ・ acl
登録するフォルダーの ACL
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか

■ 解説

指定したクラスのフォルダーを登録します。

■ 戻り値

登録したフォルダーのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305030
クラス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合

- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
クラス ID に存在しないアトムが指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL/ デフォルト ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL/ デフォルト ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL/ デフォルト ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

putReference

■ Java 言語形式

```
String putReference(String locationId, String nextId, String name,
Attribute[] attrs, AttributeId[] copyAttrs, Ace[] acl, ReferenceId refId,
boolean disposalOfEditionKey, boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

通常リファレンスの名前や属性などを指定して、デフォルトクラスの通常リファレンスを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先オブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいリファレンスの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。
- ・ name
登録するリファレンスの名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrs
登録するリファレンスの属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。
- ・ copyAttrs
リファレンス先からコピーする属性
null を指定した場合はコピーされません。
- ・ acl
登録する ACL の属性
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ refId
リファレンス ID
null を指定した場合はエラー
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。

- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか

■ 解説

デフォルトクラスの通常リファレンスを登録します。

■ 戻り値

登録したリファレンスのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305015
リファレンス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305011
不正なリファレンス ID が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

putReferenceWithClass

■ Java 言語形式

```
String putReferenceWithClass(String locationId, String nextId, String name,
    I18nString classId, Attribute[] attrs, AttributeId[] copyAttrs, Ace[] acl,
    ReferenceId refId, boolean disposalOfEditionKey, boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

通常リファレンスのクラスや名前、属性などを指定して、指定したクラスの通常リファレンスを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先のオブジェクト ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいリファレンスの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。
- ・ name
登録するリファレンスの名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ classId
登録するリファレンスのクラス
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) の「[\[クラス ID\] \(P.102\)](#)」を参照してください。
デフォルトクラスを指定する場合は「CLASS_DEFAULT」を指定します。
クラスなしを指定する場合は「CLASS_NONE」を指定します。
null を指定した場合は、エラーになります。
- ・ attrs
登録するリファレンスの属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。
- ・ copyAttrs
リファレンス先からコピーする属性
null を指定した場合はコピーされません。
- ・ acl
登録する ACL の属性
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ refId
リファレンス ID
null を指定した場合はエラー
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか

■ 解説

指定されたクラスの通常リファレンスを登録します。

■ 戻り値

登録したリファレンスのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305030
クラス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
クラス ID に存在しないアトムが指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305015
リファレンス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305011
不正なリファレンス ID が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

putHardReference

■ Java 言語形式

```
String putHardReference(String locationId, String nextId, String name,  
Attribute[] attrs, AttributeId[] copyAttrs, Ace[] acl, ReferenceId refId,  
boolean disposalOfEditionKey , boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

ハードリファレンスの名前や属性などを指定して、デフォルトクラスのハードリファレンスを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先のオブジェクト ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいリファレンスのあとに位置するオブジェクト ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。
- ・ name
名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrs
属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。
- ・ copyAttrs
リファレンス先からコピーする属性
null を指定した場合はコピーされません。
- ・ acl
ACL
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ refId
リファレンス ID
null を指定した場合はエラー
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか

■ 解説

デフォルトクラスのハードリファレンスを登録します。

■ 戻り値

登録したリファレンスのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合

- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305015
リファレンス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305011
不正なリファレンス ID が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

putHardReferenceWithClass

■ Java 言語形式

```
String putHardReferenceWithClass(String locationId, String nextId, String name,
    I18nString classId, Attribute[] attrs, AttributeId[] copyAttrs, Ace[]
    acl, ReferenceId refId,
    boolean disposalOfEditionKey , boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

ハードリファレンスのクラスや名前、属性などを指定して、指定したクラスのハードリファレンスを新規登録します。

■ パラメーター

- ・ locationId
登録先のオブジェクト ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける登録先での位置を表す情報として、登録したいリファレンスの後に位置するオブジェクト ID
省略した場合は、登録先オブジェクトの中で末尾に登録されます。
- ・ name
名前
null、空文字を指定した場合はエラーになります。
- ・ classId
登録するハードリファレンスのクラス
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) の「[■ クラス ID\] \(P.102\)](#)」を参照してください。
デフォルトクラスを指定する場合は「CLASS_DEFAULT」を指定します。
クラスなしを指定する場合は「CLASS_NONE」を指定します。
null を指定した場合は、エラーになります。

- ・ attrs
属性
不正な属性が指定された場合はエラーになります。
- ・ copyAttrs
リファレンス先からコピーする属性
null を指定した場合はコピーされません。
- ・ acl
ACL
省略した場合は、登録先オブジェクトのデフォルト ACL が適用されます。
- ・ refId
リファレンス ID
null を指定した場合はエラー
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) を参照してください。
- ・ disposalOfEditionKey
エディションキーを破棄するかどうか
- ・ disposalOfUniqueKey
ユニークキーを破棄するかどうか

■ 解説

指定したクラスのハードリファレンスを登録します。

■ 戻り値

登録したリファレンスのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305014
名前が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305030
クラス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
登録先 (locationId) と登録後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
クラス ID に存在しないアトムが指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合

- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305015
リファレンス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305011
不正なリファレンス ID が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

9.1.6 オブジェクトを更新する

addRepositoryObjectRevision

■ Java 言語形式

```
String addRepositoryObjectRevision(String id, String name, Attribute[] attrs,  
Content[] contents, String comment, SetObjectMode mode)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、リビジョンを追加します。

■ パラメーター

- ・ id
リビジョンを追加するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ name
名前
名前を変更する場合は値を指定します。
- ・ attrs
属性
変更する属性を指定します。値を削除する場合は属性値に null を指定します。
設定されている属性の値を変更しない場合には、要素数 0 の配列を指定します。
- ・ contents
コンテンツ
変更するコンテンツを指定します。
- ・ comment
リビジョンのコメント
コメントを設定する場合は値を指定します。
- ・ mode
変更モード (マージモード / 置換モード)
省略した場合はマージモードになります。

■ 解説

リビジョンを追加します。

■ 戻り値

リビジョンを追加したオブジェクトのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305008
不正なコンテンツが指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

■ SetObjectMode の解説

SetObjectModelは、オブジェクトの変更モードを表す列挙値で次の値が使用できます。

- ・ MERGE
マージモードです。
指定した値でオブジェクトの属性やコンテンツを変更する場合に使用します。
指定していない値は変更されません。
- ・ REPLACE
置換モードです。
指定した値でオブジェクトの属性やコンテンツを上書きして置換する場合に使用します。

removeRepositoryObjectRevision

■ Java 言語形式

```
void removeRepositoryObjectRevision(String id, RemoveRevisionMode mode)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、リビジョンを削除します。

■ パラメーター

- ・ id
リビジョンを削除するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ mode
リビジョン削除モード（最新削除モード / 最古削除モード）
未指定の場合は、最新削除モードになります。

■ 解説

- ・ 1回の操作で1リビジョン削除できます。
- ・ リビジョン削除モードの指定により、最も新しいものか最も古いもののどちらかを指定できます。
- ・ 対象のオブジェクトのリビジョンが1つの場合はエラーになります。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
IDが指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
IDの接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
IDの書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

■ RemoveRevisionMode の解説

RemoveRevisionModeはリビジョン削除モードを表す列挙値であり、次の値が使用できます。

- ・ LATEST
最新削除モード
最も新しいリビジョンを削除します。最新の変更を元に戻す場合に使用します。
- ・ OLDEST
最古削除モード
最も古いリビジョンを削除します。

checkoutRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
String checkoutRepositoryObject(String id, String comment)
```

■ 説明

ドキュメントのIDを指定して、ドキュメントをチェックアウトします。

■ パラメーター

- ・ id
チェックアウトするオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
チェックアウト中のコメント
null の場合、コメントは設定されません。

■ 解説

- ・ ドキュメントの ID だけが指定できます。

- ・チェックアウトすると作業オブジェクトが作成され、戻り値に、作成されたオブジェクトの ID を返します。作業オブジェクトは、「getRepositoryObjectByRevisionNumber」のリビジョン番号に「-1」を指定することにより取得できます。また、「listRepositoryObjectRevisions」の結果にも作業オブジェクトが含まれます。
- ・作業オブジェクトに対して変更が行えるのは、チェックアウトしたユーザーだけです。

■ 戻り値

チェックアウトに成功した作業オブジェクトのID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

checkoutRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse checkoutRepositoryObjects(String[] ids, String comment)
```

■ 説明

複数のドキュメントのIDを指定して、ドキュメントをチェックアウトします。

■ パラメーター

- ・ ids
チェックアウトするオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
チェックアウト中のコメント
null の場合、コメントは設定されません。

■ 解説

- ・ 複数のドキュメントをチェックアウトします。詳細は [「9.1.6 オブジェクトを更新する」 \(P.140\)](#) の [「checkoutRepositoryObject」 \(P.142\)](#) を参照してください。
- ・ チェックアウト中のコメント (comment) は、指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ チェックアウトに成功した作業オブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ チェックアウトに失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

checkinRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void checkinRepositoryObject(String id, String comment)
```

■ 説明

ドキュメントのIDを指定して、ドキュメントをチェックインします。

■ パラメーター

- ・ id
チェックインするオブジェクトの ID
チェックアウトしたオブジェクトの ID か作業オブジェクトの ID のどちらかを指定します。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
改訂履歴のコメント
null の場合、コメントは設定されません。

■ 解説

- ・ ドキュメントの ID だけが指定できます。
- ・ チェックインすると作業オブジェクトの内容で最新リビジョンが作成されます。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

checkinRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse checkinRepositoryObjects(String[] ids, String comment)
```

■ 説明

複数のドキュメントのIDを指定して、ドキュメントをチェックインします。

■ パラメーター

- ・ ids
チェックインするオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
改訂履歴のコメント
null の場合、コメントは設定されません。

■ 解説

- ・ オブジェクトをチェックインします。詳細は [「9.1.6 オブジェクトを更新する」 \(P.140\)](#) の [「checkinRepositoryObject」 \(P.144\)](#) を参照してください。
- ・ 改訂履歴のコメント (comment) は、指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ チェックインに成功した ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ チェックインに失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

uncheckoutRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void uncheckoutRepositoryObject (String id)
```

■ 説明

ドキュメントのIDを指定して、ドキュメントのチェックアウトを取り消します。

■ パラメーター

- ・ id
チェックアウトを取り消すオブジェクトの ID
チェックアウトしたオブジェクトの ID か作業オブジェクトの ID のどちらかを指定します。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ ドキュメントの ID だけが指定できます。
- ・ チェックアウトを取り消すと作業オブジェクトが削除されます。

■ 戻り値

なし

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

uncheckoutRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse uncheckoutRepositoryObjects (String[] ids)
```

■ 説明

複数のドキュメントのIDを指定して、ドキュメントのチェックアウトを取り消します。

■ パラメーター

- ・ ids
チェックアウトを取り消すオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ チェックアウトを取り消します。詳細は [\[9.1.6 オブジェクトを更新する\] \(P.140\)](#) の [\[UncheckoutRepositoryObject\] \(P.146\)](#) を参照してください。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ チェックアウトの取り消しに成功した ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ チェックアウトの取り消しに失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

setRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void setRepositoryObject(
String id, String name, Attribute[] attrs, Content[] contents, SetObjectMode
mode)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、属性やコンテンツを設定します。

■ パラメーター

- ・ id
変更するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ name
名前
名前を変更する場合は値を指定します。

- ・ attrs
属性
変更する属性を指定します。値を削除する場合は属性値に null を指定します。
設定されている属性の値を変更しない場合には、要素数 0 の配列を指定します。
- ・ contents
コンテンツ
変更するコンテンツを指定します。
- ・ mode
変更モード（マージモード / 置換モード）
省略した場合はマージモードになります。

■ 解説

- ・ オブジェクトに属性やコンテンツを設定します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305008
不正なコンテンツが指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

addEditionKeyToRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void addEditionKeyToRepositoryObject(String id, Attribute[] editionKey,  
int editionNumber, String editionLabel)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトのエディションキー属性に値を設定します。

■ パラメーター

- ・ id
エディションキー属性を追加するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ editionKey
設定するエディションキー
- ・ editionNumber
エディション番号
0 を指定した場合は最新エディションになります。
0 より小さい値を指定した場合はエラーになります。
- ・ editionLabel
エディションラベル
エディションラベルを指定しない場合は null を指定します。

■ 解説

- ・ オブジェクトにエディションキー属性を設定し、エディション管理を開始します。
- ・ フォルダー、ドキュメント、リファレンスを指定できます（エディション管理できるもの）。
- ・ エディション番号とエディションラベルが同時に指定された場合は、エディションラベルの指定が優先されます。次に設定例を示します。
 - ・ editionNumber=0, editionLabel=null → 最新エディション
 - ・ editionNumber=1, editionLabel=null → エディション番号 =1
 - ・ editionNumber=0, editionLabel="label1" → エディションラベル =label1
 - ・ editionNumber=1, editionLabel="label1" → エディションラベル =label1

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305004
エディションキーが指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305007
エディションキーに指定された属性名が不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305001
エディションキーに指定された属性と値の組み合わせが不正だった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305026
エディションキーに指定された属性と RMS オブジェクトの組み合わせが不正だった場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
エディションキーに存在しない属性が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305027
0 未満のエディション番号が指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

removeEditionKeyFromRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void removeEditionKeyFromRepositoryObject(String id)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトのエディションキー属性の値を削除します。

■ パラメーター

- ・ id
エディションキー属性を削除するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ オブジェクトに設定されているエディションキー属性を削除し、エディション管理外にします。
- ・ フォルダー、ドキュメント、リファレンスを指定できます（エディション管理できるもの）。
- ・ エディション管理されていないオブジェクトを指定するとエラーになります。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

updateRepositoryObjectContent

■ Java 言語形式

```
void updateRepositoryObjectContent(String id, I18nString[] contentLabels)
```

■ 説明

オブジェクトのIDとコンテンツラベルの配列を指定して、指定したオブジェクトのコンテンツを更新します。

■ パラメーター

- ・ id
コンテンツを更新するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ contentLabels
更新するコンテンツラベルの配列
null を指定した場合はエラーになります。

参照 コンテントラベルの詳細については、『ドキュメント管理サービス管理者ガイド』を参照してください。

■ 解説

コンテンツを更新します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305003
コンテンツラベルが指定されなかった場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

changeRepositoryObjectStatus

■ Java 言語形式

```
void changeRepositoryObjectStatus(String id, I18nString status)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、指定したオブジェクトの状態を変更します。

■ パラメーター

- ・ id
状態を変更するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ status
変更後の状態
null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

オブジェクトの状態を変更します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305019
状態が指定されなかった場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

changeRepositoryObjectAcl

■ Java 言語形式

```
void changeRepositoryObjectAcl(String id, Ace[] acl, boolean isDeep)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、指定したオブジェクトのアクセス権を変更します。

■ パラメーター

- ・ id
アクセス権を変更するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ acl
変更後の ACL
null や不正な ACL を指定した場合はエラーになります。
- ・ isDeep
変更範囲指定フラグ
下位のオブジェクトのアクセス権も変更する場合は true を指定します。

■ 解説

- ・ id には、フォルダー、ドキュメント、またはリファレンスのオブジェクトの ID を指定できます。
- ・ キャビネットとドロワーのアクセス権は変更できません。
- ・ id にフォルダーを指定した場合に変更範囲指定フラグを true にすると、下位のオブジェクトのアクセス権も同時に変更できます。ただし、下位のオブジェクトにアクセス権がないものがあると、エラーになります。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305023
ACL が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

changeRepositoryObjectDefaultAcl

■ Java 言語形式

```
void changeRepositoryObjectDefaultAcl(String id, Ace[] defaultAcl, boolean isDeep)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、指定したオブジェクトのデフォルトアクセス権を変更します。

■ パラメーター

- ・ id
デフォルトアクセス権を変更するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ defaultAcl
変更後のデフォルト ACL
null や不正な ACL を指定した場合はエラーになります。
- ・ isDeep
変更範囲指定フラグ
下位のオブジェクトのデフォルトアクセス権も変更する場合は true を指定します。

■ 解説

- ・ フォルダーのデフォルトアクセス権を変更します。キャビネットとドロワーのデフォルトアクセス権は変更できません。
- ・ デフォルト ACL を保持しないドキュメントやリファレンスを指定した場合、エラーにはならず無視されず（何も変更されない）。
- ・ 変更範囲指定フラグを true にすると、下位のオブジェクトのデフォルトアクセス権も同時に変更できます。ただし、下位のオブジェクトにアクセス権がないオブジェクトがあると、エラーになります。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305023
ACL が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305006
不正な ACL が指定された場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305020
ACL に存在しない権利が含まれていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305021
ACL に存在しないロールタイプが含まれていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

copyRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
String copyRepositoryObject(String locationId, String nextId, String id,  
boolean disposalOfAcl, boolean disposalOfEditionKey, boolean  
disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

オブジェクトのID、コピー先のIDなどを指定して、オブジェクトをコピーします。

■ パラメーター

- ・ locationId
コピー先オブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおけるコピー先での位置を表す情報として、コピーするオブジェクトの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、コピー先オブジェクトの中で末尾に追加されます。
- ・ id
コピーするオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ disposalOfAcl
ACL を破棄するかどうか
true の場合、コピー元のアクセス権とデフォルトアクセス権を継承しません。
この場合、コピー先のデフォルトアクセス権が設定されます。

- ・ disposalOfEditionKey
コピー先キャビネットではエディションキーとなっている属性の値を破棄するかどうか true の場合、コピー先キャビネットではエディションキーとなっている属性の値をコピー元からコピーしません。
- ・ disposalOfUniqueKey
コピー先キャビネットではユニークキーとなっている属性の値を破棄するかどうか true の場合、コピー先キャビネットではユニークキーとなっている属性の値をコピー元からコピーしません。

■ 解説

- ・ オブジェクトのコンテンツ属性、属性、およびアクセス権をコピーします。次の 3 種類のコピーができます。
 - キャビネット内のコピー
 - 同じサービス内の別キャビネットへのコピー
 - 別サービスのキャビネットへのコピー
- ・ フォルダをコピーする場合、配下のオブジェクトも含めてコピーされます。配下のオブジェクトにアクセス権がないオブジェクトがあると、エラーになります。
- ・ 異なるキャビネットにコピーする場合、コピーするオブジェクトにハードリファレンスが含まれているとエラーになります。
- ・ コピーするオブジェクトにアーカイブ保存後のオフライン状態のコンテンツが含まれていた場合、エラーになります。
- ・ 属性は一部のシステム属性を除きコピー先のオブジェクトにコピーされます。ただし、別キャビネットにコピーする場合、コピー先のキャビネットに存在しないユーザー属性は Others 属性になります。
- ・ コンテンツはコピー先のオブジェクトにコピーされます。ただし、別キャビネットにコピーする場合、コピー先のキャビネットに存在しないコンテンツラベルのコンテンツは破棄されます。
- ・ ドキュメントの場合、最新のリビジョンだけがコピーされます。
- ・ コピー後の状態はキャビネットの初期状態になります。
- ・ コピー元のオブジェクトがロックされていても、コピー後のオブジェクトはロックされません。

■ 戻り値

コピーしたオブジェクトの ID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305005
コピー対象の ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
コピー先 (locationId) とコピー後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

moveRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void moveRepositoryObject(String locationId, String nextId, String id)
```

■ 説明

オブジェクトのIDと移動先のIDなどを指定して、オブジェクトを移動します。

■ パラメーター

- ・ locationId
移動先オブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ nextId
ドキュメント管理サービスにおける移動先での位置を表す情報として、移動するオブジェクトの後に位置するオブジェクトの ID
省略した場合は、移動先オブジェクトの中で末尾に追加されます。
- ・ id
移動するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

同じキャビネット内で移動できます。locationId, nextId, およびidに異なるキャビネットのオブジェクトのIDを指定するとエラーになります。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
登録先 ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
移動先 (locationId) と移動後の次のオブジェクト (nextId) が異なるキャビネットの場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

lockRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void lockRepositoryObject(String id, String comment, boolean isDeep)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトをロックします。

■ パラメーター

- ・ id
ロックするオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
ロックコメント
null の場合、コメントは設定されません。
- ・ isDeep
ロック範囲指定フラグ
下位のオブジェクトもロックする場合は true を指定します。

■ 解説

- ・ フォルダー、ドキュメント、またはリファレンスをロックできます。キャビネットとドロワーのオブジェクトの ID は指定できません。
- ・ id にフォルダーを指定した場合にロック範囲指定フラグを true にすると下位のオブジェクトも同時にロックすることができます。ただし、下位のオブジェクトにアクセス権がないオブジェクトがあると、エラーになります。
- ・ 自分がロックしているオブジェクトを再度ロックしてもエラーにはなりません（ロックされたまま）。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

lockRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse lockRepositoryObjects(String[] ids, String comment, boolean isDeep)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、オブジェクトをロックします。

■ パラメーター

- ・ ids
ロックするオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
ロックコメント
null の場合、コメントは設定されません。
- ・ isDeep
ロック範囲指定フラグ
下位のオブジェクトもロックする場合は true を指定します。

■ 解説

- ・ 詳細については、[\[9.1.6 オブジェクトを更新する\] \(P.140\)](#) の [\[lockRepositoryObject\] \(P.157\)](#) を参照してください。
- ・ ロックコメント (comment)、ロック範囲指定フラグ (isDeep) は指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ ロックに成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ ロックに失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

unlockRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void unlockRepositoryObject(String id, boolean isDeep)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトのロックを解除します。

■ パラメーター

- ・ id
ロックを解除するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ isDeep
ロック解除範囲指定フラグ
下位のオブジェクトのロックも解除する場合は true を指定します。

■ 解説

- ・ id にフォルダーを指定した場合にロック解除範囲指定フラグを true にすると下位のオブジェクトのロックも同時に解除することができます。ただし、下位のオブジェクトにアクセス権がないものがあると、エラーになります。
- ・ ロックされていないオブジェクトを指定してもエラーにはなりません（無視される）。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

unlockRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse unlockRepositoryObjects(String[] ids, boolean isDeep)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、オブジェクトのロックを解除します。

■ パラメーター

- ・ ids
ロックを解除するオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ isDeep
ロック解除範囲指定フラグ
下位のオブジェクトのロックも解除する場合は true を指定します。

■ 解説

- ・ 詳細については、[\[9.1.6 オブジェクトを更新する\] \(P.140\)](#) の [\[unlockRepositoryObject\] \(P.159\)](#) を参照してください。
- ・ ロック解除範囲指定フラグ (isDeep) は指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ ロック解除に成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ ロック解除に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

realizeRepositoryObjectReference

■ Java 言語形式

```
void realizeRepositoryObjectReference(String id, RealizeReferenceMode mode,
boolean disposalOfAcl, boolean disposalOfEditionKey, boolean
disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、リファレンスを実体化します。

■ パラメーター

- ・ id
実体化するリファレンスの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

- ・ mode
属性のマージモード
未指定の場合は参照先オブジェクトの属性だけが有効なモード (REFERENT_ONLY) になります。
- ・ disposalOfAcl
ACL を破棄するかどうか
true の場合、参照先オブジェクトのアクセス権とデフォルトアクセス権を継承しません。この場合、リファレンスの親オブジェクトのデフォルトアクセス権が設定されます。
- ・ disposalOfEditionKey
リファレンス側キャビネットではエディションキーとなっている属性の値を破棄するかどうか
true の場合、リファレンス側キャビネットではエディションキーとなっている属性の値を参照先オブジェクトからコピーしません。
- ・ disposalOfUniqueKey
リファレンス側キャビネットではユニークキーとなっている属性の値を破棄するかどうか
true の場合、リファレンス側キャビネットではユニークキーとなっている属性の値を参照先オブジェクトからコピーしません。

■ 解説

- ・ id で指定したリファレンスの参照先がドキュメントとフォルダーのリファレンスが対象になります。
- ・ フォルダーを実体化する場合、配下のオブジェクトも含めて実体化されます。配下のオブジェクトにアクセス権がないオブジェクトがあると、エラーになります。
- ・ 異なるキャビネットのオブジェクトを参照しているリファレンスを実体化する場合、参照先オブジェクトにハードリファレンスが含まれているとエラーになります。
- ・ 参照先オブジェクトにアーカイブ保存後のオフライン状態のコンテンツが含まれていた場合、エラーになります。
- ・ 一部のシステム属性を除き実体化後のオブジェクトの属性は属性のマージモード (mode) の指定に従って設定されます。なお、異なるキャビネットのオブジェクトを参照しているリファレンスを実体化する場合、リファレンスが登録されているキャビネットに存在しないユーザー属性は Others 属性になります。
- ・ コンテンツは実体化後のオブジェクトに継承されます。ただし、異なるキャビネットのオブジェクトを参照しているリファレンスを実体化する場合、リファレンスが登録されているキャビネットに存在しないコンテンツラベルのコンテンツは破棄されます。
- ・ ドキュメントの場合、最新のリビジョンだけが実体化されます。
- ・ 実体化後の状態とロック情報はリファレンスに設定されていたものになります。また、子オブジェクトに関しては、状態はキャビネットごとの初期状態になり、ロック情報は破棄されます。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

■ RealizeReferenceMode の解説

RealizeReferenceModeはリファレンスの実体化における属性のマージモードを表す列挙値であり、次の値が使用できます。

- ・ REFERENCE_ONLY
リファレンスの属性だけが有効なモード
- ・ REFERENT_ONLY
参照先オブジェクトの属性だけが有効なモード
- ・ REFERENT_PRIORITY
参照先オブジェクトの属性を適用した後にリファレンスの属性で補完するモード
- ・ REFERENCE_PRIORITY
リファレンスの属性を適用した後に参照先オブジェクトの属性で補完するモード

realizeRepositoryObjectReferences

■ Java 言語形式

```
IdsResponse realizeRepositoryObjectReferences(String[] ids, RealizeReferenceMode mode, boolean disposalOfAcl, boolean disposalOfEditionKey, boolean disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、リファレンスを実体化します。

■ パラメーター

- ・ ids
実体化するリファレンスの ID の配列
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ mode
属性のマージモード
未指定の場合は参照先オブジェクトの属性だけが有効なモード (REFERENT_ONLY) になります。
- ・ disposalOfAcl
ACL を破棄するかどうか
true の場合、参照先オブジェクトのアクセス権とデフォルトアクセス権を継承しません。この場合、リファレンスの親オブジェクトのデフォルトアクセス権が設定されます。
- ・ disposalOfEditionKey
リファレンス側キャビネットのエディションキーとなっている属性の値を破棄するかどうか
true の場合、リファレンス側キャビネットのエディションキーとなっている属性の値を参照先オブジェクトからコピーしません。
- ・ disposalOfUniqueKey
リファレンス側キャビネットでユニークキーとなっている属性の値を破棄するかどうか
true の場合、リファレンス側キャビネットでユニークキーとなっている属性の値を参照先オブジェクトからコピーしません。

■ 解説

- ・ リファレンスの実体化を実行します。詳細については、[\[9.1.6 オブジェクトを更新する | \(P.140\) の realizeRepositoryObjectReference | \(P.160\)](#) を参照してください。
- ・ 属性のマージモード (mode)、ACL の破棄 (disposalOfAcl)、エディションキーの破棄 (disposalOfEditionKey)、ユニークキーの破棄 (disposalOfUniqueKey) は指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

- ・参照先にリファレンスがある場合は、はじめに参照先のリファレンスを実体化すると実体化したオブジェクトの中にリファレンスは残りません。
参照先のリファレンスを実体化しないままリファレンスを実体化すると、実体化したオブジェクトの中にリファレンスが残ってしまうので、リファレンスの実体化をする順番に注意してください。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・実体化に成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・実体化に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305013
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

changeRepositoryObjectClass

■ Java 言語形式

```
void changeRepositoryObjectClass(
String id, I18nString classId, boolean disposalOfEditionKey, boolean
disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

オブジェクトの ID やクラスの ID を指定して、オブジェクトのクラスを変更します。

■ パラメーター

- ・ id
クラスを変更するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ classId
変更後のクラスの ID
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) の「[\[■ クラス ID\] \(P.102\)](#)」を参照してください。
クラスなしを指定する場合は「CLASS_NONE」を指定します。
デフォルトクラスの ID である「CLASS_DEFAULT」または null を指定した場合はエラーになります。
- ・ disposalOfEditionKey
クラスを変更するときにエディションキーを破棄するかどうか
true の場合、エディションキー属性を破棄します。
- ・ disposalOfUniqueKey
クラスを変更するときにユニークキーを破棄するかどうか
true の場合、ユニークキー属性を破棄します。

■ 解説

idにはドキュメント、フォルダー、またはリファレンスを指定します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305030
クラス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」 以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305031
無効なクラス ID が指定された場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
クラス ID に存在しないアトムが指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

changeRepositoryObjectsClass

■ Java 言語形式

```
IdsResponse changeRepositoryObjectsClass(  
String[] ids, I18nString classId, boolean disposalOfEditionKey, boolean  
disposalOfUniqueKey)
```

■ 説明

クラスのIDと複数のオブジェクトのIDとを指定して、オブジェクトのクラスを変更します。

■ パラメーター

- ・ ids
クラスを変更するオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ classId
変更後のクラスの ID
[\[9.1.1 共通パラメーター\] \(P.99\)](#) の [「\[■クラスID\] \(P.102\)」](#) を参照してください。
クラスなしを指定する場合は「CLASS_NONE」を指定します。
デフォルトクラスの ID である「CLASS_DEFAULT」または null を指定した場合は、エラーになります。
- ・ disposalOfEditionKey
クラスを変更するときにエディションキーを破棄するかどうか
true の場合、エディションキー属性を破棄します。

- ・ `disposalOfUniqueKey`
クラスを変更するときにユニークキーを破棄するかどうか
`true` の場合、ユニークキー属性を破棄します。

■ 解説

- ・ ID の配列を指定してオブジェクトのクラスを変更します。詳細については、[\[9.1.6 オブジェクトを更新する\] \(P.140\)](#) の [\[changeRepositoryObjectClass\] \(P.163\)](#) を参照してください。
- ・ 変更後のクラスの ID (`classId`)、エディションキーの破棄 (`disposalOfEditionKey`)、ユニークキーの破棄 (`disposalOfUniqueKey`) は指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 変更成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 変更失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (`Failure`) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305030
クラス ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305031
無効なクラス ID が指定された場合
- ・ DREP_GENERAL-41120221
クラス ID に存在しないアトムが指定された場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

stampRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void stampRepositoryObject(String id, String stampRuleName, String comment)
```

■ 説明

ドキュメントの ID とスタンプルール名を指定して、ドキュメントにスタンプします。

■ パラメーター

- ・ `id`
スタンプするドキュメントの ID
`null` や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

- ・ stampRuleName
使用するスタンプルール名
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
スタンプ結果をチェックインするときの改訂履歴のコメント
null の場合、コメントは設定されません。

■ 解説

ドキュメントにスタンプします。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305029
スタンプルール名が指定されなかった場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

stampRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse stampRepositoryObjects(  
String[] ids, String stampRuleName, String comment)
```

■ 説明

スタンプルール名と複数のドキュメントのIDとを指定して、ドキュメントにスタンプします。

■ パラメーター

- ・ ids
スタンプするドキュメントの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ stampRuleName
使用するスタンプルール名
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ comment
スタンプ結果をチェックインするときの改訂履歴のコメント
null の場合、コメントは設定されません。

■ 解説

- ・ ID の配列を指定してドキュメントにスタンプします。詳細については、[\[9.1.6 オブジェクトを更新する\] \(P.140\)](#) の [\[stampRepositoryObject\] \(P.165\)](#) を参照してください。
- ・ スタンプルール名 (stampRuleName) とコメント (comment) は、指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ スタンプに成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ スタンプに失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305029
スタンプルール名が指定されなかった場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

9.1.7 オブジェクトを削除する

deleteRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void deleteRepositoryObject(String id)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトを削除します。

■ パラメーター

- ・ id
削除するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ ごみ箱にあるオブジェクトも削除できます。
- ・ フォルダーが指定された場合、子オブジェクトもすべて削除されます。
- ・ キャビネット、ドロワーは削除できません。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

deleteRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse deleteRepositoryObjects(String[] ids)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、オブジェクトを削除します。

■ パラメーター

- ・ ids
削除するオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ オブジェクトを削除します。詳細については、[\[9.1.7 オブジェクトを削除する\] \(P.167\)](#) の [\[deleteRepositoryObject\] \(P.167\)](#) を参照してください。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 削除に成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 削除に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合

- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

disuseRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void disuseRepositoryObject(String id, boolean errorOnNoRecycleBin)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトをごみ箱に移動します。

■ パラメーター

- ・ id
ごみ箱に移動するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ errorOnNoRecycleBin
使用可能なごみ箱が存在しない場合にエラーにするかどうか
ごみ箱が利用できないキャビネット内のオブジェクトを対象とした場合、true ならば、エラーになります。
また、false ならば削除します（「deleteRepositoryObject」と同じ）。

■ 解説

- ・ フォルダが指定された場合、子オブジェクトもすべてごみ箱に移動されます。
- ・ キャビネット、ドロワーはごみ箱に移動できません。
- ・ ごみ箱内のオブジェクトを指定してもエラーになりません（ごみ箱内のまま）。
- ・ ごみ箱が設定されていないキャビネット内のオブジェクトを指定した場合の動作を指定できます。
- ・ 対象にハードリファレンスが含まれているとエラーになります。
- ・ キャビネットがごみ箱を保持しているかどうかは CabinetInformation の hasRecycleBin の値を確認します。true の場合はごみ箱を保持しています。
- ・ ごみ箱に移動したオブジェクトを完全に削除する場合は「deleteRepositoryObject」を使用します。
- ・ ごみ箱内のオブジェクトのリストを取得する場合は「listRepositoryObjectsInRecycleBin」を使用します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

disuseRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse disuseRepositoryObjects(String[] ids, boolean errorOnNoRecycleBin)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、オブジェクトをごみ箱に移動します。

■ パラメーター

- ・ ids
ごみ箱に移動するオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ errorOnNoRecycleBin
使用可能なごみ箱が存在しない場合にエラーにするかどうか
ごみ箱が利用できないキャビネット内のオブジェクトを対象とした場合、true ならば、エラーになります。
また、false ならば削除します ([deleteRepositoryObject] と同じ)。

■ 解説

- ・ 指定された複数のオブジェクトをごみ箱に移動します。詳細は [「9.1.7 オブジェクトを削除する」\(P.167\)](#) の [「disuseRepositoryObject」\(P.169\)](#) を参照してください。
- ・ 使用可能なごみ箱が存在しない場合の指定 (errorOnNoRecycleBin) は指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ ごみ箱への移動に成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ ごみ箱への移動に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

reuseRepositoryObject

■ Java 言語形式

```
void reuseRepositoryObject(String id, String locationId)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、オブジェクトをごみ箱から復元します。

■ パラメーター

- ・ id
ごみ箱から復元するオブジェクトの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ locationId
復元先のオブジェクトの ID
null の場合は、ごみ箱に移動する前の格納先に復元します。

■ 解説

- ・ フォルダーが指定された場合、子オブジェクトもすべて復元されます。
- ・ ごみ箱外のオブジェクトが指定された場合、エラーになります。
- ・ ごみ箱内のオブジェクトのリストを取得する場合は「listRepositoryObjectsInRecycleBin」を使用します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
復元するオブジェクトの ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
復元するオブジェクト (id) と復元先 (locationId) が異なるキャビネットの場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

reuseRepositoryObjects

■ Java 言語形式

```
IdsResponse reuseRepositoryObjects(String[] ids, String locationId)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、オブジェクトをごみ箱から復元します。

■ パラメーター

- ・ ids
ごみ箱から復元するオブジェクトの ID の配列
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ locationId
復元先のオブジェクトの ID
null の場合は、ごみ箱に移動する前の格納先に復元します。

■ 解説

- ・ オブジェクトをごみ箱から復元します。詳細は [\[9.1.7 オブジェクトを削除する\] \(P.167\)](#) の [\[reuseRepositoryObject\] \(P.171\)](#) を参照してください。
- ・ 復元先 (locationId) は指定したオブジェクトに同じ値を設定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 復元に成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 復元に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
復元するオブジェクトの ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305024
復元するオブジェクト (id) と復元先 (locationId) が異なるキャビネットの場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

9.1.8 オブジェクトの原本性保証に関する操作をする

原本性保証に関しては、『e-文書法対応 概要説明書』を参照してください。

validateCertificate

■ Java 言語形式

```
CertificateValidateResultsResponse validateCertificate(String[] ids)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、原本性を検証します。

■ パラメーター

- ・ ids
原本性を検証するオブジェクトの ID の配列。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

オブジェクトの格納先キャビネットの長期署名方式 (“XAdES”または “PAdES”) に応じて、検証方法が切り替わります。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 原本性検証結果を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 原本性検証に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列
- ・ 署名・署名タイムスタンプ・文書タイムスタンプが付与されていない場合の検証結果は false となり、他のエラーと判別することはできません

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305101
原本性保証コンポーネントでエラーが発生した場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

■ CertificateValidateResultsResponse の解説

原本性検証結果を表す CertificateValidateResultsResponse には、次の要素が含まれます。

- ・ results
CertificateValidateResult の配列。原本性検証結果を表します。
- ・ failures
Failure の配列。原本性検証結果に失敗した ID と失敗理由を表します。

補足 CertificateValidateResult は、全証明情報分の CertificateValidateElement の配列を保持し、その CertificateValidateElement には、次の要素が含まれます。

- ・ certId
証明情報の ID を表す int 値。
- ・ result
原本性検証結果のブール値。検証成功の場合 true。
- ・ exception
原本性検証中に発生した例外。

getCertificateEvidence

■ Java 言語形式

```
CertificateEvidence[] getCertificateEvidence(String id)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、原本性検証の証拠情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ id
原本性検証の証拠情報を取得するオブジェクトの ID。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ オブジェクトの原本性検証の証拠情報を取得します（既に算出済みの証拠情報を取得します）。
- ・ オブジェクトの格納先キャビネットの長期署名方式（“XAdES” または “PAdES”）に応じて、取得される証拠情報が異なります。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 原本性検証の証拠情報を格納した配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305101
原本性保証コンポーネントでエラーが発生した場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

■ CertificateEvidence の解説

原本性検証の根拠となる証拠情報を表す CertificateEvidence には、次の要素が含まれます。

- ・ certId
証明情報の ID を表す int 値。
- ・ certAttribute
原本性保証情報の属性値。

calculateCertificateEvidence

■ Java 言語形式

```
CertificateEvidence[] calculateCertificateEvidence(String id)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、原本性検証の証拠情報を算出します。

■ パラメーター

- ・ id
原本性検証の証拠情報を取得するオブジェクトの ID。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ オブジェクトの原本性検証の証拠情報を算出します。
- ・ オブジェクトの証拠情報は、算出した値で更新されません。
- ・ オブジェクトの格納先キャビネットの長期署名方式 (“XAdES” または “PAdES”) に応じて、算出方法が切り替わります。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 原本性検証の証拠情報を格納した配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305101
原本性保証コンポーネントでエラーが発生した場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

attachTimestamp

■ Java 言語形式

```
IdsResponse attachTimestamp(String[] ids, int[] certIds, String tsaName)
```

■ 説明

オブジェクトのIDの配列とタイムスタンプサービス名などを指定して、オブジェクトにタイムスタンプを付与します。

■ パラメーター

- ・ ids
タイムスタンプを付与するオブジェクトの ID の配列。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ certIds
証明情報の ID の配列。
配列の要素に -1 を指定した場合は、新規にタイムスタンプを付与します。
null や空の配列を指定した場合はエラーになります。
- ・ tsaName
タイムスタンプサービス名。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
アマノタイムスタンプサービス 3161 を利用する場合は "etiming3161" と指定します。

■ 解説

長期署名方式が "PAdES" のキャビネットにある PDF ファイルにタイムスタンプを付与する場合は、certIds の配列の要素に -1 を設定します。-1 以外が設定された場合はエラーとなります。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ タイムスタンプ付与に成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ タイムスタンプ付与に失敗したオブジェクト ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が 「rep」 以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305101
原本性保証コンポーネントでエラーが発生した場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

attachTimestampWithOptions

■ Java 言語形式

```
IdsResponse attachTimestampWithOptions(String[] ids, int[] certIds, String tsaName, String[] options)
```

■ 説明

オブジェクトの ID の配列とタイムスタンプサービス名などを指定して、オブジェクトにタイムスタンプを付与し、証明情報が有効かどうかの検証を行います。

■ パラメーター

- ・ ids
タイムスタンプを付与するオブジェクトの ID の配列。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
- ・ certIds
証明情報の ID の配列。
配列の要素に -1 を指定した場合は、新規にタイムスタンプを付与します。
null や空の配列を指定した場合はエラーになります。
- ・ tsaName
タイムスタンプサービス名。
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。
アマノタイムスタンプサービス 3161 を利用する場合は "etiming3161" と指定します。
- ・ options
タイムスタンプ付与オプション。
有効なオプション：validate。

■ 解説

- ・ 長期署名方式が "PAdES" のキャビネットにある PDF ファイルにタイムスタンプを付与する場合は、certIds の配列の要素に -1 を設定します。-1 以外が設定された場合はエラーとなります。
- ・ options に validate を指定すると、タイムスタンプ付与後に証明情報が有効かどうかの検証を行います。検証が無効の場合は、タイムスタンプ付与は取り消されます。
- ・ options に何も指定しない場合の処理内容は、[\[attachTimestamp\] \(P.175\)](#) と同じです。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ タイムスタンプ付与に成功したオブジェクトの ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ タイムスタンプ付与に失敗したオブジェクト ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305005
ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305101
原本性保証コンポーネントでエラーが発生した場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

9.1.9 その他

listRepositoryServices

■ Java 言語形式

```
RepositoryService[] listRepositoryServices()
```

■ 説明

ドキュメント管理サービスのリストを取得します。

■ パラメーター

なし

■ 解説

ドキュメント管理サービスをリストします。

■ 戻り値

ドキュメント管理サービスの一覧

■ エラー

なし

■ 備考

特にありません。

getCabinetInformation

■ Java 言語形式

```
CabinetInformation getCabinetInformation(String cabinetId)
```

■ 説明

キャビネットのIDを指定して、キャビネットの情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ cabinetId
情報を取得するキャビネットの ID
null や不正な文字列を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

キャビネットの情報を取得します。

■ 戻り値

キャビネット情報
キャビネット情報に含まれるクラスIDがクラスなしの場合、CLASS_NONEが使用されます。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305002
キャビネット ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
キャビネット ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
キャビネット ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

getCabinetInformations

■ Java 言語形式

```
CabinetInformationsResponse getCabinetInformations (String[] cabinetIds)
```

■ 説明

複数のキャビネットのIDを指定して、キャビネットの情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ cabinetIds
情報を取得するキャビネットの ID
null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

キャビネットの情報を取得します。詳細については、[\[9.1.9 その他\] \(P.178\)](#) の [\[getCabinetInformation\] \(P.178\)](#) を参照してください。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功したキャビネット情報を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 取得に失敗したキャビネット ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ ARCSUITE_WS-08305002
キャビネット ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
キャビネット ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
キャビネット ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。

getRepositoryObjectClassDefinitions

■ Java 言語形式

```
ClassDefinition[] getRepositoryObjectClassDefinitions(String cabinetId,  
I18nString[] classIds)
```

■ 説明

キャビネットのIDを指定して、キャビネットに設定されているクラスの情報を取得します。

■ パラメーター

- ・ cabinetId
クラス情報を取得するキャビネットの ID
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ classIds
情報を取得するクラスの ID の配列です。詳細は [「9.1.1 共通パラメーター」 \(P.99\)](#) の [「**■**クラス ID」 \(P.102\)](#) を参照してください。
クラスなしを指定する場合は「CLASS_NONE」を指定します。
デフォルトクラスの ID である「CLASS_DEFAULT」は指定できません。
長さ 0 の配列を指定した場合は何も返しません。
また、null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ キャビネットに設定されているクラスの情報を取得します。
- ・ キャビネットに設定されていないクラスの ID を指定すると null が返ります（無視されます）。
- ・ また、「CLASS_DEFAULT」など無効なクラス ID の場合も null が返ります（無視されます）。

■ 戻り値

classIdsで指定した順番で配列に格納されたクラス定義

戻り値となるクラス定義にクラスなしがある場合、クラスIDはCLASS_NONEになります。

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08305002
キャビネット ID が指定されなかった場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305010
キャビネット ID の接頭辞が「rep」以外の場合
- ・ ARCSUITE_WS-08305030
クラス ID が指定されなかった場合
- ・ DREP_GENERAL-41110012
キャビネット ID の書式が間違っていた場合
- ・ DREP_API-41260008
ドキュメント管理サービスでエラーが発生した場合

■ 備考

特にありません。



10 タスク管理インターフェイス

タスク管理インターフェイスとして提供されている操作について説明します。

10.1 プログラムインターフェイス

10.1.1 共通パラメーター

タスク管理インターフェイスで共通のパラメーターは次のとおりです。

パラメーター

- ・ limit

最大取得数を指定します。

負の数を指定した場合は、サーバー側で設定されている最大取得数制限の値が優先されます。

また、最大取得件数を超える値を指定した場合も、最大取得数制限の値が優先されます。

リスト結果が最大取得数を上回った場合は、最大取得数を超える結果は破棄されます。

- ・ attrIds

対象オブジェクトのどの属性を取得するのかを配列で指定します。

null が指定された場合、その対象オブジェクトに対して取得可能なすべての属性を取得します。

長さ 0 の配列が指定された場合、属性を取得しません。

指定した値が無効な場合、その値は無視します。

ns に null が指定された場合、"collabo" の ns が指定されたものとして扱います。

各オブジェクトに対し、どの属性がサポートされるかについては、[\[付録 C コラボ属性補足\] \(P.296\)](#) を参照してください。

- ・ options

取得オプションを配列で指定します。このパラメーターは、省略できます。

-rmsObjectDnOnly: RmsObject 型の属性を取得するとき、DN だけ取得する場合に指定します。

- ・ タスク情報取得オプション

タスク情報を取得するときだけ指定できます。追加でタスク関与者のアクセス権やタスク関与者の情報を取得することができます。

使用できる操作： [getTask]、[getTasks]、[listParticipantTasks]、[searchCollaboObjects]

- TASK_ACL: タスク関与者のアクセス権を取得する場合に指定します。

- TASK_PARTICIPANT: タスク関与者の情報を取得する場合に指定します。タスクの関与者にグループ・ロールが指定されている場合、ユーザーに展開されます。

- TASK_DESIGNATED_PARTICIPANT: タスク関与者の情報を取得する場合に指定します。タスクの関与者にグループ・ロールが指定されている場合、グループ・ロールのまま取得されます。

- ・ 関与タスク情報取得オプション

関与タスク情報を取得するときだけ指定できます。完了タスクを結果に含めない場合の動作をコラボスペース Interface Toolkit と同じにできます。

使用できる操作： [listParticipantTasks]

- listParticipantTasks.exclude.finishedAsMember: メンバーが完了（遂行状態が「完了」、「終了」、または「中止」）になっているタスクも、完了タスクとする場合に指定します。

[listParticipantTasks] の引数 [includeFinished] に false を指定した場合、通常は完了タスク（タスク状態が「完了」、または「中止」のタスク）だけ除外されます。ただし、このオプションを指定した場合、実行ユーザーの遂行状態が完了になっているタスクも除外対象になります。このオプションを指定することによって、コラボスペース Interface Toolkit のタスク情報取得と同じ動作になります。

参照 コラボスペース Interface Toolkit については、『コラボスペース Interface Toolkit リファレンスガイド』を参照してください。

タスク関与者のアクセス権を指定すると、すべてのアクセス権の情報（メンバー、オブザーバー、関与者外特別ユーザー、関与者外）を取得できます。ただし、任意のアクセス権だけを指定して取得することはできません。

タスク関与者の情報を指定すると、指定したタスクの関与者の情報を取得できます。その時、使用目的により取得形式を選択する必要があります。

TASK_PARTICIPANT は、グループ・ロールをユーザーに展開し、実際の関与者の情報を取得するもので、TASK_DESIGNATED_PARTICIPANT は、グループ・ロールを展開せず、タスクに設定されて

いるグループ、ロール、ユーザーの情報を取得します。後者のパラメーターは、主にタスク作成や関与者の変更時にほかのタスクから関与者を引き継ぎたい場合に使用します。関与者のアクセス権および、関与者の情報のパラメーターは並列して指定できますが、関与者の情報用のパラメーターを両方とも指定した場合、TASK_DESIGNATED_PARTICIPANT を指定したものとして結果を返します。関与者の情報取得 (TASK_PARTICIPANT/TASK_DESIGNATED_PARTICIPANT) を指定したとき、rmsObjectDnOnly を指定すると、関与者の情報として取得される RmsObject は DN だけ取得されます。

- ・ ToDo 情報取得オプション
ToDo 情報を取得するときに指定できます。
 - TODO_PERFORMERS : 作業者の情報を取得するときに指定します。指定しない場合は作業者の情報は取得されません。
 - TODO_ATTRS_ONLY : ToDo の属性だけ取得するときに指定します。指定した場合、メッセージの属性は取得されません。指定しない場合はメッセージの属性も取得されます。

その他

- ・ l18nString 型のパラメーターについて
パラメーターとして l18nString の値を指定する場合、値は ns と name によって一意に識別します。l18nString に l18nLabel が設定されていた場合、常に無視します。ns が null または "collabo" であった場合、そのパラメーターで有効な ns が指定されているものとして動作します。コラボスペースで使用する l18nString の値は、[\[付録 E l18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。
- ・ l18nString 型の属性値について
属性値として l18nString 型の値を取得する場合、l18nLabel はログインユーザーのロケールに対応するラベルだけが取得できます。

タスクを指定するパラメーター

タスク情報を取得するときや、タスクを作成したり、更新したりするときに、タスクを指定するための形式について記述します。次の 2 つの要素を「:」で区切った URI 形式で表現します。

- {接頭辞} collabo:taskid (固定)
- {タスク ID} タスクを特定する ID (数値)

次に記述例を示します。

```
collabo:taskid: {タスク ID}
```

メッセージを指定するパラメーター

メッセージ情報を取得するときにメッセージ (添付ファイル、関連リンクも含む) を指定するための形式について記述します。次の 3 つの要素を「:」で区切った URI 形式で表現します。

- {接頭辞} collabo:messageid (固定)
- {タスク ID} タスクを特定する ID (数値)
- {メッセージ ID} メッセージを特定する ID (数値)

次に記述例を示します。

```
collabo:messageid: {タスク ID} : {メッセージ ID}
```

ToDo を指定するパラメーター

ToDo 情報の取得、ToDo の作成、または更新時に、ToDo を指定するための形式について記述します。次の 3 つの要素を「:」で区切った URI 形式で表現します。

- {接頭辞} collabo:todoId (固定)
- {タスク ID} タスクを特定する ID (数値)

- {ToDo ID} ToDo を特定する ID (数値)

次に記述例を示します。

```
collabo:todo: {タスク ID} : {ToDo ID}
```

カスタムタスク属性を指定するパラメーター

カスタムタスク属性を指定するための形式について記述します。次の2つの要素を「:」で区切った URI 形式で表現します。

- {接頭辞} taskAttr (固定)
- {カスタムタスク属性 ID} カスタムタスク属性を特定する ID (数値)。コラボスペース管理アプリケーションの定義済みカスタムタスク属性一覧画面の ID がこれにあたります。

次に記述例を示します。

```
taskAttr: {カスタムタスク属性 ID}
```

10.1.2 タスクを取得する

指定されたタスクを取得するインターフェイスについて記述します。

getTask

■ Java 言語形式

```
TaskObject getTask(String taskId, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

タスクIDを指定して、タスクを取得します。

■ パラメーター

- ・ taskId
取得するタスクのタスク ID (URI 形式で表した値)
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:taskid:1)
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

完了タスク (タスク状態が「完了」「中止」) や凍結タスクも取得できます。

■ 戻り値

指定したタスク

■ エラー

- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。

■ 備考

特にありません。

getTasks

■ Java 言語形式

```
TaskObjectsResponse getTasks(String[] taskIds, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

複数のタスクIDを指定して、タスクを取得します。

■ パラメーター

- ・ taskIds
取得するタスクのタスク ID (URI 形式で表した値) の配列
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:taskid:1)
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

完了タスク (タスク状態が「完了」「中止」) や凍結タスクも取得できます。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功したタスクを格納した配列 (格納順は、ID の指定順と同じです)。
- ・ 取得に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。

■ 備考

特にありません。

listParticipantTasks

■ Java 言語形式

```
TaskObject[] listParticipantTasks(I18nString[] participantTypes, boolean includeFinished, int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

ログインユーザーが関与しているタスクを取得します。

■ パラメーター

- ・ participantTypes
関与タイプの配列。ログインユーザーの関与タスクのうち、指定した関与タイプのタスクだけ取得できません。null を指定できます。
指定可能な値は、[\[付録 E |18nString| \(P.306\)\]](#) を参照してください。
- ・ includeFinished
完了タスク（タスク状態が「完了」「中止」のタスク）も結果に含めるかどうかを指定します。limit [\[10.1.1 共通パラメーター| \(P.182\)\]](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター| \(P.182\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター| \(P.182\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ ログインユーザーが関与しているタスクを取得するインターフェイスです。
- ・ 取得するタスク情報は、participantTypes により変更します。null が指定された場合、すべての関与者（ADMIN/LEADER/MEMBER/OBSERVER）が指定されたものとし、長さ 0 の配列を指定した場合、どのタイプも指定されなかったものとし（結果、何も取得できません）。
- ・ 完了タスクは includeFinished に true を指定した場合だけ取得できます。
- ・ 凍結タスクは取得対象になりません。

■ 戻り値

タスクの配列

■ エラー

- ・ COLLABO-43501200
パラメーター（participantType）に関与者タイプとして解釈できない値（xxx）が指定されました。

■ 備考

特にありません。

10.1.3 メッセージ情報を取得する

指定されたメッセージの情報を取得するインターフェイスについて記述します。

getMessageElement

■ Java 言語形式

```
MessageObject getMessageElement(String messageId, AttributeId[] attrIds,  
String[] options)
```

■ 説明

メッセージIDを指定して、メッセージ・添付ファイル・関連リンクを取得します。

■ パラメーター

- ・ messageId
メッセージ、添付ファイル、または関連リンクのメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値)
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

取得可能な属性のうち、「body」はメッセージタイプにより内容が異なります。メッセージの場合はメッセージの本文、関連リンクの場合はURLが取得できます。添付ファイルからは属性「body」を取得できません。

■ 戻り値

指定したメッセージ、添付ファイル、または関連リンク

■ エラー

- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。

■ 備考

特にありません。

getMessageElements

■ Java 言語形式

```
MessageObjectsResponse getMessageElements(String[] messageIds, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

複数のメッセージIDを指定して、メッセージ・添付ファイル・関連リンクを取得します。

■ パラメーター

- ・ messageIds
メッセージ、添付ファイル、または関連リンクのメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値) の配列
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

メッセージIDは、タスクIDとコンテンツIDをURI形式で表した値を指定します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功したメッセージを格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 取得に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。

■ 備考

特にありません。

getMessage

■ Java 言語形式

```
MessageObject[] getMessage(String messageId, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

メッセージIDを指定して、指定したメッセージとその添付ファイル、関連リンクを取得します。

■ パラメーター

- ・ messageId
メッセージを表すメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値)
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

messageIdに指定可能なものはメッセージを表すメッセージIDだけで、添付ファイルや関連リンクを表すIDを指定した場合、エラーになります。

■ 戻り値

指定したメッセージ、添付ファイル、または関連リンク

■ エラー

- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。

■ 備考

特にありません。

listTaskMessages

■ Java 言語形式

```
MessageObject[] listTaskMessages(String taskId, I18nString[] messageTypes,  
boolean outputOnly, int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

タスクのIDを指定して、指定したタスクに登録されているメッセージと、メッセージの添付ファイル、メッセージの関連リンクを取得します。

■ パラメーター

- ・ taskId
情報取得するタスクのタスク ID を URI 形式で表した値です。
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:taskId:1)
- ・ messageTypes
取得するメッセージタイプの配列。null を指定できます。指定可能な値は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。
- ・ outputOnly
成果物だけ取得するかどうかを指定します。デフォルトは、false です。
- ・ limit
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

取得するメッセージ、添付ファイル、または関連リンクは、messageTypesにより変更します。messageTypesにnullを指定した場合、すべてのメッセージタイプが指定されたものとし、長さ0の配列を指定した場合、どのタイプも指定されなかったものとし、結果、何も取得できません。

■ 戻り値

指定したタスクに登録されているメッセージの情報

■ エラー

- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。
- ・ COLLABO-43501180
パラメーター (msgType) にメッセージタイプとして解釈できない値 (xxx) が指定されました。

■ 備考

特にありません。

getMessageFileContent

■ Java 言語形式

```
Content getMessageFileContent (String messageId)
```

■ 説明

メッセージIDを指定して、指定した添付ファイルを取得します。

■ パラメーター

- ・ messageId
添付ファイルを表すメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値)
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:messageid:1:22)

■ 解説

messageIdに指定可能なものは添付ファイルを表すメッセージIDだけで、メッセージや関連リンクを表すIDを指定した場合、エラーになります。

■ 戻り値

指定したメッセージIDの添付ファイル

■ エラー

- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。

■ 備考

特にありません。

10.1.4 ToDo の情報を取得する

指定されたToDoの情報を取得するインターフェイスについて記述します。

getToDo

■ Java 言語形式

```
ToDoObject getToDo (String todoId, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

IDを指定してToDoを取得します。

■ パラメーター

- ・ todoId
取得する ToDo の ToDo ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
(例: collabo:todoId:1:22)
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

メッセージToDo、レビュー ToDo、ワークフローの作業のToDoを取得できます。

■ 戻り値

指定したToDoの情報

■ エラー

- ・ COLLABO-43190010
ファイル情報の取得に失敗しました。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43520060
メッセージ内容の読取り権がありません。
- ・ COLLABO-43730010
指定されたコンテンツは ToDo ではありません。

■ 備考

特にありません。

getToDoByMessageId

■ Java 言語形式

```
ToDoObject getToDoByMessageId(String messageId, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

メッセージIDを指定してToDoを取得します。

■ パラメーター

- ・ messageId
取得する ToDo 情報が付いているメッセージの ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
(例 : collabo:messageid:1:11)
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

メッセージToDo、レビュー ToDo、ワークフローの作業のToDoを取得できます。

■ 戻り値

メッセージIDで指定したToDoの情報

■ エラー

- ・ COLLABO-43190010
ファイル情報の取得に失敗しました。

- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43520060
メッセージ内容の読取り権がありません。
- ・ COLLABO-43730010
指定されたコンテンツは ToDo ではありません。

■ 備考

特にありません。

getTodos

■ Java 言語形式

```
ToDoObjectsResponse getTodos(String[] todoIds, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

IDを指定して複数のToDoを取得します。

■ パラメーター

- ・ todoIds
取得する ToDo の ToDo ID (URI 形式で表した値) の配列です。必須パラメーターです。
(例: collabo:todoId:1:22)
null、または空の配列は指定できません。
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

メッセージToDo、レビュー ToDo、ワークフローの作業のToDoを取得できます。

■ 戻り値

指定したToDoの情報

■ エラー

- ・ COLLABO-43190010
ファイル情報の取得に失敗しました。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43520060
メッセージ内容の読取り権がありません。
- ・ COLLABO-43730010
指定されたコンテンツは ToDo ではありません。

■ 備考

特にありません。

listTodos

■ Java 言語形式

```
ToDoObject[] listTodos(ToDoFilter filter, SortItem[] order, int limit,
AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

フィルターで指定した条件に合う、すべてのToDoを取得します。

■ パラメーター

- ・ filter
ToDo をフィルターする条件を表す値です。指定した条件で ToDo をフィルターできます。null を指定した場合は、フィルターの条件に filterType だけを指定し、タイプとして ACTIVE_ASSIGNED_TODO を指定した場合と同じ結果になります。
null、または空の配列は指定できません。
- ・ order
ソート条件を表す値の配列です。null を指定できます。ソート属性、および降順ソートかどうかをソート条件の優先順に指定します。null、または空の配列の場合はデフォルトのソート条件になります。デフォルトのソート条件は納期日属性による降順ソートです。
指定できる属性は、[\[付録 A 送信するリクエストの上限値の設定\]](#)の[\[属性情報一覧\] \(P.275\)](#)を参照してください。
- ・ limit
取得する ToDo 数の制限です。最大値については、[\[2.1 設定パラメーター一覧\] \(P.27\)](#)の「最大取得数制限」を参照してください。
- ・ attrIds
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#)を参照してください。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#)を参照してください。

■ 解説

メッセージToDo、レビュー ToDo、ワークフローの作業のToDoを取得できます。

■ 戻り値

フィルターで指定した条件に合う、ToDoの情報の配列

■ エラー

- ・ COLLABO-43190010
ファイル情報の取得に失敗しました。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。

■ 備考

特にありません。

■ ToDoFilter

ToDoをフィルターする条件を指定するときに使用します。

- ・ `filterType`
フィルタータイプを表す値です。null を指定できます。null を指定した場合は、ACTIVE_ASSIGNED_TODO を指定した場合と同じ結果になります。CUSTOM を指定した場合は、filterType 以外のパラメーターで指定した値で、ToDo をフィルターします。指定できる値は次のとおりです。不正な文字列を指定した場合は null を指定した場合と同じ結果になります。
- ・ ACTIVE_ASSIGNED_TODO: 活動中の自分の ToDo
- ・ ALL_ASSIGNED_TODO: すべての自分の ToDo
- ・ ACTIVE_ADMIN_TODO: 活動中の管理 ToDo
- ・ ALL_ADMIN_TODO: すべての管理 ToDo
- ・ ACTIVE_TODO: 活動中のすべての ToDo
- ・ ALL_TODO: すべての ToDo
- ・ CUSTOM: filterType 以外のパラメーターで指定した値で ToDo をフィルターする
CUSTOM 以外のフィルタータイプを指定した場合は、taskId 以外のその他のパラメーターは無視されません。CUSTOM を指定した場合は、filterType 以外の各パラメーターで取得する ToDo を指定します。同種のパラメーターで指定した条件のどれかを満たし、かつ異なるパラメーターすべての条件を満たす ToDo を取得します。たとえば、複数のタスク ID と ToDo のタイプを指定した場合は、指定した複数のタスク ID のどれかであり、かつ指定した ToDo のタイプである ToDo を取得します。
- ・ `taskIds`
フィルターする条件のタスク ID を表す値の配列です。null を指定できます。null、および空の配列を指定した場合は、タスクを横断して ToDo を取得します。不正な値は無視されます。
- ・ `types`
フィルターする条件の ToDo のタイプ（メッセージ ToDo、レビュー ToDo、ワークフローの作業の ToDo）を表す値の配列です。null を指定できます。null、および空の配列を指定した場合は、ToDo のタイプに関わらず ToDo を取得します。指定できる値は次のとおりです。不正な値は無視されます。
- ・ MESSAGE_TODO: メッセージ ToDo
- ・ REVIEW_TODO: レビュー ToDo
- ・ WORKFLOW_TODO: ワークフローの作業の ToDo
- ・ `statuses`
フィルターする条件の ToDo のステータスを表す値の配列です。null を指定できます。null、および空の配列を指定した場合は、ToDo のステータスに関わらず ToDo を取得します。不正な値は無視されます。
- ・ `authors`
フィルターする条件の作成者を表す値の配列です。null を指定できます。null、および空の配列を指定した場合は、ToDo の作成者に関わらず ToDo を取得します。不正な値は無視されます。
- ・ `remainingDays`
本バージョンでは、未サポートです。null を指定してください。
ToDo の納期日までの残日数が、指定した日数以下である ToDo を取得します。
- ・ `performers`
フィルターする条件の作業者の情報を表す値の配列です。作業者の ID を満たす ToDo を取得します。null を指定できます。null、および空の配列を指定した場合は、作業者に関わらず ToDo を取得します。作業者のステータスは無視されるため、null で構いません。不正な値は無視されます。

10.1.5 コラボスペースの情報を検索する

指定された検索条件に合ったコラボスペースの情報を取得するインターフェイスについて記述します。

searchCollaboObjects

■ Java 言語形式

```
CollaboObject[] searchCollaboObjects (AttributeSearchCondition attrCondition,
TextSearchCondition textCondition, CollaboSearchOption option, SortItem[] order,
int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

検索条件を指定して、コラボスペースを検索します。

■ パラメーター

- ・ attrCondition
属性検索条件
検索条件に無効な属性または式が含まれていた場合、エラーになります。属性検索条件の制約に関しては、[「10.1.5 コラボスペースの情報を検索する」](#)の「[■属性検索条件](#)」(P.198)を参照してください。
- ・ textCondition
全文検索条件
無効な条件が含まれていた場合、エラーになります。全文検索条件の制約に関しては、[「10.1.5 コラボスペースの情報を検索する」](#)の「[■全文検索条件](#)」(P.199)を参照してください。
- ・ option
検索オプション
null を指定した場合はエラーになります。次のパラメーターを指定できます（どれも省略できます）。
 - ・ タイプ指定 (searchTypes)
検索対象となるオブジェクトのタイプを指定します。
 - ・ 検索範囲 (searchRegion)
検索の基点となるタスクの ID (id) および階層の深さ (depth) を指定します。タスクの ID は複数指定できます。タスクの ID は URI 形式で表した値を指定します。階層の深さには、指定したタスクの下位タスクのうち何階層目までを検索の対象にするかを指定します。
 - ・ 語形変化 (textSearchMode)
全文検索条件に英単語を指定した場合に使用可能なオプションで、変化形を考慮した検索をするためのパラメーターです。STEMMING および NONE だけが指定できます。デフォルトは、NONE です。
- ・ order
ソート順序
現在未対応です。
- ・ limit
最大取得数
[「10.1.1 共通パラメーター」](#) (P.182) を参照してください。
- ・ attrIds
[「10.1.1 共通パラメーター」](#) (P.182) を参照してください。
- ・ options
[「10.1.1 共通パラメーター」](#) (P.182) を参照してください。

■ 解説

- ・ 検索オプションには、タイプ指定・検索範囲・語形変化以外にもさらに詳細な指定をすることができます。詳細については [「10.1.5 コラボスペースの情報を検索する」](#) (P.195) の「[■CollaboSearchOption](#)」(P.199)を参照してください。

- ・ 検索オプションのタイプ指定には、TASK、MSG、FILE、LINK だけが指定できます。null の場合はすべてのオブジェクトが対象になります。
- ・ 階層の深さは、指定したすべてのタスクに同じ値を設定します。階層の深さに 1 を指定した場合、指定したタスクだけが対象になります。階層の深さの最大値は 101 です。0 以下の値や 101 以上の値を指定しても 101 として動作します。タスクの ID を指定した場合、検索対象となるタスクの数が 100 件を超えると、エラーになります。null の場合はすべてのタスクが検索範囲になります。

■ 戻り値

タスク、メッセージ、または添付ファイルの配列

■ エラー

- ・ COLLABO-43614010
検索条件が指定されていません。キーワードを指定するか、詳細検索で日付、カスタムタスク属性、またはユーザーの名前を指定してください。
- ・ COLLABO-43614020
「範囲の指定」で何も指定されていません。検索する対象を指定してください。
- ・ COLLABO-43614140
指定されたタスクの検索範囲が制限数 (xxx) を超えました。
- ・ COLLABO-43614050
フリーキーワードの個数が多すぎます (フリーキーワードは 10 個までです)。
- ・ COLLABO-43614070
関与者 (タスク) ・ 作成者の指定の人名が多すぎます。人名のキーワードは 3 つ (3 人) までです。
- ・ COLLABO-43614080
全文検索キーワードが有効でない文字によって構成されています (xxx)。
- ・ COLLABO-43614090
日付の指定が正しくありません。
- ・ COLLABO-43614110
検索する日付の範囲指定が正しくありません (xxx - xxx)。
- ・ COLLABO-43614120
カスタムタスク属性の日付の範囲指定が正しくありません (xxx } xxx)。

■ 備考

特にありません。

searchKnowWho

■ Java 言語形式

```
RmsObject [] searchKnowWho (
AttributeSearchCondition attrCondition, TextSearchCondition textCondition,
CollaboSearchOption option, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds)
```

■ 説明

検索条件を指定して、KnowWho検索をします。

■ パラメーター

- ・ attrCondition
属性検索条件
検索条件に無効な属性または式が含まれていた場合、エラーになります。属性検索条件の制約に関しては、[\[10.1.5 コラボスペースの情報を検索する\] \(P.195\)](#) の [「属性検索条件」 \(P.198\)](#) を参照してください。

- ・ textCondition
全文検索条件
無効な条件が含まれていた場合、エラーになります。全文検索条件の制約に関しては、[\[10.1.5 コラボスペースの情報を検索する\] \(P.195\)](#) の [\[■ 全文検索条件\] \(P.199\)](#) を参照してください。
- ・ option
検索オプション
null を指定した場合はエラーになります。次のパラメーターを指定できます（どれも省略できます）。
 - ・ タイプ指定 (searchTypes)
検索対象となるオブジェクトのタイプを指定します。
 - ・ 検索範囲 (searchRegion)
検索の基点となるタスクの ID (id) および階層の深さ (depth) を指定します。タスクの ID は複数指定できます。タスクの ID は URI 形式で表した値を指定します。階層の深さには、指定したタスクの下位タスクのうち何階層目までを検索の対象にするかを指定します。
 - ・ 語形変化 (textSearchMode)
全文検索条件に英単語を指定した場合に使用可能なオプションで、変化形を考慮した検索をするためのパラメーターです。STEMMING および NONE だけが指定できます。デフォルトは、NONE です。
- ・ order
ソート順序
現在未対応です。
- ・ limit
最大取得数
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
RmsObject で取得する属性の指定です。リソース管理インターフェイスの属性を指定します。詳細は [\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 検索オプションには、タイプ指定・検索範囲・語形変化以外にもさらに詳細な指定をすることができます。詳細については [\[10.1.5 コラボスペースの情報を検索する\] \(P.195\)](#) の [\[■ CollaboSearchOption\] \(P.199\)](#) を参照してください。
- ・ 検索オプションのタイプ指定には、TASK、MSG、FILE、LINK だけが指定できます。null の場合はすべてのオブジェクトが対象になります。
- ・ 階層の深さは、指定したすべてのタスクに同じ値を設定します。階層の深さに 1 を指定した場合、指定したタスクだけが対象になります。階層の深さの最大値は 101 です。0 以下の値や 101 以上の値を指定しても 101 として動作します。タスクの ID を指定した場合、検索対象となるタスクの数が 100 件を超えると、エラーになります。null の場合はすべてのタスクが検索範囲になります。

■ 戻り値

検索条件を満たしたユーザーの情報です。

■ エラー

- ・ COLLABO-43614020
「範囲の指定」で何も指定されていません。検索する対象を指定してください。
- ・ COLLABO-43614040
検索条件が指定されていません。キーワードを指定してください。
- ・ COLLABO-43614130
KnowWho 検索ではユーザーを指定できません。
- ・ COLLABO-43614140
指定されたタスクの検索範囲が制限数 (xxx) を超えました。
- ・ COLLABO-43614050
フリーキーワードの個数が多すぎます（フリーキーワードは 10 個までです）。

- ・ COLLABO-43614070
関与者（タスク）・作成者の指定の人名が多すぎます。人名のキーワードは3つ（3人）までです。
- ・ COLLABO-43614080
全文検索キーワードが有効でない文字によって構成されています（xxx）。
- ・ COLLABO-43614090
日付の指定が正しくありません。
- ・ COLLABO-43614110
検索する日付の範囲指定が正しくありません（xxx - xxx）。
- ・ COLLABO-43614120
カスタムタスク属性の日付の範囲指定が正しくありません（xxx > xxx）。

■ 備考

特にありません。

検索条件

コラボスペースの検索およびKnowWho検索の検索条件について説明します。

指定可能な検索条件は、属性検索条件（AttributeSearchCondition）、全文検索条件（TextSearchCondition）、オプション条件（CollaboSearchOption）の3つです。これらの条件は、内部的にANDで結合され検索条件として評価されます。検索は、少なくとも全文検索条件かオプション条件の要素（期間、ユーザーキーワード、カスタムタスク属性）のどれかを指定する必要があります。KnowWho検索は、少なくとも全文検索条件を指定する必要があります。

■ 属性検索条件

コラボスペースの検索およびKnowWho検索の属性検索条件について説明します。

属性検索条件で指定できる属性は次の通りです。複数の条件を組み合わせる場合、すべての属性は一度だけ使用でき、ANDで接続する必要があります。「～だけに有効。」と書かれているものは、指定された検索対象以外には影響を及ぼしません。たとえば、タスク状態を指定した場合、検索結果には指定したタスク状態のタスクだけが表示されます。メッセージなどはタスク状態に関わらず、メッセージに関わるほかの検索条件を満たしたものが表示されます。

検索条件名	属性名	サポート オペレーター	データ型	概要
タスク状態	taskStatus	BinaryOperator.EQ UAL MultiOperator.IN	l18nStringValue 指定できる値： WAIT（開始前） EXEC（実行中） CANCELED（中止） COMPLETE（完了） RE_EXEC（再実行中）	タスク状態で検索します。タスクだけに有効です。複数指定することができます。指定しない場合はすべてのタスクが検索結果になります。

検索条件名	属性名	サポート オペレーター	データ型	概要
メッセージ属性	messageAttr	BinaryOperator.EQ UAL MultiOperator.IN	l18nStringValue 指定できる値： messageAttr: {ID *} *: {ID} は定義 済み メッセージ属性一覧 画面のID。	メッセージ属性で検索します。メッセージだけに有効です。指定しない場合、すべてのメッセージが検索結果になります。
緊急のメッセージ	exigency	BinaryOperator.EQ UAL	BooleanValue	緊急のメッセージを検索します。メッセージだけに有効です。デフォルトは [false] です。
成果物	output	BinaryOperator.EQ UAL	BooleanValue	成果物になっている添付ファイル、関連リンクを検索します。添付ファイル、関連リンクだけに有効です。デフォルトは [false] です。
凍結状態	archiveStatus	BinaryOperator.EQ UAL	l18nStringValue 指定できる値： NORMAL (通常タ スク)	凍結タスクを検索結果に含めるかどうかの設定です。タスクだけに有効です。NORMALを指定した場合、凍結タスクは検索結果に含まれず、それ以外の場合、すべてのタスクが検索結果になります。

■ 全文検索条件

コラボスペースの検索およびKnowWho検索の属性検索条件について説明します。

コラボスペースの全文検索条件は、キーワードのAND/OR検索だけをサポートしています。全文検索条件として指定可能なクラスは、TextConditionだけです。TextConditionの要素WordListに全文検索を実行するキーワード群およびWordListOperatorを指定することで検索条件を表現します。キーワード群は10個まで指定できます。

■ CollaboSearchOption

コラボスペースのその他の条件を指定するためのCollaboSearchOptionについて説明します。

◆ タイプ指定 (SearchTypes)

検索結果として返すオブジェクトのタイプを指定する設定です。l18nStringで表現し、次のものを複数指定できます。

- ・ TASK (タスク)
- ・ MSG (メッセージ)
- ・ FILE (添付ファイル)
- ・ LINK (関連リンク)

SearchTypesにnullを指定した場合、すべてのオブジェクトが検索されます。ネームスペースはすべて"collabo"になり、省略できます。

◆ 検索範囲 (SearchRegion)

コラボスペースの検索およびKnowWho検索の検索範囲を指定する設定です。起点となるタスクのタスクID (id) とそれらのタスクの下位タスクのうち何階層目までが対象なのかを表す階層の深さ (depth) を指定します。idは複数指定できます。idは必須であり、指定がない場合にはSearchRegionは無視されます。depthに0以下を指定した場合は最大値まで、1を指定した場合はidで指定したタスクだけが検索範囲となります。depthの最大値は101です。SearchRegionを指定した場合、検索範囲に含まれるタスクが100を超える場合はエラーになります。SearchRegionにnullを指定した場合、すべてのタスクが検索範囲になります。

◆ 語形変化 (TextSearchMode)

全文検索条件に英単語を指定した場合にだけ指定できるパラメーターで、変化形を考慮した検索をするためのパラメーターです。次のものを1つ指定できます。

- ・ STEMMING (英単語変化形検索)
- ・ NONE (指定なし)

TextSearchModeにnullや無効な値を指定した場合、NONEとして動作します。

◆ その他のオプション

検索条件名	オプション名	データ型	概要
タイトルのみ検索	titleOnly	boolean	全文検索条件をタスクやメッセージのタイトルや添付ファイル名、リンク名だけに制限するための設定です。デフォルトは [false] です。
期間	dateFrom dateTo	Date Date	dateFromからdateToまでの期間内に作成されたタスク、更新されたメッセージ・添付ファイル・関連リンクを検索対象にするための設定です。どちらか一方だけを指定することもできます。dateFromだけを指定した場合、dateFrom以降になります。dateToだけを指定した場合、dateTo以前と評価されます。 WSDL定義上XMLSchemaのdate型で表現します。Javaで使用する場合、java.util.Dateクラスにマッピングされますが、日付の情報だけに有効で時間の情報は無視されます。
ユーザーキーワード	userKeywords	String[]	指定したキーワードがタスク関与者名に含まれるタスクおよび、メッセージ作成者名に含まれるメッセージ・添付ファイル・関連リンクを検索対象にするための設定です。キーワードは複数指定することができます。空白を含んだキーワードを指定する場合は「」で囲みます。
カスタムタスク属性	customTaskCondition	CustomTaskCondition	指定したカスタムタスク属性の条件を満たすタスクを検索対象にするための設定です。この条件は、タスクだけを評価します。

■ CustomTaskCondition

カスタムタスク属性の検索条件を表現するCustomTaskConditionについて説明します。カスタムタスク属性は、テキスト型・メニュー型・数値型・日付型の4つのデータ型を持ちます。CustomTaskConditionは、これらのデータ型を表すクラスTaskTextCondition/TaskMenuCondition/TaskNumericCondition / TaskDateConditionを任意の数保持することができます。また、それぞれの条件は内部的にANDで結合され検索条件として評価されます。

次に、個々のデータ型を表す属性条件について示します。

検索条件名	オプション名	データ型	概要
テキスト型カスタム タスク属性条件 TaskTextCondition	id	String	テキスト型カスタムタスク属性のID です。
	connection	TaskConditionConnect Type 指定可能な値：NONE AND AND_NOT OR	直前の条件との接続を表すパラメ ーターです。最初の検索条件だけ無視 されます。
	value	StringValue	テキスト型カスタムタスク属性の検 索条件を表すパラメーターです。
メニュー型カスタム タスク属性条件 TaskMenuCondi tion	id	String	メニュー型カスタムタスク属性のID です。nullを指定した場合はエラー になります。
	connection	TaskConditionConnect Type	TaskTextConditionの項目と同じで す。
	value	l18nStringValue	メニュー型カスタムタスク属性の検 索条件を表すパラメーターです。メ ニューの何番目の要素かを指定しま す。
数値型カスタムタス ク属性条件 TaskNumericCond ition	id	String	数値型カスタムタスク属性のIDです。 nullを指定した場合はエラーになり ます。
	connection	TaskConditionConnect Type	TaskTextConditionの項目と同じで す。
	valueFrom valueTo	DoubleValue DoubleValue	数値型カスタムタスク属性の検索条 件を表すパラメーターです。どちら か一方だけを指定することもできま す。valueFromだけを指定した場合、 valueFrom以上です。valueToだけ を指定した場合、valueTo以下と評 価されます。
日付型カスタムタス ク属性条件 TaskDateCondi tion	id	String	日付型カスタムタスク属性のIDです。 nullを指定した場合はエラーになり ます。
	connection	TaskConditionConnect Type	TaskTextConditionの項目と同じで す。
	valueFrom valueTo	DateValue DateValue	日付型カスタムタスク属性の検索条 件を表すパラメーターです。どちら か一方だけを指定できます。 valueFromだけを指定した場合、 valueFrom以降です。valueToだけ を指定した場合、valueTo以前と評 価されます。

10.1.6 タスクを操作する

タスクの作成、変更をするインターフェイスについて記述します。

createTask

■ Java 言語形式

```
String createTask(String taskName, Attribute[] attrs, Message message, Ace[]  
acl, TaskParticipant[] participants, String parentTaskId, String childTaskId,  
boolean noMail)
```

■ 説明

タスクを作成します。

■ パラメーター

- ・ taskName
タスク名。null を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrs
タスク名を除いたタスク情報を指定します。null を指定できます。指定可能な値は、[\[付録 C コラボ属性補足\] \(P.296\)](#) を参照してください。
- ・ message
タスク作成したときに登録される「タスクの説明」のコンテンツ（メッセージ、添付ファイル、関連リンク）を表す値です。null を指定できます。
- ・ acl
タスクのアクセス権を表す値です。メンバー、オブザーバー、関与者外のアクセス権を指定できます。null を指定できます。
- ・ participants
関与者の情報を表す値の配列です。null を指定できます。
- ・ parentTaskId
作成するタスクの上位タスクを表すタスク ID (URI 形式で表した値)。null を指定できます。
(例: collabo:taskid:1)
- ・ childTaskId
作成するタスクの下位タスクを表すタスク ID (URI 形式で表した値)。null を指定できます。
(例: collabo:taskid:10)
- ・ noMail
メール通知するかどうかを表すフラグです。true を指定するとメール通知しません。false を指定するとタスクのデフォルトの設定に従いメール通知します。デフォルトは、false です。

■ 解説

taskNameは必ず指定します。

■ 戻り値

タスクの説明を表すメッセージID

■ エラー

- ・ COLLABO-43530010
タスクの作成に失敗しました。
- ・ COLLABO-43530020
タスク名が長すぎます。120 バイト以内にしてください。
- ・ COLLABO-43530040
日付の指定が不正です。
- ・ COLLABO-43530050
指定したタスクへの接続権がありません。
- ・ COLLABO-43530060
タスク名が指定されていません。
- ・ COLLABO-43530070
カスタムタスク属性の値が正しくありません。
- ・ COLLABO-43530080
タスク言語の値が正しくありません。

■ 備考

特にありません。

■ Message の解説

Messageは、タスクに登録するメッセージを送付するときや、登録済みのメッセージを更新するときに使用します。

1つのMessageは、1つのメッセージに対応しており、メッセージのタイトル、内容、属性や添付ファイル、関連リンクなどの情報を保持します。それぞれの値の詳細は次のとおりです。

- ・ title
メッセージのタイトル。メッセージ更新の場合、null を指定できます。ただし、タスク作成・タスク情報変更の場合、この値は無視します。メッセージ更新の場合、以前のタイトルから置き換えられ、null の場合変更されません。
- ・ body
メッセージの内容。null を指定できます。メッセージ更新の場合、以前の内容から置き換えられ、null の場合変更されません。
- ・ messageAttr
メッセージ属性。null を指定できます。メッセージ更新の場合、以前のメッセージ属性値から置き換えられます。設定情報画面のメッセージ属性タブに表示されているメッセージ属性の ID を次のような形式で指定します。
messageAttr: {メッセージ属性 ID}

参照 設定情報画面の詳細については、『コラボスペースのヘルプ』を参照してください。

- ・ exigency
メッセージの緊急度。null を指定できます。メッセージ更新の場合、以前の緊急度から置き換えられます。指定可能な値は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。
- ・ files
メッセージに追加された添付ファイルの配列。複数指定可。null を指定できます。メッセージ更新の場合、指定した添付ファイルが新規に追加されます。以前に登録した添付ファイルを更新することはできません。
- ・ links
メッセージに追加された関連リンクの配列。複数指定可。null を指定できます。メッセージ更新の場合、指定した関連リンクが新規に追加されます。以前に登録した関連リンクを更新することはできません。

■ TaskParticipant の解説

TaskParticipantは、タスクに登録する関与者を指定するときに使用します。

1つのTaskParticipantは、一人の関与者に対応しており、ユーザーを表すRMSオブジェクトと関与タイプ、遂行状態の情報を保持します。それぞれの値の詳細は次のとおりです。

- ・ participant
タスクの関与者を表す RMS オブジェクト。
- ・ participantTypes
タスクにおけるユーザーの関与タイプ。指定可能な値は、[\[付録 E |18nString| \(P.306\)\]](#) を参照してください。
- ・ memberStatus
メンバーの遂行状態。null を指定できます。ただし、タスク作成・タスク情報変更の場合、この値は無視します。取得可能な値は、[\[付録 E |18nString| \(P.306\)\]](#) を参照してください。

updateTask

■ Java 言語形式

```
String updateTask(String taskId, Attribute[] attrs, Message message, Ace[] acl,
TaskParticipant[] removeParticipants, TaskParticipant[] addParticipants,
TaskParticipant[] setParticipants, boolean noMail)
```

■ 説明

タスク情報や関与者を更新します。

■ パラメーター

- ・ taskId
タスク ID を URI 形式で表した値です。
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ attrs
タスク名を除いたタスク情報を指定します。null を指定できます。指定可能な値は、[\[付録 C コラボ属性補足| \(P.296\)\]](#) を参照してください。
- ・ message
タスク更新したときに登録されるコンテンツ（メッセージ、添付ファイル、関連リンク）を表す値です。
null を指定できます。
- ・ acl
タスクのアクセス権を表す値です。メンバー、オブザーバー、関与者外のアクセス権を指定できます。null が可です。
- ・ removeParticipants
削除する関与者の情報を表す値の配列です。null を指定できます。
- ・ addParticipants
追加する関与者の情報を表す値の配列です。null を指定できます。
- ・ setParticipants
置換する関与者の情報を表す値の配列です。null を指定できます。
- ・ noMail
メール通知するかどうかを表すフラグです。true を指定するとメール通知しません。false が指定されるとタスクのデフォルトの設定に従いメール通知します。デフォルトは false です。

■ 解説

関与者の変更は、remove、addの順に評価します。変更前の関与者から、removeParticipantsを削除後、addParticipantsを追加したものが変更後の関与者になります。ただし、setParticipantsを指定した場合、removeParticipants、addParticipantsの値は無視され、setParticipantsの内容がタスクの関与者になります。

■ 戻り値

タスクの更新を表すメッセージID

■ エラー

- ・ COLLABO-43540010
タスク情報の更新に失敗しました。
- ・ COLLABO-43540020
タスク状態の更新に失敗しました。
- ・ COLLABO-43540030
タスク関与者の更新に失敗しました。
- ・ COLLABO-43540050
他のユーザーがタスク情報変更中です。
- ・ COLLABO-43540060
RMS で削除されたユーザー情報の同期が取れていない可能性があります。しばらく待ってタスク情報変更を行ってください。
- ・ COLLABO-43540070
関与者に対して秘匿タスクには設定できません。
- ・ COLLABO-43540080
状態の指定が正しくありません。

■ 備考

特にありません。

connectTask

■ Java 言語形式

```
void connectTask(String parentTaskId, String childTaskId)
```

■ 説明

タスクのIDを指定して、タスクを接続します。

■ パラメーター

- ・ parentTaskId
上位タスクのタスク ID を URI 形式で表した値です。
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ childTaskId
下位タスクのタスク ID を URI 形式で表した値です。
null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

parentTaskIdの下位タスクとしてchildTaskIdを接続します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500160
この操作は、凍結されたタスク、またはアーカイブされたタスクには使用できません。
- ・ COLLABO-43560030
タスクを接続または切断する権利がありません。
- ・ COLLABO-43560050
既にタスクは接続されています。
- ・ COLLABO-43560060
同一のタスクは接続できません。

■ 備考

特にありません。

disconnectTask

■ Java 言語形式

```
void disconnectTask(String parentId, String childTaskId)
```

■ 説明

タスクのIDを指定して、接続を解除します。

■ パラメーター

- ・ parentId
上位タスクのタスク ID を URI 形式で表した値です。
null を指定した場合はエラーになります。
- ・ childTaskId
下位タスクのタスク ID を URI 形式で表した値です。
null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ parentId の下位タスクとして childTaskId が存在する場合だけ、接続関係を切断します。
- ・ parentId および childTaskId の間に接続関係がない場合でも処理自体は成功します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。

- ・ COLLABO-43500160
この操作は、凍結されたタスク、またはアーカイブされたタスクには使用できません。
- ・ COLLABO-43560030
タスクを接続または切断する権利がありません。

■ 備考

特にありません。

changeMemberStatus

■ Java 言語形式

```
I18nString changeMemberStatus(String taskId, String userId, I18nString memberStatus)
```

■ 説明

タスクのIDと関係者のIdを指定して、遂行状態を変更します。

■ パラメーター

- ・ taskId
タスク ID を URI 形式で表した値です。null を指定した場合はエラーになります。
- ・ userId
遂行状態を変更するタスクのメンバーを表す値です。null を指定できます。
- ・ memberStatus
変更後の遂行状態を表す値です。null を指定した場合はエラーになります。

■ 解説

- ・ userId に null を指定した場合、ログインユーザーの遂行状態を変更します。
- ・ 遂行状態に「実行中」、「再実行中」を指定した場合、現在のユーザーの状態により、変更後の遂行状態は、「実行中」または「再実行中」のどちらかになります。また、「開始前」、「再実行待ち」を指定した場合、現在のユーザーの状態により、変更後の遂行状態は、「開始前」、「再実行待ち」のどちらかになります。

参照 設定情報画面の詳細については、『コラボスペースのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

変更後の遂行状態です。

■ エラー

- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43500160
この操作は、凍結されたタスク、またはアーカイブされたタスクには使用できません。
- ・ COLLABO-43520220
指定されたユーザーは関係者ではありません。
- ・ COLLABO-43520230
指定されたユーザーはメンバーではありません。

- ・ COLLABO-43540040
遂行者状態の更新に失敗しました。

■ 備考

特にありません。

10.1.7 メッセージを追加する

メッセージを追加するインターフェイスについて記述します。

addMessage

■ Java 言語形式

```
String addMessage(String taskId, String refMessageId, Message message,  
TaskMailOption taskMailOption)
```

■ 説明

タスクのIDを指定して、メッセージを登録します。

■ パラメーター

- ・ taskId
登録先のタスクを表すタスク ID (URI 形式で表した値)
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:taskId:1)
- ・ refMessageId
返信先を表すメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値)。null を指定できます。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ message
登録するコンテンツ (メッセージ、添付ファイル、関連リンク) を表す値です。
- ・ taskMailOption
メール通知設定を表す値です。null を指定できます。null の場合、デフォルトのメール通知設定で動作します。

■ 解説

メール通知設定のデフォルトは、タスクの設定と緊急度によって決定されます。詳細は『コラボスペースのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

登録したメッセージを表すメッセージID

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08302005
ネームスペースが不正です。: ネームスペース =
- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメーター (exigency) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501190
パラメーター (exigency) に緊急度として解釈できない値 (xxx) が指定されました。

- ・ COLLABO-43501270
パラメーター指定が不正です。
- ・ COLLABO-43520070
メッセージの書込み権がありません。
- ・ COLLABO-43550010
メッセージの作成に失敗しました。
- ・ COLLABO-43550020
メッセージのタイトルが長すぎます。120 バイト以内になしてください。
- ・ COLLABO-43550030
メッセージのタイトルが指定されていません。
- ・ COLLABO-43550050
添付ファイル名が長すぎます。120 バイト以内になしてください。
- ・ COLLABO-43550100
関連リンクの名前が長すぎます。120 バイト以内になしてください。
- ・ COLLABO-43550140
指定されたメッセージはありません。
- ・ COLLABO-43550160
ファイルが指定されていません。
- ・ COLLABO-43550170
返信元のメッセージが存在しません。
- ・ COLLABO-43550180
EditionKey が指定されていません。
- ・ COLLABO-43550190
版を追加できません。指定された版は存在しません。
- ・ COLLABO-43550210
RMS から削除されたユーザーがタスクに含まれているため、ファイルを登録できません。タスク情報を変更してください。
- ・ COLLABO-43550211
ファイル指定が不正です。
- ・ COLLABO-43550212
指定されたメッセージ属性がありません。
- ・ COLLABO-43550213
関与者外のユーザーには転送メール以外指定できません。
- ・ COLLABO-43710310
ファイル一時保存用のディレクトリが作成できません。
- ・ COLLABO-43710330
ファイルが取得できません。

■ 備考

特にありません。

■ TaskMailOption の解説

TaskMailOptionは、メッセージ登録時のメール通知設定を指定するときに使用します。

1つのTaskMailOptionは、メール通知1回の設定に対応しており、デフォルト/個々の関与者のメール通知方法や転送メールアドレス、添付ファイルの設定を保持します。それぞれの値の詳細は次のとおりです。

- ・ directDefault
メッセージ登録で通知される逐次メールのデフォルトを表す値です。null を指定できます。null が指定された場合、タスクの設定と緊急度によって決まる設定に準じます。

参照 ・ 通知形式の詳細については、『メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ』を参照してください。
・ 指定可能な値は、[\[付録 E |18nString| \(P.306\)\]](#) を参照してください。

- ・ digestDefault
メッセージ登録で通知されるダイジェストメールのデフォルトを表す値です。null を指定できます。null が指定された場合、タスクの設定と緊急度によって決まる設定に準じます。
参照 ・ 通知形式の詳細については、『メッセージ通知管理アプリケーションのヘルプ』を参照してください。
・ 指定可能な値は、[\[付録 E |18nString| \(P.306\)\]](#) を参照してください。
- ・ taskMailUserOptions
個別関与者のメール通知設定の配列。任意の関与者ごとにメール通知設定を変更したい場合に指定できます。指定されない関与者は、directDefault/digestDefault の設定に従います。
- ・ forwardMailAddresses
関与者以外に転送メールを通知するメールアドレスの配列。
- ・ attachedFile
登録するメッセージに添付ファイルが付与されている場合に、転送メールおよび、イントラ外ユーザーへのメールに実際のファイルを添付するかを表すフラグ。true を指定すると実際のファイルがメールに添付され、false を指定すると添付されません。デフォルトは false です。

■ TaskMailUserOption の解説

TaskMailUserOptionは、個々のユーザーのメール通知設定を指定するときに使用します。

1つのTaskMailUserOptionは、メール通知1回の任意の関与者のメール設定に対応しており、任意の関与者RMSオブジェクトとその逐次メール、ダイジェストメールの通知設定を保持します。それぞれの値の詳細は次のとおりです。

- ・ messageUser
タスクの関与者を表す RMS オブジェクト
- ・ direct
逐次メールの通知設定を表す値です。null を指定できます。
null が指定された場合、TaskMailOption の directDefault の設定に準じます。指定可能な値は、[\[付録 E |18nString| \(P.306\)\]](#) を参照してください。
- ・ digest
ダイジェストメールの通知設定を表す値です。null を指定できます。
null が指定された場合、TaskMailOption の digestDefault の設定に準じます。指定可能な値は、[\[付録 E |18nString| \(P.306\)\]](#) を参照してください。

updateMessage

■ Java 言語形式

```
void updateMessage(String messageId, Message message, TaskMailOption taskMailOption)
```

■ 説明

メッセージのIDを指定して、メッセージを更新します。

■ パラメーター

- ・ messageId
変更先を表すメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値)
null を指定した場合はエラーになります。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ message
更新するコンテンツ (メッセージ、添付ファイル、関連リンク) を表す値です。
- ・ taskMailOption
メール通知設定を表す値です。null を指定できます。null の場合、デフォルトのメール通知設定で動作します。

■ 解説

- ・メッセージのタイトル・内容などは、以前の内容と置き換わります。ただし、添付ファイル・関連リンクは以前の登録内容は削除されず、指定されたメッセージへ新規に追加します。
- ・メール通知設定のデフォルトは、タスクの設定と緊急度によって決定されます。タスクの設定と緊急度については、『コラボスペースのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ ARCSUITE_WS-08302005
ネームスペースが不正です。: ネームスペース =
- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメーター (exigency) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501190
パラメーター (exigency) に緊急度として解釈できない値 (xxx) が指定されました。
- ・ COLLABO-43501270
パラメーター指定が不正です。
- ・ COLLABO-43520060
メッセージ内容の読取り権がありません。
- ・ COLLABO-43520070
メッセージの書込み権がありません。
- ・ COLLABO-43550010
メッセージの作成に失敗しました。
- ・ COLLABO-43550020
メッセージのタイトルが長すぎます。120 バイト以内にしてください。
- ・ COLLABO-43550030
メッセージのタイトルが指定されていません。
- ・ COLLABO-43550050
添付ファイル名が長すぎます。120 バイト以内にしてください。
- ・ COLLABO-43550100
関連リンクの名前が長すぎます。120 バイト以内にしてください。
- ・ COLLABO-43550140
指定されたメッセージはありません。
- ・ COLLABO-43550210
RMS から削除されたユーザーがタスクに含まれているため、ファイルを登録できません。タスク情報を変更してください。
- ・ COLLABO-43550211
ファイル指定が不正です。
- ・ COLLABO-43550212
指定されたメッセージ属性がありません。
- ・ COLLABO-43550213
関与者外のユーザーには転送メール以外指定できません。
- ・ COLLABO-43710310
ファイル一時保存用のディレクトリが作成できません。

- ・ COLLABO-43710330
ファイルが取得できません。

■ 備考

特にありません。

10.1.8 ToDo を追加する

ToDo情報を追加するインターフェイスについて記述します。

addToDo

■ Java 言語形式

```
String addToDo(String messageId, ToDo todo, boolean noMail)
```

■ 説明

指定したメッセージにToDoを追加して、メッセージToDoにします。

■ パラメーター

- ・ messageId
ToDo 情報を追加するメッセージを表すメッセージ ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ todo
追加する ToDo 情報を表す値です。必須パラメーターです。
- ・ noMail
メール通知を行わないことを表す値です。true を指定するとメール通知は行われません。false が指定されると、タスクのデフォルトの設定に従ってメール通知が行われます。

■ 解説

ログインユーザーがタスク書き込み権を持つ場合に、指定したメッセージにToDo情報を追加してメッセージToDoにすることができます。

■ 戻り値

追加したToDo情報を表すToDo ID

■ エラー

- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメータ ({0}) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501030
パラメータ ({0}) に解釈できない値 ({1}) が指定されました。

- ・ COLLABO-43720040
指定されたコンテンツは既に ToDo です。
- ・ COLLABO-43720050
状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720060
担当状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720080
メッセージが削除されています。
- ・ COLLABO-43720320
指定された ToDo のタイプは不正です。

■ 備考

特にありません。

■ ToDo

メッセージにToDo情報を追加、およびToDo情報を更新するときに使用します。

- ・ type
予約です。null を指定してください。
- ・ status
ToDo のステータスです。null を指定できます。ToDo 情報を追加するときに null を指定した場合は、ToDo のステータスのデフォルト値が設定されます。ToDo のステータスのデフォルト値はコラボスペース管理アプリケーションで設定される値で、「開始前」または「実行中」です。ToDo 情報を更新するときに null を指定した場合は、ステータスの変更はありません。指定できる値は次のとおりです。不正な値はエラーになります。
 - WAIT: 開始前
 - EXEC: 実行中
 - CANCELED: 却下
 - COMPLETE: 完了
 - RE_EXEC: 再実行中
- ・ dueDate
ToDo の納期日です。null を指定できます。ToDo 情報を追加するときに null を指定した場合は、納期日は指定なしです。ToDo 情報を更新するときに null を指定した場合は、納期日の変更はありません。
- ・ performers
ToDo の作業者を表す値の配列です。null を指定できます。null、および空の配列を指定した場合は、作業者は指定なしです。ToDo 情報を更新するときは、null を指定します。

■ ToDoPerformer

ToDoの作業者情報を指定するときに使用します。

- ・ performer
ToDo の作業者です。null は指定できません。
- ・ status
ToDo の作業者のステータスです。null を指定できます。ToDo 情報を追加するときに null を指定した場合は、「開始前」を指定した場合と同じ動作です。ToDo 情報を更新するときに null を指定した場合は、ステータスの変更はありません。指定できる値は次のとおりです。不正な値はエラーになります。
 - WAIT: 開始前
 - EXEC: 実行中
 - CANCELED: 却下
 - FINISHED: 終了
 - COMPLETE: 完了

- RE_EXEC: 再実行中
- RE_WAIT: 再実行前
- ABORTED: 実行不可

addMessageWithToDo

■ Java 言語形式

```
String addMessageWithToDo(String taskId, String refMessageId, Message message,
ToDo todo, TaskMailOption taskMailOption)
```

■ 説明

指定したタスクにメッセージToDoを登録します。

■ パラメーター

- ・ taskId
登録先のタスクを表すタスク ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
(例: collabo:taskid:1)
- ・ refMessageId
返信先を表すメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値) です。null を指定できません。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ message
登録するコンテンツ (メッセージ、添付ファイル、関連リンク) を表す値です。必須パラメーターです。
- ・ todo
登録する ToDo を表す値です。必須パラメーターです。
- ・ taskMailOption
メール通知設定を表す値です。null を指定できます。null の場合、メッセージは通知されません。

■ 解説

メール通知設定のデフォルトは、タスクの設定と緊急度によって決定されます。詳細は『コラボスペースのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

登録したメッセージを表すメッセージID

■ エラー

- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメータ ({0}) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501030
パラメータ ({0}) に解釈できない値 ({1}) が指定されました。

- ・ COLLABO-43520070
メッセージの書込み権がありません。
- ・ COLLABO-43720050
状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720060
担当状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720320
指定された ToDo のタイプは不正です。

■ 備考

特にありません。

startReview

■ Java 言語形式

```
String startReview(String messageId, Message startReviewMessage, ToDo todo,
boolean noMail)
```

■ 説明

指定したファイルをレビュー開始します。

■ パラメーター

- ・ messageId
レビュー開始するファイルのメッセージ ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
(例: collabo:messageid:1:33)
- ・ startReviewMessage
レビュー開始メッセージです。必須パラメーターです。レビュー開始メッセージには、添付ファイル、および関連リンクを添付できません。Message 型のメンバー files、links の値は無視されます。
- ・ todo
レビュー ToDo を表す値です。必須パラメーターです。
- ・ noMail
メール通知を行わないことを表す値です。true を指定するとメール通知は行われません。false が指定されると、タスクのデフォルトの設定に従ってメール通知が行われます。

■ 解説

レビュー開始メッセージは、指定したファイルが添付されたメッセージへの返信として登録されます。

■ 戻り値

登録したレビュー ToDoを表すメッセージID

■ エラー

- ・ COLLABO-43190040
DBC サービスに接続できませんでした。
- ・ COLLABO-43190050
コラボサービスに接続できませんでした。
- ・ COLLABO-43190060
ファイルフォーマット変換サービスに接続できませんでした。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。

- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメータ ({0}) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501030
パラメータ ({0}) に解釈できない値 ({1}) が指定されました。
- ・ COLLABO-43520090
指定されたファイルは存在しません。
- ・ COLLABO-43720050
状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720060
担当状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720150
レビューで利用できないファイルフォーマットです。
- ・ COLLABO-43720200
指定された DocuWorks ファイルはセキュリティの設定が行われているためレビューでは利用できません。
- ・ COLLABO-43720320
指定された ToDo のタイプは不正です。

■ 備考

管理者モードには対応しません。

addMessageAndStartReview

■ Java 言語形式

```
String addMessageAndStartReview(String taskId, String refMessageId, Message message, TaskMailOption taskMailOption, Content file, Message startReviewMessage, ToDo todo, boolean noMail)
```

■ 説明

指定したタスクにメッセージとファイルを登録し、レビュー開始します。

■ パラメーター

- ・ taskId
登録先のタスクを表すタスク ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
(例: collabo:taskid:1)
- ・ refMessageId
返信先を表すメッセージ ID (タスク ID、コンテンツ ID を URI 形式で表した値) です。null を指定できません。
(例: collabo:messageid:1:22)
- ・ message
登録するコンテンツ (メッセージ、関連リンク) を表す値です。必須パラメーターです。
ただし、message に設定した添付ファイルは無視されます。
- ・ taskMailOption
message で登録するコンテンツについて、メール通知設定を表す値です。null を指定できます。null の場合、メッセージは通知されません。
- ・ file
レビュー対象の添付ファイルを表す値です。必須パラメーターです。指定したファイルはメッセージに添付され、そのうえでレビュー開始されます。

- ・ startReviewMessage
レビュー開始メッセージです。必須パラメーターです。レビュー開始メッセージには、添付ファイル、および関連リンクを添付できません。Message 型のメンバー files、links の値は無視されます。
- ・ todo
レビュー ToDo を表す値です。必須パラメーターです。引き継ぎ元の ToDo は指定できません。
- ・ noMail
レビュー開始メッセージについて、メール通知を行わないことを表す値です。true を指定するとメール通知は行われません。false が指定されると、タスクのデフォルトの設定に従ってメール通知が行われます。

■ 解説

- ・ message で指定したコンテンツが新規メッセージとして登録され、そのメッセージの添付ファイルとして file が登録されます。そのうえで file で指定したファイルがレビュー開始されます。
- ・ レビュー開始メッセージは startReviewMessage で指定した内容で、新規メッセージへの返信として登録されます。

■ 戻り値

登録したレビュー ToDoを表すメッセージID

■ エラー

- ・ COLLABO-43190040
DBC サービスに接続できませんでした。
- ・ COLLABO-43190050
コラボサービスに接続できませんでした。
- ・ COLLABO-43190060
ファイルフォーマット変換サービスに接続できませんでした。
- ・ COLLABO-43500010
指定されたタスクがありません。
- ・ COLLABO-43500020
タスクが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメータ ({0}) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501030
パラメータ ({0}) に解釈できない値 ({1}) が指定されました。
- ・ COLLABO-43520070
メッセージの書込み権がありません。
- ・ COLLABO-43520090
指定されたファイルは存在しません。
- ・ COLLABO-43720050
状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720060
担当状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720150
レビューで利用できないファイルフォーマットです。
- ・ COLLABO-43720200
指定された DocuWorks ファイルはセキュリティの設定が行われているためレビューでは利用できません。

- ・ COLLABO-43720320
指定された ToDo のタイプは不正です。

■ 備考

管理者モードには対応しません。

10.1.9 ToDo を操作する

ToDoを操作するインターフェイスについて記述します。

updateToDo

■ Java 言語形式

```
void updateToDo(String todoId, ToDo todo, ToDoPerformer[] removePerformers,  
ToDoPerformer[] addPerformers, ToDoPerformer[] setPerformers, boolean noMail)
```

■ 説明

指定したToDoを更新します。

■ パラメーター

- ・ todoId
ToDo ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
(例: collabo:todoId:1:22)
- ・ todo
ToDo 情報を更新する内容を表す値です。必須パラメーターです。ToDo 型のメンバー status、dueDate の値は null を指定できます。status、および dueDate に null を指定した場合は、status、および dueDate の値は変更されません。ToDo 型のメンバー performers の値は無視されるため、null で構いません。
- ・ removePerformers
削除する作業者の情報の配列です。null を指定できます。ToDoPerformer 型のメンバー status の値は無視されます。
- ・ addPerformers
追加する作業者の情報の配列です。null を指定できます。
- ・ setPerformers
置換する作業者の情報の配列です。null を指定できます。
- ・ noMail
メール通知を行わないことを表す値です。true を指定するとメール通知は行われません。false が指定されると、タスクのデフォルトの設定に従ってメール通知が行われます。

■ 解説

- ・ メッセージ ToDo、レビュー ToDo を更新できます。ワークフローの作業の ToDo は更新できません。
- ・ ログインユーザーが ToDo 管理者、または作業者の場合に ToDo 情報を更新できます。ログインユーザーが作業者の場合に更新できる ToDo 情報は、ToDo の status だけです。
- ・ 作業者の変更は、remove、add の順に評価されます。変更前の作業者から、removePerformers を削除後、addPerformers を追加したものが変更後の作業者になります。setPerformers を指定した場合は、removePerformers、addPerformers の値は無視され、setPerformers の内容が ToDo の作業者となります。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ COLLABO-43190010
ファイル情報の取得に失敗しました。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメータ ({0}) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501030
パラメータ ({0}) に解釈できない値 ({1}) が指定されました。
- ・ COLLABO-43720030
ワークフローの作業は変更できません。
- ・ COLLABO-43720050
状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720060
担当状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720320
指定された ToDo のタイプは不正です。
- ・ COLLABO-43730010
指定されたコンテンツは ToDo ではありません。

■ 備考

特にありません。

changeToDoPerformerStatus

■ Java 言語形式

```
ToDoPerformer changeToDoPerformerStatus(String todoId, ToDoPerformer performer,  
String[] options)
```

■ 説明

指定したToDoの作業者の状態を変更します。

■ パラメーター

- ・ todold
作業者の状態を変更する ToDo ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
- ・ performer
状態を変更する作業者と、変更後の状態を表す値です。必須パラメーターです。
- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター | \(P.182\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ ログインユーザーが ToDo 管理者の場合に、ToDo の作業者の状態を変更できます。
- ・ ToDo の作業者の状態の指定は必須です。

■ 戻り値

状態を変更したあとの作業者の情報

■ エラー

- ・ COLLABO-43190010
ファイル情報の取得に失敗しました。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメータ ({0}) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501030
パラメータ ({0}) に解釈できない値 ({1}) が指定されました。
- ・ COLLABO-43720030
ワークフローの作業は変更できません。
- ・ COLLABO-43720060
担当状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720070
指定された ToDo には担当者が存在しません。
- ・ COLLABO-43720080
メッセージが削除されています。
- ・ COLLABO-43730010
指定されたコンテンツは ToDo ではありません。

■ 備考

特にありません。

changeToDoPerformersStatus

■ Java 言語形式

```
ToDoPerformersResponse changeToDoPerformersStatus(String todoId, ToDoPerformer[] performers, String[] options)
```

■ 説明

指定したToDoの複数の作業者の状態を変更します。

■ パラメーター

- ・ todoId
作業者の状態を変更する ToDo ID (URI 形式で表した値) です。必須パラメーターです。
- ・ performer
状態を変更する作業者と、変更後の状態を表す値の配列です。必須パラメーターです。

- ・ options
[\[10.1.1 共通パラメーター\] \(P.182\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ ログインユーザーが ToDo 管理者の場合に、ToDo の作業者の状態を変更できます。
- ・ ToDo の作業者の状態の指定は必須です。

■ 戻り値

状態を変更したあとの作業者の情報

■ エラー

- ・ COLLABO-43190010
ファイル情報の取得に失敗しました。
- ・ COLLABO-43500090
指定されたコンテンツがありません。
- ・ COLLABO-43500100
コンテンツが指定されていません。
- ・ COLLABO-43500110
あなたにはその操作を行う権利はありません。
- ・ COLLABO-43501020
パラメータ ({0}) に対応する値が指定されていません。
- ・ COLLABO-43501030
パラメータ ({0}) に解釈できない値 ({1}) が指定されました。
- ・ COLLABO-43720030
ワークフローの作業は変更できません。
- ・ COLLABO-43720060
担当状態を指定された値に設定できません。
- ・ COLLABO-43720070
指定された ToDo には担当者が存在しません。
- ・ COLLABO-43720080
メッセージが削除されています。
- ・ COLLABO-43730010
指定されたコンテンツは ToDo ではありません。

■ 備考

特にありません。



11 プロセス管理インターフェイス

プロセス管理インターフェイスとして提供されている操作について説明します。

11.1 プログラムインターフェイス

11.1.1 共通パラメーター

プロセス管理インターフェイスで共通のパラメーターは次のとおりです。

パラメーター

- ・ params
対象フォームのフィールド値を FieldParameter の配列で指定します。
詳細は、[\[FieldParameter\] \(P.224\)](#) を参照してください。
null を指定できます。null を指定した場合、フォームのフィールド値を指定せずに起案します。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
- ・ edition
起動するワークフローの定義、または起動テンプレートの版を指定します。
負の数を指定した場合、共用領域の最新版を指定したものとみなされます。
0 を指定した場合、個人領域の定義を指定したものとみなされます。
- ・ order
リスト結果をソートする属性を指定します。
複数指定した場合、順番にソートします。
null が指定された場合、ソートしません。その場合、結果リストの格納順は不定です。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した属性が無効な場合、その値は無視されます。
各オブジェクトに対し、どの属性でソートが有効であるかについては、[\[付録 D ワークフロー属性補足\] \(P.299\)](#) を参照してください。検索可能属性がソート可能属性になります。
属性の型と、ソート順の関係については、[\[付録 O データ型とソート\] \(P.346\)](#) を参照してください。
- ・ limit
最大取得数を指定します。
負の数を指定した場合は、サーバー側で設定されている最大取得数制限の値が優先されます。
また、最大取得件数を超える値を指定した場合も、最大取得数制限の値が優先されます。
リスト結果が最大取得数を上回った場合、最大取得数以降の結果は破棄されます。最大取得数の指定と同時に order を指定した場合は、ソート済みのリスト結果から最大取得数までの結果を返します。
- ・ attrIds
対象オブジェクトのどの属性を取得するかを属性 ID の配列で指定します。属性は、この配列で指定した順に取得・格納されます。ただし、取得対象の属性値が null の場合は、対象属性は結果から省略されます。
null が指定された場合、その対象オブジェクトに対して取得可能なすべての属性を取得します。
長さ 0 の配列が指定された場合、属性を取得しません。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。
ns に null または "awf" が指定された場合、対象オブジェクトの ns が指定されたものとして扱います。
このパラメータに lang を指定しても常に無視され、常に null が指定されたものとして扱います。
配列に同じ属性 ID が重複している場合、先頭の要素に集約されます。
属性値が多言語対応している場合、(lang の値に関わらず) 取得可能な言語の値がすべて取得できます。
各オブジェクトに対し、どの属性が有効であるかについては、[\[付録 D ワークフロー属性補足\] \(P.299\)](#) を参照してください。
- ・ options
取得オプションを指定します。null を指定できます。
補足 案件の一覧や検索でワークフロー定義で定義したユーザー属性は取得できません。ユーザー属性を取得するには、各案件オブジェクトに対して、ユーザー属性の識別子を指定して属性オブジェクトを取得 (listAttributes) する必要があります。

- rmsObjectDnOnly: RmsObject 型の属性を取得するとき、DN だけ取得する場合に指定します。

- ・フォームフィールド取得オプション
フィールド（属性）の値を取得するときだけ、指定できます。フィールドの現在の値、または履歴値のどちらを取得するかを指定できます。
使用できる操作：「listFormFields」、「listFormFieldsByName」
 - current: 「値（{awf.field}value）」として、フィールドの現在の値を取得します。現在の値を取得するのは、指定した作業またはアクションがアクティブなときだけです。ただし、終了作業が指定された場合は、常に値を取得できます。値を取得できなかった場合は、値が存在しない場合と同じ扱いになります（{awf.field}value の ns と name を持つ Attribute が、結果から除外されます）。
 - history: 「値（{awf.field}value）」として、フィールドの履歴値（アクションを完了させたときの属性の値）を取得します。完了前の作業には履歴値がないため、値を取得できません。
 - default: 作業が完了前のときは現在値を取得し、完了後のときは履歴値を取得します。ただし、指定された作業が終了作業のときは、完了前 / 完了後にかかわらず、現在値を取得します。
- options に null を指定した場合は、default が使用されます。attrId に {awf.field}value を指定しなかった場合、指定した値は無視されます。無効な値を指定した場合や、値を複数指定した場合はエラーになります。
- どちらの場合も、「値（{awf.field}value）」が取得できなかった場合は、値が存在しない場合と同じ扱いになります（{awf.field}value の ns と name を持つ Attribute が、結果から除外されます）。

その他

- ・ I18nString 型のパラメーターについて
パラメーターとして I18nString の値を指定する場合、値は ns と name によって一意に識別されます。I18nString に I18nLabel が設定されていた場合、常に無視されます。
ns が null または "awf" であった場合、そのパラメーターで有効な ns が指定されているものとして動作します。
ワークフローコンポーネントで使用する I18nString の値は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。
- ・ I18nString 型の属性値について
属性値として I18nString 型の値を取得する場合、I18nLabel はログインユーザーのロケールに対応するラベルだけが取得できます。
- ・ 起動テンプレートについて
起動テンプレートの扱いはワークフロー定義と同等です。ワークフロー定義を指定するすべてのオペレーションに対し、起動テンプレートを指定することもできます。また、ワークフロー定義が戻り値となるすべてのオペレーションにおいて、戻り値として、ワークフロー定義に加え起動テンプレートも取得できません。

FieldParameter

FieldParameterは、起案や作業実行オペレーションにおいて、フォームの各フィールドの値を指定して実行するときに使用します。

1つのFieldParameterが1つのフォームフィールドに対応しており、フィールドの名前と指定する値のペアと、その他の補助情報をプロパティとして保持します。起案や作業実行時では、複数のFieldParameterを配列で指定します。各プロパティの詳細は次のとおりです。

- ・ name
対象のフィールドの名前を指定します。
- ・ append
現在のフィールドの値を上書きするかを指定します。false の場合は現在のフィールド値を上書きし、true の場合は現在のフィールド値の最後尾に追加します。
append=false にした場合、既存値を消去してから入力値を設定します。そのため、ドキュメントフィールドに対して append=false を指定した場合、該当フィールドの削除権が必要です。ただし、起動フォームのフィールドは必ず値が空であるため、消去操作はしません。そのため、ドキュメントフィールドの削除権も必要ありません。デフォルトは false です。
- ・ mode
ドキュメント型フィールドに対し、dRepository のドキュメントを設定するときの、設定方法を指定します。次に挙げる値、または null が有効です。無効な値を指定した場合や、null を指定した場合は copy が使用されます。対象のフィールドがドキュメント型でない場合は、無視されます。デフォルトは copy です。

copy : dRepository のドキュメントを該当のドキュメントフィールドにコピーします。
 move : dRepository のドキュメントを該当のドキュメントフィールドに移動します。キャビネットラベルが public でないキャビネットから移動させることはできません。

- ・ value

フィールドに設定する値を記述します。値として、単値または多値の各データ型の値を指定できます。フィールドの単値・多値と、指定された値の型（単値オブジェクト・多値オブジェクト）の整合性はチェックしません。

フィールドの型と、value に指定した値の型が一致しない場合はエラーになります。列挙型のシステム属性については、l18nStringValue(s) オブジェクトを指定する必要があります。列挙値つき文字列型ユーザー属性は StringValue(s) オブジェクトで指定します。

ドキュメント型フィールドに対し、dRepository のドキュメントを設定するときは、本プロパティに、ldValue(s) オブジェクトを指定し、要素として dRepository のオブジェクト ID を指定します。オブジェクト ID の書式は、[\[オブジェクト ID\] \(P.226\)](#) を参照してください。

null を指定できます。value,localDocument の両方に null を指定した場合、フィールド値を消去します。デフォルトは null です。
- ・ localDocuments

ドキュメント型フィールドに対し、ローカルシステムのドキュメントを設定するときに、設定するドキュメントの情報を LocalDocument の配列で記述します。LocalDocument の詳細は、[\[LocalDocument\] \(P.225\)](#) を参照してください。

ドキュメント型以外のフィールドで、このプロパティが指定されていた場合、エラーになります。null を指定できます。null と長さ 0 の配列は区別されます。デフォルトは null です。
- ・ options

フィールドに値を設定するときに起こるエラーに対する動作を制御します。

次に挙げる値が有効です。無効な値は無視されます。同じ値を複数指定した場合は 2 回目以降の値は無視されます。null を指定できます。デフォルトは null です。null を指定した場合、何も指定されなかったものとして動作します。

 - ・ ignoreOnError

フィールドに値を設定するときに起こったエラーを無視します。指定した値が有効であるかどうかのエラーだけが対象です。エラーにより無視されたフィールドは、何も指定されなかったものとして動作します。
 - ・ ignoreOnNotFound

name に該当するフィールドがフォームに存在しなかったときや、フォームで書き込み権限のないフィールドであった場合、このフィールドを無視します。
 - ・ ignoreOnDuplicated

何も指定しなければ、FieldParameter の配列中に、同一フィールドに対応する FieldParameter が複数指定されていた場合、重複を検知した時点（2 回目以降の FieldParameter を処理するとき）でエラーになります。重複を検知してもエラーにしたいくない場合に、処理対象の FieldParameter に指定します。

LocalDocument

LocalDocumentは、ローカルシステム上のファイルをドキュメントフィールドに設定するときに使用します。ドキュメントの名前、属性、コンテンツをプロパティとして保持します。各プロパティの詳細は次のとおりです。

- ・ name

ドキュメントの名前を指定します。null は指定できません。
- ・ attrs

ドキュメントの属性を指定します。ドキュメントの属性の記述方式は、[\[9 ドキュメント管理インターフェイス\] \(P.98\)](#) を参照してください。

null を指定できます。null を指定した場合、属性が何も指定されていないものとして動作します。
- ・ contents

ドキュメントのコンテンツを配列として保持します。コンテンツラベルが「プライマリ」であるコンテンツを 1 つだけ指定できます。null や、長さ 0 の配列、長さ 2 以上の配列、コンテンツラベルが「プライマリ」以外だった場合は、すべてエラーになります。

ただし、コンテンツラベルが null であった場合は、「プライマリ」が指定されているものとして動作します。Content の詳細は、[\[付録 G オブジェクト\] \(P.319\)](#) を参照してください。

オブジェクト ID

各オペレーションで、ワークフローのオブジェクトを指定する場合は、次の3要素を「:」で区切ったURI形式のオブジェクトIDを使用します。

- ・ {接頭辞} awf (固定)
- ・ {オブジェクトの種類}
definition | activityDefinition | attributeDefinition | fieldDefinition | process | activity | action | attribute | field | attributeHistory
- ・ {ID} 各オブジェクトを特定するための数値

次に記述例を示します。

- 定義 ID が 1 の定義

```
awf:definition:1
```

- 案件 ID が 123 の案件

```
awf:process:123
```

- アクション ID が 999 のアクション

```
awf:action:999
```

11.1.2 ワークフローを操作する

startProcess

■ Java 言語形式

```
String startProcess(String definitionId, FieldParameter[] params)
```

■ 説明

ワークフロー定義、または起動テンプレートを起案します。

■ パラメーター

- ・ definitionId
起動するワークフロー定義、または起動テンプレートの ID (awf:definition:1234 形式) を指定します。
null は指定できません。
- ・ params
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

ログインユーザーが起動権保有者であるワークフロー定義や起動テンプレート、または個人領域のワークフロー定義や起動テンプレートを指定します。

■ 戻り値

起案したワークフロー案件のID

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25170041
起動権がない定義が指定された
- ・ AWF_CORE-25112001
存在しないフィールドを指定した
- ・ AWF_CORE-25125020
フォームの必須属性が存在しない
- ・ AWF_CORE-25115xxxx
フォームの制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_CORE-25135xxx
ドキュメント型属性の制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

startProcessByName

■ Java 言語形式

```
String startProcessByName(String definitionName, int edition, FieldParameter[]
params)
```

■ 説明

名前と版を指定して、ワークフロー定義、または起動テンプレートを起案します。

■ パラメーター

- ・ definitionName
起動するワークフローの定義 / 起動テンプレートの名前を指定します。null は指定できません。
- ・ edition
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。
- ・ params
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

ログインユーザーが起動権保有者であるワークフロー定義や起動テンプレート、または個人領域のワークフロー定義や起動テンプレートを指定します。

■ 戻り値

起案したワークフロー案件のID

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25150014
指定された名前と版の定義が存在しなかった
- ・ AWF_CORE-25170041
起動権がない定義が指定された
- ・ AWF_CORE-25112001
存在しないフィールドを指定した
- ・ AWF_CORE-25125020
フォームの必須属性が存在しない
- ・ AWF_CORE-25115xxxx
フォームの制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_CORE-25135xxx
ドキュメント型属性の制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

terminateProcess

■ Java 言語形式

```
void terminateProcess(String processId)
```

■ 説明

指定したIDの案件を中止します。

■ パラメーター

- ・ processId
中止するワークフロー案件プロセス ID (awf:process:1234 形式) を指定します。null は指定できません。

■ 解説

指定したIDの案件の状態が [実行中] であれば、状態を [中止] に変更します。

■ 戻り値

なし

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25170042
指定されたワークフロー案件が実行中ではない
中止権がないワークフロー案件が指定された

- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

terminateProcesses

■ Java 言語形式

```
IdsResponse terminateProcesses(String[] processIds)
```

■ 説明

複数のワークフロー案件のIDを指定して、案件を中止します。

■ パラメーター

- ・ processIds
中止するワークフロー案件プロセス ID の配列を指定します。null は指定できません。

■ 解説

指定したIDの案件の状態が [実行中] であれば、状態を [中止] に変更します。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 中止に成功したワークフロー案件プロセス ID を格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 中止に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25170042
指定されたワークフロー案件が実行中ではない
中止権がないワークフロー案件が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

executeAction

■ Java 言語形式

```
String executeAction(String actionId, FieldParameter[] params, Boolean completeAction)
```

■ 説明

指定したIDのアクションを実行、または完了します。

■ パラメーター

- ・ actionId
実行するアクションの ID (awf:action:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ params
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ completeAction
true が指定された場合、アクションを完了させます。
false が指定された場合、アクションを実行中のままにして操作を終了します。

■ 解説

- ・ ログインユーザーが [担当者] [作業員] [代行者] であれば、作業を開始できます。また、[作業員] [代行者] であれば、作業を完了できます。
- ・ 対象のアクションの状態と、各引数の値によって次のように動作します。

(1) アクションを実行し、状態を「実行中」にします (対象アクションの状態が「未着手」だった場合のみ)。

(2) フォームの値を設定します (params が指定された場合のみ)。

- ・ ドキュメント型以外の属性に値を設定
- ・ ドキュメント型の属性に文書を登録

(3) アクションを完了します (completeAction に true が指定された場合のみ)。

- ・ エラーが発生した場合、操作実行前の状態までロールバックします。ただし、次の例外があります。
 - 対象作業が「未着手」だった場合は、作業を実行した直後に状態が確定し、以降エラーが発生したときは、作業実行直後に確定された状態にロールバックされず (「未着手」状態には戻りません)。
 - ドキュメント型属性に設定したドキュメントは、文書登録した時点で確定され、その後エラーが起きても登録された文書はロールバックされません。
- ・ 入力値とフィールドの制約の整合性チェックはアクションが完了してから行われます。

参照 実行可能なアクションとユーザー権限の関係の詳細については、『ワークフローのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

実行させたアクションのID

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25112001
存在しないフィールドを指定した
- ・ AWF_CORE-25125020
フォームの必須属性が存在しない

- ・ AWF_CORE-25115xxxx
フォームの制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_CORE-25135xxx
ドキュメント型属性の制約に反する値を指定して、実行または完了しようとした
- ・ AWF_CORE-25170xxx
権限のないアクションに対して操作を実行した
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

■ 注意制限事項

入力値とフィールドの制約の整合性チェックはアクションが完了してから行われます。そのため、アクションを完了しなかった場合、アクションの各フィールドの値として、制約に反する値が保存されることがあります。また、その値がUI上正しく表示できないこともあります。この制限は、executeActionByName, executeDelegatedAction, executeDelegatedActionByNameの各オペレーションでも同様です。

executeActionByName

■ Java 言語形式

```
String executeActionByName(String processId, String activityName,
FieldParameter[] params, Boolean completeAction)
```

■ 説明

案件のIDと作業名を指定して、アクションを実行、または完了します。

■ パラメーター

- ・ processId
実行するアクションが含まれる案件の ID (awf:process:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ activityName
実行するアクションの元作業の名前です。null は指定できません。
- ・ params
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ completeAction
true が指定された場合、アクションを完了させます。
false が指定された場合、アクションを実行中のままにして操作を終了します。

■ 解説

- ・ ログインユーザーが [担当者] [作業員] [代行者] であれば、作業を開始できます。また、[作業員] [代行者] であれば、作業を完了できます。
- ・ 該当のアクションが複数存在する場合、もっとも最近に生成されたアクションが選択されます。
- ・ 対象のアクションの状態と、各引数の値によって次のように動作します。

(1) アクションを実行し、状態を「実行中」にします (対象アクションの状態が「未着手」だった場合のみ)。

(2) フォームの値を設定します (params が指定された場合のみ)。

(3) アクションを完了します (completeAction に true が指定された場合のみ)。

- ・ エラーが発生した場合、操作実行前の状態までロールバックします。ただし、次の例外があります。
 - 対象作業が「未着手」だった場合は、作業を実行した直後に状態が確定し、以降エラーが発生したときは、作業実行直後に確定された状態にロールバックされず（「未着手」状態には戻りません）。
 - ドキュメント型属性に設定したドキュメントは、文書登録した時点で確定され、その後エラーが起きても登録された文書はロールバックされません。
- ・ 入力値とフィールドの制約の整合性チェックはアクションが完了してから行われます。

参照 実行可能なアクションとユーザー権限の関係の詳細については、『ワークフローのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

実行させたアクションのID

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25112009
案件 ID と作業名からアクションを特定できなかった
- ・ AWF_CORE-25112001
存在しないフィールドを指定した
- ・ AWF_CORE-25125020
フォームの必須属性が存在しない
- ・ AWF_CORE-25115xxxx
フォームの制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_CORE-25135xxx
ドキュメント型属性の制約に反する値を指定して、実行または完了しようとした
- ・ AWF_CORE-25170xxx
権限のないアクションに対して操作を実行した
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

executeDelegatedAction

■ Java 言語形式

```
String executeDelegatedAction(String actionId, RmsObjectValue delegator,  
FieldParameter[] params, boolean completeAction)
```

■ 説明

指定したIDのアクションを代理実行します。

■ パラメーター

- ・ actionId
実行するアクションの ID (awf:action:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ delegator
アクションを、誰の代理として実行するかを指定します。null は指定できません。

- ・ params
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ completeAction
true が指定された場合、アクションを完了させます。
false が指定された場合、アクションを実行中のままにして操作を終了します。

■ 解説

- ・ ログインユーザーが [代行者] であれば、作業を開始、または作業を完了できます。
- ・ 対象のアクションの状態と、各引数の値によって次のように動作します。
 - (1) アクションを実行し、状態を「実行中」にします。
 - (2) フォームの値を設定します (params が指定された場合のみ)。
 - (3) アクションを完了します (completeAction に true が指定された場合のみ)。
- ・ エラーが発生した場合、操作実行前の状態までロールバックします。ただし、次の例外があります。
 - 対象作業が「未着手」だった場合は、作業を実行した直後に状態が確定し、以降エラーが発生したときは、作業実行直後に確定された状態にロールバックされます (「未着手」状態には戻りません)。
 - ドキュメント型属性に設定したドキュメントは、文書登録時点で確定され、その後エラーが起きても登録された文書はロールバックされません。
- ・ 入力値とフィールドの制約の整合性チェックはアクションが完了してから実行されます。

参照 実行可能なアクションとユーザー権限の関係の詳細については、『ワークフローのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

実行させたアクションのID

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25112001
存在しないフィールドを指定した
- ・ AWF_CORE-25125020
フォームの必須属性が存在しない
- ・ AWF_CORE-25115xxxx
フォームの制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_CORE-25135xxx
ドキュメント型属性の制約に反する値を指定して、実行または完了しようとした
- ・ AWF_CORE-25170049
代行依頼されていないユーザーを delegator に指定した
- ・ AWF_CORE-25170xxx
権限のないアクションに対して操作を実行した
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

AさんとBさんが担当者になっているアクションに対して、ログインユーザーがAさんとBさん両方に代行依頼されている場合、AさんとBさん、どちらの代わりとして作業を実行するのかを明確に指定するため、delegatorを指定します。

操作実行後は、作業者にdelegator、実作業者にログインユーザーが設定されます。

executeDelegatedActionByName

■ Java 言語形式

```
String executeDelegatedActionByName(String processId, String activityName,
RmsObjectValue delegator, FieldParameter[] params, boolean completeAction)
```

■ 説明

案件のIDと作業名を指定して、アクションを代理実行します。

■ パラメーター

- ・ processId
実行するアクションが含まれる案件のID (awf:process:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ activityName
実行するアクションの元作業の名前です。null は指定できません。
- ・ delegator
アクションを、誰の代理として実行するかを指定します。null は指定できません。
- ・ params
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ completeAction
true が指定された場合、アクションを完了します。
false が指定された場合、アクションを実行中のままにして操作を終了します。

■ 解説

- ・ ログインユーザーが [代行者] であれば、作業を開始、または作業を完了できます。
- ・ 対象のアクションの状態と、各引数の値によって次のように動作します。
 - (1) アクションを実行し、状態を「実行中」にします (対象アクションの状態が「未着手」だった場合のみ)。
 - (2) フォームの値を設定します (params が指定された場合のみ)。
 - (3) アクションを完了します (completeAction に true が指定された場合のみ)。
- ・ エラーが発生した場合、操作実行前の状態までロールバックします。ただし、次の例外があります。
 - 対象作業が「未着手」だった場合は、作業を実行した直後に状態が確定し、以降エラーが発生したときは、作業実行直後に確定された状態にロールバックされます (「未着手」状態には戻りません)。
 - ドキュメント型属性に設定したドキュメントは、文書登録した時点で確定され、その後エラーが起きても登録された文書はロールバックされません。
- ・ 入力値とフィールドの制約の整合性チェックはアクションが完了してから実行されます。

参照 実行可能なアクションとユーザー権限の関係の詳細については、『ワークフローのヘルプ』を参照してください。

■ 戻り値

実行させたアクションのID

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25112009
案件 ID と作業名からアクションを特定できなかった
- ・ AWF_CORE-25112001
存在しないフィールドを指定した
- ・ AWF_CORE-25125020
フォームの必須属性が存在しなかった
- ・ AWF_CORE-25115xxxx
フォームの制約に反する値を指定して、起案しようとした
- ・ AWF_CORE-25135xxx
ドキュメント型属性の制約に反する値を指定して、実行または完了しようとした
- ・ AWF_CORE-25170049
代行依頼されていないユーザーを delegator に指定した
- ・ AWF_CORE-25170xxx
権限のないアクションに対して操作を実行した
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

AさんとBさんが担当者になっているアクションに対して、ログインユーザーがAさんとBさん両方に代行依頼されている場合、AさんとBさん、どちらの代わりとして作業を実行するのかを明確に指定するため、delegatorを指定します。

操作実行後は、作業者にdelegator、実作業者にログインユーザーが設定されます。

11.1.3 オブジェクトを取得する

getWorkflowObject

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject getWorkflowObject(String wfObjectId, AttributeId[] attrIds,
    I18nString[] options)
```

■ 説明

オブジェクトのIDを指定して、指定したIDのワークフローのオブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ wfObjectId
取得するオブジェクトの ID (awf:xxx:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・取得するオブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・オブジェクト取得には対象オブジェクトに対する参照権が必要になります。オブジェクトの種類と、必要な参照権の関係は次の表のとおりです。

参照 各参照権の詳細については、『ワークフローのヘルプ』を参照してください。

表：オブジェクトの種類と必要な参照権

オブジェクト	必要な権限
ワークフロー定義	ワークフロー定義の基本属性への参照権
作業定義	作業定義の基本属性への参照権
属性定義	親ワークフロー定義の基本属性への参照権
フィールド定義	親ワークフロー定義の基本属性への参照権
案件	案件の基本属性への参照権
作業	作業の基本属性への参照権
アクション	親作業の基本属性への参照権
属性	親案件の基本属性への参照権
属性履歴	親作業の基本属性への参照権
フィールド	親作業の基本属性への参照権

■ 戻り値

指定されたIDのオブジェクト

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しない ID が指定されたとき
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200005
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25170xxx
取得権限のないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

getWorkflowObjects

■ Java 言語形式

```
WorkflowObjectsResponse getWorkflowObjects(String[] wfObjectIds, AttributeId[] attrIds, I18nString[] options)
```

■ 説明

複数のオブジェクトのIDを指定して、指定したIDのワークフローのオブジェクトを取得します。

■ パラメーター

- ・ wfObjectIds
取得するオブジェクトの ID (awf:xxx:1234 形式) を、配列で指定します。null は指定できません。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 取得するオブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ オブジェクト取得には対象オブジェクトに対する参照権が必要になります。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する\] \(P.236\)](#) の [\[getWorkflowObject\] \(P.236\)](#) の項を参照してください。

■ 戻り値

次の情報が含まれます。

- ・ 取得に成功したオブジェクトを格納した配列 (ID を指定した順番で格納されます)
- ・ 取得に失敗した ID の配列インデックスと失敗理由のセット (Failure) を格納した配列

■ エラー

注記 戻り値の「失敗理由」として格納されます。

- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200005
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25170xxx
取得権限のないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

11.1.4 オブジェクトのリストを取得する

listParticipantActions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listParticipantActions(I18nString[] contextStates, I18nString[] participantTypes, boolean attachableOnly, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds, I18nString[] options)
```

■ 説明

ログインユーザーが関与しているアクションのリストを取得します。

■ パラメーター

・ contextStates

どの状態のアクションをリストするかを指定します。

複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります (または結合)。

null が指定された場合、すべての状態のアクションをリストします。

長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。

指定した値が無効な場合、その値は無視されます。

この操作では次の値が有効です。各値の `I18nString` 書式は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ・ 未着手
- ・ 実行中
- ・ 完了
- ・ 中止
- ・ 異常終了

・ participantTypes

どの関与タイプのアクションをリストするかを指定します。

複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります (または結合)。

null が指定された場合、ログインユーザーが関わっているすべてのアクションをリストします。

長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。

指定した値が無効な場合、その値は無視されます。

この操作では次の値が有効です。各値の `I18nString` 書式は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ・ 責任者
- ・ 担当者
- ・ 作業員
- ・ 実作業員

・ attachableOnly

true が指定された場合、ドキュメントを添付可能なアクションだけをリストします。デフォルトは false です。

・ order

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

・ limit

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

・ attrIds

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

・ options

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ アクションの状態・ログインユーザーの関与タイプ・ドキュメントの添付可、の各フィルタリング条件を指定してリストをフィルタリングできます。
- ・ フィルタリング条件同士は and で結合されます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果を、どの属性でソートするかを指定できます。
- ・ リスト結果の最大取得数を指定できます。
- ・ 次の contextStates と participantTypes 組み合わせのアクションは取得できません。
 - ログインユーザーが担当状態で状態が実行中
 - ログインユーザーが担当状態で状態が完了

■ 戻り値

- ・ 該当するアクションの配列。
- ・ 該当アクションが 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-XXX
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- XXX
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

この操作の引数で指定できないパターンでリストしたい場合、searchWorkflowObjectsを使用します。

■ 制限事項

participantTypesに「担当者」を指定した場合、「実行中」と「完了」状態のアクションはリストアップされません。したがって、「ログインユーザーが担当者になっている完了アクション」をリストアップできません。「実行中」と「完了」状態のアクションをリストアップするためには、participantTypesに「作業員」や「実作業員」を含める必要があります。これにより、「ログインユーザーが作業員として割り当てられているアクション」をリストアップできます。

listDelegatedActions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listDelegatedActions(I18nString[] contextStates,
RmsObjectValue[] delegators, boolean attachableOnly, SortItem[] order, int
limit, AttributeId[] attrIds, I18nString[] options)
```

■ 説明

代行依頼されているユーザーのアクションのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ contextStates
どの状態のアクションをリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります（または結合）。
null が指定された場合、すべての状態のアクションをリストします。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。

この操作では次の値が有効です。各値の I18nString 書式は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ・ 未着手
- ・ 実行中
- ・ 完了
- ・ 中止
- ・ 異常終了
- ・ delegators
誰の担当アクションをリストするかを指定します。
複数指定した場合、指定した全員のアクションの和集合がリストされます。
指定したユーザーが、ログインユーザーに代行依頼していなかった場合や、無効なユーザーが指定された場合、そのユーザーの作業は結果から除外されます。

ログインユーザー自身を指定できます。その場合、ログインユーザー自身の担当アクションがリストできます。null は指定できません。

- ・ attachableOnly
true が指定された場合、ドキュメントを添付可能なアクションだけをリストします。デフォルトは false です。
- ・ order
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ limit
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ アクションの状態・ドキュメントの添付可、の各フィルタリング条件を指定してリストをフィルタリングできます。
- ・ フィルタリング条件同士は and で結合されます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果を、どの属性でソートするかを指定できます。
- ・ リスト結果の最大取得数を指定できます。

■ 戻り値

- ・ 該当するアクションの配列。
- ・ 該当アクションが 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-XXX
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- XXX
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

delegatorsパラメーターに、ログインユーザー自身と、代行依頼元ユーザーをすべて記述することで、「ログインユーザーが担当者として割り当てられているアクションを、代行依頼されているものも含めてすべてリストする」ことができます。

listParticipantProcesses

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listParticipantProcesses(I18nString[] contextStates,
I18nString[] participantTypes, SortItem[] order, int limit, AttributeId[]
attrIds, I18nString[] options)
```

■ 説明

ログインユーザーが関与している案件のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ contextStates

どの状態の案件をリストするかを指定します。

複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります（または結合）。

null が指定された場合、すべての状態の案件をリストします。

長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。

指定した値が無効な場合、その値は無視されます。

この操作では次の値が有効です。各値の `I18nString` 書式は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ・ 未着手
- ・ 実行中
- ・ 完了
- ・ 中止
- ・ 異常終了

・ participantTypes

どの関与タイプの案件をリストするかを指定します。

複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります（または結合）。

null が指定された場合、ログインユーザーが関わっているすべての案件をリストします。

長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。

指定した値が無効な場合、その値は無視されます。

この操作では次の値が有効です。各値の `I18nString` 書式は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ・ 起案者
- ・ 責任者
- ・ 参照者

・ order

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

・ limit

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

・ attrIds

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

・ options

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 案件の状態・ログインユーザーの関与タイプの各フィルタリング条件を指定してリストをフィルタリングできます。
- ・ フィルタリング条件同士は and で結合されます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果を、どの属性でソートするかを指定できます。
- ・ リスト結果の最大取得数を指定できます。

補足 案件の一覧や検索でワークフロー定義で定義したユーザー属性は取得できません。ユーザー属性を取得するには、各案件オブジェクトに対してユーザー属性の識別子を指定して属性オブジェクトを取得 (listAttributes) する必要があります。

■ 戻り値

- ・ 該当する案件の配列。
- ・ 該当案件が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-XXX
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- XXX
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

この操作の引数で指定できないパターンでリストしたい場合、searchWorkflowObjectsを使用します。

listProcessDefinitions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listProcessDefinitions(I18nString[] publicationStatus, boolean
includeNonLatest, boolean attachableOnly, boolean startableOnly, SortItem[]
order, int limit, AttributeId[] attrIds, I18nString[] options)
```

■ 説明

ログインユーザーが関与している定義のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ publicationStatus
どの公開状態の定義をリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります（または結合）。
null が指定された場合、すべての公開状態の定義をリストします。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。

この操作では次の値が有効です。各値の I18nString 書式は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ・ 未公開
- ・ 公開予定
- ・ 公開
- ・ 公開終了
- ・ includeNonLatest
最新版以外の定義をリストするかを指定します。
true が指定された場合、すべての版の定義がリストされます。
false が指定された場合、最新版だけがリストされます。
true が指定され、かつ publicationStatus が指定された場合、公開状態ごとの最新版がリストされます。
デフォルトは false です。
- ・ attachableOnly
ドキュメントを添付して起動可能な定義だけをリストするかを指定します。デフォルトは false です。
- ・ startableOnly
起動可能な定義だけをリストするかを指定します。デフォルトは false です。
- ・ order
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ limit
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 定義の状態・ログインユーザーの関与タイプ・ドキュメントの添付可、の各フィルタリング条件を指定してリストをフィルタリングできます。
- ・ フィルタリング条件同士は and で結合されます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果を、どの属性でソートするかを指定できます。
- ・ リスト結果の最大取得数を指定できます。

■ 戻り値

- ・ 該当する定義の配列。
- ・ 該当定義が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-XXX
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- XXX
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

この操作の引数で指定できないパターンでリストしたい場合、searchWorkflowObjectsを使用します。

11.1.5 あるオブジェクトの子オブジェクトのリストを取得する

listActivities

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listActivities(String processId, I18nString[] contextStates,  
I18nString[] activityTypes, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

案件のIDを指定して、指定したIDの案件に含まれる作業のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ processId
作業をリストする案件の ID (awf:process:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ contextStates
どの状態の作業をリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります (または結合)。
null が指定された場合、すべての状態の作業をリストします。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。
有効な値については、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。
- ・ activityTypes
どのタイプの作業をリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります (または結合)。
null が指定された場合、すべてのタイプの作業をリストします。

長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
 指定した値が無効な場合、その値は無視されます。
 有効な値については、[\[付録 E | I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 作業の状態・作業のタイプの各フィルタリング条件を指定してリストをフィルタリングできます。
- ・ フィルタリング条件同士は and で結合されます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は不定です。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべての作業がリストされます。

■ 戻り値

- ・ 該当する作業の配列。
- ・ 該当作業が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
 ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する\] \(P.236\)](#) の [\[getWorkflowObject\] \(P.236\)](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
 存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
 不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
 ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
 ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listActivityDefinitions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listActivityDefinitions(String definitionId, I18nString[]
activityTypes, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

ワークフロー定義または起動テンプレートのIDを指定して、指定したIDの定義に含まれる作業定義のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ definitionId
 作業定義をリストするワークフロー定義または起動テンプレートの ID (awf:definition:1234 形式) を指定します。null は指定できません。

- ・ activityTypes
どのタイプの作業定義をリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります（または結合）。
null が指定された場合、すべてのタイプの作業定義をリストします。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。
有効な値については、[\[付録 E | I18nString | \(P.306\)\]](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 作業定義のタイプをフィルタリング条件としてリストをフィルタリングできます。
- ・ フィルタリング条件同士は and で結合されます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は不定です。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべての作業定義がリストされます。

■ 戻り値

- ・ 該当する作業定義の配列。
- ・ 該当作業定義が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する | \(P.236\)\]](#) の [\[getWorkflowObject | \(P.236\)\]](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-（上記以外）
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE-（上記以外）
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listProcessActions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listProcessActions(String processed, I18nString[] contextStates, AttributeId[] attrIds, I18nString[] options)
```

■ 説明

案件のIDを指定して、指定したIDの案件に含まれるアクションのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ contextStates
どの状態のアクションをリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります（または結合）。
null が指定された場合、すべての状態のアクションをリストします。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。
この操作では次の値が有効です。各値の l18nString 書式は、[\[付録 E l18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。
 - ・ 未着手
 - ・ 実行中
 - ・ 完了
 - ・ 中止
 - ・ 異常終了
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ アクションの状態を指定してリストをフィルタリングできます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。

■ 戻り値

- ・ 該当するアクションの配列。
- ・ 該当アクションが 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-XXX
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE-XXX
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

この操作の引数で指定できないパターンでリストしたい場合、searchWorkflowObjectsを使用します。

listAttributes

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listAttributes(String processId, AttributeId[] attrIds,
String[] options)
```

■ 説明

案件のIDを指定して、指定したIDに含まれるフォーム属性（フォームに挿入可能な属性）のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ processId
フォーム属性をリストする案件の ID（awf:process:1234 形式）を指定します。null は指定できません。

- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は不定です。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべてのフォーム属性がリストされます。

■ 戻り値

- ・ 該当するフォーム属性の配列。
- ・ 該当フォーム属性が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する\] \(P.236\)](#) の [\[getWorkflowObject\] \(P.236\)](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listAttributesWithFilter

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listAttributesWithFilter(  
String processId, String[] names, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

案件のIDとフォーム属性を指定して、指定したIDの案件に含まれるフォーム属性（フォームに挿入可能な属性）のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ processId
フォーム属性をリストする案件の ID (awf:process:1234 形式) を指定します。
null は指定できません。
- ・ names
取得するフォーム属性名を指定します。
この引数に指定したフォーム属性について、attrIds に指定の属性を取得します。
null を指定できます。null を指定した場合は、すべてのフォーム属性を取得します。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。

- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は不定です。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。

■ 戻り値

- ・ 該当するフォーム属性の配列。
- ・ 該当フォーム属性が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列が返ります。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する | \(P.236\)\]](#) の [\[getWorkflowObject | \(P.236\)\]](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listAttributeDefinitions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listAttributeDefinitions(String definitionId, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

定義のIDを指定して、指定したIDに含まれるフォーム属性定義（フォームに挿入可能な属性）のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ definitionId
フォーム属性定義をリストする定義の ID (awf:definition:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は不定です。
- ・リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべてのフォーム属性定義がリストされます。

■ 戻り値

- ・該当するフォーム属性定義の配列。
- ・該当フォーム属性定義が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する\] \(P.236\)](#) の [\[getWorkflowObject\] \(P.236\)](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listAttributeHistories

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listAttributeHistories(String processId, String[] names,
boolean suppress, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

案件の ID を指定して、指定した ID の案件に含まれる属性履歴のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ processId
属性履歴を取得する案件の ID (awf:process:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ names
属性履歴を取得する属性の属性名を指定します。
不正な属性名を指定した場合、無視され、対象属性の属性履歴は結果から除外されます。
null を指定できます。null が指定された場合は対象アクションから取得できるすべての属性履歴を取得します。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
- ・ suppress
属性履歴を取得するアクションとして、自動アクティビティを親に持つアクションを含むかどうかを指定します。
true が指定された場合、自動アクティビティを親に持つアクションの属性履歴は取得しません。
false が指定された場合、自動アクティビティを親に持つアクションを含め、案件に含まれるすべてのアクションの属性履歴を取得します。デフォルトは false です。

- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ suppress パラメーターによって、案件に含まれるすべてのアクションから属性履歴を取得するか、自動アクティビティを親に持つアクションを除外するかを指定できます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソート順は指定できず、常に固定です。ソート順は、まず案件に含まれるアクションが終了日時の昇順でソートされ、その後、各アクションごとに names パラメーターで指定された名前順に属性履歴がソートされます。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。常に該当する属性履歴がリストされます。

■ 戻り値

- ・ 該当する属性履歴の配列。
- ・ 該当属性履歴が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する | \(P.236\)\]](#) の [\[getWorkflowObject | \(P.236\)\]](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listStartFormFieldDefinitions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listStartFormFieldDefinitions(String definitionId,
AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

定義の ID を指定して、定義の開始フォームに含まれるフィールド定義のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ definitionId
開始フォームに含まれるフィールド定義をリストする定義の ID (awf:definition:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は、常にフォームの表示順と一致します。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべてのフォーム属性がリストされます。

■ 戻り値

- ・ 定義の起動フォームに含まれるフィールド定義の配列。
- ・ 起動フォームにフィールド定義が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する\] \(P.236\)](#) の [\[getWorkflowObject\] \(P.236\)](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listStartFormFieldDefinitionsByName

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listStartFormFieldDefinitionsByName(String definitionName, int edition, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

ワークフロー定義または起動テンプレートの名前を指定して、定義の開始フォームに含まれるフィールド定義のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ definitionName
起動するワークフローの定義 / 起動テンプレートの名前です。null は指定できません。
- ・ edition
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は、常にフォームの表示順と一致します。
- ・リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべてのフィールド定義がリストされます。

■ 戻り値

- ・定義の起動フォームに含まれるフィールド定義の配列。
- ・起動フォームにフィールド定義が1つもなかった場合、長さ0の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25150014
指定された名前と版の定義が存在しなかった
- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが起動権を持たない定義を指定した。
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listFormFieldDefinitions

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listFormFieldDefinitions(String activityDefinitionId,
AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

作業定義のIDを指定して、指定したIDの作業定義のフォームに含まれるフィールド定義のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ activityDefinitionId
フィールド定義をリストする作業定義の ID。null は指定できません。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は、常にフォームの表示順と一致します。
- ・リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべてのフィールド定義がリストされます。

■ 戻り値

- ・作業定義のフォームに含まれるフィールド定義の配列。
- ・フォームにフィールド定義が1つもなかった場合、長さ0の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する | \(P.236\)\]](#) の [\[getWorkflowObject | \(P.236\)\]](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listFormFields

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listFormFields(String actId, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

作業またはアクションのIDを指定して、指定したIDの作業またはアクションのフォームに含まれるフィールドのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ actId
フィールドをリストする作業またはアクションの ID です。null は指定できません。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ attrIds に「値 ({awf.field}value)」を指定することにより、実行中アクションの属性の値や、アクションが完了したときの属性履歴値を取得できます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は、常にフォームの表示順と一致します。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべてのフィールドがリストされます。

■ 戻り値

- ・ 作業のフォームに含まれるフィールドの配列。
- ・ フォームにフィールドが 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する | \(P.236\)\]](#) の [\[getWorkflowObject | \(P.236\)\]](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

listFormFieldsByName

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listFormFieldsByName(String processId, String activityName,
AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

案件の ID と作業の名前を指定して、指定した ID の作業のフォームに含まれるフィールドのリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ processId
フィールドをリストする作業が含まれる案件の ID を指定します。(awf:process:1234 形式)
null は指定できません。
- ・ activityName
フィールドをリストする作業の名前を指定します。null は指定できません。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ attrIds に「値 ({awf.field}value)」を指定することにより、実行中アクションの属性の値や、アクションが完了したときの属性履歴値を取得できます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果のソートはできません。リスト結果の格納順は、常にフォームの表示順と一致します。
- ・ リストの最大取得数の設定はできません。常に該当するすべてのフィールドがリストされます。

■ 戻り値

- ・ 作業のフォームに含まれるフィールドの配列。
- ・ フォームにフィールドが 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する | \(P.236\)\]](#) の [\[getWorkflowObject | \(P.236\)\]](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_CORE-25112009
案件 ID と作業名からアクションを特定できなかった
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。

11.1.6 定義からインスタンスのリストを取得する

listProcessesByDefinition

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] listProcessesByDefinition(String definitionId, I18nString[] contextStates, I18nString[] participantTypes, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds, String[] options)
```

■ 説明

定義の ID を指定して、定義から起案された案件のリストを取得します。

■ パラメーター

- ・ definitionId
案件をリストする定義の ID (awf:definition:1234 形式) を指定します。null は指定できません。
- ・ contextStates
どの状態の案件をリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります (または結合)。
null が指定された場合、すべての状態の案件のリストを取得します。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。
有効な値については、[\[付録 E I18nString | \(P.306\)\]](#) を参照してください。
- ・ participantTypes
どの関与タイプの案件をリストするかを指定します。
複数指定した場合、複数のうち、どれか 1 つでも一致すれば、リスト対象になります (または結合)。
null が指定された場合、ログインユーザーが関わっているすべての案件のリストを取得します。
長さ 0 の配列を指定した場合、null と同じ扱いになります。
指定した値が無効な場合、その値は無視されます。
有効な値については、[\[付録 E I18nString | \(P.306\)\]](#) を参照してください。
- ・ order
[\[11.1.1 共通パラメーター | \(P.223\)\]](#) を参照してください。

- ・ limit
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ attrIds
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。
- ・ options
[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 案件の状態・ログインユーザーの関与タイプ各フィルタリング条件を指定してリストをフィルタリングできます。
- ・ フィルタリング条件が複数指定された場合、すべて and で結合されます。
- ・ リストの戻り値オブジェクトに付与する属性を指定できます。
- ・ リスト結果を、どの属性でソートするかを指定できます。
- ・ リスト結果の最大取得数を指定できます。
- ・ ログインユーザーが、指定した定義の参照権を保持していれば、操作を実行できます。ただし、ログインユーザーが参照権を持たない案件は、結果から除外されます。

■ 戻り値

- ・ 該当する案件の配列。
- ・ 該当案件が 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_CORE-25170xxx
ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトの ID を指定した。参照権の詳細については、[\[11.1.3 オブジェクトを取得する\] \(P.236\)](#) の [\[getWorkflowObject\] \(P.236\)](#) の項を参照してください。
- ・ AWF_WEBSVC-25200001
存在しないオブジェクトの ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC-25200002 - AWF_WEBSVC-25200006
不正な ID が指定された
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

11.1.7 オブジェクトを検索する

searchWorkflowObjects

■ Java 言語形式

```
WorkflowObject[] searchWorkflowObjects(AttributeSearchCondition attrCondition,
SearchOption option, SortItem[] order, int limit, AttributeId[] attrIds,
String[] options)
```

■ 説明

ワークフローのオブジェクトを検索します。

■ パラメーター

- ・ attrCondition

オブジェクトの属性検索条件を指定します。

検索条件に、無効な属性または式が含まれていた場合、エラーになります。

各オブジェクトに対し、どの属性が有効であるかは、[\[付録 D ワークフロー属性補足\] \(P.299\)](#)、演算子とデータ型の関係については、[\[付録 P データ型と検索オペレーター\] \(P.348\)](#) を参照してください。

検索対象属性は AttributeId で指定します。AttributeId の ns が null または "awf" であった場合は、検索対象オブジェクト (option パラメーターで指定) の ns が指定されたものとして動作します。

検索対象オブジェクトが案件であった場合は、ユーザー属性を検索対象属性にできません。ユーザー属性は次の ns と name を使って表現します。

nsawf.process.user

name 属性表示名

null は指定できません。

- ・ option

検索する対象のオブジェクトを指定します。

検索対象オブジェクトは次のどれかです。各オブジェクトの I18nString 書式は、[\[付録 E I18nString\] \(P.306\)](#) を参照してください。

- ワークフロー定義

- 案件

- アクション

検索対象オブジェクトに指定できるのは 1 つだけです。複数指定したり、1 つも指定されていない場合、エラーになります。null は指定できません。

- ・ order

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

- ・ limit

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

- ・ attrIds

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

- ・ options

[\[11.1.1 共通パラメーター\] \(P.223\)](#) を参照してください。

■ 解説

- ・ 検索対象のオブジェクトに対し、どの属性を取得するのかを指定できます。

- ・ 検索結果リストを、どの属性でソートするかを指定できます。

- ・ 検索結果リストの最大取得数を指定できます。

- ・ ログインユーザーが参照権を持たないオブジェクトは、結果から除外されます。

補足 案件の一覧や検索でワークフロー定義で定義したユーザー属性は取得できません。ユーザー属性を取得するには、各案件オブジェクトに対してユーザー属性の識別子を指定して属性オブジェクトを取得 (listAttributes) する必要があります。

■ 戻り値

- ・ 検索結果 (ワークフローオブジェクトの配列)

- ・ 検索条件に該当するオブジェクトが 1 つもなかった場合、長さ 0 の配列を返します。

■ エラー

- ・ AWF_WEBSVC-25202001

検索対象を複数指定した

- ・ AWF_WEBSVC-25202002

検索できない属性を、条件式として記述した

- ・ AWF_WEBSVC-25202003

条件式に指定した属性と、条件値の型が一致しなかった

- ・ AWF_WEBSVC-25202004
検索対象が指定されなかった
- ・ AWF_WEBSVC-25202005
条件値に指定した属性の型と演算子の組み合わせが不正だった
- ・ AWF_WEBSVC-25202006
検索対象として指定できないオブジェクトを指定した
- ・ AWF_WEBSVC-25202007
条件値に多値を指定した
- ・ AWF_WEBSVC-25202008
条件値に空の値を指定した
- ・ AWF_WEBSVC-25202009
属性検索の条件値が不正だった
- ・ AWF_WEBSVC-25202010
多値の検索モード指定が不正だった。
- ・ AWF_WEBSVC-25202011
ユーザー属性に対して、サポートされていない演算子を指定した
- ・ AWF_WEBSVC- (上記以外)
ワークフロー Web サービスでエラーが発生した
- ・ AWF_CORE- (上記以外)
ワークフローサービス内でエラーが発生した

■ 備考

特にありません。



12 メッセージ

Webサービスで発生するエラーメッセージ形式およびメッセージについて説明しています。

12.1 エラーメッセージ形式

要求された処理を実行する上でエラーが発生した場合には、SOAPのフォールトメッセージでエラー情報を返します。

エラー情報はSOAP 1.1で定義されている範囲だけを使用するので、SOAP 1.1のフォールト要素に関して説明します。

- ・ faultcode

プログラムが違反を識別するための情報ですが、SOAP処理系のエラーもこの要素を使用するため、判別が困難になる恐れからWebサービスのエラーでは使用しません。

- ・ faultstring

ユーザーが読むためエラーの説明であり、エラーが発生した場合にはトップレベルのエラーメッセージを含みます。

- ・ detail

この要素にすべてのエラー情報を含むWebサービス固有のProcessingException要素が含まれます。

参照 下位のエラー情報 (nestedMessages) を取得するためには、アプリケーションプログラム特権が必要です。
[\[1.2.7 特権ロール\] \(P.21\)](#) の「[アプリケーションプログラム特権\] \(P.21\)](#)」を参照してください。

ProcessingExceptionに、次に示すフィールドがあります。

表 : エラーフィールド

名前	説明
category	エラーのカテゴリ
code	エラーのコード
lang	エラーメッセージの言語を示します。
qualifiedMessage	エラーのトップレベルのメッセージ SOAPフォールトのfaultstringと同じ内容で、categoryおよびcodeの内容も含んでいます。
nestedMessages	下位のエラーがある場合には、下位のエラーメッセージを含むこのフィールドが対応する数だけ存在します。

SOAPメッセージでのエラー情報の例を次に示します。

```
<env:Envelope xmlns:env="..." xmlns:xsd="..." xmlns:xsi="...">
  <env:Body>
    <env:Fault>
      <faultcode>env:Server.generalException</faultcode>
      <faultstring>AWF_CORE-25129031: アプリケーション実行中にエラーが発生しました。 (...) </
faultstring>
      <detail>
        <ProcessingException xmlns="http://www.fujifilm.com/fb/2021/04/arcsuite/ws/types">
          <category>AWF_CORE</category>
          <code>25129031</code>
          <lang>ja</lang>
          <qualifiedMessage>AWF_CORE-25129031: アプリケーション実行中にエラーが発生しました。
(作業名: ...) </qualifiedMessage>
          <nestedMessages>AWF_CORE-25135003: リポジトリでエラーが発生しました。 </
nestedMessages>
          <nestedMessages>DREP_API-41200631: リクエストに設定した値が不正です。 </
nestedMessages>
          ...
        </ProcessingException>
      </detail>
    </env:Fault>
  </env:Body>
</env:Envelope>
```

12.1.1 詳細エラー情報取得の条件

詳細エラー情報に、セキュリティ上の攻撃をするヒントとなる情報が含まれてしまい、攻撃者に情報を提供してしまうことを回避するため、次のどれかの条件を満たす場合にだけ、詳細エラー情報（nestedMessages 要素）を返します。

- ・ ArcSuite の Web アプリケーションを対象とした詳細エラー情報取得が有効となっている場合。
リソース管理アプリケーションでシステムプロパティとして下記のキーに "true" が設定されている場合。
キー名 : com.fujifilm.fb.rms.config.detailErrorFlag
- ・ 接続したユーザーが「アプリケーションプログラムロール」を付与されている場合。[\(「1.2.7 特権ロール」\(P.21\) 参照\)](#)

リソース管理アプリケーションの「システムプロパティ編集」でキーを変更した場合は、次の手順に従って、ArcSuiteのサービスを再起動してください。

1. ArcSuite がインストールされているサーバーに、Administrator 権限を持つユーザーでサインインします。
2. Windows の [スタート] メニューから、[Windows 管理ツール] > [サービス] を選択します。
[サービス] 画面が表示されます。
3. サービスを選択して、[サービスの停止] をクリックします。次の順序で停止します。

補足 使用している環境によって、表示されないサービスがあります。その場合は、次に記載されているサービスを停止します。

(1) ArcSuite DocumentGatheringAgent StorageProxy

- (2) ArcSuite DocumentGatheringAgent WebAdmin
- (3) ArcSuite DocumentGatheringAgent Register
- (4) ArcSuite Capturing Service Admin
- (5) ArcSuite Capturing Service
- (6) ArcSuite Monitoring Service
- (7) ArcSuite Web Application Service
- (8) ArcSuite Collabo Service
- (9) ArcSuite Repository Service
- (10) ArcSuite Repository Master Admin Service
- (11) ArcSuite kSearchDuo Service
- (12) ArcSuite Full Text Search Service
- (13) ArcSuite Basic Service

4. サービスを選択して、[サービスの開始] をクリックします。次の順序で開始します。

補足 使用している環境によって、表示されないサービスがあります。その場合は、次に記載されているサービスを開始します。

- (1) ArcSuite Basic Service
- (2) ArcSuite Full Text Search Service
- (3) ArcSuite kSearchDuo Service
- (4) ArcSuite Repository Master Admin Service
- (5) ArcSuite Repository Service
- (6) ArcSuite Collabo Service
- (7) ArcSuite Web Application Service
- (8) ArcSuite Monitoring Service
- (9) ArcSuite Capturing Service
- (10) ArcSuite Capturing Service Admin
- (11) ArcSuite DocumentGatheringAgent Register
- (12) ArcSuite DocumentGatheringAgent WebAdmin
- (13) ArcSuite DocumentGatheringAgent StorageProxy

12.2 エラーメッセージ一覧

メッセージには、次の2つがあります。

- ・システムログメッセージ
- ・エラーメッセージ

12.2.1 システムログメッセージ

表：システムログメッセージ一覧

メッセージ	説明
サービスを開始しました。	サービスの起動が正常に完了したときのメッセージ
サービスを停止しました。	サービスの停止が正常に完了したときのメッセージ
データベースへのアクセスを再試行中。	サービスを起動するときに、データベースへの接続ができず再試行した場合に出力されるメッセージ
設定情報を更新しました。	定期的な設定情報の更新処理が正常に完了したときのメッセージ システムログの出力レベルがDEBUG, TRACEの場合に出力します。

12.2.2 エラーメッセージ

エラーメッセージには、次の5つがあります。

- ・共通エラーメッセージ
- ・リソース管理エラーメッセージ
- ・ドキュメント管理エラーメッセージ
- ・タスク管理エラーメッセージ
- ・プロセス管理エラーメッセージ

共通エラーメッセージ

表：共通エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
ARCSUITE_WS-08300001	システム内部エラー。：{0}	内部エラーが発生しました。
ARCSUITE_WS-08301001	コンポーネント情報が取得できません。	インストール時に設定したコンポーネントID、またはコンポーネント情報の取得に失敗しました。
ARCSUITE_WS-08301002	コンポーネント設定情報が読み込めません。	リソース管理アプリケーションで設定したシステムプロパティ情報の読み込みに失敗しました。
ARCSUITE_WS-08301003	サービスの起動に失敗しました。	サービスの起動処理に失敗しました。
ARCSUITE_WS-08301004	サービスを起動中です。	データベースへの接続が完了していません。
ARCSUITE_WS-08302001	セッションIDが不正です。：セッションID={0}	指定されているセッションの形式が不正または対応するセッションがありません。
ARCSUITE_WS-08302002	ロケールが不正です。：ロケール={0}	指定したロケールが不正です。

表 : 共通エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
ARCSUITE_WS-08302003	タイムゾーンが不正です。: タイムゾーン={0}	指定したタイムゾーンが不正です。
ARCSUITE_WS-08302004	アタッチメントタイプが不正です。: アタッチメントタイプ={0}	指定した添付ファイル形式が不正です。
ARCSUITE_WS-08302005	ネームスペースが不正です。: ネームスペース={0}	指定したネームスペースが不正です。
ARCSUITE_WS-08302006	クレデンシャルタイプが不正です。: クレデンシャルタイプ={0}	指定したクレデンシャル (認証情報) のタイプが不正です。
ARCSUITE_WS-08302007	特権識別子が不正です。: 特権識別子={0}	指定した特権識別子が不正です。
ARCSUITE_WS-08302008	クライアント証明書の検証方式に設定されている値が不正です。	システムプロパティに設定されている検証方式 (clientCertificateVerifyMode) が不正です。
ARCSUITE_WS-08302009	バージョン番号が不正です。: バージョン番号={0}	指定したバージョン番号が不正です。
ARCSUITE_WS-08303001	データベースにアクセスできません。	サービス起動時にデータベースに接続できませんでした。
ARCSUITE_WS-08303002	データベースからの読み込みに失敗しました。	データベースからの読み込みに失敗しました。
ARCSUITE_WS-08303003	データベースへの書き込みに失敗しました。	データベースへの書き込みに失敗しました。
ARCSUITE_WS-08303101	セッションがありません。	セッション情報が不整合を起こしています。
ARCSUITE_WS-08303102	認証に失敗しました。: ユーザー識別名={0}	ユーザーの認証に失敗しました。
ARCSUITE_WS-08303103	セキュリティトークンの検証に失敗しました。	指定したセキュリティトークンの検証に失敗しました。
ARCSUITE_WS-08303104	暗号化されていないパスワードによる認証は認められていません。	平文のパスワードによる認証を拒否する設定になっています。
ARCSUITE_WS-08303105	認証に失敗しました。: 証明書情報が取得できません。	クライアント証明書によるユーザー認証をする設定で、クライアント証明書の情報取得に失敗しました。
ARCSUITE_WS-08303106	認証に失敗しました。: 証明書情報が不正です。	クライアント証明書からサブジェクトを取得できませんでした。
ARCSUITE_WS-08303107	認証に失敗しました。: 証明書に対応するユーザーが特定できません。	クライアント証明書のサブジェクトに対応するユーザーが見つからないか複数のユーザーに対応しました。
ARCSUITE_WS-08303108	認証に失敗しました。証明書に対応するユーザーと一致しません。	クレデンシャルによって認証しようとするユーザーと、クライアント証明書のサブジェクトに対応するユーザーが異なります。
ARCSUITE_WS-08303109	最小バージョン未満のリクエストバージョンによる操作は認められていません。: 最小バージョン={0}, リクエストバージョン={1}	インターフェイス互換のある最小バージョン未満のリクエストバージョンを指定した操作が実行されました。

表 : 共通エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
ARCSUITE_WS-08303201	セッションの状態に対して不正な操作です。:セッション状態={0}	すでにログアウトしたセッションに対するログインなどセッション状態と操作に整合性がありません。
ARCSUITE_WS-08303202	ユーザー認証が必要な操作です。	ログインせずにユーザー認証が必要な操作を呼び出しています。
ARCSUITE_WS-08303203	既にユーザー認証済みのセッションです。	すでにログインに成功したセッションに対してログインを行おうとしています。

リソース管理エラーメッセージ

表 : リソース管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
RMS_WEBSVC-01200001	指定されたidのオブジェクトは存在しません: {0}	SOAP APIで存在しないidのオブジェクトを取得しようとしてしました。
RMS_WEBSVC-01200002	指定されたdnのオブジェクトは存在しません: {0}	SOAP APIで存在しないdnのオブジェクトを取得しようとしてしました。
RMS_WEBSVC-01200003	不正なidが指定されました: {0}	SOAP APIで指定されたidの形式が不正でした。
RMS_WEBSVC-01201001	検索範囲をidで指定することはできません	SOAP APIで検索範囲をidで指定しました。
RMS_WEBSVC-01201002	検索範囲を複数指定することはできません	SOAP APIで検索範囲を複数指定しました。
RMS_WEBSVC-01201003	指定された検索範囲は存在しませんでした: {0}	SOAP APIで指定された検索範囲が存在しませんでした。
RMS_WEBSVC-01201004	検索オプションが指定されませんでした	SOAP APIで検索オプションが指定されませんでした。
RMS_WEBSVC-01201005	検索対象の種類を複数指定することはできません。	SOAP APIで検索時に対象オブジェクトを複数指定しました。
RMS_WEBSVC-01201006	検索対象の種類 [{1}] のネームスペースは不正です: {0}	SOAP APIの検索時に指定された対象オブジェクトのネームスペースが正しくありません。
RMS_WEBSVC-01201007	検索条件の属性 [{1}] のネームスペースは不正です: {0}	SOAP APIの検索時に指定された検索条件の属性のネームスペースが正しくありません。
RMS_WEBSVC-01201008	検索条件に指定された [{0}] はサポートされていません	SOAP APIの検索時に指定されたオペレーションはRMSではサポートされません。
RMS_WEBSVC-01201009	検索オペレーター equalの条件にサポート対象外の型が使用されました	SOAP APIの検索時にオペレーター equalに対して指定したオペランドがサポート対象外の型でした。
RMS_WEBSVC-01201010	検索オペレーター equalIgnoreCaseの条件に文字列以外の型が使用されました	SOAP APIの検索時にオペレーター equalIgnoreCaseに対して指定したオペランドが文字列ではありません。
RMS_WEBSVC-01201011	検索オペレーター likeの条件に文字列以外の型が使用されました	SOAP APIの検索時にオペレーター likeに対して指定したオペランドが文字列ではありません。

表：リソース管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
RMS_WEBSVC-01201012	検索オペレーター likeIgnoreCaseの条件に文字列以外の型が使用されました	SOAP APIの検索時にオペレーター likeIgnoreCaseに対して指定したオペランドが文字列ではありません。
RMS_WEBSVC-01201013	検索に指定されたidはRMSのidではありません: {0}	SOAP APIの検索時に指定されたidのネームスペースがRMSではありません。
RMS_WEBSVC-01201014	検索に指定されたグループ、もしくはロールは存在しませんでした: {0}	SOAP APIの絞込み検索時に指定されたグループ、またはロールが存在しません。
RMS_WEBSVC-01202001	指定されたドメインは存在しません: {0}	SOAP APIで存在しないドメインの下位部署をリストしようとしました。
RMS_WEBSVC-01203001	このセッションは正しくログインされていません	SOAP APIをログインせずに使用しました。
RMS_WEBSVC-01208001	データベースとの通信でエラーが発生しました: {0}	SOAP API使用時に、データベースとの通信でエラーが発生しました。
RMS_WEBSVC-01209001	指定された属性は存在しませんでした: {0}:{1}	SOAP APIでRMSの属性スキーマ取得時に指定した属性名がRMSではありません。
RMS_WEBSVC-01209002	属性 [{1}] のネームスペースは不正です: {0}	SOAP APIでRMSの属性スキーマ取得時に指定した属性のネームスペースがRMSではありません。
RMS_WEBSVC-01209003	属性リスト取得に指定されたネームスペースは不正です: {0}	SOAP APIでRMSの属性スキーマのリスト取得時に指定したネームスペースがRMSではありません。

ドキュメント管理エラーメッセージ

表：ドキュメント管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
ARCSUITE_WS-08305001	属性と値の組み合わせが不正です。: 属性名={0}, 値={1}	属性のデータ型と値のデータ型に整合性がありません。
ARCSUITE_WS-08305002	キャビネットのIDが指定されていません。	キャビネットのIDを指定する必須パラメーターが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305003	コンテンツラベルが指定されていません。	コンテンツラベルを指定する必須パラメーターが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305004	エディションキーが指定されていません。	エディションキーを指定する必須パラメーターが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305005	IDが指定されていません。	オブジェクトのIDを指定する必須パラメーターが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305006	ACEが不正です。	指定したアクセス制御エントリーのロールないし権限が指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305007	属性名が不正です。: 属性名={0}	指定した属性名の形式が不正です。
ARCSUITE_WS-08305008	コンテンツが不正です。	指定したコンテンツ情報が不正です。

表：ドキュメント管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
ARCSUITE_WS-08305009	列挙値が不正です。:列挙値={0}	指定した列挙値の形式が不正です。
ARCSUITE_WS-08305010	IDが不正です。:ID={0}	指定したIDの形式が不正です。
ARCSUITE_WS-08305011	リファレンスIDが不正です。	指定したリファレンスのIDの形式が不正です。
ARCSUITE_WS-08305012	リビジョン番号が不正です。:リビジョン番号={0}	指定したリビジョン番号の形式が不正です。
ARCSUITE_WS-08305013	登録先が指定されていません。	登録先が指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305014	名前が指定されていません。	名前が指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305015	リファレンスIDが指定されていません。	リファレンスIDが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305016	検索条件が指定されていません。	検索条件が指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305017	検索オプションが指定されていません。	検索オプションが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305018	検索範囲が指定されていません。	検索範囲が指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305019	状態が指定されていません。	状態が指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305020	不明な権利です。:権利={0}	存在しないアクセス権の権利が指定されています。
ARCSUITE_WS-08305021	不明なロールタイプです。:ロールタイプ={0}	存在しないアクセス権のロールが指定されています。
ARCSUITE_WS-08305022	このセッションは正しくログインされていません。	ログインしていないセッションが使用されています。
ARCSUITE_WS-08305023	ACLが指定されていません。	アクセス制御リストを指定する必須パラメーターが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305024	異なるキャビネットのIDが指定されています。:ID={0}, ID={1}	対象オブジェクトと指定したキャビネットが異なります。
ARCSUITE_WS-08305025	使用するファイルフォーマット変換サービスが特定できないため、コントロールダウンロードに失敗しました。	コントロールダウンロードのために使用するファイルフォーマット変換サービスが特定できません。
ARCSUITE_WS-08305026	属性と値のRMSオブジェクトの組み合わせが不正です。:属性名={0}, RMSオブジェクトのDN={1}	属性のデータ型と値のRMSオブジェクトのタイプに整合性がありません。
ARCSUITE_WS-08305027	エディション番号が不正です。:エディション番号={0}	指定したエディション番号が不正です。

表：ドキュメント管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
ARCSUITE_WS-08305028	指定されたオブジェクトが見つかりません。:ID={0}	指定したIDのオブジェクトは存在しないか、アクセス権がありません。
ARCSUITE_WS-08305029	スタンプルール名が指定されていません。	スタンプルール名が指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305030	クラスのIDが指定されていません。	クラスのIDが指定されていません。
ARCSUITE_WS-08305031	クラスIDが不正です。:クラスID={0}	指定したクラスIDが不正です。
ARCSUITE_WS-08305101	原本性保証コンポーネントでエラーが発生しました。:メッセージ={0}	原本性保証コンポーネントの処理でエラーが発生しました。

タスク管理エラーメッセージ

タスク管理に関しては、SOAPインターフェイス固有のエラーメッセージはありません。

プロセス管理エラーメッセージ

表：プロセス管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
AWF_WEBSVC-25200001	オブジェクトが見つかりません。(ID:{0})	指定されたIDのオブジェクトが見つかりません。
AWF_WEBSVC-25200002	ID文字列を解析できません。(ID={0})	指定されたID文字列を解析できません。
AWF_WEBSVC-25200003	ネームスペースが不正です。(ID={0}, ネームスペース={1})	指定されたIDのネームスペース部分がawfではありません。
AWF_WEBSVC-25200004	ワークフローオブジェクトのIDが数値ではありません。(ID={0}, オブジェクトID={1})	指定されたIDのオブジェクトID部分が解析できません。
AWF_WEBSVC-25200005	オブジェクトクラス名が不正です。(ID={0}, オブジェクトクラス名={1})	指定されたIDのオブジェクトクラス部分が解析できません。
AWF_WEBSVC-25200006	{0}のIDではありません。(ID={1})	指定されたIDのオブジェクトクラスが期待されたものと違います。
AWF_WEBSVC-25201001	属性IDが見つかりません。(ns:{0}, name:{1}, lang:{2})	指定された属性IDが見つかりません。
AWF_WEBSVC-25201002	指定された名前の作業が見つかりませんでした。(案件ID:{0}, 作業名:{1})	指定された案件IDと作業名から、該当する作業を見つけられません。
AWF_WEBSVC-25201003	オブジェクトでサポートされていないソート属性です。(オブジェクト:{0}, 属性ns:{1}, 属性name:{2})	オブジェクトでサポートされていない属性でソートしようとしてしました。
AWF_WEBSVC-25201004	ワークフローコンポーネントのライセンスがありません。(ユーザーID:{0})	ログインユーザーがワークフローコンポーネントのライセンスを保持していません。

表：プロセス管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
AWF_WEBSVC-25201005	代行依頼者が指定されませんでした。	代行者指定が必要な操作において、代行者が指定されませんでした。
AWF_WEBSVC-25201006	コンポーネントライセンスがありません。(コンポーネントID:{0})	該当コンポーネントにコンポーネントライセンスが与えられていません。
AWF_WEBSVC-25201007	ライセンスキーが不正です。	ライセンスキーが不正です。
AWF_WEBSVC-25201008	オプションの数が不正です。(指定されたオプションの数:{0}, サポートされるオプションの数:{1})	オプション値の数が正しくありません。
AWF_WEBSVC-25201009	オプションの値を解決できません。(値:{0})	サポートされていないオプション値を指定しました。
AWF_WEBSVC-25202001	検索対象は複数指定できません。	検索対象オブジェクトが複数指定されました。
AWF_WEBSVC-25202002	検索対象と属性の組み合わせがサポートされていません。(検索対象:{0}, 属性ns:{1}, 属性name:{2})	検索の条件として、対象オブジェクトに対し、検索できない属性が指定されました。
AWF_WEBSVC-25202003	検索対象属性の型と、指定された値の型が一致していません。(対象属性ns:{0}, 対象属性name:{1}, 対象属性の型:{2}, 入力値の型:{3})	検索対象属性の型と、属性に対してユーザーが入力した値の型が一致していません。
AWF_WEBSVC-25202004	検索対象が未指定です。	検索対象オブジェクトが指定されていません。
AWF_WEBSVC-25202005	サポートされていない属性の型と演算子の組み合わせです。(対象属性の型:{0}, 演算子:{1})	属性の型と演算子の組み合わせが未サポートです。
AWF_WEBSVC-25202006	このオブジェクトの検索はサポートされていません。(オブジェクト:{0})	検索できないオブジェクトを検索しようとしてしました。
AWF_WEBSVC-25202007	この演算子には、多値を指定することはできません。(演算子:{0}, 値のクラス:{1})	演算子の第二項に当たる部分に多値を指定しました。
AWF_WEBSVC-25202008	この演算子には、空の値を指定することはできません。(演算子:{0}, 値のクラス:{1})	演算子の第二項に当たる部分に空の値を指定しました。
AWF_WEBSVC-25202009	属性検索の条件値が不正です。(属性ns:{0}, 属性name:{1})	属性検索の条件値が不正です。
AWF_WEBSVC-25202010	多値の検索モード指定が不正です。(モード:{0})	多値の検索モード指定が不正です。
AWF_WEBSVC-25202011	ユーザー属性にはこの演算子は指定できません。(演算子:{0}, 属性名:{1})	ユーザー属性に対して、サポートされていない演算子を指定しました。
AWF_WEBSVC-25203001	フィールドパラメータの変換に失敗しました。(フィールド:{0})	フィールドパラメーターを内部属性値に変換できません。

表：プロセス管理エラーメッセージ一覧

エラー番号	メッセージ	説明
AWF_WEBSVC-25203002	フィールドが重複して指定されています。(フィールド:{0})	同一フィールドの値を複数回指定しました。
AWF_WEBSVC-25203003	列挙値型の属性に列挙値型以外の属性値を指定しています。(属性値のクラス:{0})	列挙値型の属性に列挙値型以外の属性値を指定しました。
AWF_WEBSVC-25203004	ID型の属性にID型以外の属性値を指定しています。(属性値のクラス:{0})	ID型の属性にID型以外の属性値を指定しました。
AWF_WEBSVC-25203005	不明な列挙値です。(ns:{0}, name:{1})	サポートされていない列挙値の値を指定しました。
AWF_WEBSVC-25203006	コンテンツが複数指定されています。(名前:{0})	登録するローカルドキュメントのコンテンツが複数指定されています。
AWF_WEBSVC-25203007	コンテンツがひとつも指定されていません。(名前:{0})	登録するローカルドキュメントのコンテンツが指定されていません。
AWF_WEBSVC-25203008	プライマリコンテンツでないコンテンツが指定されています。(名前:{0}, コンテントラベル:{1})	登録するローカルドキュメントのコンテンツとして、プライマリコンテンツ以外が指定されています。
AWF_WEBSVC-25203009	ドキュメント型以外の属性に対して、ローカルドキュメントを指定することはできません。(データ型:{0})	ドキュメント型以外の属性の値として、ローカルドキュメントが指定されています。
AWF_WEBSVC-25203010	ドキュメント型属性に設定できない属性値です。(属性値のクラス:{0})	ドキュメント型属性の値として、ID型以外を指定しました。
AWF_WEBSVC-25203011	値にnullが含まれています。(値のクラス:{0})	属性値の値として、nullが含まれています。



付録

Webサービスを利用して送信するリクエストの上限値を設定する手順や、Webサービスのすべての属性における特性定義情報の一覧、主要データ型の構成、用語集を記載します。

付録 A 送信するリクエストの上限値の設定

Webサービスを利用して50,000件を超えるリクエストを送信した場合、送信するリクエストの上限値を設定していないときには、エラーが発生します。

そのため、次の手順で送信するリクエストの上限値を設定します。

1. ArcSuite をインストールしているサーバーに、サインインします。

2. 次の設定ファイルをテキストエディターなどで開きます。

{プログラムホーム} ¥Service¥Components¥WebService¥webapps¥ws¥WEB-INF¥
cxf-beans.xml

補足 {プログラムホーム} は、ArcSuite をインストールしたフォルダーです。デフォルトは、「{システムドライブ} :¥

Program Files¥FUJIFILM¥ArcSuite」です。

3. jaxws プロパティにキー名「org.apache.cxf.stax.maxChildElements」を追加して、上限値を設定します。

例)

```
<jaxws:properties>
<entry key="mtom-enabled" value="true"/>
<entry key="attachment-directory" value="D:¥ArcSuite¥temp/WebService"/>

<!-- 4MB -->
<entry key="attachment-memory-threshold" value="4000000"/>
<entry key="org.apache.cxf.stax.maxChildElements" value="1000000"/> //←value値を任意の
値変更する
</jaxws:properties>
```

4. 設定ファイルを上書き保存します。

付録 B 属性情報

属性定義情報 (AttributeSchema)

public class AttributeSchema {	
private String ns;	属性ネームスペース
private String name;	属性識別名
private I18NLabel[] displayName;	表示文字列
private I18NLabel[] description;	説明
private DataType dataType;	データ型
private String nativeDataType;	ネイティブデータ型 (*)
private Boolean multiValued;	多値フラグ
private Boolean required;	必須フラグ
private Boolean enumerated;	列挙型フラグ
private Boolean modifiable;	編集可能フラグ
private Boolean searchable;	検索可能フラグ
private Boolean sortable;	ソート可能フラグ
private Integer minLength;	最小長
private Integer maxLength;	最大長
private Integer minCount;	最小要素数
private Integer maxCount;	最大要素数
private Long minIntegralValue;	最小値 (整数型)
private Long maxIntegralValue;	最大値 (整数型)
private Double minFloatingValue;	最小値 (浮動小数点型)
private Double maxFloatingValue;	最大値 (浮動小数点型)
private Boolean minInclusive;	最小値包含フラグ (浮動小数点の場合のみ)
private Boolean maxInclusive;	最大値包含フラグ (浮動小数点の場合のみ)
private String pattern;	正規表現パターン
private I18nStrings enumLabels;	多言語対応の列挙値ラベル
}	

補足 (*) ドキュメント管理サービスの Principal 型と UserRole 型を区別するための付加情報です。
Principal 型の場合 : "user"、それ以外 : null です。

属性テンプレート (AttributeTemplate)

public class AttributeTemplate {	
private String name;	属性テンプレート名
private AttributeTemplateItem[] items;	属性テンプレート項目
}	

属性テンプレート項目 (AttributeTemplateItem)

```

public class AttributeTemplateItem {
    private String ns;                属性ネームスペース
    private String name;              属性識別名
    private I18NLabel[] displayName;  表示文字列
    private DataType dataType;        データ型
    private AttributeValue[] enumeration;  属性の列挙値
    private AttributeValue minValue;    最小値
    private AttributeValue maxValue;    最大値
    private Integer minLength;          最小長
    private Integer maxLength;          最大長
    private String pattern;             値の正規表現
    private AttributeValue defaultValue; デフォルト値
    private String hint;                ヒントを表すCSV形式の文字列
}

```

属性情報一覧

表 : 属性情報一覧

ネーム スペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rms	cn	名前	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	description	説明	STRING	×	—	×	○	○	○	0	1024	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	displayName	表示名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	employeeNumber	従業員番号	STRING	×	—	×	○	○	○	0	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	employeeType	従業員種別	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	givenName	名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	l	ロケーション	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	labeledURI	ホームページアドレス	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	mail	メールアドレス	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	mobile	携帯電話番号	STRING	×	—	×	○	○	○	0	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	ou	部署名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	preferredLanguage	言語	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rms	sn	姓	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	telephoneNumber	電話番号	STRING	×	—	×	○	○	○	0	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	title	役職	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	uid	ログイン名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	printer-location	設置場所	STRING	×	—	×	○	○	○	0	127	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	printer-make-and-model	機種名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	127	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	printer-name	論理プリンター名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	127	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	printer-service-person	プリンター管理者	STRING	×	—	×	○	○	○	0	127	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	printer-uri	論理プリンターURI	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	printer-eco-load	環境負荷値	LONG	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsAccessFromMultiClientFlag	同一ユーザー複数クライアント同時アクセス許可フラグ	BOOLEAN	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsAdminToolURI	管理ツールURI	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsAttributeColumnName	データベーステーブルカラム	STRING	×	—	×	○	○	○	0	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsAttributeSearchable	検索条件指定可能フラグ	BOOLEAN	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsAttributeSortable	ソート条件指定可能フラグ	BOOLEAN	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsAttributeType	型名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rms	rmsAvailableFunctions	利用可能な機能	STRING	○	—	×	○	○	×	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsCertDN	ユーザー証明書のDN	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsComponentInfo	コンポーネント情報	STRING	×	—	×	○	○	○	0	1024	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsComponentKey	コンポーネントキー	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsComponentType	コンポーネントのタイプ	STRING	×	—	×	○	○	○	0	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsDigestNotifyTime	ダイジェスト通知時刻	STRING	×	—	×	○	○	○	0	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsExtGroup	外部グループ名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsExtUser	外部ユーザー名	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsHostEntryID	ホストエントリのID	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsLicenseCount	ライセンス数	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsLogoutServletURI	ログアウトサーブレットURI	STRING	×	—	×	○	○	○	0	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsMailable	メール通知	BOOLEAN	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsMaxSessionCount	コンポーネントの最大同時セッション数	LONG	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsMaxValueCount	最大個数	LONG	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsMaxValueLength	最大長	LONG	×	—	×	○	○	○	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rms	rmsMobileMail	移動電話メールアドレス	STRING	×	—	×	○	○	○	0	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rms	rmsPronunciation	ふりがな	STRING	x	-	x	○	○	○	0	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsRmiRegistryHost	RMIレジストリのホスト名	STRING	x	-	x	○	○	○	0	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsRmiRegistryPort	RMIレジストリのポート番号	LONG	x	-	x	○	○	○	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsServerName	サーバー名	STRING	x	-	x	○	○	○	0	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsSingleValued	単値フラグ	BOOLEAN	x	-	x	○	○	○	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsTimeZone	タイムゾーン	STRING	x	-	x	○	○	○	0	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsUserMaxSessionCount	同一ユーザーの最大同時セッション数	LONG	x	-	x	○	○	○	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsVersion	バージョン	STRING	x	-	x	○	○	○	0	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsExtAuthConfig	外部認証構成名	STRING	x	-	x	○	○	○	0	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rms	rmsSLBCookieValue	SLB用クッキー値	STRING	x	-	x	○	○	○	0	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:certificateserialnumber	証明書シリアルNo.	STRING	x	-	-	-	○	○	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:pagesize	ページサイズ	STRING	x	-	-	-	○	○	-	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:locktype	ロックタイプ	I18N_STRING	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:objecttype	オブジェクトタイプ	I18N_STRING	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:rdindexstatus	関連文書検索インデックス状況	I18N_STRING	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:revisionnumber	改訂番号	INT	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:createdby	登録者	RMS_OBJECT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 : 属性情報一覧

ネーム スペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rep	system:currentrevisionnumber	現改訂番号	INT	×	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:contentlabelist	コンテンツラベルリスト	I18N_STRING	○	—	—	—	○	×	—	—	—	20	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:numberofpages	ページ数	INT	×	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:rdindexdate	関連文書検索インデックス変更日時	DATE_TIME	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:ftsindexdate	全文検索インデックス変更日時	DATE_TIME	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:classifymodifiedon	該当件数最終変更日時	DATE_TIME	×	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:pageheight	ページ長	DOUBLE	×	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:rdsservice	関連文書検索サービス	STRING	×	—	—	—	×	×	—	128	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:rdsscore	関連度	INT	×	—	—	—	×	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:storagepath	格納パス	STRING	×	—	—	—	×	×	—	1024	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:crlissuer	CRL発行者	STRING	×	—	—	—	○	○	—	256	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:contentlabel	コンテンツラベル	I18N_STRING	×	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:status	状態	I18N_STRING	×	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:compressiontype	圧縮形式	STRING	×	—	—	—	×	×	—	512	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:mediatype	メディアタイプ	STRING	×	—	—	—	○	○	—	64	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:pagewidth	ページ幅	DOUBLE	×	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rep	system:rdssstatus	関連文書検索反映状況	I18N_STRING	×	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rep	system:resolution	解像度	LONG	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:colorspace	色空間	STRING	x	-	-	-	○	○	-	512	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:rdindexname	関連文書検索インデックス名	STRING	x	-	-	-	x	x	-	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:xresolution	水平解像度	LONG	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:certificatesubject	証明書所有者	STRING	x	-	-	-	○	○	-	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:ftsindexstatuses	全文検索インデックス状況	I18N_STRING	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:lockedon	ロック日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:certificatenovalidbefore	証明書有効期限開始日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:lockcomment	ロックコメント	STRING	x	-	-	-	○	x	-	512	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:ftsdate	全文検索反映日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:disusedon	削除日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:certificatenovalidafter	証明書有効期限終了日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:modifiedon	最終変更日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:administrator	管理者	RMS_OBJECT	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:modifiedby	最終変更者	RMS_OBJECT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:shorttext	ショートテキスト	STRING	x	-	-	-	x	x	-	512	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:numberofclassifiedobjs	該当件数	INT	x	-	-	-	x	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:charset	キャラクタセット	STRING	x	-	-	-	○	○	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rep	system:evidencestatus	証拠情報ステータス	STRING	x	-	-	-	○	○	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:editionnumber	版番号	INT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:disusedby	削除者	RMS_OBJECT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:ftsstatus	全文検索反映状況	I18N_STRING	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:note	注釈	STRING	x	-	-	-	x	x	-	512	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:xades	XAdES	BINARY	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:signers	署名者	STRING	○	-	-	-	○	x	-	256	-	1000	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:editionlabel	版名称	STRING	x	-	-	-	○	○	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:imageheight	イメージ長	LONG	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:numberofchildren	要素数	INT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:lockedby	ロックユーザー	RMS_OBJECT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:cryptographicalgorithms	暗号アルゴリズム	STRING	○	-	-	-	○	x	-	100	-	1000	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:oldesttimestamp	最古タイムスタンプ日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:latesteditionflag	最新版フラグ	BOOLEAN	x	-	-	-	○	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:storageetype	格納タイプ	INT	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:crlnextupdate	次回CRL発行日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:contentsizebytes	コンテンツサイズバイト	LONG	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rep	system:imagewidth	イメージ幅	LONG	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:name	名前	STRING	x	-	-	-	○	○	-	384	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:referentmediatype	参照先メディアタイプ	STRING	x	-	-	-	○	○	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:relateddate	関連文書検索反映日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:externalreftype	外部リファレンスタイプ	I18N_STRING	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:objectcategory	オブジェクトカテゴリー	I18N_STRING	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:unitsystem	単位系	STRING	x	-	-	-	x	x	-	512	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:timestampnotafter	タイムスタンプ有効期限終了日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:contenttype	コンテンツタイプ	STRING	x	-	-	-	○	○	-	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:revisioncomment	改訂コメント	STRING	x	-	-	-	x	x	-	512	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:numberofhardrefs	ハードリファレンス被参照数	INT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:colordepth	色の深さ	INT	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:deletedlocationpathflag	削除時パスフラグ	BOOLEAN	x	-	-	-	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:latesttimestamp	最新タイムスタンプ日時	DATE_TIME	x	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:ftsindexname	全文検索インデックス名	STRING	x	-	-	-	x	x	-	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:deletedlocationpath	削除時パス	STRING	○	-	-	-	x	x	-	384	-	40	-	-	-	-	-	-	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rep	system:referentobjecttype	参照先オブジェクトタイプ	I18N_STRING	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:referentobjectcategory	参照先オブジェクトカテゴリー	I18N_STRING	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:certificateissuer	証明書発行者	STRING	×	-	-	-	○	○	-	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:operationrestrictpatternlabel	操作制約パターンラベル	I18N_STRING	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:resolution	垂直解像度	LONG	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:revisiontype	改訂種別	I18N_STRING	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:ftssearchservice	全文検索サービス	STRING	×	-	-	-	×	×	-	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:createdon	登録日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:filename	ファイル名	STRING	×	-	-	-	○	○	-	384	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:crlthisupdate	CRL発行日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:collabourl	コラボスペースURL	URI	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:collabomsgtitle	コラボスペースメッセージタイトル	STRING	×	-	-	-	○	○	-	360	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:statuschangeby	最終状態変更者	RMS_OBJECT	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:archivalpreservedon	アーカイブ保存日時	DATE_TIME	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:retentionperiodmodifiedon	最終保存期間変更日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
rep	system:offlinecontentflag	オフラインコンテンツフラグ	BOOLEAN	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:retentionperiodstartdate	保存期間開始日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:certificatextupdate	次回証明情報更新日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:allcontentlabellist	全コンテンツラベルリスト	I18N_STRING	○	-	-	-	○	×	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:validationnotafter	検証有効期限終了日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:locationlabel	所在管理ラベル	STRING	×	-	-	-	○	○	-	384	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:collabomsgcontent	コラボスペースメッセージ内容	STRING	×	-	-	-	○	○	-	3000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:archivalpreservestatus	アーカイブ保存状況	I18N_STRING	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:latestdocumenttimestamp	最新文書タイムスタンプ日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:templatename	テンプレート名	STRING	×	-	-	-	○	○	-	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:class	クラス	I18N_STRING	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:statuschange	最終状態変更日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:locationowner	所在管理者	RMS_OBJECT	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:retentionperiodenddate	保存期間終了日時	DATE_TIME	×	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rep	system:wfuri	ワークフロー URI	URI	×	-	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
collabo	taskName	タスク名	STRING	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	plannedStartDate	開始予定日	DATE_TIME	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	plannedCloseDate	終了予定日	DATE_TIME	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	startedDate	開始日時	DATE_TIME	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	closedDate	終了日時	DATE_TIME	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	taskStatus	状態	I18N_STRING	×	○	○	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	taskColor	タスクカラー	STRING	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	taskLanguage	タスク言語	STRING	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	progress	進捗度	INT	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	progressManually	進捗度手動設定	BOOLEAN	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	taskMessageModDate	メッセージ更新日時	DATE_TIME	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	taskModDate	タスク更新日時	DATE_TIME	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	archiveStatus	凍結状態	Archive Status				I18N_STRING	×	×	○	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
collabo	parentTasks	上位タスク	Parent-Tasks				ID	○	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
collabo	childTasks	下位タスク	Child-Tasks				ID	○	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-
collabo	messageUser	作成者	RMS_OBJECT	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	messageType	メッセージタイプ	I18N_STRING	×	○	○	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	title	タイトル	STRING	×	○	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	body	内容	STRING	×	○	×	○	×	×	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	exigency	緊急度	I18N_STRING	×	○	○	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	messagePutDate	作成日	DATE_TIME	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	messageModDate	修正日	DATE_TIME	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
collabo	messageAttr	メッセージ属性	I18N_STRING	×	○	○	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	visibleId	メッセージ番号	STRING	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	refMessageId	親のメッセージID	ID	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	editionKey	エディションキー	ID	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	edition	エディション	STRING	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	fileSize	ファイルサイズ	LONG	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	output	成果物フラグ	BOOLEAN	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	deleted	削除フラグ	BOOLEAN	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	messageId	メッセージID	ID	×	○	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoId	ToDo ID	ID	×	○	×	×	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoType	ToDoタイプ	I18N_STRING	×	○	○	×	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoUser	ToDo作成者	RMS_OBJECT	×	○	×	×	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoStatus	ToDoステータス	I18N_STRING	×	○	○	○	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoDueDate	ToDo納期日時	DATE_TIME	×	×	×	○	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoPutDate	ToDo最終変更日時	DATE_TIME	×	○	×	×	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoModifiedDate	ToDo作成日時	DATE_TIME	×	○	×	×	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoActionId	ワークフローのアクションID	ID	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
collabo	todoReviewFileId	レビュー対象ファイルID	ID	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
awf.definition	id	定義ID	ID	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	1	-	○	○	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.definition	name	定義名	STRING	×	○	×	×	○	○	1	512	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	edition	版	LONG	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	description	説明	STRING	×	×	×	○	○	○	0	2000	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	administrators	管理者	RESOURCE	○	○	×	○	○	○	0	-	1	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	startProcessesPermittees	起動権保有者	RESOURCE	○	×	×	○	○	○	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	createTemplatePermittees	テンプレート作成権保有者	RESOURCE	○	×	×	○	○	○	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	author	作成者	RESOURCE	×	○	×	×	○	○	1	512	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	category	カテゴリー	STRING	×	×	×	×	○	○	0	256	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	documentation	参考資料	URI	×	×	×	×	○	○	0	1024	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	due	期間	DURATION	×	×	×	×	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	lang	使用言語	I18N_STRING	×	○	○	×	○	○	1	16	1	1	-	-	-	-	○	○	ja en ko zh-cn zh-tw
awf.definition	lastUpdateTime	最終更新日時	DATE_TIME	×	×	×	×	○	○	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	priority	優先度	I18N_STRING	×	○	○	×	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	low normal high urgent
awf.definition	publicationStatus	公開状態	I18N_STRING	×	○	○	×	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	draft published enforced obsolete
awf.definition	publicationTime	登録日時	DATE_TIME	×	×	×	×	○	○	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	observers	参照者	RESOURCE	○	×	×	×	○	○	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	validFrom	公開開始日時	DATE_TIME	×	×	×	×	○	○	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	validTo	公開終了日時	DATE_TIME	×	×	×	×	○	○	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.definition	enabled	有効・無効	BOOLEAN	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	primaryProcessName	参照定義名	STRING	×	×	×	×	○	○	1	512	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.definition	primaryProcessEdition	参照版	LONG	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	id	案件ID	ID	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	1	-	○	○	-
awf.process	name	案件名	STRING	×	○	×	○	○	○	1	512	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	description	案件説明	STRING	×	×	×	○	○	○	0	2000	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	priority	優先度	I18N_STRING	×	○	○	○	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	low normal high urgent
awf.process	due	期間	DURATION	×	×	×	○	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	dueTime	終了予定日時	DATE_TIME	×	×	×	○	○	○	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	requester	起案者	RESOURCE	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	responsibles	責任者	RESOURCE	○	×	×	○	○	○	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	observers	参照者	RESOURCE	○	×	×	○	○	○	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	startTime	起案日時	DATE_TIME	×	×	×	×	○	○	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	closeTime	終了日時	DATE_TIME	×	×	×	×	○	○	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.process	state	状態	I18N_STRING	×	○	○	×	○	○	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	initiated starting started running completed terminated aborted
awf.process	currentActivityIds	実行中作業ID	ID	○	×	×	×	×	×	0	-	0	-	-	-	1	-	○	○	-
awf.process	currentActivityNames	実行中作業名	STRING	○	×	×	×	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.process	url	案件URL	STRING	×	○	×	×	×	×	1	1024	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	id	定義ID	ID	×	○	×	×	×	×	0	-	1	1	-	-	1	-	○	○	-
awf.activityDefinition	name	作業名	STRING	×	○	×	×	×	×	1	512	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	description	説明	STRING	×	×	×	×	×	×	0	2000	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	activityType	作業タイプ	I18N_STRING	×	○	○	×	×	×	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	entry exit action block subflow
awf.activityDefinition	documentation	参考資料	URI	×	×	×	×	×	×	0	1024	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	due	期間	DURATION	×	×	×	×	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	priority	優先度	I18N_STRING	×	○	○	×	×	×	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	low normal high urgent
awf.activityDefinition	responsibles	責任者	RESOURCE	○	×	×	×	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	observers	参照者	RESOURCE	○	×	×	×	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	participants	担当者	RESOURCE	○	×	×	×	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	manualExecute	手動実行	BOOLEAN	×	○	×	×	×	×	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	manualComplete	手動完了	BOOLEAN	×	○	×	×	×	×	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activityDefinition	childIds	サブ定義ID	ID	○	×	×	×	×	×	0	-	0	-	-	-	1	-	○	○	-
awf.activity	id	作業ID	ID	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	1	-	○	○	-

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.activity	name	作業名	STRING	×	○	×	×	○	○	1	512	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	description	説明	STRING	×	×	×	○	×	×	0	2000	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	startTime	開始日時	DATE_TIME	×	×	×	×	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	executeTime	実行日時	DATE_TIME	×	×	×	×	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	closeTime	終了日時	DATE_TIME	×	×	×	×	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	state	状態	I18N_STRING	×	○	○	×	×	×	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	initiated starting started running completed terminated aborted
awf.activity	priority	優先度	I18N_STRING	×	○	○	○	×	×	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	low normal high urgent
awf.activity	due	期間	DURATION	×	×	×	○	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	dueTime	終了予定日時	DATE_TIME	×	×	×	○	×	×	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	responsibles	責任者	RESOURCE	○	×	×	○	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	participants	担当者	RESOURCE	○	×	×	○	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	observers	参照者	RESOURCE	○	×	×	○	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	performers	作業者	RESOURCE	○	×	×	○	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	actualPerformers	実作業者	RESOURCE	○	×	×	○	×	×	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.activity	childIds	サブ作業ID	ID	○	×	×	×	×	×	0	-	0	-	-	-	1	-	○	○	-
awf.activity	activityId	作業ID	ID	×	○	×	×	×	×	0	-	1	1	-	-	1	-	○	○	-
awf.activity	url	作業URL	STRING	×	○	×	×	×	×	1	1024	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.action	id	ID	ID	×	○	×	×	○	○	0	-	1	1	-	-	1	-	○	○	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.action	startTime	開始日時	DATE_TIME	x	x	x	x	o	o	0	-	0	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	executeTime	実行日時	DATE_TIME	x	x	x	x	o	o	0	-	0	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	closeTime	終了日時	DATE_TIME	x	x	x	x	o	o	0	-	0	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	state	状態	I18N_STRING	x	o	o	x	o	o	0	-	1	1	-	-	-	-	o	o	initiated starting started running completed terminated aborted
awf.action	dueTime	終了予定日時	DATE_TIME	x	x	x	x	o	o	0	-	0	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	actualPerformers	実作者	RESOURCE	o	x	x	o	o	o	0	-	0	-	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	participants	担当者	RESOURCE	o	x	x	o	o	o	0	-	0	-	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	performers	作業者	RESOURCE	o	x	x	o	o	o	0	-	0	-	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	responsibles	責任者	RESOURCE	o	x	x	o	o	o	0	-	0	-	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	activityId	作業ID	ID	x	o	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	1	-	o	o	-
awf.action	take	実行回数	LONG	x	x	x	x	o	o	0	-	0	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	name	作業名	STRING	x	o	x	x	x	x	1	512	1	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.action	description	説明	STRING	x	x	x	x	x	x	0	2000	0	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.attributeDefinition	id	属性定義ID	ID	x	o	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.attributeDefinition	description	説明	STRING	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.attributeDefinition	name	属性名	STRING	x	o	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	o	o	-
awf.attributeDefinition	target	属性参照先ID	ID	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	o	o	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.attributeDefinition	removeOnCompleted	案件完了時削除	BOOLEAN	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	defaultNames	デフォルト属性名	KEYED_STRING	○	x	x	x	x	x	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	defaultDescriptions	説明 (デフォルト)	KEYED_STRING	○	x	x	x	x	x	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	dataType	データ型	I18N_STRING	x	x	○	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	boolean long double string dateTime date time duration resource uri document anyType
awf.attributeDefinition	multiValue	多値	BOOLEAN	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	enumeration	列挙値	BOOLEAN	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	readOnly	読取専用	BOOLEAN	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	minLength	最小長	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	maxLength	最大長	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	minCount	最小要素数	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	maxCount	最大要素数	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	minValue	最小値	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeDefinition	maxValue	最大値	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.attr attributeDe finition	minExclusi ve	最小値境 界を含ま ない	BOOLEA N	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr attributeDe finition	maxExclusi ve	最大値境 界を含ま ない	BOOLEA N	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr attributeDe finition	pattern	正規表現 パターン	STRING	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr attributeDe finition	systemAttr ibute	システム 属性	BOOLEA N	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.fiel dDefinit ion	id	フィール ド定義ID	ID	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.fiel dDefinit ion	defaultVal ue	デフォ ルト値	ANY	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.fiel dDefinit ion	lockType	ロック	I18N_ST RING	x	x	○	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	none loc k checko ut
awf.fiel dDefinit ion	name	フィール ド名	STRING	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.fiel dDefinit ion	permission	アクセ ス権	I18N_ST RING	x	○	○	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	readOnly writable mandat ory cust om noth ing
awf.attr ibute	id	属性ID	ID	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr ibute	descriptio n	説明	STRING	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr ibute	name	属性名	STRING	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr ibute	targetDefi nition	属性値	ID	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr ibute	removeOn Comple d	案件完了 時削除	BOOLEA N	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr ibute	defaultNa mes	デフォ ルト属性名	KEYED_S TRING	○	x	x	x	x	x	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.attr ibute	defaultDes criptions	説明 (デ フォルト)	STRING	○	x	x	x	x	x	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-

表：属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.attribute	dataType	データ型	I18N_STRING	x	x	○	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	boolean long double string dateTime date time duration resource uri document anyType
awf.attribute	multiValue	多値	BOOLEAN	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	enumeration	列挙値	BOOLEAN	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	readOnly	読取専用	BOOLEAN	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	minLength	最小長	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	maxLength	最大長	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	minCount	最小要素数	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	maxCount	最大要素数	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	minValue	最小値	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	maxValue	最大値	LONG	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	minExclusive	最小値境界を含まない	BOOLEAN	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	maxExclusive	最大値境界を含まない	BOOLEAN	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	pattern	正規表現パターン	STRING	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	systemAttribute	システム属性	BOOLEAN	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	container	ドキュメントフォルダー	ID	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attribute	value	属性定義参照先ID	ANY	○	x	x	x	x	x	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-

表 : 属性情報一覧

ネームスペース	名前	表示名 (日本語)	データ型	multiValued	required	enumerated	modifiable	searchable	sortable	minLength	maxLength	minCount	maxCount	minIntegralValue	maxIntegralValue	minFloatingValue	maxFloatingValue	minInclusive	maxInclusive	pattern
awf.field	id	フィールドID	ID	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.field	defaultValue	デフォルト値	ANY	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.field	lockType	ロック	I18N_STRING	x	x	○	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	none lock checkbox checkbox
awf.field	name	フィールド名	STRING	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.field	permission	アクセス権	I18N_STRING	x	○	○	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	readOnly writable mandatory custom nothing
awf.field	container	ドキュメントフォルダー	ID	x	x	x	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.field	value	フィールド値	ANY	○	x	x	x	x	x	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-
awf.field	valueType	フィールド値タイプ	I18N_STRING	x	x	○	x	x	x	0	-	0	1	-	-	-	-	○	○	default current history
awf.attributeHistory	name	属性名	STRING	x	○	x	x	x	x	0	-	1	1	-	-	-	-	○	○	-
awf.attributeHistory	value	履歴値	ANY	○	x	x	x	x	x	0	-	0	-	-	-	-	-	○	○	-

付録 C コラボ属性補足

表：コラボ属性補足一覧

◎：必須、○：設定可能

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								作成・更新			備考	
ns	name			タスク情報	タスク情報 (複数)	関与タスク一覧	メッセージ情報	メッセージ情報 (複数)	メッセージ情報 (添付/リンク)	添付ファイル	タスクメッセージ一覧	検索	タスク作成	タスク情報更新		メッセージ登録
collabo	taskName	タスク名	Task Name	○	○	○					○	◎	○			
collabo	plannedStartDate	開始予定日	Planned Start Date	○	○	○					○	○	○			
collabo	plannedCloseDate	終了予定日	Planned Close Date	○	○	○					○	○	○			
collabo	startedDate	開始日時	Start Date	○	○	○					○					
collabo	closedDate	終了日時	Close Date	○	○	○					○					
collabo	taskStatus	状態	Status	○	○	○					○	○	○			
collabo	taskColor	タスクカラー	Task Color	○	○	○					○	○	○			
collabo	taskLanguage	タスク言語	Task Language	○	○	○					○	○	○			
collabo	progress	進捗度	Progress	○	○	○					○	○	○			
collabo	progressManually	進捗度手動設定	Progress (Manual)	○	○	○					○	○	○			
collabo	taskMessageModDate	メッセージ更新日時	Message Updated	○	○	○					○					
collabo	taskModDate	タスク更新日時	Task Updated	○	○	○					○					
collabo	archiveStatus	凍結状態	Archive Status	○	○	○					○					
collabo	parentTasks	上位タスク	Parent-Tasks	○	○	○					○					対象の上位タスクのタスクID (URI形式) を取得。 対象の上位タスクがない場合、長さ0の配列を返す。

表：コラボ属性補足一覧

◎：必須、○：設定可能

Attributeld		displayName_ja	displayName_en	取得										作成・更新			備考	
ns	name			タスク情報	タスク情報 (複数)	関与タスク一覧	メッセージ情報	メッセージ情報 (複数)	メッセージ情報 (添付/リンク)	添付ファイル	タスクメッセージ一覧	検索	タスク作成	タスク情報更新	メッセージ登録	遂行状態変更		
collabo	childTasks	下位タスク	Child-Tasks	○	○	○												対象の下位タスクのタスクID (URI形式) を取得。 対象の下位タスクがない場合、長さ0の配列を返す。
collabo	messageUser	作成者	Creator				○	○	○		○	○						
collabo	messageType	メッセージタイプ	Message Type				○	○	○		○	○						
collabo	title	タイトル	Title				○	○	○		○	○					○	
collabo	body	内容	Message Details				○	○	○		○	○					○	メッセージタイプにより取得できる内容が異なる。メッセージの場合、メッセージの本文、関連リンクの場合、URLが取得される。添付ファイルでは取得する事ができない。
collabo	exigency	緊急度	Urgency				○	○	○		○	○					○	メッセージタイプがメッセージのときだけ取得可能。
collabo	messagePutDate	作成日	Created Date				○	○	○		○	○						
collabo	messageModDate	修正日	Last Update				○	○	○		○	○						
collabo	messageAttr	メッセージ属性	Message Attributes				○	○	○		○	○					○	メッセージのときだけ取得可能。
collabo	visibleId	メッセージ番号	Message No.				○	○	○		○	○						メッセージのときだけ取得可能。

表：コラボ属性補足一覧

◎：必須、○：設定可能

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								作成・更新			備考	
ns	name			タスク情報	タスク情報 (複数)	関与タスク一覧	メッセージ情報	メッセージ情報 (複数)	メッセージ情報 (添付/リンク)	添付ファイル	タスクメッセージ一覧	検索	タスク作成	タスク情報更新		メッセージ登録
collabo	refMessageId	親のメッセージID	Parent Message ID				○	○	○		○	○				メッセージの場合、返信元のメッセージのメッセージID。添付ファイル/関連リンクの場合、それぞれを付与したメッセージのメッセージIDを表す。
collabo	editionKey	エディションキー	Edition Key				○	○	○		○	○				添付ファイルのときだけ取得可能。
collabo	edition	エディション	Edition				○	○	○		○	○				添付ファイルのときだけ取得可能。
collabo	fileSize	ファイルサイズ	File Size				○	○	○		○	○				添付ファイルのときだけ取得可能。
collabo	output	成果物フラグ	Outcome Flag				○	○	○		○	○				添付ファイル/関連リンクのとき取得可能。
collabo	deleted	削除フラグ	Delete Flag				○	○	○		○	○				

付録 D ワークフロー属性補足

表 :ワークフロー属性補足一覧

○ : 指定可能、×: 指定不可、取得時は無視、検索時はエラー、ソートに指定できる属性は検索可能属性と同じ

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								検索			
ns	name			定義	作業定義	属性定義	フィールド定義	案件	作業	アクション	属性	フィールド	属性履歴	定義	案件
awf.definition	id	定義ID	Definition ID	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
awf.definition	id	定義ID	Definition ID	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
awf.definition	name	定義名	Definition Name	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
awf.definition	edition	版	Edition	○	○	○		○	○	○	○		○	○	
awf.definition	description	説明	Description	○									○		
awf.definition	administrators	管理者	Administrator	○									○		
awf.definition	startProcessPermittees	起動権保有者	Users with Start Permission	○									○		
awf.definition	createTemplatePermissions	テンプレート作成権保有者	Users with Create Template Permission	○									○		
awf.definition	author	作成者	Creator	○									○		
awf.definition	category	カテゴリー	Category	○									○		
awf.definition	documentation	参考資料	Reference	○									○		
awf.definition	due	期間	Period	○											
awf.definition	lang	使用言語	Preferred Language	○									○		
awf.definition	lastUpdateTime	最終更新日時	Last Update	○									○		
awf.definition	priority	優先度	Priority	○									○		
awf.definition	publicationStatus	公開状態	Publication Status	○									○		
awf.definition	publicationTime	登録日時	Registration Date	○									○		
awf.definition	observers	参照者	Observers	○									○		
awf.definition	validFrom	公開開始日時	Publication Start Date	○									○		
awf.definition	validTo	公開終了日時	Publication Close Date	○									○		

表：ワークフロー属性補足一覧

○：指定可能、×：指定不可、取得時は無視、検索時はエラー、ソートに指定できる属性は検索可能属性と同じ

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								検索			
ns	name			定義	作業定義	属性定義	フィールド定義	案件	作業	アクション	属性	フィールド	属性履歴	定義	案件
awf.definition	enabled	有効・無効	Enabled/ Disabled	○									○		
awf.definition	primaryProcessName	参照定義名	Referenced Workflow Definition Name	○									○		
awf.definition	primaryProcessEdition	参照版	Referenced Edition	○									○		
awf.process	id	案件ID	Workprocess ID					○	○	○	○		○	○	○
awf.process	name	案件名	Workprocess Name					○	○	○	○		○	○	○
awf.process	description	案件説明	Workprocess Description					○						○	
awf.process	priority	優先度	Priority					○						○	
awf.process	due	期間	Period					○							
awf.process	dueTime	終了予定日時	Planned Close Date					○		○			○	○	○
awf.process	requester	起案者	Starter					○		○			○	○	○
awf.process	responsibles	責任者	Responsibles					○						○	
awf.process	observers	参照者	Observers					○						○	
awf.process	startTime	起案日時	WP Start Date					○		○			○	○	○
awf.process	closeTime	終了日時	Close Date					○		○			○	○	○
awf.process	state	状態	Status					○						○	
awf.process	currentActivityIds	実行中作業ID	Running Activity ID					○							
awf.process	currentActivityNames	実行中作業名	Running Activity Name					○							
awf.activityDefinition	id	定義ID	Definition ID		○		○								
awf.activityDefinition	name	作業名	Activity Name		○		○								
awf.activityDefinition	description	説明	Description		○										
awf.activityDefinition	activityType	作業タイプ	Activity Type		○										
awf.activityDefinition	documentation	参考資料	Reference		○										
awf.activityDefinition	due	期間	Period		○										

表 :ワークフロー属性補足一覧

○ : 指定可能、×: 指定不可、取得時は無視、検索時はエラー、ソートに指定できる属性は検索可能属性と同じ

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								検索			
ns	name			定義	作業定義	属性定義	フィールド定義	案件	作業	アクション	属性	フィールド	属性履歴	定義	案件
awf.activityDefinition	priority	優先度	Priority		○										
awf.activityDefinition	responsibles	責任者	Responsibles		○										
awf.activityDefinition	observers	参照者	Observers		○										
awf.activityDefinition	participants	担当者	Assignees		○										
awf.activityDefinition	manualExecute	手動実行	Manual Execution		○										
awf.activityDefinition	manualComplete	手動完了	Manual Completion		○										
awf.activityDefinition	childIds	サブ定義ID	Sub-definition IDs		○										
awf.activity	id	作業ID	Activity ID						○	○		○	○		○
awf.activity	name	作業名	Activity Name						○	○		○	○		○
awf.activity	description	説明	Description						○						
awf.activity	startTime	開始日時	Start Date						○						
awf.activity	executeTime	実行日時	Performed Date						○						
awf.activity	closeTime	終了日時	Close Date						○						
awf.activity	state	状態	Status						○						
awf.activity	priority	優先度	Priority						○						
awf.activity	due	期間	Period						○						
awf.activity	dueTime	終了予定日時	Planned Close Date						○						
awf.activity	responsibles	責任者	Responsibles						○						
awf.activity	participants	担当者	Assignees						○						
awf.activity	observers	参照者	Observers						○						
awf.activity	performers	作業者	Performer						○						
awf.activity	actualPerformers	実作業者	Actual Performer						○						
awf.activity	childIds	サブ作業ID	Sub-activity IDs						○						
awf.action	id	ID	ID							○			○		○
awf.action	startTime	開始日時	Start Date							○			○		○
awf.action	executeTime	実行日時	Performed Date							○			○		○

表：ワークフロー属性補足一覧

○：指定可能、×：指定不可、取得時は無視、検索時はエラー、ソートに指定できる属性は検索可能属性と同じ

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								検索				
ns	name			定義	作業定義	属性定義	フィールド定義	案件	作業	アクション	属性	フィールド	属性履歴	定義	案件	アクション
awf.action	closeTime	終了日時	Close Date							○			○			○
awf.action	state	状態	Status							○			○			○
awf.action	dueTime	終了予定日時	Planned Close Date							○			○			○
awf.action	actualPerformers	実作業者	Actual Performer							○			○			○
awf.action	participants	担当者	Assignees							○			○			○
awf.action	performers	作業者	Performer							○			○			○
awf.action	responsibles	責任者	Responsibles							○			○			○
awf.action	take	実行回数	Action Count							○			○			○
awf.attributeDefinition	id	属性定義ID	Attribute Definition ID			○	○						○			
awf.attributeDefinition	description	説明	Description			○	○									
awf.attributeDefinition	name	属性名	Attribute Name			○	○									
awf.attributeDefinition	target	属性参照先ID	Reference Object ID			○	○									
awf.attributeDefinition	removeOnCompleted	案件完了時削除	Delete Attribute Value when Workprocess Complete			○	○									
awf.attributeDefinition	defaultNames	デフォルト属性名	Default Attribute Name			○	○									
awf.attributeDefinition	defaultDescriptions	説明 (デフォルト)	Description (Default)			○	○									
awf.attributeDefinition	dataType	データ型	Data Type			○	○						○			
awf.attributeDefinition	multiValue	多値	Multi-value			○	○						○			
awf.attributeDefinition	enumeration	列挙値	Enumeration Value			○	○									
awf.attributeDefinition	readOnly	読取専用	Read-only			○	○									
awf.attributeDefinition	minLength	最小長	Minimum Length			○	○									
awf.attributeDefinition	maxLength	最大長	Maximum Length			○	○									

表：ワークフロー属性補足一覧

○：指定可能、×：指定不可、取得時は無視、検索時はエラー、ソートに指定できる属性は検索可能属性と同じ

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								検索			
ns	name			定義	作業定義	属性定義	フィールド定義	案件	作業	アクション	属性	フィールド	属性履歴	定義	案件
awf.attributeDefinition	minCount	最小要素数	Minimum Number of Elements			○	○								
awf.attributeDefinition	maxCount	最大要素数	Maximum Number of Elements			○	○								
awf.attributeDefinition	minValue	最小値	Minimum Value			○	○								
awf.attributeDefinition	maxValue	最大値	Maximum Value			○	○								
awf.attributeDefinition	minExclusive	最小値境界を含まない	Do not include the boundary value.			○	○								
awf.attributeDefinition	maxExclusive	最大値境界を含まない	Do not include the boundary value.			○	○								
awf.attributeDefinition	pattern	正規表現パターン	Regular Expression Pattern			○	○								
awf.attributeDefinition	systemAttribute	システム属性	System Attribute			○	○								
awf.fieldDefinition	id	フィールド定義ID	Field Definition ID				○								
awf.fieldDefinition	defaultValue	デフォルト値	Default Value				○								
awf.fieldDefinition	lockType	ロック	Lock				○								
awf.fieldDefinition	name	フィールド名	Field Name				○								
awf.fieldDefinition	permission	アクセス権	Access Permissions				○								
awf.attribute	id	属性ID	Attribute ID							○	○				
awf.attribute	description	説明	Description							○	○				
awf.attribute	name	属性名	Attribute Name							○	○				
awf.attribute	targetDefinition	属性値	Attribute Value							○	○				
awf.attribute	removeOnCompleted	案件完了時削除	Delete Attribute Value when Workprocess Complete							○	○				

表：ワークフロー属性補足一覧

○：指定可能、×：指定不可、取得時は無視、検索時はエラー、ソートに指定できる属性は検索可能属性と同じ

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								検索			
ns	name			定義	作業定義	属性定義	フィールド定義	案件	作業	アクション	属性	フィールド	属性履歴	定義	案件
awf.attribute	defaultNames	デフォルト属性名	Default Attribute Name								○	○			
awf.attribute	defaultDescriptions	説明 (デフォルト)	Description (Default)								○	○			
awf.attribute	dataType	データ型	Data Type								○	○			
awf.attribute	multiValue	多値	Multi-value								○	○			
awf.attribute	enumeration	列挙値	Enumeration Value								○	○			
awf.attribute	readOnly	読取専用	Read-only								○	○			
awf.attribute	minLength	最小長	Minimum Length								○	○			
awf.attribute	maxLength	最大長	Maximum Length								○	○			
awf.attribute	minCount	最小要素数	Minimum Number of Elements								○	○			
awf.attribute	maxCount	最大要素数	Maximum Number of Elements								○	○			
awf.attribute	minValue	最小値	Minimum Value								○	○			
awf.attribute	maxValue	最大値	Maximum Value								○	○			
awf.attribute	minExclusive	最小値境界を含まない	Do not include the boundary value.								○	○			
awf.attribute	maxExclusive	最大値境界を含まない	Do not include the boundary value.								○	○			
awf.attribute	pattern	正規表現パターン	Regular Expression Pattern								○	○			
awf.attribute	systemAttribute	システム属性	System Attribute								○	○			
awf.attribute	container	ドキュメントフォルダー	Document Folder								○	○			
awf.attribute	value	属性定義参照先ID	Attribute Value								○				
awf.field	id	フィールドID	Field ID									○			
awf.field	defaultValue	デフォルト値	Default Value									○			
awf.field	lockType	ロック	Lock									○			
awf.field	name	フィールド名	Field Name									○			

表 :ワークフロー属性補足一覧

○ : 指定可能、×: 指定不可、取得時は無視、検索時はエラー、ソートに指定できる属性は検索可能属性と同じ

AttributeId		displayName_ja	displayName_en	取得								検索			
ns	name			定義	作業定義	属性定義	フィールド定義	案件	作業	アクション	属性	フィールド	属性履歴	定義	案件
awf.field	permission	アクセス権	Access Permissions								○				
awf.field	container	ドキュメントフォルダー	Document Folder								○				
awf.field	value	フィールド値	Field Value								○				
awf.field	valueType	フィールド値タイプ	Field Value Type								○				
awf.attributeHistory	name	属性名	Attribute Name									○			
awf.attributeHistory	value	履歴値	Log Value									○			

付録 E I18nString

表 :I18nString

用途	ネーム スペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
オブジェクト タイプ	rms	user	ユーザー	User	
オブジェクト タイプ	rms	group	グループ	Group	
オブジェクト タイプ	rms	userRoleName	ユーザーロール 名	User Role Name	
オブジェクト タイプ	rms	component	コンポーネント	Component	
オブジェクト タイプ	rms	printer	プリンタ	Printer	
オブジェクト タイプ	rms	atom	アトム	Atom	
コンテンツ ラベル	rep	system:primary	プライマリー	Primary	
コンテンツ ラベル	rep	system:view	インデックス	View	
コンテンツ ラベル	rep	system:scrap	部分	Scrap	
コンテンツ ラベル	rep	system:nail	全ページサムネ イル	Thumbnail	
コンテンツ ラベル	rep	system:topNail	先頭ページサム ネイル	Top Page Thumbnail	
コンテンツ ラベル	rep	system:print	プリント	Print	
コンテンツ ラベル	rep	system:text	テキスト	Text	
内容検索	rep	system:indexEntryN one	インデックスエ ントリーなし	Index Entry None	
内容検索	rep	system:indexEntryN eedUpdate	インデックスエ ントリー要更新	Index Entry Need Update	
内容検索	rep	system:indexEntryU pdating	インデックスエ ントリー更新中	Index Entry Updating	
内容検索	rep	system:indexEntryU pdated	インデックスエ ントリー更新完 了	Index Entry Updated	
内容検索	rep	system:indexEntryF ailed	インデックスエ ントリー更新失 敗	Index Entry Failed	
内容検索	rep	system:indexEntryO ptimizing	インデックスエ ントリー最適化 中	Index Entry Optimizing	

表 :I18nString

用途	ネームスペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
内容検索	rep	system:indexEntryWaiting	インデックスエントリー最適化待ち	Index Entry Waiting	
内容検索	rep	system:indexNone	インデックスなし	Index Entry None	
内容検索	rep	system:indexInitializing	インデックス初期化中	Index Initializing	
内容検索	rep	system:indexInitialized	インデックス初期化完了	Index Initialized	
内容検索	rep	system:indexUpdating	インデックス更新中	Index Updating	
内容検索	rep	system:indexUpdated	インデックス更新完了	Index Updated	
内容検索	rep	system:indexFailed	インデックス更新失敗	Index Failed	
内容検索	rep	system:indexDeleting	インデックス削除中	Index Deleting	
エディション/リビジョン	rep	system:previousRevision	旧訂	Previous Revision	
エディション/リビジョン	rep	system:currentRevision	新訂	Current Revision	
エディション/リビジョン	rep	system:workingRevision	校訂	Working Revision	
エディション/リビジョン	rep	system:normal	通常	Normal	
モード/状態/ロック	rep	system:maintenance	メンテナンス	Maintenance	
モード/状態/ロック	rep	system:shiftingToMaintenance	メンテナンスモード移行中	Shifting To Maintenance	
モード/状態/ロック	rep	system:shiftingToMaintenanceImmediate	メンテナンスモード即時移行中	Shifting To Maintenance Immediate	
モード/状態/ロック	rep	system:readOnly	読み出し専用	Read Only	
モード/状態/ロック	rep	system:editable	編集可能	Editable	
モード/状態/ロック	rep	system:editing	編集中	Editing	

表 :l18nString

用途	ネーム スペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
モード/状態 /ロック	rep	system:fixed	固定	Fixed	
モード/状態 /ロック	rep	system:issued	承認	Issued	
モード/状態 /ロック	rep	system:obsolete	廃棄	Obsolete	
モード/状態 /ロック	rep	system:locked	ロック中	Locked	
モード/状態 /ロック	rep	system:checkedOut	チェックアウト 中	Checked Out	
モード/状態 /ロック	rep	system:preserveContent	e文書法対応	Preserve Content	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:cabinet	キャビネット	Cabinet	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:drawer	ドロワー	Drawer	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:folder	フォルダー	Folder	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:document	ドキュメント	Document	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:externalDocument	外部ドキュメント	External Document	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:dynamicExternalDocument	動的な外部ドキュメント	Dynamic External Document	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:reference	リファレンス	Reference	
オブジェクトタイプ/ オブジェクト カテゴリ	rep	system:hardReference	ハードリファレンス	Hard Reference	

表 :I18nString

用途	ネームスペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:externalReference	外部リファレンス	External Reference	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:dmsReference	リファレンス (DMS)	Reference (DMS)	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:classificationDrawer	分類ドロワー	Classification Drawer	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:classificationView	分類ビュー	Classification View	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:classificationFolder	分類フォルダー	Classification Folder	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:wfDocFolder	ワークフロードキュメントフォルダー	Workflow Document Folder	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:recycleBin	ごみ箱	Recycle Bin	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:workSpace	ワークスペース	WorkSpace	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:docFolder	ドキュメントフォルダー	Document Folder	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:searchSettingFolder	検索設定保存フォルダー	Search Setting Folder	
オブジェクトタイプ/オブジェクトカテゴリ	rep	system:printSettingFolder	印刷設定保存フォルダー	Print Setting Folder	
権利	rep	getAttributePrivilege	属性取得権	Get Attribute Permission	

表 :l18nString

用途	ネームスペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
権利	rep	setAttributePrivilege	属性設定権	Set Attribute Permission	
権利	rep	getContentPrivilege	コンテンツ取得権	Get Content Permission	
権利	rep	setContentPrivilege	コンテンツ設定権	Set Content Permission	
権利	rep	viewContentPrivilege	コンテンツ表示権	View Content Permission	
権利	rep	printContentPrivilege	コンテンツ印刷権	Print Content Permission	
権利	rep	deleteObjectPrivilege	オブジェクト削除権	Delete Object Permission	
権利	rep	addChildPrivilege	エントリー追加権	Add Child Permission	
権利	rep	removeChildPrivilege	エントリー削除権	Remove Child Permission	
権利	rep	changeAclPrivilege	アクセス変更権	Change ACL Permission	
権利	rep	changeStatusPrivilege	ステータス変更権	Change Status Permission	
権利	rep	changeLockPrivilege	ロック変更権	Change Lock Permission	
権利	rep	addRevisionPrivilege	改訂権	Add Revision Permission	
権利	rep	removeRevisionPrivilege	履歴削除権	Remove Revision Permission	
ロールタイプ	rep	everyone	-	-	
ロールタイプ	rep	others	-	-	
アーカイブ	rep	system:noArchivalPreservation	アーカイブ保存なし	Archival Preservation - Not Applied	
アーカイブ	rep	system:atArchivalPreservation	アーカイブ保存中	Archival Preservation - In Progress	
アーカイブ	rep	system:withArchivalPreservation	アーカイブ保存あり	Archival Preservation - Applied	
クラスID	rep	CLASS_NONE	クラスなし	null-class	
クラスID	rep	CLASS_DEFAULT	-	-	

表 :I18nString

用途	ネームスペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
タスク状態	collabo	WAIT	開始前	Initiated	
タスク状態	collabo	EXEC	実行中	Operating	
タスク状態	collabo	CANCELED	中止	Suspended	
タスク状態	collabo	COMPLETE	完了	Completed	
タスク状態	collabo	RE_EXEC	再実行中	Re-operating	
カスタムタスク属性 (taskAttr:xxx)	collabo	—			カスタムタスク属性のうちメニュー型の場合に使用される。ユーザー定義属性のため、入力可能な値は不定。 i18nStringのnameにはコラボスペース管理の定義済みカスタムタスク属性一覧の値リストの先頭の値を0番目として何番目の要素かを指定する。
メッセージタイプ	collabo	MSG	メッセージ	Message	
メッセージタイプ	collabo	FILE	添付ファイル	Attachment Files	
メッセージタイプ	collabo	LINK	関連リンク	Related Link	
緊急度	collabo	LOW	低	Low	
緊急度	collabo	NORMAL	通常	Normal	
緊急度	collabo	HIGH	緊急	High	

表 :i18nString

用途	ネームスペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
メッセージ属性	collabo	—	—	—	ユーザー定義属性のため、入力可能な値は不定。 i18nStringのnameはmessageAttr: {ID}の形式で指定する。 {ID}にはコラボスペース管理の定義済みメッセージ属性一覧のIDを指定する。
関与者タイプ	collabo	ADMIN	タスク管理者	Admin	
関与者タイプ	collabo	LEADER	リーダー	Leader	
関与者タイプ	collabo	MEMBER	メンバー	Member	ACLのroleTypeの指定でも使用
関与者タイプ	collabo	OBSERVER	オブザーバー	Observer	ACLのroleTypeの指定でも使用
関与者タイプ	collabo	LIMITED	関与者外特別ユーザー	Non-participant (Privileged)	ACLのroleTypeの指定でも使用 ただし関与者ではないため、listParticipantTasksでnullを指定した場合、関与者外特別ユーザーだけのタスクは結果に含まれない。
ロールタイプ	collabo	OTHER	関与者外	Non-participants	ACLのroleTypeの指定だけ使用
権利	collabo	READ_TASK_INFO	タスク情報読取り権	Task Information - Read Permission	
権利	collabo	READ_CONTENT_LIST	メッセージリスト読取り権	Message List - Read Permission	

表 :I18nString

用途	ネームスペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
権利	collabo	READ_CONTENT	メッセージ読取り権	Message - Read Permission	
権利	collabo	WRITE_CONTENT	メッセージ書込み権	Message - Write Permission	
権利	collabo	CONNECT_TO_UP	上位タスク接続・切断権	Permission to Connect/ Disconnect to child-Task	
権利	collabo	CONNECT_TO_LOW	下位タスク接続・切断権	Permission to Connect/ Disconnect to parent-Task	
メンバー状態	collabo	WAIT	開始前	Initiated	
メンバー状態	collabo	EXEC	実行中	Operating	
メンバー状態	collabo	CANCELED	中止	Suspended	
メンバー状態	collabo	FINISHED	終了	Terminated	
メンバー状態	collabo	COMPLETE	完了	Completed	
メンバー状態	collabo	RE_WAIT	再実行待ち	Re-initiated	
メンバー状態	collabo	RE_EXEC	再実行中	Re-operating	
メンバー状態	collabo	ABORTED	実行不可	Unable to Operate	
メール通知指定	collabo	MAIL_NOTIFY_DEFAULT			メール通知設定で使用 (タスクの設定/緊急度によって決まる設定に従う)
メール通知指定	collabo	MAIL_NOTIFY_TRUE			メール通知設定で使用 (逐次メール/ダイジェストメールを通知する)
メール通知指定	collabo	MAIL_NOTIFY_FALSE			メール通知設定で使用 (逐次メール/ダイジェストメールを通知しない)

表 :l18nString

用途	ネーム スペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
凍結状態	collabo	NORMAL	通常	Normal	
凍結状態	collabo	FREEZED	凍結	Freezed	
凍結状態	collabo	FILE_ARCHIVED_EXCEPT_OUTPUT	アーカイブ済み (成果物以外の 添付文書削除)	Archived (All attachments except outcomes have been deleted.)	
凍結状態	collabo	FILE_ARCHIVED	アーカイブ済み (全ての添付文 書削除)	Archived (All attachments have been deleted.)	
凍結状態	collabo	FULL_ARCHIVED	アーカイブ済み (全てのコンテ ンツ削除)	Archived (All contents have been deleted.)	
優先度	awf.priority	low	低	Low	
優先度		normal	普通	Medium	
優先度		high	高	High	
優先度		urgent	緊急	Urgent	
言語	awf.lang	ja	日本語	Japanese	
言語		en	英語	English	
言語		zh-cn	簡体字中国語	Simplified Chinese	
言語		zh-tw	繁体字中国語	Traditional Chinese	
言語		ko	韓国語	Korean	
オブジェクト タイプ	awf.objectT ype	definition	ワークフロー定 義	Workflow Definition	
オブジェクト タイプ		activityDefinition	作業定義	Activity Definition	
オブジェクト タイプ		attributeDefinition	属性定義	Attribute Definition	
オブジェクト タイプ		fieldDefinition	フィールド定義	Field Definition	
オブジェクト タイプ		process	案件	Workprocess	
オブジェクト タイプ		activity	作業	Action	
オブジェクト タイプ		action	アクション	Action	
オブジェクト タイプ		attribute	属性	Attribute	

表 :I18nString

用途	ネーム スペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
オブジェクト タイプ		field	フィールド	Field	
オブジェクト タイプ		attributeHistory	属性履歴	Attribute Log	
ロックタイ プ	awf.lockTy pe	none	—	—	
ロックタイ プ		lock	—	—	
ロックタイ プ		checkout	—	—	
データタイ プ	awf.dataTy pe	boolean	ブール	Boolean	
データタイ プ		long	整数	Integer	
データタイ プ		double	浮動小数点	Floating-point	
データタイ プ		string	文字列	String	
データタイ プ		dateTime	日時	Date and Time	
データタイ プ		date	日付	Date	
データタイ プ		time	時刻	Time	
データタイ プ		duration	期間	Period	
データタイ プ		resource	リソース	Resource	
データタイ プ		uri	URI	URI	
データタイ プ		document	ドキュメント	Document	
データタイ プ		expression	式	Expression	
データタイ プ		attributeRef	属性参照型	Attribute Reference	
データタイ プ		embeddedString	埋め込み文字列	Embedded String	
データタイ プ		anyType	属性値型	Attribute Value Type	
関与者タイ プ	awf.partici pantType	requester	起案者	Starter	

表 :l18nString

用途	ネーム スペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
関与者タイプ		responsible	責任者	Responsible	
関与者タイプ		participant	担当者	Assignee	
関与者タイプ		performer	作業者	Activity Performer	
関与者タイプ		observer	参照者	Observers	
関与者タイプ		actualPerformer	実作業者	Actual Performer	
公開状態	awf.publica tionStatus	draft	未公開	Not yet published	
公開状態		published	公開予定	To be published	
公開状態		enforced	公開	Published	
公開状態		obsolete	公開終了	Closed	
アクティビ ティタイプ	awf.activity Type	root	—	—	
アクティビ ティタイプ		entry	—	—	
アクティビ ティタイプ		exit	—	—	
アクティビ ティタイプ		action	—	—	
アクティビ ティタイプ		block	—	—	
アクティビ ティタイプ		subflow	—	—	
フィールド 値タイプ	awf.fieldVal ueType	default	—	—	
フィールド 値タイプ		current	—	—	
フィールド 値タイプ		history	—	—	
フィールド アクセス設 定	awf.permis sion	readOnly	参照	Read-only	
フィールド アクセス設 定		writable	編集	Writable	
フィールド アクセス設 定		mandatory	必須	Mandatory	

表 :I18nString

用途	ネーム スペース	名前	ラベル (日本語)	ラベル (英語)	補足
フィールド アクセス設 定		custom	カスタム	Custom	
フィールド アクセス設 定		nothing	権限なし	No Permission	
状態	awf.state	initiated	初期化済	Initialized	
状態		starting	待機中	Standby	
状態		started	未着手	Not yet performed	
状態		running	実行中	Running	
状態		completed	完了	Completed	
状態		terminated	中止	Terminated	
状態		aborted	異常終了	Aborted	

付録 F Options

表：ドキュメント管理

name	説明
acl	ACLの取得フラグ
defaultAcl	デフォルトACLの取得フラグ
effectivePrivileges	実効アクセス権の取得フラグ
allContentAttributes	すべてのコンテンツ属性の取得フラグ
referenceId	リファレンスIDの取得フラグ
disusedLocationId	ごみ箱からの復元先の取得フラグ
resolveRef	リファレンス解決フラグ
errorOnOfflineContent	オフラインコンテンツ取得時のエラーフラグ
forPrint	印刷用コンテンツの取得フラグ

表：コラボレーション管理

name	説明
TASK_ACL	タスクのアクセス権の情報取得フラグ
TASK_PARTICIPANT	グループ・ロール展開後のタスク関与者取得フラグ
TASK_DESIGNATED_PARTICIPANT	グループ・ロール展開前のタスク関与者取得フラグ

付録 G オブジェクト

付録 G.1 ArcObject ArcSuite アプリケーションオブジェクト (抽象型)

public abstract class ArcObject {	
private String id;	オブジェクトの識別子
private I18nString objectClass;	オブジェクトの種別を表す識別子
private Attributes attributes;	取得した属性値情報
}	

付録 G.2 RmsObject RMS オブジェクト

public class RmsObject extends ArcObject {	
private I18nLabel[] label;	言語ごとのラベル文字列
private String ns;	識別ネームスペース
private String name;	識別名
}	

付録 G.3 RepositoryObject Repository オブジェクト

public class RepositoryObject extends ArcObject {	
private Ace[] acl;	アクセス制御リスト
private Ace[] defaultAcl;	デフォルトアクセス制御リスト
private I18nString[] effectivePrivileges;	実効アクセス権
private Referenceld referenceld;	リファレンスのID (リファレンスのみ)
private String disusedLocationId;	復元先のオブジェクトID (ごみ箱内オブジェクトのみ)
}	

付録 G.4 CollaboObject, TaskObject, MessageObject, ToDoObject

コラボオブジェクト

```
public class CollaboObject extends ArcObject {
}

public class TaskObject extends CollaboObject {
    private Ace[] acl;                アクセス制御リスト
    private TaskParticipant[] participants;  関与者情報のリスト
}

public class MessageObject extends CollaboObject {
}

public class ToDoObject extends CollaboObject {
    private ToDoPerformers performers;    ToDoの作業者
}
```

付録 G.5 WorkflowObject ワークフローオブジェクト

```
public class WorkflowObject extends ArcObject {
    private Acl acl;                アクセス制御リスト
}
```

付録 H 共通データ型

付録 H.1 Uri URI 型データ

```
public class Uri {  
    private String _value;           URIのラベル文字列  
    private org.apache.axis.types.URI ref;   URI値  
}
```

付録 H.2 I18nString 多言語対応文字列

```
public class I18nString {  
    private I18nLabel[] label;       言語ごとのラベル文字列  
    private String ns;               識別ネームスペース  
    private String name;             識別名  
}
```

付録 H.3 I18nLabel 言語別ラベル

```
public class I18nLabel {  
    private String _value;           ラベル文字列  
    private org.apache.axis.types.Language lang;   言語  
}
```

付録 H.4 KeyedString キー付き文字列値

```
public class KeyedString {  
    private String value;            値の文字列  
    private String key;              キー名  
}
```

付録 H.5 Ace アクセス制御エントリー

```
public class Ace {  
    private Role role;               アクセス主体のロール  
    private I18nStrings[] privileges;   アクセス権限  
}
```

付録 H.6 Role アプリケーション固有ロール / ユーザーロール (排他使用)

```
public class Role {
    private I18nString roleType;           アプリケーション固有ロール
    private RmsObjectValue userRole;      ユーザーロール
}
```

付録 H.7 ApplicationRole オブジェクトをアクセス主体としたロール (ワークフローで使用)

```
public class ApplicationRole {
    private String id;                     アプリケーションオブジェクト識別子
    private I18nString role;              オブジェクトにおけるロール指定
}
```

付録 H.8 Content ドキュメントのコンテンツ

```
public class Content {
    private I18nString label;              コンテントラベル
    private String fileName;              ファイル名
    private String contentType;           コンテントタイプ
    private javax.activation.DataHandler data;  コンテントデータ
    private Attribute[] attributes;        コンテント属性
}
```

付録 H.9 SortItem ソート指定

```
public class SortItem {
    private AttributeId attributeId;       ソート属性
    private Boolean isDescending;         降順ソート指定
}
```

付録 H.10 ProcessingException 処理例外

```
public class ProcessingException extends org.apache.axis.AxisFault {
    private String category;              エラーカテゴリ文字列
    private String code;                  エラーコード文字列
    private org.apache.axis.types.Language lang;  エラーメッセージ言語
    private String qualifiedMessage;      エラーメッセージ (カテゴリとコードを含む)
    private String[] nestedMessages;     下位のエラーメッセージ
}
```

付録 H.11 Failure 一括操作のエラー情報

<pre>public class Failure { private int index; private ProcessingException exception; }</pre>	<p>エラーとなった一括操作項目インデックス</p> <p>エラー情報</p>
---	---

付録 I 属性関連データ型

付録 I.1 DataType データ型

```
public class DataType {
    public static final DataType BOOLEAN_TYPE      論理型
    = new DataType("BOOLEAN_TYPE");
    public static final DataType INT_TYPE          整数型
    = new DataType("INT_TYPE");
    public static final DataType LONG_TYPE         長整数型
    = new DataType("LONG_TYPE");
    public static final DataType DOUBLE_TYPE      浮動小数点型
    = new DataType("DOUBLE_TYPE");
    public static final DataType STRING_TYPE       文字列型
    = new DataType("STRING_TYPE");
    public static final DataType DATE_TIME_TYPE    日時型
    = new DataType("DATE_TIME_TYPE");
    public static final DataType DATE_TYPE        日付型
    = new DataType("DATE_TYPE");
    public static final DataType TIME_TYPE        時刻型
    = new DataType("TIME_TYPE");
    public static final DataType DURATION_TYPE     期間型
    = new DataType("DURATION_TYPE");
    public static final DataType URI_TYPE         URI型
    = new DataType("URI_TYPE");
    public static final DataType BINARY_TYPE      バイナリー型
    = new DataType("BINARY_TYPE");
    public static final DataType RESOURCE_TYPE     リソース型
    = new DataType("RESOURCE_TYPE");
    public static final DataType RMS_OBJECT_TYPE  RMSオブジェクト型
    = new DataType("RMS_OBJECT_TYPE");
    public static final DataType ID_TYPE          ID型
    = new DataType("ID_TYPE");
    public static final DataType I18N_STRING_TYPE 多言語シンボル型
    = new DataType("I18N_STRING_TYPE");
    public static final DataType KEYED_STRING_TYPE キー付き文字列型
    = new DataType("KEYED_STRING_TYPE");
    public static final DataType ANY_TYPE         ANY型
    = new DataType("ANY_TYPE");
}
```

付録 I.2 AttributeId 属性識別子

```
public class AttributeId {
    private String ns;           属性ネームスペース
    private String name;        属性識別名
    private org.apache.axis.types.Language lang; 属性値の言語
}
```

付録 I.3 Attribute 属性値

```
public class Attribute {
    private AttributeValue attributeValue; 属性値
    private String ns;           属性ネームスペース
    private String name;        属性識別名
    private org.apache.axis.types.Language lang; 属性値の言語
}
```

付録 I.4 AttributeValue 属性値 (抽象型)

```
public abstract class AttributeValue {
}
```

付録 I.5 BooleanValue, BooleanValues 論理型属性値

```
public class BooleanValue extends AttributeValue {
    private boolean _boolean;
}

public class BooleanValues extends AttributeValue {
    private Boolean[] booleans;
}
```

付録 I.6 IntValue, IntValues 整数型属性値

```
public class IntValue extends AttributeValue {
    private int _int;
}

public class IntValues extends AttributeValue {
    private int[] ints;
}
```

付録 I.7 LongValue,LongValues 長整数型属性値

```
public class LongValue extends AttributeValue {
    private long _long;
}

public class LongValues extends AttributeValue {
    private long[] longs;
}
```

付録 I.8 DoubleValue,DoubleValues 浮動小数点型属性値

```
public class DoubleValue extends AttributeValue {
    private double _double;
}

public class DoubleValues extends AttributeValue {
    private double[] doubles;
}
```

付録 I.9 StringValue,StringValues 文字列型属性値

```
public class StringValue extends AttributeValue {
    private String string;
}

public class StringValues extends AttributeValue {
    private String[] strings;
}
```

付録 I.10 DateTimeValue,DateTimeValues 日時型属性値

```
public class DateTimeValue extends AttributeValue {
    private java.util.Calendar dateTime;
}

public class DateTimeValues extends AttributeValue {
    private java.util.Calendar[] dateTimes;
}
```

付録 I.11 DateValue,DateValues 日付型属性値

```
public class DateValue extends AttributeValue {
    private java.util.Date date;
}

public class DateValues extends AttributeValue {
    private java.util.Date[] dates;
}
```

付録 I.12 TimeValue,TimeValues 時刻型属性値

```
public class TimeValue extends AttributeValue {
    private org.apache.axis.types.Time time;
}

public class TimeValues extends AttributeValue {
    private org.apache.axis.types.Time[] times;
}
```

付録 I.13 DurationValue,DurationValues 期間型属性値

```
public class DurationValue extends AttributeValue {
    private org.apache.axis.types.Duration duration;
}

public class DurationValues extends AttributeValue {
    private org.apache.axis.types.Duration[] durations;
}
```

付録 I.14 UriValue,UriValues URI 型属性値

```
public class UriValue extends AttributeValue {
    private Uri uri;
}

public class UriValues extends AttributeValue {
    private Uri[] uris;
}
```

付録 I.15 BinaryValue, BinaryValues バイナリー型属性値

```
public class BinaryValue extends AttributeValue {
    private javax.activation.DataHandler binary;
}

public class BinaryValues extends AttributeValue {
    private javax.activation.DataHandler[] binaries;
}
```

付録 I.16 ResourceValue, ResourceValues リソース型属性値 (抽象型)

```
public abstract class ResourceValue extends AttributeValue {
}

public abstract class ResourceValues extends AttributeValue {
}
```

付録 I.17 ApplicationRoleValue, ApplicationRoleValues アプリケーションロール型属性値

```
public class ApplicationRoleValue extends ResourceValue {
    private ApplicationRole applicationRole;
}

public class ApplicationRoleValues extends ResourceValues {
    private ApplicationRole[] applicationRoles;
}
```

付録 I.18 RmsObjectValue, RmsObjectValues RMS オブジェクト型属性値 (抽象型)

```
public abstract class RmsObjectValue extends ResourceValue {
}

public abstract class RmsObjectValues extends ResourceValues {
}
```

付録 I.19 RmsObjectValueId,RmsObjectValuesId RMS オブジェクト型属性値 (ID)

```
public class RmsObjectValueId extends RmsObjectValue {
    private String id;
}

public class RmsObjectValuesId extends RmsObjectValues {
    private String[] ids;
}
```

付録 I.20 RmsObjectValueDn,RmsObjectValuesDn RMS オブジェクト型属性値 (DN)

```
public class RmsObjectValueDn extends RmsObjectValue {
    private String dn;
}

public class RmsObjectValuesDn extends RmsObjectValues {
    private String[] dns;
}
```

付録 I.21 RmsObjectValueRmsObject,RmsObjectValuesRmsObject RMS オブジェクト型属性値 (オブジェクト)

```
public class RmsObjectValueRmsObject extends RmsObjectValue {
    private RmsObject rmsObject;
}

public class RmsObjectValuesRmsObject extends RmsObjectValues {
    private RmsObject[] rmsObjects;
}
```

付録 I.22 IdValue,IdValuesID 型属性値

```
public class IdValue extends AttributeValue {
    private String id;
}

public class IdValues extends AttributeValue {
    private String[] ids;
}
```

付録 I.23 I18nStringValue,I18nStringValues 多言語文字列型属性値

```
public class I18nStringValue extends AttributeValue {
    private I18nString i18nString;
}

public class I18nStringValues extends AttributeValue {
    private I18nString[] i18nStrings;
}
```

付録 I.24 KeyedStringValue,KeyedStringValues キー付き文字列型属性値

```
public class KeyedStringValue extends AttributeValue {
    private KeyedString keyedString;
}

public class KeyedStringValues extends AttributeValue {
    private KeyedString[] keyedStrings;
}
```

付録 I.25 CompositeAttributeValues 属性型属性値（再帰的な属性値）

```
public class CompositeAttributeValues extends AttributeValue {
    private Attribute[] attributes;
}
```

付録 J 検索条件関連

付録 J.1 SearchMode 検索モード

```
public class SearchMode {  
    public static final SearchMode AND          AND検索モード  
    = new SearchMode("AND");  
    public static final SearchMode OR          OR検索モード  
    = new SearchMode("OR");  
}
```

付録 J.2 MultiValueSearchMode 多値検索モード

```
public class MultiValueSearchMode {  
    public static final MultiValueSearchMode ONEVAL      単独属性値条件  
    = new MultiValueSearchMode("ONEVAL");  
    public static final MultiValueSearchMode ALLVAL      全属性値条件  
    = new MultiValueSearchMode("ALLVAL");  
}
```

付録 J.3 BinaryOperator 二項演算子

public class BinaryOperator {	
public static final BinaryOperator EQUAL	等値比較
= new BinaryOperator("EQUAL");	
public static final BinaryOperator EQUAL_IGNORE_CASE	等値比較 (ケースなし)
= new BinaryOperator("EQUAL_IGNORE_CASE");	
public static final BinaryOperator NOT_EQUAL	非等値比較
= new BinaryOperator("NOT_EQUAL");	
public static final BinaryOperator NOT_EQUAL_IGNORE_CASE	非等値比較 (ケースなし)
= new BinaryOperator("NOT_EQUAL_IGNORE_CASE");	
public static final BinaryOperator LIKELIKE比較	
= new BinaryOperator("LIKE");	
public static final BinaryOperator LIKE_IGNORE_CASE	LIKE比較 (ケースなし)
= new BinaryOperator("LIKE_IGNORE_CASE");	
public static final BinaryOperator NOT_LIKE非LIKE比較	
= new BinaryOperator("NOT_LIKE");	
public static final BinaryOperator NOT_LIKE_IGNORE_CASE	非LIKE比較 (ケースなし)
= new BinaryOperator("NOT_LIKE_IGNORE_CASE");	
public static final BinaryOperator GREATER_EQUAL	以上比較
= new BinaryOperator("GREATER_EQUAL");	
public static final BinaryOperator GREATER_THAN	大なり比較
= new BinaryOperator("GREATER_THAN");	
public static final BinaryOperator LESS_EQUAL	以下比較
= new BinaryOperator("LESS_EQUAL");	
public static final BinaryOperator LESS_THAN	小なり比較
= new BinaryOperator("LESS_THAN");	
public static final BinaryOperator CONTAIN	包含比較
= new BinaryOperator("CONTAIN");	
}	

付録 J.4 UnaryOperator 単項演算子

public class UnaryOperator {	
public static final UnaryOperator IS_NULL	NULL比較
= new UnaryOperator("IS_NULL");	
public static final UnaryOperator IS_NOT_NULL	非NULL比較
= new UnaryOperator("IS_NOT_NULL");	
}	

付録 J.5 TrinaryOperator 三項演算子

```
public class TrinaryOperator {
    public static final TrinaryOperator BETWEEN           範囲比較
    = new TrinaryOperator("BETWEEN");
    public static final TrinaryOperator NOT_BETWEEN      非範囲比較
    = new TrinaryOperator("NOT_BETWEEN");
}
```

付録 J.6 MultiOperator 他項演算子

```
public class MultiOperator {
    public static final MultiOperator IN                 IN比較
    = new MultiOperator("IN");
    public static final MultiOperator NOT_IN            非IN比較
    = new MultiOperator("NOT_IN");
}
```

付録 J.7 WordListOperator 全文検索ワードリスト演算子

```
public class WordListOperator {
    public static final WordListOperator AND            AND演算
    = new WordListOperator("AND");
    public static final WordListOperator OR            OR演算
    = new WordListOperator("OR");
}
```

付録 J.8 WordStyle 全文検索ワードスタイル

```
public class WordStyle {
    public static final WordStyle EQUAL                完全一致
    = new WordStyle("EQUAL");
    public static final WordStyle PREFIX              開始一致
    = new WordStyle("PREFIX");
    public static final WordStyle SUFFIX              終了一致
    = new WordStyle("SUFFIX");
    public static final WordStyle SUBSTRING            部分一致
    = new WordStyle("SUBSTRING");
}
```

付録 J.9 AttributeSearchCondition 属性検索条件 (抽象型)

```
public abstract class AttributeSearchCondition {
}
```

付録 J.10 LogicalCondition 論理検索条件 (抽象型)

```
public abstract class LogicalCondition extends AttributeSearchCondition {  
}
```

付録 J.11 AndCondition AND 条件

```
public class AndCondition extends LogicalCondition {  
    private AttributeSearchCondition[] attributeSearchCondition;    AND要素条件  
}
```

付録 J.12 OrCondition OR 条件

```
public class OrCondition extends LogicalCondition {  
    private AttributeSearchCondition[] attributeSearchCondition;    OR要素条件  
}
```

付録 J.13 NotCondition 否定条件

```
public class NotCondition extends LogicalCondition {  
    private AttributeSearchCondition attributeSearchCondition;    否定条件  
}
```

付録 J.14 ComparisonCondition 比較条件 (抽象型)

```
public abstract class ComparisonCondition extends AttributeSearchCondition {  
    private AttributeId attributeId;    比較対象属性の識別子  
    private MultiValueSearchMode mode;    多値検索モード  
}
```

付録 J.15 UnaryOperatorCondition 単項演算条件

```
public class UnaryOperatorCondition extends ComparisonCondition {  
    private UnaryOperator operator;    単項演算子  
}
```

付録 J.16 BinaryOperatorCondition 二項演算条件

```
public class BinaryOperatorCondition extends ComparisonCondition {  
    private AttributeValue attributeValue;    比較対象属性の識別子  
    private BinaryOperator operator;    二項演算子  
}
```

付録 J.17 TernaryOperatorCondition 三項演算条件

```
public class TernaryOperatorCondition extends ComparisonCondition {  
    private AttributeValue[] attributeValue;           比較対象属性の識別子  
    private TernaryOperator operator;                三項演算子  
}
```

付録 J.18 MultiOperatorCondition 多項演算条件

```
public class MultiOperatorCondition extends ComparisonCondition {  
    private AttributeValue[] attributeValue;           比較対象属性の識別子  
    private MultiOperator operator;                   多項演算子  
}
```

付録 J.19 TextSearchCondition 全文検索条件 (抽象型)

```
public abstract class TextSearchCondition {  
}
```

付録 J.20 TextLogicalCondition 全文検索論理条件 (抽象型)

```
public abstract class TextLogicalCondition extends TextSearchCondition {  
}
```

付録 J.21 TextAndCondition AND 条件

```
public class TextAndCondition extends TextLogicalCondition {  
    private TextSearchCondition[] textSearchCondition;  AND要素条件  
}
```

付録 J.22 TextOrCondition OR 条件

```
public class TextOrCondition extends TextLogicalCondition {  
    private TextSearchCondition[] textSearchCondition;  OR要素条件  
}
```

付録 J.23 TextNotCondition 否定条件

```
public class TextNotCondition extends TextLogicalCondition {  
    private TextSearchCondition textSearchCondition;    否定検索条件  
}
```

付録 J.24 TextCondition 全文検索テキスト

```
public class TextCondition extends TextSearchCondition {
    private WordList wordList;
}
```

全文検索ワードリスト

付録 J.25 WordList 全文検索ワードリスト

```
public class WordList {
    private Word[] word;
    private WordListOperator operator;
}
```

全文検索ワード
全文検索ワード演算子

付録 J.26 Word 全文検索ワード

```
public class Word {
    private String _value;
    private WordStyle style;
}
```

検索する文字列
全文検索ワードスタイル

付録 J.27 CustomTaskCondition カスタムタスク属性条件

```
public class CustomTaskCondition {
    private TaskTextCondition[] textConditions;
    private TaskMenuCondition[] menuConditions;
    private TaskDateCondition[] dateConditions;
    private TaskNumericCondition[] numericConditions;
}
```

カスタムタスク属性条件 (テキスト型)
カスタムタスク属性条件 (メニュー型)
カスタムタスク属性条件 (日付型)
カスタムタスク属性条件 (数値型)

付録 J.28 TaskTextCondition カスタムタスク属性条件 (テキスト型)

```
public class TaskTextCondition {
    private String id;
    private TaskConditionConnectType type;
    private StringValue value;
}
```

カスタムタスク属性の識別子
カスタムタスク属性検索条件接続タイプ
キーワード

付録 J.29 TaskMenuCondition カスタムタスク属性条件 (メニュー型)

```
public class TaskMenuCondition {
    private String id;                カスタムタスク属性の識別子
    private TaskConditionConnectType type;  カスタムタスク属性検索条件接続タイプ
    private I18nStringValue value;      メニュー指定 (*)
}
```

* : I18nString の name にはコラボスペース管理の定義済みカスタムタスク属性一覧の値リストの先頭の値を 0 番目として何番目の要素かを指定します。

付録 J.30 TaskDateCondition カスタムタスク属性条件 (日付型)

```
public class TaskDateCondition {
    private String id;                カスタムタスク属性の識別子
    private TaskConditionConnectType type;  カスタムタスク属性検索条件接続タイプ
    private DateValue valueFrom;        期間指定 (以降)
    private DateValue valueTo;         期間指定 (以前)
}
```

付録 J.31 TaskNumericCondition カスタムタスク属性条件 (数値型)

```
public class TaskNumericCondition {
    private String id;                カスタムタスク属性の識別子
    private TaskConditionConnectType type;  カスタムタスク属性検索条件接続タイプ
    private DoubleValue valueFrom;        数値指定 (以上)
    private DoubleValue valueTo;         数値指定 (以下)
}
```

付録 J.32 TaskConditionConnectType カスタムタスク属性検索条件接続タイプ

```
public class TaskConditionConnectType {
    public static final TaskConditionConnectType AND          AND条件接続タイプ
        = new TaskConditionConnectType("AND");
    public static final TaskConditionConnectType AND_NOT      AND NOT条件接続タイプ
        = new TaskConditionConnectType("AND_NOT");
    public static final TaskConditionConnectType OR           OR条件接続タイプ
        = new TaskConditionConnectType("OR");
}
```

付録 J.33 SearchOption, CollaboSearchOption 検索オプション

public class SearchOption {	
private I18nString[] searchTypes;	検索するオブジェクトのタイプ
private SearchRegion searchRegion;	検索範囲
private TextSearchMode textSearchMode;	全文検索モード
}	
public class CollaboSearchOption extends SearchOption {	
private boolean titleOnly;	タイトルのみ検索対象
private Date dateFrom;	期間指定 (以降)
private Date dateTo;	期間指定 (以前)
private String[] userKeywords;	タスク関与者、メッセージ作成者の ユーザー名での指定 (前方一致)
private CustomTaskCondition customTaskCondition;	カスタムタスク属性条件
}	

付録 J.34 SearchRegion 検索範囲

public class SearchRegion {	
private String[] id;	検索範囲のオブジェクトID
private String[] dn;	検索範囲のDN (RMSドメイン指定)
private int depth;	検索最大深さ
}	

付録 J.35 TextSearchMode 全文検索モード

public enum TextSearchMode {	
public static final TextSearchMode NONE	オプションなし
= new TextSearchMode ("NONE");	
public static final TextSearchMode THESAURUS	類義語検索
= new TextSearchMode ("THESAURUS");	
public static final TextSearchMode STEMMING	英単語変化形検索
= new TextSearchMode ("STEMMING");	
}	

付録 K 共通操作固有データ型

付録 K.1 VersionInfo バージョン情報

```
public class VersionInfo {
    private String minVersion;
    private String curVersion;
}
```

後方互換最小インターフェイスバージョン
カレントインターフェイスバージョン

付録 K.2 LoginInfo ログイン情報

```
public class LoginInfo {
    private String sessionId;
    private String challenge;
    private String publicKeyModulus;
    private String publicKeyExponent;
    private String minVersion;
    private String curVersion;
}
```

セッション識別子
チャレンジコード
暗号公開鍵の法
暗号公開鍵の公開指数
後方互換最小インターフェイスバージョン
カレントインターフェイスバージョン

付録 K.3 SessionInfo セッション情報

```
public class SessionInfo {
    private String userId;
    private String userEntryId;
    private String userDn;
    private Calendar loginTime;
    private KeyedString[] preferences;
    private boolean administratorMode;
}
```

ユーザーログインID
ユーザー RMSユニークID
ユーザー DN
ログイン日時
セッションプリファレンス
管理者モード

付録 K.4 LoginUserStatus ログインユーザーの状態

```
public class LoginStatus {
    private String userDn;
    private boolean expired;
    private int graceAmount;
}
```

ユーザー DN
パスワードが有効期限切れかどうか
猶予ログイン回数

付録 L ドキュメント管理操作固有データ型

付録 L.1 SetObjectMode 属性値設定モード

```
public class SetObjectMode {
    public static final SetObjectMode MERGE           マージモード
    = new SetObjectMode("MERGE");
    public static final SetObjectMode REPLACE        置換モード
    = new SetObjectMode("REPLACE");
}
```

付録 L.2 RemoveRevisionMode リビジョン削除モード

```
public class RemoveRevisionMode {
    public static final RemoveRevisionMode LATEST    最新削除モード
    = new RemoveRevisionMode("LATEST");
    public static final RemoveRevisionMode OLDEST    最古削除モード
    = new RemoveRevisionMode("OLDEST");
}
```

付録 L.3 RealizeReferenceMode リファレンス実体化の属性値設定モード

```
public class RealizeReferenceMode {
    public static final RealizeReferenceMode REFERENCE_ONLY    リファレンスの属性のみ有効なモード
    = new RealizeReferenceMode("REFERENCE_ONLY");
    public static final RealizeReferenceMode REFERENT_ONLY     参照先オブジェクトの属性のみ有効なモード
    = new RealizeReferenceMode("REFERENT_ONLY");
    public static final RealizeReferenceMode REFERENCE_PRIORITY リファレンスの属性を適用した後に参照先オブジェクトの属性で補完するモード
    = new RealizeReferenceMode("REFERENCE_PRIORITY");
    public static final RealizeReferenceMode REFERENT_PRIORITY 参照先オブジェクトの属性を適用した後にリファレンスの属性で補完するモード
    = new RealizeReferenceMode("REFERENT_PRIORITY");
}
```

付録 L.4 Referenceld リファレンス ID

```
public class Referenceld {
    private String id;           リファレンスID
    private Attribute[] editionKey  エディションキー属性
}
```

付録 L.5 RepositoryService リポジトリサービス

public class RepositoryService {	
private String id;	サービスID
private Attribute[] attributes;	属性リスト
}	

付録 L.6 CabinetInformation キャビネット情報

public class CabinetInformation {	
private String id;	キャビネットのID
private String label;	キャビネットラベル
private I18nString mode;	キャビネットモード
private AttributeId[] userAttributes;	ユーザー属性リスト (クラスなし)
private Ace[] maskAcl;	アクセス権マスク
private AttributeId[] editionKey;	エディションキーリスト
private UniqueKey[] uniqueKey;	ユニークキーリスト
private Boolean hasRecycleBin;	ごみ箱の有無
private I18nString defaultClass;	デフォルトクラス
private ClassDefinition[] classDefinitions;	クラス定義リスト
private I18nString initialStatus;	初期状態 (クラスなし)
private StatusDefinition[] statusDefinitions;	状態定義リスト (クラスなし)
private I18nString[] stampRuleNames;	スタンプルール名リスト (クラスなし)
}	

付録 L.7 UniqueKey ユニークキー

public class UniqueKey {	
private AttributeId[] attrIds;	ユニークキーを構成する属性のセット
}	

付録 L.8 ClassDefinition クラス定義

public class ClassDefinition {	
private I18nString classId;	クラスのID
private boolean available;	設定可能かどうか
private AttributeId[] userAttributes;	ユーザー属性リスト
private I18nString initialStatus;	初期状態
private StatusDefinition[] statusDefinitions;	状態定義リスト
private I18nString[] stampRuleNames;	スタンプルール名リスト
private NextClassInformation[] nextClassInformations;	クラス遷移情報リスト
}	

付録 L.9 NextClassInformation クラス遷移情報

```
public class NextClassInformation {  
    private I18nString nextClassId;           遷移可能なクラスのID  
    private Role[] roles;                    遷移可能なロール  
}
```

付録 L.10 StatusDefinition 状態定義

```
public class StatusDefinition {  
    private I18nString status;                状態  
    private Ace[] maskAcl;                   アクセス権のマスク  
    private NextStatusInformation[] nextStatusInformations; 状態遷移情報リスト  
}
```

付録 L.11 NextStatusInformation 状態遷移情報

```
public class NextStatusInformation {  
    private I18nString nextStatus;           遷移可能な状態  
    private Role[] roles;                   遷移可能なロール  
}
```

付録 L.12 RepositoryObjectPath パス情報

```
public class RepositoryObjectPath {  
    private RepositoryObject[] objects;      パスを構成するオブジェクト  
    private boolean fullPath;               パス情報が完全かどうか  
}
```

付録 M タスク管理操作固有データ型

付録 M.1 TaskMailOption タスクメール通知設定

public class TaskMailOption {	
private I18nString directDefault;	デフォルトダイレクト通知モード
private I18nString digestDefault;	デフォルトダイジェスト通知モード
private TaskMailUserOption[] taskMailUserOptions;	メール通知ユーザー設定
private String[] forwardMailAddresses;	転送先メールアドレスリスト
private boolean attachedFile;	ファイル添付フラグ
}	

付録 M.2 TaskMailUserOption タスク通知ユーザー設定

public class TaskMailUserOption {	
private RmsObjectValue messageUser;	設定ユーザー
private I18nString direct;	ダイレクト通知モード
private I18nString digest;	ダイジェスト通知モード
}	

付録 M.3 TaskParticipant タスク関与者

public class TaskParticipant {	
private RmsObjectValue participant;	関与者
private I18nStrings participantTypes;	関与タイプ
private I18nString memberStatus;	遂行状態
}	

付録 M.4 Message タスクメッセージ

public class Message {	
private String title;	メッセージタイトル
private String body;	メッセージ内容
private String messageAttr;	メッセージ属性
private I18nString exigency;	緊急度
private Content[] files;	添付ファイル
private Uri[] links;	関連リンク
}	

付録 M.5 ToDoPerformer,ToDo の作業者

<pre>public class ToDoPerformer { private RmsObjectValue performer; private I18NString status; }</pre>	作業者 作業者の状態
--	---------------

付録 M.6 ToDo ToDo の情報

<pre>public class ToDo { private I18NString type; private I18NString status; private DateTimeValue dueDate; private ToDoPerformer[] performers; }</pre>	ToDoのタイプ (予約) ToDoのステータス 納期日 作業者情報の配列
---	--

付録 M.7 ToDoFilter ToDo のフィルター条件

<pre>public class ToDoFilter { private I18NString filterType; private String[] taskIds; private I18NString[] types; private I18NString[] statuses; private RmsObjectValue[] authors; private Integer remainingDays; private ToDoPerformer[] performers; }</pre>	フィルターのタイプ タスクID ToDoのタイプ ToDoのステータス 作成者 納期までの残日数 (予約) フィルター条件の作業者情報の配列
---	--

付録 N ワークフロー管理操作固有データ型

付録 N.1 FieldParameter フィールドパラメーター

<pre>public class FieldParameter { private String name; private boolean append; private String mode; (copy/move/copyAndDelete) private AttributeValue value; private LocalDocument[] localDocuments; private String[] options; }</pre>	<p>フィールド名</p> <p>追加フラグ</p> <p>ドキュメント設定モード</p> <p>属性設定値</p> <p>ローカルドキュメントリスト</p> <p>オプション (ignoreOnError/ ignoreOnNotFound/ignoreOnDuplicated)</p>
--	---

付録 N.2 LocalDocument ローカルドキュメント

<pre>public class LocalDocument { private String name; private Attribute[] attrs; private Content[] contents; }</pre>	<p>ドキュメント名</p> <p>属性リスト</p> <p>コンテンツ</p>
---	--

付録 O データ型とソート

表：リソース管理

データ型	ソート優先順（昇順の場合）	補足
boolean	false,true	RMSではbooleanにNULLを許しません。
long	値の小さなエントリーから順に並べられます。 未設定（NULL）のものは後ろに配置されます。 (降順の場合は先頭)	データベースの仕様によります。
string	辞書配列	データベースの仕様によります。

表：ワークフロー管理

データ型	ソート優先順（昇順の場合）	補足
boolean	false,trueの順に並べられます。 値が未設定（NULL）のものは末尾に配置されます。	データベースの仕様によります。
long	値の小さなエントリーから順に並べられます。 値が未設定（NULL）のものは末尾に配置されます。	データベースの仕様によります。
double	値の小さなエントリーから順に並べられます。 値が未設定（NULL）のものは末尾に配置されます。	データベースの仕様によります。
string	辞書配列。 値が未設定（NULL）のものは末尾に配置されます。	データベースの仕様によります。
dateTime	古いエントリーから順に並べられます。 値が未設定（NULL）のものは末尾に配置されます。	データベースの仕様によります。
date	古いエントリーから順に並べられます。 値が未設定（NULL）のものは末尾に配置されます。	データベースの仕様によります。
time	古いエントリーから順に並べられます。 値が未設定（NULL）のものは末尾に配置されます。	データベースの仕様によります。
duration	ソート指定不可	—

表 : ワークフロー管理

データ型	ソート優先順 (昇順の場合)	補足
resource	1.リソースの種類 (コラボリソース、RMSリソースの順) (コラボリソースの場合) 2.タスクID (文字列としてソートされます) 3.タスク関与者タイプ (リーダー、メンバーの順) (RMSリソースの場合) 2.リソースタイプ (グループ、ロール、ユーザーの順) 3.リソースID (uidまたはcn)	カスタマイズ不可。
uri	設定済みの値は、URIの文字列表現 (次を参照) が辞書配列でソートされます。 "{" + URI文字列 + "}" + ラベル文字列 値が未設定 (NULL) のものは末尾に配置されま ず。	カスタマイズ不可。
document	ソート指定不可	—

- 補足**
- ・オブジェクトの ID に対してソートを指定した場合、ID の数値部分に対してソートが行われます。
 - ・I18nString 型の属性に対してソート指定した場合、ソート結果は name の値でグルーピングされますが、ソート順は不定です (name の値の辞書配列になるわけではありません)。

付録 P データ型と検索オペレーター

表 : データ型と検索オペレーター

○ : 検索可能、× : 検索不可 (エラー)、△ : システム属性だけ指定可能

		リソース管理			ドキュメント管理								タスク管理		ワークフロー管理													
		boolean	long	string	integer	long	double	日時	文字列	ブール	プリンシパル/ユーザーロール	アトム	URI	バイナリー	boolean	i18nString	boolean	long	double	string	dateTime	date	time	duration	resource	uri	document	
二項演算子	equal	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	equalIgnoreCase	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	notEqual	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	notEqualIgnoreCase	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	like	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	likeIgnoreCase	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	notLike	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	notLikeIgnoreCase	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	greaterEqual	×	○	×	○	○	○	○	○	○*	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×
	greaterThan	×	○	×	○	○	○	○	○	○*	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×
	lessEqual	×	○	×	○	○	○	○	○	○*	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×
	lessThan	×	○	×	○	○	○	○	○	○*	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×
contain	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
三項演算子	between	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	
	notBetween	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	
多項演算子	in	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	△	×	
	notIn	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	△	×	

表：データ型と検索オペレーター

○：検索可能、×：検索不可（エラー）、△：システム属性だけ指定可能

		リソース管理			ドキュメント管理										タスク管理		ワークフロー管理											
		boolean	long	string	integer	long	double	日時	文字列	ブール	プリンシパル/ユーザーロール	アトム	URI	バイナリー	boolean	i18nString	boolean	long	double	string	dateTime	date	time	duration	resource	uri	document	
単項演算子	isNull	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×
	isNotNull	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×

補足 「○*」は、ブール型の「オフラインコンテンツフラグ (offlineContentFlag)」属性または「最新版フラグ (latestEditionFlag)」属性でこの演算子を使用した場合、エラーになります。

付録 Q 用語集

本ドキュメントで使用する特殊用語/略語についてわかりやすく説明します。

用語	説明
Webサービス	XML、SOAP、WSDLといったWeb関連の標準技術によりネットワークを介してサービスの利用やシステム間の連携をするための基盤。
SOAP	Simple Object Access Protocol (SOAP 1.2では略語ではないとされている) XMLベースのWebサービスを呼び出すためのプロトコル。
WSDL	Web Services Description Language Webサービスを記述するためのXMLベースの言語仕様。
MTOM	SOAP Message Transmission Optimization Mechanism Webサービスでバイナリデータを扱う機能を定義した仕様。W3Cの勧告。
SwA	SOAP Messages with Attachments SOAPメッセージに添付ファイルをパッケージングするためのMIME multipart/related構造の定義。
MIME	Multipurpose Internet Mail Extensions 複数データのテキストベースでのパッケージング形式。
DIME	Direct Internet Message Encapsulation MIMEよりも効率が改善されたバイナリ形式のメッセージパッケージ形式。
.NET Framework	マイクロソフトのWindowsプラットフォーム上で様々な言語やライブラリーをシームレスに組み合わせることが可能な開発および実行環境。
WSE	Web Services Enhancements 添付ファイルを扱うときに必要な.NET Frameworkのアドオン。
WCF	Windows Communication Foundation .NET Framework (.NET Remoting) やWSEなどを統合したプログラミングモデルを提供しサービスベースのシステムを構築するためのマイクロソフトの基盤技術。